

講義概要・授業計画

平成 25 年度（2013）

高野山大学

総目次

- 本誌の利用に際して
 - 入学から卒業までの履修について
 - 目的を持った学習生活を送ろう！－宗教的教養を持った社会人を目指して
 - 《僧侶実力養成プログラム》
 - カリキュラムマップ
 - 講義概要・授業計画
- | | |
|---------------|---------|
| 文学部／別科 | 文1～文45 |
| 大 学 院 | 院1～院13 |
| ■ 教員別索引（50音順） | 索引1～索引2 |

本誌の利用に際して

この「講義概要・授業計画」は、平成 25 年度に開講される授業科目の講義内容を掲載したものです。

学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により、当該科目の頁を開くことで見るができます。

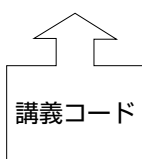
文 学 部

別 科

◆目次について

この『平成 25 年度講義概要・授業計画』では、まず目次で自分の学年のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	藤 田 光 寛	2	1 年次	—		1



◆講義コードについて

講義コードは5ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。

(5 ケタ)

課程

5 = 文学部生用
8 = 別科生用
9 = 大学院生用

曜日

1 = 月曜日
2 = 火曜日
3 = 水曜日
4 = 木曜日
5 = 金曜日
6 = 土曜日
7 = 集中講義
8 = 実習
9 = 論文

時限

1 = 1 講時
2 = 2 講時
3 = 3 講時
4 = 4 講時
5 = 5 講時

通し番号

01 ~ 49 = 前期授業
および通年授業
51 ~ 99 = 後期授業

◆受講登録について

- 1 受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、**4月8日（月）から4月17日（水）午後5時まで**に教務課へ提出してください。
- 2 履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。
 - ① 学籍番号（※身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。
 - ② 履修登録欄には、今年度に受講するすべての授業科目を、『平成 25 年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（卒業論文も含む）を記入してください。
- 3 履修登録票を教務課へ提出した学生は、**4月23日（火）から4月26日（金）午後5時までに**、教務課で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。

この時に学生証が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務課へ提出してください。
- 4 最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、1年間保管してください。
- 5 後期（9月24日開講）授業科目の追加及び登録変更は、**9月24日（火）から9月27日（金）午後5時までの**後期履修登録変更期間に、教務課へ申し出てください。ただし、通年科目の追加・変更・取消はできません。

◆出席票について

- 「出席票」は、各授業の第1回目から第3回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。
- それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の3分の2以上の出席がないと「失格」になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加し、午後（第3講時、第4講時）は通常どおり授業を実施しますので、留意してください。

入学から卒業までの履修について

文学部密教学科では卒業までに130単位以上の科目を履修することとしています（履修規程第3条）。授業科目は、大きく**必修科目**と**選択科目**に分かれ、その中でいくつかグループ分けされていて、グループごとに何単位を履修するかが定められています。また、必修・選択科目以外に資格取得や就職準備のための**自由科目**が用意されていますが、自由科目は卒業に必要な単位に算入されません。また履修できるのは1年間に44単位までと上限が定められています（自由科目を除く）ので、4年で卒業するには1回生からコンスタントに学習することが重要です。

必修科目には、①1回生履修科目、②2回生履修科目、③3回生履修科目、④4回生履修科目があり、①～④で卒業に必要な単位数が決まっています。選択科目には密教学科科目、総合科目などの種類がありますが、基本的には選択科目全体で卒業に必要な合計単位数が決まっています。それぞれの科目グループで単位をいくつ履修しなければならないかの詳細は、『高野山大学要覧』の高野山大学履修規程 別表Ⅰに記載していますので参照してください。

以下では必修・選択科目それぞれの中にある科目グループについて説明します。これを参考に、各自の興味や関心に沿った履修を計画してください。

必修科目

必修科目とは、**卒業までに必ず履修しなければならない科目**のことです。学年が上がってくると、「○科目のうちから○科目以上履修すればよい」という場合もありますが、1、2回生では「指定された科目を必ず履修しなければならない」という場合がほとんどです。これを取り損ねると次年度からの履修にも支障を来しますので、必ず指定された学年で履修しましょう。

1 回生必修科目

以下の1回生必修科目はすべて合格しないと卒業できない科目です。それだけ今後の学習において重要な位置を占めると考え、必ず1回生のうちに履修をすませてください。

1) 「建学の精神」科目

空海の思想入門

文字どおり本学の教育の基本となる科目で、学長が担当します。空海について名前くらいしか知らないという人を想定して、その思想を中心に基本的なことを学びます。

2) 語学科目

英語Ⅰ

語学はコミュニケーションの手段としても、またそれを通じて世界の見方を広げる手段としても重要です。1回生では高校レベルの復習を中心に学びます。1回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

3) 導入科目

日本語

大学での筆記試験やレポート、ひいては4回生での卒業論文の作成を念頭に、その準備として「読む・書く」を中心としたトレーニングをします。1回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

4) 基礎講義

現代思想 人間と宗教 釈尊伝 弘法大師伝

本学で学び始めたみなさんに最低限知っておいてもらいたい、考えてもらいたい内容です。一方で、現代の抱える問題、人間が抱えてきた問題を学び、他方で仏教の開祖であるブッダや真言宗の開祖である弘法大師について、名前くらいしか知らないという人を想定して、その時代背景と生涯を学びます。

5) 古典語

漢文Ⅰ・Ⅱ

古典を学ぶのに必須となる漢文の力を養います。1回生では中学・高校レベルの復習を中心に学びます。

2回生必修科目

以下の2回生必修科目もほとんどが合格しないと卒業できない科目です。3回生から始まる専門科目を学ぶための基礎としても重要です。必ず2回生のうちに履修をすませてください。

1) 語学科目

英語Ⅱ

2年次には高校レベルをベースに長文を読み進める忍耐力を養います。2回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

2) 講義Ⅰ

密教学概論 密教史概説 仏教学概論 仏教史概説

1年次の空海の思想入門、釈尊伝、弘法大師伝を基礎として、密教と仏教それぞれについて、その学問分野の全体像と歴史を学びます。

3) 2回生講読

祖典講読Ⅰ・Ⅱ

弘法大師の思想は本学での学習に欠かせない要素です。それを原典の漢文で読み進めていきます。弘法大師の思想に触れると共に、それが漢文でどのように表現されているかについても学びます。

3回生必修科目

いよいよ3回生から本格的な専門の内容を学びます。履修科目の選択にあたっては4回生になってどんな内容で卒業論文を書きたいか、その希望も踏まえてその領域の科目を重点的に学んでください。

1) 3回生講読

祖典講読Ⅲ・Ⅳ

2回生に引きつづき弘法大師の著作を原典で読み、その思想に触れます。漢文の勉強もしっかり進めてください。

2) 講読演習

密教学講読演習 仏教学講読演習 真言密教講読演習

講読演習は卒業論文作成の準備作業としての意義を持つ科目です。1冊または複数の文献を丁寧に読み、要点をまとめ、それを自分の考察や議論に生かしていくための方法を学びます。

3) 講義Ⅱ

密教学特殊講義 仏教学特殊講義 真言密教特殊講義

2回生までに学んだ密教、仏教の基礎的知識を踏まえ、担当教員がそれぞれの得意分野で専門的な講義を展開します。自分の興味や卒業論文のテーマに合わせ、3回生と4回生で必要単位がそろうように履修してください。

4) 演習Ⅰ

密教学演習

4回生、大学院生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。3回生のうちは特に、4回生の卒論報告を聞いて資料の集め方、議論の進め方、発表の仕方などを学びます。このほかに、卒論作成の力をつける課題に取り組むこともあります。

4回生必修科目

1) 講読演習

密教学講読演習 仏教学講読演習 真言密教講読演習

3回生必修科目と同じです。

2) 講義Ⅱ

密教学特殊講義 仏教学特殊講義 真言密教特殊講義

3回生必修科目と同じです。

3) 演習Ⅱ

密教学演習

3回生、大学院生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。4回生の卒論報告は3回生のための手本ともなります。必要に応じて担当教員に相談しながら、早めに準備を始めて納得のいく卒業論文を仕上げてください。このほかに、卒論作成の力をつける課題に取り組むこともあります。

※演習の選択にあたって

演習は卒業論文を作成するための科目です。主にどの教員の指導を受けて卒論を書くか、3回生までにいろいろな教員の授業を受けながらよく考えておいて下さい。何か書いてみたいテーマがぼんやりとでも見えてきたら、オフィスアワーや授業の前後の時間を利用して、教員に直接相談してみるのもよいでしょう。

場合によっては、卒論はこの先生の指導で書くが、あの先生の演習も受けて参考にしたいという希望が出てくるかもしれません。その時にはそれぞれの教員にその希望を伝え、十分に相談してから受講して下さい。

選択科目

選択科目とは、密教学3領域（密教学、人文学、スピリチュアルケア）の他に、本学での学びを支えるために用意された科目です。密教学科科目や総合科目などいくつかのグループがありますが、グループ分けにこだわらず興味のあるものを選び、卒業までに全体で**52単位**を履修することが必要です。

選択科目と必修科目が重複して開講されている場合には必修科目を優先して履修してください。時間割をつくる際には、まず前の学年で履修できなかった必修科目があればそれを登録し、次に今の学年の必修科目を登録し、その後で空いている時間に選択科目を登録していくといいでしょう。1学年で履修できる科目の上限が44単位ですから、月曜から金曜まで、1講時から4講時（5講時）まで、すべてを授業で埋めることはできません。受けている授業の予習・復習をしたり、図書館で調べ物をしたり、空き時間をうまく活用して勉強を進めてください。密教学科合同研究室を覗いて先輩たちにアドバイスをもらったり、学習・就職支援室で就職活動の準備をするのもいいでしょう。

資格科目について

本学では、必要な科目を履修することによって、以下の免許・資格を取得できます。

- ・教育職員免許（宗教中学校1種、宗教高等学校1種、国語中学校1種、国語高等学校1種）
- ・高野山金剛峯寺・高野山大学書道師範
- ・社会福祉主事任用資格
- ・僧階

いずれも『高野山大学要覧』の高野山大学履修規程および高野山大学履修要項を参考にしてください。特に教職免許は卒業単位以外に必要となる科目が多いので、1回生のうちから計画的に履修していくことが重要です。

目的を持った学習生活を送ろう！——宗教的教養を持った社会人を目指して

学習・就職支援室長 山脇雅夫

本学のカリキュラムは「宗教的教養を持った社会人」を育成するよう設計されています。宗教的教養を持った社会人とは、宗教の知恵を人生の指針とし、それを社会で活かしていける力を持った社会人です。それは例えば、すべての「いのち」が平等だという弘法大師の教えを具体化し実践できる人です。

カリキュラムマップは、そうした人になるための学習の体系を図示したものです。弘法大師の教えを具体化し、実践するためには、密教・仏教の古典の知識はもちろん必要ですが、それだけでは足りません。人に教えを伝えるためには高いコミュニケーション能力も必要ですし、寺院を経営したり、福祉事業を展開するための社会活動力も必要です。哲学・歴史・文学といった広い教養も求められます。本学カリキュラムは、そうした勉強が段階を追って出来るようになっていきます。

また、こうした勉強を通して、社会人として必要な力も培われます。たとえば、古典を勉強することで古人の英知を身につけることができます。テキストを読解することで論理的に考える力が育ちます。語学の学習はコツコツと一つのことをやり遂げる根気を培います。ゼミでの討論は、人の話を理解し、自分の考えを人に説明する力を育てます。総じて学問を修めることは、何かを絶対視せず、批判的・総合的に物事を考察する習慣を育みます。

こうした力は、僧侶になる人にも一般企業に就職する人にも役に立ちます。こうした力を基礎に、僧侶を目指す人は僧侶実力養成プログラムを、一般企業を目指す人は就職支援授業をさらに活用してください。

大学の学問は難しい、初めはまるでチンプンカンということもあるかもしれません。しかし、そこが大学の学問のいいところなのです。見通しがきかない未知の世界に身を投げ入れ、そこでもがき苦しんで、自分なりのなにかを見つけること、そこに大学の勉強の醍醐味があります。それは社会で生きることと似ていると思います。難しい勉強をあきらめずに続けることが、そのまま、社会に出るためのトレーニングなのです。

大学4年間という時間は、長いようで短いものです。ぼんやりしているとアッと言う間に過ぎてしまいます。しっかりと目的意識を持って、自分を鍛えてください。

《僧侶実力養成プログラム》

密教学科主任 佐藤隆彦

僧階取得を目指す学生は、必ず得度、受戒、加行、灌頂を在学中におこなってください。詳しくは掲示に注意するとともに学生手帳「D 僧侶への道」をよく読んでおいてください。

二年次において専修学院（学外授業実施施設）にてこれらの行位を全て履修することもできます。

専修学院以外の場所で加行をする人は、「教学実習」科目、法式、声明、常用經典、布教を加行に入る前にできるだけ履修してください。特に、声明、常用經典は、加行をすすめるのには必要不可欠ですので必ず履修するとともに練習を積んでおいてください。

専修学院（学外授業実施施設）にて加行、灌頂と講義を受ける事を希望する学生は、学外施設において開講する指定科目を履修することにより本学の開講する必修科目・選択科目と同等の科目と見なし算入することができます。学外施設における指定された科目は毎年12月頃に掲示で告知しますので注意しておいてください。なお、『大学要覧』の「学外施設（高野山専修学院）における授業の単位取得」にも必ず目を通しておいてください。

密教学科の講義の中には灌頂を履修した後に初めて受けることが出来る講義があります。早めに加行と灌頂を終わらせて積極的にこれらの講義を受講するようにしてください。その他、僧侶として身につけておいた方がよい科目群を「僧侶実力養成プログラム」と題して選び出しています。これらの科目についても積極的に受講してください。

受講モデルケース

1 回生		
常用經典 詠歌	阿字觀 法式	声明

2 回生		
布教	声明上級	梵字悉曇

3 回生 4 回生		
法式上級	密教学特殊講義（事相）	一流伝授

僧侶実力養成プログラム

【教学実習科目】

法式 声明 常用經典 布教

【企画科目】

詠歌 阿息觀 月輪觀と阿字觀 法式上級 声明上級 一流伝授

【選択科目】

梵字悉曇

【講義】

密教学特殊講義（事相）

1 回生

2 回生

建学の精神科目

空海の思想入門

古典に学ぶ	古典力 論理的思考力 語学力	必修科目	選択科目	必修科目
		弘法大師伝 釈尊伝 現代思想	総合科目(古文書入門) 総合科目(書誌学) サンスクリット語Ⅰ チベット語 宗教思想史Ⅰ / 宗教思想史Ⅱ 宗教学Ⅰ / 宗教学Ⅱ 宗教史Ⅰ / 宗教史Ⅱ	密教学概論Ⅰ / 密教学概論Ⅱ 密教史概説Ⅰ / 密教史概説Ⅱ 仏教史概説Ⅰ / 仏教史概説Ⅱ 祖典講読Ⅰ & Ⅱ (即身成仏義)
伝統文化を学ぶ	国語力 文学力 文化力	必修科目		選択科目
		日本語 漢文 選択科目 企画科目(仏教芸術) 漢字Ⅰ かなⅠ 企画科目(芸能) 日本文学Ⅰ & Ⅱ 企画科目(茶道) 国文法Ⅰ & Ⅱ 企画科目(華道) 国語学Ⅰ & Ⅱ 企画科目(詠歌) 企画科目(舞踊)		日本文学概論Ⅰ & Ⅱ 日本文学史概説Ⅰ & Ⅱ 国語学講義Ⅰ & Ⅱ 漢文学概論Ⅰ & Ⅱ 漢字Ⅱ かなⅡ 書道史(日本)
人と関わる	対人援助力 コミュニケーション力	必修科目	選択科目	必修科目
		人間と宗教 英語Ⅰ	企画科目(傾聴実践) 企画科目(グリーフケア) 企画科目(ヴィパッサナー瞑想Ⅰ & Ⅱ) 心理学Ⅰ & Ⅱ 企画科目(時事英語) 英会話 中国語(初級) 体育実技	英語Ⅱ 選択科目 中国語(上級)
社会に活かす	社会活動力	選択科目	自由科目	選択科目
		総合科目(デジタルアーカイブ) 情報処理 社会学Ⅰ & Ⅱ 現代の人権 日本国憲法	社会保障総論Ⅰ 社会保障総論Ⅱ	社会福祉各論Ⅰ(地域福祉) 社会福祉各論Ⅱ(地域福祉) 社会福祉各論Ⅰ(高齢者福祉) 社会福祉各論Ⅱ(児童福祉) 社会福祉概論Ⅰ
僧侶として生きる	僧侶実践力	選択科目		選択科目
		常用經典 企画科目(阿息観) 声明 企画科目(月輪観と阿字観) 法式 企画科目(声明上級) 布教 企画科目(一流伝授Ⅰ & Ⅱ) 梵字悉曇		企画科目(法式上級) 企画科目(声明上級)
教員になる	教職課程	選択科目		自由科目
		教職入門 教育原論	教育社会学 教育課程論	教育心理学 宗教科教育法Ⅰ & Ⅱ 国語科教育法Ⅰ & Ⅱ 教育方法論 情報技術論 道徳教育の研究 特別教育活動 生徒指導・進路指導
就職に活かす	就職支援	自由科目		自由科目
		キャリアカウンセリングⅠ		キャリアカウンセリングⅡ

3回生&4回生

4回生

密教学領域

必修科目	演習
祖典講読Ⅲ A/ 祖典講読Ⅳ A(弁願密二教論) ※3年次必修 祖典講読Ⅲ B/ 祖典講読Ⅳ B(般若心経秘鍵) ※3年次必修 真言密教講読演習 A(十八道次第) 真言密教講読演習 B(中院流三十三尊法) 真言密教講読演習 C(即身成仏の思想) 仏教学講読演習 C(仏教戒律思想史 1) 真言密教特殊講義 A(宗義決択集) 真言密教特殊講義 C(葬送儀礼 1) 真言密教特殊講義 D(葬送儀礼 2) 密教学特殊講義 G(釈摩訶衍論の研究) 密教学特殊講義 H(真言宗関係の古文書) 密教学特殊講義 I(文献学方法論)	密教学演習 A(御請来目録) 密教学演習 C(仏教の基本知識) 密教学演習 E(大日経) 密教学演習 F(理趣経) 密教学演習 G(宿曜経) 密教学演習 I(御遺告)

人文学領域

必修科目	選択科目	演習
密教学講読演習(密教図像 1) 仏教学講読演習 A(日本仏教美術史) 仏教学講読演習 B(日本仏教美術史) 真言密教特殊講義 B(密教図像 2) 密教学特殊講義 A(高野町史) 密教学特殊講義 B(高野文化圏) 密教学特殊講義 C(仏教芸術) 密教学特殊講義 D(仏教芸術) 密教学特殊講義 J(インド・チベット密教図像) 仏教学特殊講義 B(仏像—姿と意味)	哲学方法論 宗教学方法論 日本文化特殊講義 A(文学の中の生) 日本文化特殊講義 B(地蔵説話の世界) 中国文化特殊講義 A(説文解字) 中国文化特殊講義 B(墨子) 日本文化講読演習(平家物語) 中国文化講読演習(孫子) 篆刻Ⅰ / 篆刻Ⅱ 条幅制作 A(漢字) 条幅制作 B(かな)	密教学演習 D(漢籍) 密教学演習 H(仏教と文学の接点)

SC領域

必修科目	演習
密教学特殊講義 E(Kukai's Thought 1) 仏教学特殊講義 A(スピリチュアル) 密教学特殊講義 F(Kukai's Thought 2) 仏教学特殊講義 E(仏教と現代社会) 仏教学特殊講義 D(宗教体験とことば)	密教学演習 B(エンゲイジドブティズム) 密教学演習 J(仏教心理学)

自由科目

宗教科教育法Ⅲ
 国語科教育法Ⅲ
 国語科教育法Ⅳ
 教育相談
 教育実習Ⅰ ※3年次
 教育実習の研究※教育実習時に履修

自由科目

教育実習Ⅱ ※4年次
 教職実践演習※4年次
 教育実習の研究※教育実習時に履修

自由科目

就職スキル講座

卒業論文

文 学 部 目 次

文学部

1. 必修科目

[密教学科 1 年次履修科目]

1) 「建学の精神」科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	藤 田 光 寛	2	1 年次	－		1

2) 語学科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	金	3	55304	英語 I A	高 倉 正 行	2	1 年次	教職基礎	クラス分け有り	1
通年	金	3	55305	英語 I B	静 春 樹	2	1 年次	教職基礎	クラス分け有り	1
通年	月	4	51403	英語 I C (再履修)	高 倉 正 行	2	2 年次～	教職基礎		2

3) 導入科目(4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	4	51404	日本語 A	南 昌 宏	4	1 年次		クラス分け有り	2
通年	月	4	51405	日本語 B	山 脇 雅 夫	4	1 年次		クラス分け有り	2
通年	月	4	51406	日本語 C	藤 吉 圭 二	4	1 年次		クラス分け有り	2
通年	月	4	51407	日本語 D	土 居 夏 樹	4	1 年次		クラス分け有り	2
通年	火	1	52105	日本語 E (再履修)	藤 吉 圭 二	4	2 年次～			2

4) 基礎講義(2+2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	火	3	52351	弘法大師伝	武 内 孝 善	2	1 年次			3
後期	水	1	53151	釈尊伝	前 谷 彰	2	1 年次			3
前期	月	3	51301	現代思想	山 脇 雅 夫	2	1 年次	教免(宗教)		3
後期	火	5	52551	人間と宗教	井上ウィマラ	2	1 年次	教免(宗教)		3

5) 古典語(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	1	54101	漢文 I	南 昌 宏	2	1 年次	教免(国語)		4
後期	木	1	54151	漢文 II	南 昌 宏	2	1 年次	教免(国語)		4

[密教学科 2 年次履修科目]

1) 語学科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	金	4	55403	英語 II A	高 倉 正 行	2	2 年次	教職基礎		4
通年	金	4	55404	英語 II B	静 春 樹	2	2 年次	教職基礎		4
通年	水	2	53204	英語 II C (再履修)	高 倉 正 行	2	3 年次～	教職基礎		5

2) 講義Ⅰ (2+2+2+2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	2	51201	密教学概論Ⅰ	乾 仁 志	2	2年次	教免(宗教)		5
後期	月	2	51251	密教学概論Ⅱ	乾 仁 志	2	2年次	教免(宗教)		5
前期	金	1	55101	密教史概説Ⅰ	奥 山 直 司	2	2年次	教免(宗教)		6
後期	金	1	55151	密教史概説Ⅱ	佐 藤 隆 彦	2	2年次	教免(宗教)		6
前期	木	4	54401	仏教史概説Ⅰ	前 谷 彰	2	2年次	教免(宗教)		6
後期	木	4	54451	仏教史概説Ⅱ	前 谷 彰	2	2年次	教免(宗教)		6

3) 2回生講読(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	2	52201	祖典講読Ⅰ A	加 納 和 雄	2	2年次	教免(宗教)	クラス分け有り	7
前期	火	2	52202	祖典講読Ⅰ B	土 居 夏 樹	2	2年次	教免(宗教)	クラス分け有り	7
後期	火	2	52251	祖典講読Ⅱ A	加 納 和 雄	2	2年次	教免(宗教)	クラス分け有り	7
後期	火	2	52252	祖典講読Ⅱ B	土 居 夏 樹	2	2年次	教免(宗教)	クラス分け有り	7

[密教学科3年次履修科目]

1) 3回生講読(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	2	51202	祖典講読Ⅲ A	土 居 夏 樹	2	3年次	—		7
前期	金	2	55201	祖典講読Ⅲ B	松 長 恵 史	2	3年次	—		7
後期	月	2	51252	祖典講読Ⅳ A	土 居 夏 樹	2	3年次	—		8
後期	金	2	55251	祖典講読Ⅳ B	松 長 恵 史	2	3年次	—		8

2) 講読演習(2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	金	1	55102	密教学講読演習 A	松 長 恵 史	2	3年次	教免(宗教)		8
前期	火	4	52401	仏教学講読演習 A	和 田 圭 子	2	3年次	教免(宗教)		8
後期	火	4	52451	仏教学講読演習 B	和 田 圭 子	2	3年次	教免(宗教)		9
前期	木	3	54301	仏教学講読演習 C	藤 田 光 寛	2	3年次	教免(宗教)		9
前期	火	1	52101	真言密教講読演習 A	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)		9
後期	火	1	52151	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)		9
前期	火	3	52301	真言密教講読演習 C	加 納 和 雄	2	3年次	教免(宗教)		10

3) 講義Ⅱ(2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	3	51302	密教学特殊講義 A	森 本 一 彦	2	3年次	教免(宗教)		10
後期	月	3	51351	密教学特殊講義 B	森 本 一 彦	2	3年次	教免(宗教)		10
前期	月	4	51401	密教学特殊講義 C	静 慈 圓	2	3年次	教免(宗教)		11
後期	月	4	51451	密教学特殊講義 D	静 慈 圓	2	3年次	教免(宗教)		11
前期	火	2	52203	密教学特殊講義 E	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)		11
後期	火	2	52253	密教学特殊講義 F	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)		11
前期	火	3	52302	密教学特殊講義 G	中 村 本 然	2	3年次	教免(宗教)		12
前期	水	5	53501	密教学特殊講義 H	武 内 孝 善	2	3年次	教免(宗教)		12
後期	水	5	53551	密教学特殊講義 I	武 内 孝 善	2	3年次	教免(宗教)		12
後期	金	2	55252	密教学特殊講義 J	奥 山 直 司	2	3年次	教免(宗教)		12
後期	火	1	52152	仏教学特殊講義 A	井上ウィマラ	2	3年次	教免(宗教)		13
前期	火	3	52303	仏教学特殊講義 B	和 田 圭 子	2	3年次	教免(宗教)		13

後期	火	3	52352	仏教学特殊講義 C	和 田 圭 子	2	3 年次	教免 (宗教)		13
後期	木	3	54351	仏教学特殊講義 D	前 谷 彰	2	3 年次	教免 (宗教)		13
後期	金	1	55153	仏教学特殊講義 E	森 崎 雅 好	2	3 年次	教免 (宗教)		14
前期	金	1	55103	真言密教特殊講義 A	土 居 夏 樹	2	3 年次	教免 (宗教)		14
後期	金	1	55152	真言密教特殊講義 B	松 長 恵 史	2	3 年次	教免 (宗教)		14
前期	金	3	55301	真言密教特殊講義 C	齋 藤 天 譽	2	3 年次	教免 (宗教)		14
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義 D	齋 藤 天 譽	2	3 年次	教免 (宗教)		15

4) 演習 I (4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	2	51203	密教学演習 A	中 村 本 然	4	3 年次	－		15
通年	火	2	52206	密教学演習 J	井上ウィマラ	4	3 年次	－		17
通年	火	3	52307	密教学演習 B	奥 山 直 司	4	3 年次	－		15
通年	火	3	52308	密教学演習 C	前 谷 彰	4	3 年次	－		16
通年	水	1	53103	密教学演習 D	南 昌 宏	4	3 年次	－		16
通年	水	2	53205	密教学演習 E	乾 仁 志	4	3 年次	－		16
通年	水	2	53206	密教学演習 F	加 納 和 雄	4	3 年次	－		16
通年	水	2	53207	密教学演習 G	佐 藤 隆 彦	4	3 年次	－		17
通年	木	1	54106	密教学演習 H	下 西 忠	4	3 年次	－		17
通年	木	2	54205	密教学演習 I	武 内 孝 善	4	3 年次	－		17

【密教学科 4 年次履修科目】

1) 講読演習 (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	金	1	55102	密教学講読演習 A	松 長 恵 史	2	4 年次	教免 (宗教)		8
前期	火	4	52401	仏教学講読演習 A	和 田 圭 子	2	4 年次	教免 (宗教)		8
後期	火	4	52451	仏教学講読演習 B	和 田 圭 子	2	4 年次	教免 (宗教)		9
前期	木	3	54301	仏教学講読演習 C	藤 田 光 寛	2	4 年次	教免 (宗教)		9
前期	火	1	52101	真言密教講読演習 A	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)		9
後期	火	1	52151	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)		9
前期	火	3	52301	真言密教講読演習 C	加 納 和 雄	2	4 年次	教免 (宗教)		10

2) 講義 II (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	3	51302	密教学特殊講義 A	森 本 一 彦	2	4 年次	教免 (宗教)		10
後期	月	3	51351	密教学特殊講義 B	森 本 一 彦	2	4 年次	教免 (宗教)		10
前期	月	4	51401	密教学特殊講義 C	静 慈 圓	2	4 年次	教免 (宗教)		11
後期	月	4	51451	密教学特殊講義 D	静 慈 圓	2	4 年次	教免 (宗教)		11
前期	火	2	52203	密教学特殊講義 E	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)		11
後期	火	2	52253	密教学特殊講義 F	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)		11
前期	火	3	52302	密教学特殊講義 G	中 村 本 然	2	4 年次	教免 (宗教)		12
前期	水	5	53501	密教学特殊講義 H	武 内 孝 善	2	4 年次	教免 (宗教)		12
後期	水	5	53551	密教学特殊講義 I	武 内 孝 善	2	4 年次	教免 (宗教)		12
後期	金	2	55252	密教学特殊講義 J	奥 山 直 司	2	4 年次	教免 (宗教)		12
後期	火	1	52152	仏教学特殊講義 A	井上ウィマラ	2	4 年次	教免 (宗教)		13
前期	火	3	52303	仏教学特殊講義 B	和 田 圭 子	2	4 年次	教免 (宗教)		13
後期	火	3	52352	仏教学特殊講義 C	和 田 圭 子	2	4 年次	教免 (宗教)		13
後期	木	3	54351	仏教学特殊講義 D	前 谷 彰	2	4 年次	教免 (宗教)		13

後期	金	1	55153	仏教学特殊講義 E	森 崎 雅 好	2	4 年次	教免（宗教）		14
前期	金	1	55103	真言密教特殊講義 A	土 居 夏 樹	2	4 年次	教免（宗教）		14
後期	金	1	55152	真言密教特殊講義 B	松 長 恵 史	2	4 年次	教免（宗教）		14
前期	金	3	55301	真言密教特殊講義 C	齋 藤 天 譽	2	4 年次	教免（宗教）		14
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義 D	齋 藤 天 譽	2	4 年次	教免（宗教）		15

3) 演習Ⅱ (4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	2	51203	密教学演習 A	中 村 本 然	4	4 年次	－		15
通年	火	3	52307	密教学演習 B	奥 山 直 司	4	4 年次	－		15
通年	火	3	52308	密教学演習 C	前 谷 彰	4	4 年次	－		16
通年	水	1	53103	密教学演習 D	南 昌 宏	4	4 年次	－		16
通年	水	2	53205	密教学演習 E	乾 仁 志	4	4 年次	－		16
通年	水	2	53206	密教学演習 F	加 納 和 雄	4	4 年次	－		16
通年	水	2	53207	密教学演習 G	佐 藤 隆 彦	4	4 年次	－		17
通年	木	1	54106	密教学演習 H	下 西 忠	4	4 年次	－		17
通年	木	2	54205	密教学演習 I	武 内 孝 善	4	4 年次	－		17

4) 卒業論文 (8)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	－	－	59001	卒業論文	密教学科主任	8	4 年次	－		－
前期	－	－	59002	卒業論文（前期）	密教学科主任	4	4 年次	－	7 月提出許可者に限る	－

2. 選択科目

1) 総合科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	3	52304	総合科目 (デジタルアーカイブ)	藤 吉 圭 二	2	1 年次～	－		18
前期	水	5	53502	総合科目 (古文書入門)	浜 畑 圭 吾	2	1 年次～	－		18
後期	水	5	53552	総合科目 (書誌学)	浜 畑 圭 吾	2	1 年次～	－		18

2) 企画科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	3	51304	企画科目 (時事英語)	高 倉 正 行	2	1 年次～	－		19
通年	月	4	51408	企画科目 (舞踊)	細川・高祖・辻	2	1 年次～	－		19
前期	火	1	52102	企画科目 (傾聴実践)	井上ウィマラ	2	1 年次～	－		19
前期	火	2	52204	企画科目 (仏教芸術)	和 田 圭 子	2	1 年次～	－		19
通年	火	4	52403	企画科目 (華道)	五 味 和 樹	2	1 年次～	－		20
前期	水	2	53201	企画科目 (ヴィパサナー瞑想Ⅰ)	井上ウィマラ	2	1 年次～	－		20
後期	水	2	53251	企画科目 (ヴィパサナー瞑想Ⅱ)	井上ウィマラ	2	1 年次～	－		20
通年	水	3	53303	企画科目 (法式上級)	淵 田 雲 溪	2	1 年次～	－		20
通年	水	4	53403	企画科目 (芸能)	糺 谷 有 桜	2	1 年次～	－		21
前期	木	2	54201	企画科目 (阿息観)	佐 藤 隆 彦	2	1 年次～	－		21
後期	木	2	54251	企画科目 (月輪観と阿字観)	佐 藤 隆 彦	2	1 年次～	－		21
後期	木	2	54252	企画科目 (グリーンフケア)	森 崎 雅 好	2	1 年次～	－		21
通年	木	4	54403	企画科目 (詠歌)	上山・辻・山本	2	1 年次～	－		22
通年	金	3	55306	企画科目 (声明上級)	辻 秀 道	2	1 年次～	－		22
通年	金	3	55307	企画科目 (茶道)	岡 本 文 音	2	1 年次～	－		22

集中	－	－	57001	企画科目（一流伝授Ⅰ）	甲 田 宥 呷	2	1 年次～	－		22
集中	－	－	57002	企画科目（一流伝授Ⅱ）	甲 田 宥 呷	2	1 年次～	－		23

3) 語学科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	火	2	52207	サンスクリット語Ⅰ	前 谷 彰	2	1 年次～	－		23
通年	木	3	54303	サンスクリット語Ⅱ	加 納 和 雄	2	2 年次～	－		23
通年	木	2	54206	チベット語	加 納 和 雄	2	1 年次～	－		24
通年	水	5	53504	英会話	T.ドライトライン	2	1 年次～	－		24
通年	火	1	52106	中国語（初級）	土生川正賢	2	1 年次～	－		24
通年	火	2	52208	中国語（上級）	土生川正賢	2	1 年次～	－		24

4) 健康実技

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	木	3	54304	体育実技	中 村 哲 二	2	1 年次～	教職基礎		25

5) 普通科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	2	53202	宗教思想史Ⅰ	山 脇 雅 夫	2	1 年次～	教免（宗教）		25
後期	水	2	53252	宗教思想史Ⅱ	山 脇 雅 夫	2	1 年次～	教免（宗教）		25
前期	金	2	55202	心理学Ⅰ	戸 来 知 子	2	1 年次～	社会福祉主事		26
後期	金	2	55253	心理学Ⅱ	戸 来 知 子	2	1 年次～	社会福祉主事		26
前期	月	1	51101	社会学Ⅰ	藤 吉 圭 二	2	1 年次～	社会福祉主事		26
後期	月	1	51151	社会学Ⅱ	藤 吉 圭 二	2	1 年次～	社会福祉主事		26
前期	火	1	52103	日本文学Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	1 年次～	教免（国語）		27
後期	火	1	52153	日本文学Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	1 年次～	教免（国語）		27
前期	水	1	53102	国文法Ⅰ	下 西 忠	2	1 年次～	教免（国語）		27
後期	水	1	53152	国文法Ⅱ	下 西 忠	2	1 年次～	教免（国語）		27
前期	金	4	55401	国語学Ⅰ	上 田 恭 寿	2	1 年次～	教免（国語）		28
後期	金	4	55451	国語学Ⅱ	上 田 恭 寿	2	1 年次～	教免（国語）		28
後期	水	4	53451	現代の人権	竹 村 和 也	2	1 年次～	－		28
後期	水	3	53351	日本国憲法	竹 村 和 也	2	1 年次～	教職基礎		28
通年	火	4	52404	情報処理	野 口 博 司	2	1 年次～	教職基礎		29
通年	金	2	55204	梵字悉曇	齋 藤 天 譽	2	1 年次～	－		29

6) 教学実習科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	水	4	53404	常用経典	宮 田 永 明	2	1 年次～	僧階申請		29
通年	金	1	55104	声明	辻 秀 道	2	1 年次～	僧階申請		29
通年	月	1	51103	法式	中 西 雄 泰	2	1 年次～	僧階申請		30
通年	火	4	52405	布教	橋 本 真 人	2	1 年次～	僧階申請		30

7) 教育職員免許状関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	2	54202	宗教学Ⅰ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	教免（宗教）		30
後期	木	2	54253	宗教学Ⅱ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	教免（宗教）		30
前期	木	1	54102	宗教史Ⅰ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	教免（宗教）		31

後期	木	1	54152	宗教史Ⅱ	川崎 一 洋	2	1 年次～	教免（宗教）		31
後期	月	3	51351	哲学方法論	山 脇 雅 夫	2	3 年次～	教免（宗教）		31
後期	水	1	53153	宗教学方法論	藤 田 光 寛	2	3 年次～	教免（宗教）		31
前期	月	4	51402	日本文学概論Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	2 年次～	教免（国語）		32
後期	月	4	51452	日本文学概論Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	2 年次～	教免（国語）		32
前期	火	3	52305	日本文学史概説Ⅰ	下 西 忠	2	2 年次～	教免（国語）		32
後期	火	3	52353	日本文学史概説Ⅱ	下 西 忠	2	2 年次～	教免（国語）		32
前期	木	3	54302	漢文学概論Ⅰ	南 昌 宏	2	2 年次～	教免（国語）		33
後期	木	3	54352	漢文学概論Ⅱ	南 昌 宏	2	2 年次～	教免（国語）		33
前期	金	3	55302	国語学講義Ⅰ	上 田 恭 寿	2	2 年次～	教免（国語）		33
後期	金	3	55352	国語学講義Ⅱ	上 田 恭 寿	2	2 年次～	教免（国語）		33
後期	水	2	53253	日本文化特殊講義 A	下 西 忠	2	3 年次～	教免（国語）		34
後期	火	2	52254	日本文化特殊講義 B	浜 畑 圭 吾	2	3 年次～	教免（国語）		34
前期	金	4	55402	中国文化特殊講義 A	野 田 悟	2	3 年次～	教免（国語）		34
後期	月	3	51352	中国文化特殊講義 B	南 昌 宏	2	3 年次～	教免（国語）		34
前期	火	2	52205	日本文化講読演習	浜 畑 圭 吾	2	3 年次～	教免（国語）		35
前期	月	3	51303	中国文化講読演習	南 昌 宏	2	3 年次～	教免（国語）		35

8）書道師範関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	水	2	53208	漢字Ⅰ	野 田 悟	2	1 年次～	書道師範 / 教免(国語)		35
通年	火	4	52406	漢字Ⅱ	木 本 滋 久	2	2 年次～	書道師範 / 教免(国語)		35
通年	木	2	54207	かなⅠ	山 本 圭 子	2	1 年次～	書道師範 / 教免(国語)		36
通年	木	3	54305	かなⅡ	山 本 圭 子	2	2 年次～	書道師範 / 教免(国語)		36
前期	火	1	52104	篆刻Ⅰ	野 田 悟	2	3 年次～	書道師範		36
後期	火	1	52154	篆刻Ⅱ	野 田 悟	2	3 年次～	書道師範		36
通年	火	3	52309	条幅制作 A	木 本 滋 久	2	3 年次～	書道師範		37
通年	木	4	54404	条幅制作 B	山 本 圭 子	2	3 年次～	書道師範		37
通年	金	1	55105	書道史（日本）	野 田 悟	4	2 年次～	書道師範		37

9）社会福祉主事関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	1	54103	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉）	山 口 幸 照	2	2 年次～	社会福祉主事		38
後期	木	1	54153	社会福祉各論Ⅱ（地域福祉）	山 口 幸 照	2	2 年次～	社会福祉主事		38
前期	木	2	54203	社会福祉各論Ⅰ（障害者福祉）	山 口 幸 照	2	2 年次～	社会福祉主事		38
後期	木	2	54254	社会福祉各論Ⅱ（高齢者福祉）	山 口 幸 照	2	2 年次～	社会福祉主事		38
後期	水	5	53553	社会福祉各論Ⅰ（児童福祉）	山 口 幸 照	2	2 年次～	社会福祉主事		39
前期	水	4	53401	社会保障総論Ⅰ	山 口 幸 照	2	1 年次～	社会福祉主事		39
後期	水	4	53452	社会保障総論Ⅱ	山 口 幸 照	2	1 年次～	社会福祉主事		39
前期	水	5	53503	社会福祉概論Ⅰ	山 口 幸 照	2	2 年次～	社会福祉主事		39

3. 自由科目（卒業要件には参入されません）

1）教職科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	金	2	55203	教職入門	伊 藤 一 雄	2	1 年次～	教免必修		40
前期	木	4	54402	教育原論	山 脇 雅 夫	2	1 年次～	教免必修		40
前期	木	2	54204	教育心理学	森 崎 雅 好	2	2 年次～	教免必修		40
後期	月	3	51353	教育社会学	藤 吉 圭 二	2	1 年次～	教免必修		40
後期	金	2	55254	教育課程論	伊 藤 一 雄	2	1 年次～	教免必修		41
前期	月	1	51102	宗教科教育法Ⅰ	乾 仁 志	2	2 年次～	教免（宗教）		41
後期	月	1	51152	宗教科教育法Ⅱ	乾 仁 志	2	2 年次～	教免（宗教）		41

前期	月	5	51501	宗教科教育法Ⅲ	乾 仁 志	2	3年次～	教免（宗教）		41
前期	火	4	52402	国語科教育法Ⅰ	下 西 忠	2	2年次～	教免（国語）		42
後期	火	4	52452	国語科教育法Ⅱ	下 西 忠	2	2年次～	教免（国語）		42
前期	火	5	52501	国語科教育法Ⅲ	下 西 忠	2	3年次～	教免（国語）		42
後期	火	5	52502	国語科教育法Ⅳ	下 西 忠	2	3年次～	教免（国語）		42
前期	水	2	53203	教育方法論	山 本 芳 孝	2	2年次～	教免必修		43
前期	火	3	52306	情報技術論	藤 吉 圭 二	2	2年次～	教免必修		43
後期	木	4	54452	道徳教育の研究	山 脇 雅 夫	2	2年次～	教免必修		43
前期	水	3	53301	特別教育活動	山 本 芳 孝	2	2年次～	教免必修		43
前期	金	3	55303	生徒指導・進路指導	伊 藤 一 雄	2	2年次～	教免必修		44
後期	金	3	55353	教育相談	戸 来 知 子	2	3年次～	教免必修		44
後期	金	3	55354	教職実践演習	伊 藤 一 雄	2	4年次	教免必修		44
実習	－	－	58001	教育実習Ⅰ	山 脇 雅 夫 森 崎 雅 好	2	3年次～	教免必修		－
実習	－	－	58002	教育実習Ⅱ	山 脇 雅 夫 森 崎 雅 好	2	4年次	教免必修		－
前期	木	1	54104	教育実習の研究	山 脇 雅 夫	1	3年次～	教免必修		44

２）就職支援プログラム展開科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	4	53402	キャリアカウンセリングⅠ	田 村 美 幸	2	1年次～			45
前期	木	1	54105	キャリアカウンセリングⅡ	森 崎 雅 好	2	2年次～			45
前期	水	3	53302	就職スキル講座	田 村 美 幸	2	3年次～			45

別 科 目 次

別科

1. 必修科目 (48)

1) 基礎科目 (16)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単位	履修年次	備 考	頁
通年	月	2	81202	真言宗の教え (別)	密教学概論Ⅰ 密教学概論Ⅱ	乾 仁志	4	1年次		5
後期	水	1	83151	釈尊の生涯 (別)	釈尊伝	前谷 彰	2	1年次		3
後期	火	3	82351	弘法大師空海の生涯 (別)	弘法大師伝	武内孝善	2	1年次		3
通年	火	2	82201	真言宗典講読1 (別)	祖典講読Ⅰ 祖典講読Ⅱ	加納和雄	4	1～2年次		7
前期	金	1	85101	真言宗典講読2-1 (別)	密教学講読演習A	松長恵史	2	1～2年次	2-1、2-2を必ず履修すること	8
前期	火	3	82301	真言宗典講読2-2 (別)	真言密教講読演習C	加納和雄	2	1～2年次		10

2) 実習科目 (14)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単位	履修年次	備 考	頁
通年	木	2	84201	観法の理論と実習 (別)	企画科目 (阿息観) 企画科目 (月輪観と阿字観)	佐藤隆彦	4	2年次		21
通年	金	2	85201	梵字悉曇 (別)	梵字悉曇	齋藤天譽	2	1年次		29
通年	金	1	85102	声明 (別)	声明	辻 秀道	2	1年次		29
通年	水	4	83401	常用経典 (別)	常用経典	宮田永明	2	1年次		29
通年	月	1	81101	法式 (別)	法式	中西雄泰	2	1年次		30
通年	火	4	82401	布教 (別)	布教	橋本真人	2	1年次		30

3) 実習科目 (18)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単位	履修年次	備 考	頁
後期	水	4	83451	人権と福祉 (別)	現代の人権	竹村和也	2	1～2年次		28
通年	木	2	84202	世界の宗教 (別)	宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ	川崎一洋	4	1～2年次		30
通年	木	1	84101	宗教の歴史 (別)	宗教史Ⅰ 宗教史Ⅱ	川崎一洋	4	1～2年次		31
通年	金	2	85202	心の科学 (別)	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ	戸來知子	2	1～2年次		26
通年	月	4	81204	仏教芸術 (別)	密教学特殊講義C 密教学特殊講義D	静 慈圓	2	1～2年次		11
通年	月	2	81203	哲学 (別)	現代思想 哲学方法論	山脇雅夫	4	1～2年次		3 31
通年	水	4	83402	社会保障 (別)	社会保障総論Ⅰ 社会保障総論Ⅱ	山口幸照	4	1～2年次		39
通年	木	1	84102	地域福祉 (別)	社会福祉各論Ⅰ (地域福祉) 社会福祉各論Ⅱ (地域福祉)	山口幸照	4	1～2年次		38
通年	火	2	82202	サンスクリット語 (別)	サンスクリット語Ⅰ	前谷 彰	2	1～2年次		23
通年	木	2	84203	チベット語 (別)	チベット語	加納和雄	2	1～2年次		24
通年	金	3	85301	声明上級 (別)	企画科目 (声明上級)	辻 秀道	2	1～2年次		22
通年	水	3	83301	法式上級 (別)	企画科目 (法式上級)	渕田雲溪	2	1～2年次		20
通年	金	3	85302	密教儀礼の理論と実習 (別)	真言密教特殊講義C 真言密教特殊講義D	齋藤天譽	4	2年次		14 15
通年	木	4	84401	事相研究 (聖教の伝授と実習) (別)	事相研究Ⅱ -1 (大) 事相研究Ⅱ -2 (大)	佐藤隆彦	4	2年次		院-7 院-8

講 義 概 要

•

授 業 計 画

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の密教思想を学ぶための基礎的な知識を身につける テーマ：弘法大師空海とその密教思想	科目名	
空海の思想入門	授業の概要 本講義は文学部共通の「建学の精神」科目で、全学生必須である。本学でどのような分野を専攻するにしても、最初に弘法大師空海とその密教思想の概要を学んでおくことは、弘法大師の教育理念に基づく高野山大学で学ぶことの意義を確認でき、より実り多い勉学生活を過ごすことが可能であるからである。大師の著作のいくつかを具体的に取りあげて概観し、大師の密教思想を学ぶ。		
学期	授業計画 1. はじめに（オリエンテーション） 2. 密教の種々相（日本密教とチベット密教） 3. 高野山の開創とその意義 4. 大師の教育観（『綜芸種智院式』） 5. 弘法大師の生涯（略説） 6. 〃 7. 三教の比較思想論（『譬喩指帰』『三教指帰』） 8. 密教経典としての般若心経（『般若心経秘鍵』） 9. 真言密教の相承者の承譜と伝記（『広付法伝』『略付法伝』） 10. 顕教と密教（『弁顕密二教論』） 11. 密教の成仏論（『即身成仏義』） 12. 十段階の心のあり方（『十住心論』『秘藏宝鑰』） 13. 大師の戒律思想（『三昧耶戒序』『梵網経解題』） 14. 〃 15. おわりに（まとめ）	学期	
前期	テキスト 授業中に適宜指示する。		
単位数	参考書・参考資料等 ① 松長有慶『密教』（岩波新書）840 円 ② 『弘法大師空海全集』全 8 巻（筑摩書房）など 授業中で適宜指示する。	単位数	
2	学生に対する評価 期末のレポート試験（70%）、授業中任意に実施する小テスト（30%）によって評価する。		
担当者	養成をめざす力 密教文化の基礎力、日本語を読む力、問題発見力	担当者	
藤田光寛	その他 毎回休まずに出席することを望みます。少なくとも、授業実数の三分の一以上欠席すれば失格です。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp です。質問などに遠慮無く利用して下さい。		

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：基礎的な英文法の理解 テーマ：基礎的な読解能力を養う	科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：1 年間の授業で、それまでコマ付きの自転車に乗っていた子供が、コマを外してしばらく練習した後で、「今コマ無しで走っているよ」と実感できるような、その程度にまでもっていく。 テーマ：【前期】高校までに習った英語を活性化する。 【後期】英文法の初歩習得
英語ⅠA	授業の概要 基本的な英文法を再確認するとともに、易しい英文を読み読解力を養う。	英語ⅠB	授業の概要 受講生は誰もが最低限 6 年間の英語学習を経ているはずである。本授業では受講生に関わった中学・高校英語教師の努力に報いるために尽力する。つまり勉強した事柄の想起・活性化・定着である。
学期	授業計画 【前期】 1. 予習、復習、授業の進め方について説明する。 2. The Beauty of the Seasons 3. 同上 4. The History of the Hamburger 5. 同上 6. The Importance of English 7. 同上 8. How the Internet Evolved 9. 同上 10. Liquid Candy 11. 同上 12. Travel in Japan 13. 同上 14. The secret of Happiness 15. 同上	学期	授業計画 テキストに沿って行う。
通年	【後期】 1. Shopping on the Internet 2. 同上 3. Do Aliens and UFOs Exist? 4. 同上 5. The Happiest Country in the World 6. 同上 7. Secondhand Smoke 8. 同上 9. Plastic Surgery 10. 同上 11. What Colors Tell about You 12. 同上 13. Free Music 14. 同上 15. Ghosts	通年	
単位数	テキスト Life Topics（南雲堂）ISBN 978-4-523-17689-3 テキスト購入に関しては、教員の指示に従うこと。	単位数	テキスト 南雲堂 What a Story!（文法・単語で学ぶやさしいパラグラフ・リーディング）。 テキストを持たない学生の受講は認めません。
2	参考書・参考資料等	2	参考書・参考資料等 『基礎からの英語入門 First Primer』南雲堂
担当者	学生に対する評価 予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。	担当者	学生に対する評価 前期テスト（50%）、後期テスト（50%）。出席日数が足りている学生のみ受験可能
高倉正行	養成をめざす力 外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性	静春樹	養成をめざす力 外国語を読む力、自主性、チームワーク
	その他 必ず予習を行って授業に臨むこと。 授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。		その他

科目名	英語 I C (再履修)
学期	
通年	
単位数	
2	
担当者	
高倉正行	
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：基本的な英文法の理解 テ ー マ：英文の基本的構文の習得
授業の概要	基礎英文法を学ぶ。
授業計画	【前期】 1. 授業の進め方、評価の仕方、予習・復習の仕方等について説明。 2. 動詞と文型 3. 同上 4. 文の種類 5. 同上 6. 動詞と時制 7. 同上 8. 完了形 9. 同上 10. 態 11. 同上 12. 不定詞 13. 同上 14. 動名詞 15. 同上 【後期】 1. 分詞 2. 同上 3. 分詞構文 4. 同上 5. 比較 6. 同上 7. 関係詞（1） 8. 同上 9. 関係詞（2） 10. 同上 11. 仮定法 12. 同上 13. 時制の一致と話法 14. 同上 15. 総括
テキスト	Mastering Grammar Basics（桐原書店、堀口貫治） ISBN 978-4-342-55220-5 ＊テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。
養成をめざす力	外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性
その他	必ず予習を行って授業に臨むこと。 授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	日本語 A・B・C・D
学期	
通年	
単位数	
4	
担当者	
D C B A 土藤山南 居吉協昌 夏圭雅昌 樹二夫宏	
授業の到達目標及びテーマ	他人の言いたいことを的確に把握できるようにすること、自分の言いたいことを的確に展開できるようにすること。
授業の概要	大学では、多くの専門的な本を読み、それをもとにレポートを書き、最終的には卒業論文に取り組みます。そのためには専門的知識を身につけると共に論理的に構成された文章を、正確に把握できるようにすることが不可欠です。この講義では新入生を対象として、そのためのトレーニングを実施します。
授業計画	【前期】 1. ガイダンス 2. 「自分史」を書く 3. 「自分史」を読む・聞く 4. 文章読解の練習（1） 5. 文章読解の練習（2） 6. 文章読解の練習（3） 7. 文章読解の練習（4） 8. 文章読解の練習（5） 9. 文章読解の練習（6） 10. レポートの作り方（1） 11. レポートの作り方（2） 12. レポートの作り方（3） 13. レポートの作り方（4） 14. レポートの作り方（5） 15. 他人のレポートを読んで意見を述べる 【後期】 1. ガイダンス 2. 自分の意見を書く（1） 3. 自分の意見を書く（2） 4. 自分の意見を書く（3） 5. 自分の意見を書く（4） 6. 自分の意見を書く（5） 7. 引用のポイント（1） 8. 引用のポイント（2） 9. 引用のポイント（3） 10. 引用のポイント（4） 11. レポートの作り方（1） 12. レポートの作り方（2） 13. レポートの作り方（3） 14. レポートの作り方（4） 15. レポートの相互批評
テキスト	大学で用意したものを配布します。
参考書・参考資料等	国語辞典・漢和辞典を持参してください。 ＊電子辞書でもよいが本の辞書を推奨。
学生に対する評価	毎回の漢字テスト（40%）、課題提出（60%）、で評価します。
養成をめざす力	日本語を読む力・書く力
その他	トレーニングは大変かもしれませんが、その成果は必ずみなさんの財産になります。へこたれず、楽しくやっていきましょう。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：1 回生必修科目「日本語」の不合格者を対象とする科目である。毎回ちゃんと出席して作業する地道さを養う。 テ ー マ：ひらがなだけから話の内容を推測できる程度に「自分をあきらめない力」をつける。
授業の概要	毎回小テストを実施する。
授業計画	【前期】 1. 社会に関する評論を読む（1） 2. 社会に関する評論を読む（2） 3. 社会に関する評論を読む（3） 4. 社会に関する評論を読む（4） 5. 政治に関する評論を読む（1） 6. 政治に関する評論を読む（2） 7. 政治に関する評論を読む（3） 8. 政治に関する評論を読む（4） 9. 文化に関する評論を読む（1） 10. 文化に関する評論を読む（2） 11. 文化に関する評論を読む（3） 12. 文化に関する評論を読む（4） 13. 宗教に関する評論を読む（1） 14. 宗教に関する評論を読む（2） 15. 宗教に関する評論を読む（3） 【後期】 1. 社会に関する評論を読む（1） 2. 社会に関する評論を読む（2） 3. 社会に関する評論を読む（3） 4. 社会に関する評論を読む（4） 5. 政治に関する評論を読む（1） 6. 政治に関する評論を読む（2） 7. 政治に関する評論を読む（3） 8. 政治に関する評論を読む（4） 9. 文化に関する評論を読む（1） 10. 文化に関する評論を読む（2） 11. 文化に関する評論を読む（3） 12. 文化に関する評論を読む（4） 13. 宗教に関する評論を読む（1） 14. 宗教に関する評論を読む（2） 15. 宗教に関する評論を読む（3）
テキスト	必要に応じて担当者がプリントを配布します。
参考書・参考資料等	国語辞典・漢和辞典を持参してください（本の辞書を推奨）。
学生に対する評価	毎回実施する小テスト（50%）、期末テスト（50%）で評価します。
養成をめざす力	日本語を読む力・書く力
その他	この科目の単位を1 回生の時にとれなかった諸君のほとんどは「ちゃんと授業に出る」ができなかったことによって不合格となっている。そのままでは卒業まで覚束ない。「通学する」を習慣にし直そう。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言宗の開祖・空海の62年にわたる生涯のアウトラインを理解する。 テーマ：空海の生涯とその時代
弘法大師空海の生涯（別）	授業の概要 9世紀のはじめ唐にわたり、最新の仏教＝密教を持ちかえって体系化し、真言宗の開祖となった空海。その62年にわたる生涯には、まだ解明されていない点が多くありません。一方、解決済みとみなされてきた事跡にも疑わしい点がみられます。そこで、講義では空海が活躍した時代がどのような時代であったかを概観しつつ、従来の説を徹底的に検証し、先入観を排した新しい空海像をご一緒に考えていきましょう。
学期	授業計画 1. はじめに－空海伝研究の現状と課題－ 2. 基本的な参考文献 3. 誕生地と誕生年次 4. 空海の家系－佐伯直氏と阿刀氏－ 5. 若き日の修行 6. 出家と入唐 7. 恵果和尚からの受法 8. 最澄との交友 9. 最澄との決別 10. 高野山の開創 11. 都における活躍 12. 綜芸種智院の開設 13. 最晩年の空海 14. 空海の最期 15. 大師号の下賜と入定信仰
後期	テキスト 毎時間、プリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 高木神元『空海－その生涯と周辺－』吉川弘文館 竹内信夫『空海－弘仁のモダニスト－』ちくま新書 武内孝善共著『あなただけの弘法大師空海』小学館 武内孝善・川辺秀美著『空海と密教美術』洋泉社 武内孝善『弘法大師 伝承と史実－絵伝を読み解く－』朱鷺書房
2	学生に対する評価 授業への参加度(出席した上で積極的に質問等する)50%。学期末の試験、またはレポート50%。
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、問題発見力、問題解決力
武内孝善	その他 ①空海伝にはまだ定説はありません。新しい空海発見の旅に、あなたも参加してください。 ②積極的に講義に参加してほしい。疑問をもったらその場で解決しよう。質問を待っています。 ③空海の伝記を最低3冊は読もう。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：釈尊の思想とその生涯についての基礎知識の養成 テーマ：釈尊の思想とその生涯を概観することによって、初期仏教の思想と歴史についての知識を深める。
釈尊の生涯（別）	授業の概要 仏教の開祖であるゴータマブッダ（釈尊）の生涯を基本的仏伝資料によって概観し、その後は釈尊のことがばが集成された最古層に属する経典とされる『スッタニパータ』から、幾つかの偈頌を抽出することによって、釈尊のことがばの世界を通してその実像へ迫って行く。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 仏伝資料による釈尊の生涯概観。 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 『スッタニパータ』「蛇の章・慈しみ」を読み、同じ作業を行う。 8. 『スッタニパータ』「小なる章・宝」を読み、同じ作業を行う。 9. 『スッタニパータ』「小なる章・ダンミカ」を読み、同じ作業を行う。 10. 『スッタニパータ』「大いなる章・つとめはげむこと」を読み、同じ作業を行う。 11. 『スッタニパータ』「大いなる章・矢」を読み、同じ作業を行う。 12. 『スッタニパータ』「大いなる章・二種の観察」を読み、同じ作業を行う。 13. いくつかの仏伝記事を紹介・解説することによって、釈尊神格化のプロセスについて解説する。 14. 同上 15. 学習した内容に対する質問や意見を聞き、総まとめをする。
後期	テキスト 毎時間必要なコピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 必要に応じて紹介する。
2	学生に対する評価 授業への参加度と学期末試験とで総合的に評価する。
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、国際感覚、論理性、問題解決力
前谷彰	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：人間観の基礎を構築する テーマ：人間の哲学
現代思想1（別）	授業の概要 「人の間」と書いて「人間」と読むことは、私たち人間にとって他の人のかかわりが本質的であることをよく示していると思われます。この授業では、人間関係に関する哲学的問題を中心に、現代に生きていくために必要な思想は何かを考えます。
学期	授業計画 1. 赤ちゃんの人間認識 2. 対人関係と言葉 3. 自他の境界 4. いじめ 5. 「自分」の定義 6. 「愛」の諸相 7. 聴くことの力 8. 理解と誤解 9. 自己犠牲は可能か？ 10. 待つことの意味 11. 人間関係と時間 12. 死者との共存 13. 切れ字の存在論 14. 実存 15. 住まうこと
前期	テキスト 藤田正勝『哲学のヒント』岩波新書
単位数	参考書・参考資料等 授業中に指示。
2	学生に対する評価 期末テスト65点、小テスト20点、授業参加への積極性15点
担当者	養成をめざす力 論理的思考力、他者への共感力
山脇雅夫	その他
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スピリチュアルケアについて、人類史的な視点から議論できる力を身につける。 テーマ：宗教の起源という視点からスピリチュアリティとケアについて考察する
人間と宗教	授業の概要 スピリチュアルケア入門を兼ねているため、人類進化の歴史と宗教の起源という視点から、スピリチュアリティやケアについての考察を試みてみたい。授業は講義と質疑応答、ディスカッションを交えながら進めていく。
学期	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて（宗教とは何か？） 2. カデナティ：宗教の起源と死の認識 3. スピリチュアリティとは何か？ 4. ケアとは何か？ 5. 人と人の間で人となる：発達の視点 6. 「私」という意識の成立：輪廻思想の意義を探る 7. 宗教と道徳について 8. 愛、慈悲、思いやり 9. 神話とナラティブ 10. 人生の苦悩と幸福について 11. 自然の中で群れて生きることの意味：社会脳の視点 12. 言語と宗教 13. 離見の見：技の視点から見たスピリチュアリティ 14. 安心感：人はなぜ信じようとするのか 15. ふりかえりとまとめ
後期	テキスト なし。
単位数	参考書・参考資料等 『宗教学事典』丸善
2	学生に対する評価 授業参加への積極性（30%）、期末レポート（70%）で評価する。
担当者	養成をめざす力 論理性、問題発見力、創造力
井上ウイマラ	その他

科目名	漢文Ⅰ
学期	前期
担当者	南 昌 宏
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：返り点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付けることを到達目標とする。 テ ー マ：漢文訓読の基礎（入門）	
授業の概要 漢文を返り点のとおりに書き下し文にする練習、書き下し文のとおりに返り点を打つ練習を繰り返し行う。	
授業計画 1. 返り点にしたがって読む練習（1） 2. 返り点を付ける練習（1） 3. 短文を読む練習（1） 4. 返り点にしたがって読む練習（2） 5. 返り点を付ける練習（2） 6. 短文を読む練習（2） 7. 返り点にしたがって読む練習（3） 8. 返り点を付ける練習（3） 9. 短文を読む練習（3） 10. 返り点にしたがって読む練習（4） 11. 返り点を付ける練習（4） 12. 短文を読む練習（4） 13. 返り点にしたがって読む練習（5） 14. 返り点を付ける練習（5） 15. 期末試験	
テキスト コピーを配布する。	
参考書・参考資料等 加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。	
学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 期末試験の素点を評点とする。	
養成をめざす力 日本語を読む力、外国語を読む力、論理性	
その他	

科目名	漢文Ⅱ
学期	後期
担当者	南 昌 宏
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：訓点を使って漢文を訓読する能力を養い、漢文法の基礎を身に付けることを到達目標とする。 テ ー マ：漢文訓読の基礎（初級）	
授業の概要 市販の漢文テキストを使用する。1回に数ページをこなすことで、1冊すべてをやり遂げる。 予習が必ず必要である。 受講生は、板書によって予習の成果を発表しなければならない。	
授業計画 1. 送りがな・返り点の練習をする。 2. 返り点・助字の練習をする。 3. 漢文の構造の練習をする。 4. 書き下し文・返読文字の練習をする。 5. 再読文字の練習をする。 6. 再読文字の練習をする。 7. 簡単否定と禁止の練習をする。 8. 部分否定と特殊否定の練習をする。 9. 二重否定の練習をする。 10. 使役・受身の練習をする。 11. 疑問の練習をする。 12. 反語の練習をする。 13. 比較・選択・仮定の練習をする。 14. 漢詩の基礎 15. 期末試験	
テキスト 林欣生編『書き込み式 20日間完成 漢文〔高校初級用〕』（日栄社）生協で購入。	
参考書・参考資料等 加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。	
学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 期末試験の素点を評点とする。	
養成をめざす力 日本語を読む力、外国語を読む力、論理性	
その他	

科目名	英語Ⅱ A
学期	通年
担当者	高 倉 正 行
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：英文内容の理解。 テ ー マ：長文を読みこなす。	
授業の概要 長年日本に住む Vardaman 氏によって書かれた日本と世界の現在を読んだ後、理解度を深める練習問題をやっていきます。	
授業計画 【前期】 1. 予習、復習、授業の進め方について説明する。 2. Sleepless in Japan 3. 同上 4. A New World Taste 5. 同上 6. 24-hour Child-care Centers 7. 同上 8. Gamification 9. 同上 10. Women in the Workforce 11. 同上 12. The Future of Food 13. 同上 14. Multiple Passports and the Meaning of Citizenship 15. 同上 【後期】 1. Hiring Talented Employees and Motivating the Rest 2. 同上 3. Japanese Singles, Young and Old 4. 同上 5. Medical Anthropology on Wheels 6. 同上 7. America's History Textbooks 8. 同上 9. Why are Cars One Color in Korea and Another in Japan? 10. 同上 11. The New Pink-Collar Worker 12. 同上 13. The Viability of Machine Translation 14. 同上 15. The Impact of Unique ID Registration	
テキスト Front Page of the Future（成美堂、James M. Vardaman）ISBN 978-4-384-33423-4 テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。	
参考書・参考資料等	
学生に対する評価 予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。	
養成をめざす力 外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性	
その他 必ず予習を行って授業に臨むこと。 授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。	

科目名	英語Ⅱ B
学期	通年
担当者	静 春 樹
授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 【前期】「文法」つまり基本的な「文のしくみ」に焦点を合わせる。 【後期】英語に限らずすべての言語は「音声」「文法」「語彙（単語力）」の三つのアプリケーションから成ると言っても過言ではない。授業では「文のしくみ」に焦点を合わせる。 テ ー マ： 【前期】高校までに習った英語を活性化する。 【後期】英文法の初歩習得。	
授業の概要 授業計画が成立するのは受講生の習得水準が一定の幅に揃っている場合である。本授業の場合、プレイスメントテストがなく、およそ「不揃いな受講生」を相手にしなければならない。従って、授業はあくまで各受講生の力に合わせた個別的な指導となる。 勉学の基礎は自学自習である。教師は各受講生の力量・つまずきの箇所・壁を判断し個別に指導する。	
授業計画 テキストをユニット0から各自が徹底的に勉強し、教師に理解したと判断された場合に次のユニットへ進む。	
テキスト 南雲堂 First Voyage（大学基本英文法＆リーディング）。 テキストを持たない学生の受講は認めません。	
参考書・参考資料等 『基礎からの英語入門 First Primer』南雲堂	
学生に対する評価 前期テスト（50%）、期末テスト（50%）。	
養成をめざす力 外国語を読む力、自主性、チームワーク	
その他 「文の仕組み」は人体に喩えると、骨格に相当します。習得言語の場合（母語でないこと）、これをインストールしないと自力で歩くことが出来ません。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中級程度の英文法の理解 テーマ：英文の基本的構文の習得	科目名
英語ⅡC（再履修）	授業の概要 英文の基本構造を学びつつ、練習問題を行います。	
学期	授業計画 【前期】 1. 不定詞（1） 2. 不定詞（2） 3. 分詞 4. 動名詞 5. 動名詞と不定詞 6. 時制 7. 未来時を表す表現 8. 進行形 9. 完了形 10. 態 11. 仮定法（1） 12. 仮定法（2） 13. 比較構文 14. 否定 15. 名詞 【後期】 1. 代名詞（1） 2. 代名詞（2） 3. 形容詞 4. 冠詞 5. 数量詞 6. 副詞 7. 動詞 8. 法助動詞（1） 9. 法助動詞（2） 10. 前置詞（1） 11. 前置詞（2） 12. 前置詞（3） 13. 接続詞 14. 関係詞（1） 15. 関係詞（2）	学期
通年		
単位数	テキスト A Communicative Grammar of English（南雲堂、友繁義典） ISBN 978-4-523-17654-1 *テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。	単位数
2	参考書・参考資料等	
担当者	学生に対する評価 予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。	担当者
高倉正行	養成をめざす力 外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性 その他 必ず予習を行って授業に臨むこと。 授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教に関する基本的な理解を培うことを目的とする。 テーマ：密教の基礎知識の養成	科目名
真言密教の教論Ⅰ（別）	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵や金剛智三蔵によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらない。弘法大師空海によって確立されることになる（真言）密教の特徴を概観する。 授業計画 1. 講義内容の説明 2. 密教とは；①密教・真言宗の意味 3. 密教とは；②密教の分類 4. 密教經典の成立と特色；①密教の源流 5. 密教經典の成立と特色；②仏教のなかでの密教の発展過程 6. 密教經典の成立と特色；③密教經典の分類 7. 密教經典の成立と特色；④密教經典の特色 8. 中国密教の成立；①密教經典の訳出 9. 中国密教の成立；②唐代密教の展開 10. 奈良時代の密教 11. 密教思想の組織化：弘法大師の生涯と著作 12. 密教思想の教判；①真言密教の教判 13. 密教思想の教判；②顯密二教の教判① 14. 密教思想の教判；③顯密二教の教判② 15. 密教思想の教判；④顯密二教の教判③ テキスト 勝又俊教著『密教入門』春秋社 参考書・参考資料等 松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店 高神覚昇著『密教概論』大法輪閣 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫	科目名
学期		真言密教の教論Ⅱ（別）
前期		学期
単位数		後期
2	学生に対する評価 授業参加への積極性（20%）、試験（80%）	単位数
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性	2
乾仁志	その他 講義にはノートと配布プリント（テキストと参考資料）および『仏教辞典』等を持参してください。 授業中に黒板に板書きした語句や文章および図はノートに写してください。 学生に対する評価にある「授業参加への積極性（20%）」は、ノートを点検して採点します。 分からない仏教用語は、随時『仏教辞典』を開いて確認してください。	担当者
		乾仁志

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教に関する基本的な理解を培うことを目的とする。 テーマ：密教の基礎知識の養成	科目名
真言密教の教論Ⅱ（別）	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵や金剛智三蔵によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらない。弘法大師空海によって確立されることになる（真言）密教の特徴を概観する。 授業計画 1. 講義内容の説明 2. 十住心の思想；①十住心の思想の構成 3. 十住心の思想；②十住心思想の特徴 4. 真言密教の仏陀観；①釈尊如来から大日如来へ 5. 真言密教の仏陀観；②様々な信仰の対象 6. 曼荼羅；①兩部曼荼羅の成立 7. 曼荼羅；②四種曼荼羅とは 8. 真言密教の人間観；①空海と心の本性の探究 9. 真言密教の人間観；②心性本淨思想の源流 10. 即身成仏への道；①密教の三昧耶戒 11. 即身成仏への道；②淨菩提心と觀法 12. 即身成仏への道；③四重禁戒と十善戒 13. 即身成仏思想；①六大・四曼・三密 14. 即身成仏思想；②即身の意味と三種即身成仏 15. 密教の特性 テキスト 勝又俊教著『密教入門』春秋社 参考書・参考資料等 松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店 高神覚昇著『密教概論』大法輪閣 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫、その他	科目名
学期		真言密教の教論Ⅲ（別）
後期		学期
単位数		後期
2	学生に対する評価 授業参加への積極性（20%）、試験（80%）	単位数
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性	2
乾仁志	その他 講義にはノートと配布プリント（テキストと参考資料）および『仏教辞典』等を持参してください。 授業中に黒板に板書きした語句や文章および図はノートに写してください。 学生に対する評価ある「授業参加への積極性（20%）」は、ノートを点検して採点します。 分からない仏教用語は、随時『仏教辞典』を開いて確認してください。	担当者
		乾仁志

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インド・チベット密教史に関する基礎的な知識を身につける。 テーマ：インド・チベット密教史	科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本密教の歴史を知る テーマ：日本密教（真言密教、天台密教）の歴史を知る
密教史概説Ⅰ	授業の概要 インド密教がどのようにして形成され、発展したか。そしてそれがどのような過程を経てチベットに伝えられ、チベット密教として展開したか。チベット密教の特色は何か。これらの点について映像資料などをまじえながら立体的に講義する。	密教史概説Ⅱ	授業の概要 真言宗の歴史をテキストにもとづきながら概説する。
学期	授業計画 1. イントロダクション 2. インド・チベット仏教における密教経典分類法 3. インド初期密教 萌芽から形成へ 4. インド中期密教 組織化の時代1 5. インド中期密教 組織化の時代2 6. インド後期密教 新たな展開1 7. インド後期密教 新たな展開2 8. 古代チベット王国と仏教の伝来 9. 仏教国教化への道のり 10. 古代チベット王国の崩壊と仏教の復興 11. 諸宗派の形成1 12. 諸宗派の形成2 13. ブトウンとツォンカバ 14. ゲルク派の覇権 15. デライ・ラマ法王とは何か	学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 密教の受容基盤 3. 密教の受容基盤 4. 真言宗の成立 5. 真言宗の成立 6. 真言宗の分化 7. 天台の密教 8. 天台の密教 9. 覚鑑の改革 10. 鎌倉時代の密教 11. 鎌倉時代の密教 12. 室町時代の密教 13. 室町時代の密教 14. 江戸期の密教 15. まとめ
前期	テキスト 特になし。	後期	テキスト 松長有慶『密教の歴史』（平楽寺書店） 生協取り扱い
単位数	2	単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 松長有慶『密教の歴史』平楽寺書店	担当者	参考書・参考資料等
奥山直司	学生に対する評価 課題レポート（40%）、期末試験（60%）	佐藤隆彦	学生に対する評価 期末レポート（80%）、授業中に行なう小テスト（20%）
	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、想像力、忍耐力		養成をめざす力 密教仏教の基礎力、問題発見力、問題解決力
	その他 遅刻3回で1欠席と見なすので注意。		その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教がインドのいかなる思想を背景に誕生し、いかなる歴史の変容を被りながら展開していったかについての基本的知識を身につける。 テーマ：インドにおける仏教誕生とその後の展開	科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本仏教の時代的特徴についての基本的知識を身につける。 テーマ：日本仏教思想の特徴
仏教史概説Ⅰ	授業の概要 仏教が興起する以前に存在したインドの思想体系の概説を行った上で、仏教がインドにおいてどのような歴史の変容を被りながら展開していったかについて概説する。	仏教史概説Ⅱ	授業の概要 日本仏教を時代を追って概観し、その思想的かつ歴史的特徴について解説する。
学期	授業計画 1. 導入：仏教が興起する以前のインド 2. バラモン教の思想：ヴェーダの思想的特徴 3. ヴェーダの思想的特徴 4. 古ウパニシャッドの思想 5. 古ウパニシャッドの思想 6. 反ヴェーダ思想（六師外道） 7. ジャイナ教の思想 8. 釈尊の誕生から成道までの歴史概観 9. 初期仏教思想の特徴 10. 初期仏教思想の特徴 11. 初期仏教思想の特徴 12. 大乘諸派の思想的特徴 13. 中国仏教の特徴 14. 大乘非仏説論 15. 初期仏教と大乘の思想的相違点	学期	授業計画 1. 仏教伝来 2. 奈良仏教の特徴 3. 奈良仏教の特徴 4. 平安仏教の特徴概観 5. 最澄の思想的特徴 6. 弘法大師の思想 7. 弘法大師の思想 8. 弘法大師の思想 9. 鎌倉仏教の特徴概観 10. 法然の生涯概観 11. 親鸞の生涯概観 12. 浄土思想と真言密教 13. 道元・日蓮・栄西の思想 14. 仏教における救済論 15. 総まとめ
前期	テキスト 担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。	後期	テキスト 担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。
単位数	2	単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて担当者が指示する。	担当者	参考書・参考資料等 必要に応じて担当者が指示する
前谷彰	学生に対する評価 期末試験（100%）	前谷彰	学生に対する評価 期末試験（100%）
	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力		養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力
	その他		その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む
真言宗講義ⅠA・ⅡB（別）	授業の概要 密教とは何か。即身成仏とは何か。弘法大師空海の『即身成仏義』はこの問いを追求する古典的名著である。即身成仏は、弘法大師の核心的な教えであり、この教えについて原典から直接学ぶことは、真言宗とは何かを知るためにも必要不可欠なことである。授業では、この思想の背景にある仏教思想を確認しつつ、原典（漢文）の流麗な文章表現を音読しながら味わい、ゆっくりと読み進めてゆく。
学期	授業計画 1. 概論 2. 「二経一論八箇の証文」 3. 「即身成仏の偈頌」 4. 「二頌八句の総釈と科分」 5. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」（1） 6. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」（2） 7. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」（3） 8. 「六大無礙にして常に瑜伽なり」（4） 9. 「四曼荼羅各離れず」（1） 10. 「四曼荼羅各離れず」（2） 11. 「四曼荼羅各離れず」（3） 12. 「四曼荼羅各離れず」（4） 13. 「四曼荼羅各離れず」（5） 14. 「四曼荼羅各離れず」（6） 15. テスト
前期	テキスト 高野山大学編『十卷章』、高野山大学出版部。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 その他、授業において指示します。
BA土居納夏和樹	学生に対する評価 授業中の発表など（60％）、レポート（40％） 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、外国語を読む力、創造力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む
真言宗講義ⅡA・ⅢB（別）	授業の概要 『即身成仏義』についての概論と前期の復習をはじめに行い、前期で扱った範囲をカバーして、テキストの続きをさらに読みすすめる。『即身成仏義』を読了した後は、弘法大師空海の即身成仏思想の体系を再確認し、要点の把握に努める。
学期	授業計画 1. 概論と前期の復習。 2. 〃 3. 「重重帝網なるを即身と名づく」（1） 4. 「重重帝網なるを即身と名づく」（2） 5. 「法然に薩般若を具足す」（1） 6. 「法然に薩般若を具足す」（2） 7. 「法然に薩般若を具足す」（3） 8. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」（1） 9. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」（2） 10. 「心数心王刹塵に過ぎたり、各五智無際智を具す」（3） 11. 「円鏡力の故に、実覚智なり」（1） 12. 「円鏡力の故に、実覚智なり」（2） 13. 弘法大師空海の即身成仏思想の体系（1） 14. 弘法大師空海の即身成仏思想の体系（2） 15. テスト
後期	テキスト 高野山大学編『十卷章』、高野山大学出版部。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 授業において指示します。
BA土居納夏和樹	学生に対する評価 授業中の発表など（60％）、レポート（40％） 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、外国語を読む力、創造力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する テーマ：『弁顕密二教論』巻上を読む
祖典講義ⅢA	授業の概要 密教とは何か。弘法大師空海が著された『弁顕密二教論』では、'法身説法'という思想を中心に、密教の特徴が論じられています。その意味では、この『弁顕密二教論』を読み解いていくことは、弘法大師空海が'密教'をどのように定義されていたのか、ということ学ぶことにはなりません。この講義では、特に弘法大師当時の仏教各派に対する批判が論じられている『弁顕密二教論』巻上を原典から読み進み、弘法大師が密教と顕教の違いをどのように論じられているのかについて考えていきます。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 『弁顕密二教論』の撰述時期と思想的背景 3. 『弁顕密二教論』の内容構成 4. 『弁顕密二教論』巻上を読む 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. 『弁顕密二教論』巻上のまとめ
前期	1. 〃 2. 〃 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. 〃
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 中川善教『漢和対象十卷章』、高野山出版社、1977年 梶尾祥雲『現代語の十卷章と解説』、高野山出版社、1976年 金岡秀夫『空海 弁顕密二教論』、太陽出版、2003年 小田慈舟『十卷章講説』下巻、高野山出版社、1985年 ※その他、授業において指示します。
土居夏樹	学生に対する評価 授業内での発表（20％）、小レポート（20％）、期末レポート（60％）で評価します。 養成をめざす力 密教仏教の専門性、論理性、問題発見力 その他 授業内で各箇所の担当を決め、課題を課しますので、必ず予習をしてきてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する テーマ：『般若心経秘鍵』を読む
祖典講義ⅢB	授業の概要 『般若心経』は、人々に最もよく知られている大乘仏教の代表的な経典である。弘法大師空海は、『般若心経』に関して独自の見解を披瀝する著作として『般若心経秘鍵』を著した。『般若心経秘鍵』は、『般若心経』の秘められた本質を解き明かす鍵になる書物という意味を持つ。授業では、この思想の背景にある思想を確認しつつ、『般若心経秘鍵』の原典を読み進めていく。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 『般若心経秘鍵』の特色① 3. 『般若心経秘鍵』の特色② 4. 『般若心経』の基礎知識 5. 『般若心経秘鍵』の歴史的背景と内容構成 6. 序「題目・帰敬序・発起序・大綱序・大意序」 7. 正宗分「『般若心経』の題号の釈」 8. 「『般若心経』の要旨」 9. 「『般若心経』の五分科」 10. 「人法総通分」 11. 「分別諸乗分・普賢菩薩の悟り」 12. 「文殊菩薩の悟り」 13. 「弥勒菩薩の悟り」 14. 「声聞と縁覚の悟り」 15. 試験
前期	テキスト 高野山大学編『十卷章』高野山大学出版部
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 村岡空『般若心経秘鍵入門』 梶尾祥雲『現代語の十卷章と解説』
松長恵史	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する 試験（50％） 授業内演習（50％） 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する テーマ：『弁頭密二教論』巻下を読む	
	授業の概要 密教とは何か。弘法大師空海が著された『弁頭密二教論』では、‘法身説法’という思想を中心に、密教の特徴が論じられています。その意味では、この『弁頭密二教論』を読み解いていくことは、弘法大師空海が‘密教’をどのように定義されていたのか、ということ学ぶことにほかなりません。この講義では、『弁頭密二教論』巻下を原典から読み進み、『二教論』で大師が唱えられた‘法身説法’について、弘法大師が引用されている密教經典や論書を通して考えていきます。	
祖典 講読 IV A	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 『弁頭密二教論』巻上の概要 3. 『弁頭密二教論』巻下を読む（1）密教の優位性①－『六波羅蜜經』の五藏 4. “ ” （2）密教の優位性②－『楞伽經』の法仏説法 5. “ ” （3）法身説法の様相①－『五秘密儀軌』① 6. “ ” （4）法身説法の様相②－『五秘密儀軌』② 7. “ ” （5）法身説法の様相③－『分別聖位經』① 8. “ ” （6）法身説法の様相④－『分別聖位經』② 9. “ ” （7）法身説法の様相⑤－‘喻祇經’① 10. “ ” （8）法身説法の様相⑥－‘喻祇經’② 11. “ ” （9）法身説法の様相⑦－‘大日經’① 12. “ ” （10）法身説法の様相⑧－‘大日經’② & ‘守護國經’ 13. “ ” （11）法身説法の様相⑨－‘大智度論’ 14. “ ” （12）密教における‘秘密’の意味－衆生秘密と如来秘密	
	学期	15. 『弁頭密二教論』巻下のまとめ
後期	テキスト 高野山大学編 『十卷章』 高野山大学出版部	
単位数	参考書・参考資料等 中川善教『漢和対象十卷章』、高野山出版社、1977年 梶尾祥雲『現代語の十卷章と解説』、高野山出版社、1976年 金岡秀友『空海 弁頭密二教論』、太陽出版、2003年 小田慈母『十卷章講説』下巻、高野山出版社、1985年 ※その他、授業において指示します。	
担当者	学生に対する評価 授業内での発表（20％）、小レポート（20％）、期末レポート（60％）で評価します。 養成をめざす力 密教仏教の専門性、論理性、問題発見力 その他 授業内で各箇所の担当を決め、課題を課しますので、必ず予習してきてください。	
土居夏樹		

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する テーマ：『般若心経秘鍵』を読む
祖典講読ⅣB	授業の概要 『般若心経秘鍵』についての概論と、前期の授業で扱った内容の復習から始め、前期に引き続いて『般若心経秘鍵』を講読する。前期に引き続き授業を行うので、「祖典講読Ⅲ」を受講することが好ましい。
	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 『般若心経秘鍵』の特色 3. 『般若心経』の基礎知識 4. 『般若心経秘鍵』の歴史的背景と内容構成 5. 「分別諸乗分・観音菩薩の悟り」 6. 「行人得益分」 7. 「総婦持明分」 8. 「秘蔵真言分」 9. 「問答形式の補説」 10. 「流通分」 11. 「上表分」 12. 『般若心経秘鍵』のまとめ① 13. 『般若心経秘鍵』のまとめ② 14. 弘法大師空海の『般若心経』理解の独自性 15. 試験
学期	
後期	
単位数	テキスト 高野山大学編『十卷章』高野山出版
2	参考書・参考資料等 村岡空『般若心経秘鍵入門』 梅尾祥雲『現代語の十卷章と解説』
担当者	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する 試験（50％）授業内演習（50％）
松長恵史	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：基本的な画像資料を講読し、漢訳画像資料を研究資料として扱えるようになることを目的とする。 テーマ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。
真言宗典講読演習A	授業の概要 インドに興り、東南アジア・中国を経由し、日本に流布した密教は、その発展過程において様々な尊格を生み出した。当授業では密教図像に基づいて、大乘仏教の尊格をも含め、それぞれの密教尊格の形成と発展について、主として漢訳資料の像造表現を中心に考察を加える。インドの図像資料としては、『サーダナマラー』や『ニシュパナヨーガーヴァリー』等が基本的な資料であるが、まず、漢訳密教経典・儀軌、ならびに我が国に現存する図像資料を講読し、それぞれの図像の特徴からその尊格の展開をたどる。
(別)	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 漢訳資料の基本的な扱い方 3. 漢文資料の基本的な講読練習① 4. 漢文資料の基本的な講読練習② 5. 尊格表現方法の基本知識① 6. 尊格表現方法の基本知識② 7. 尊格表現方法の基本知識③ 8. 尊格表現方法の基本知識④ 9. 漢訳図像資料講読① 10. 漢訳図像資料講読② 11. 密教尊像の基本的な知識を深めるための密教経典・儀軌の考察 12. 図像資料講読演習① 13. 図像資料講読演習② 14. 図像資料講読演習③ 15. レポート試験
学期	テキスト 大正新脩大蔵經 図像部
前期	参考書・参考資料等 松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館 1995年 頼富本宏・下泉全曉『密教仏像図典』人文書院 1994年 佐和隆研『仏像図典』吉川弘文館 1962年
単位数	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する 試験（60%）、授業内演習（30%）、ノート作成（10%）
2	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力
担当者	その他
松長恵史	

科目名	佛敎學講読演習 A 授業の到達目標及びテーマ 到達目標：代表的な仏敎美術を中心に、飛鳥時代前期から平安時代前期までの日本美術の歴史を概観し、仏敎美術の基礎的知識の理解と習得を到達目標とする。 テーマ：日本仏敎美術史～飛鳥時代前期～平安時代前期～ 授業の概要 寺院に祀られる仏像や仏画は崇高な礼拝対象である一方、歴史的文化遺産としても重要な意義を持つ。授業では、飛鳥時代前期から平安時代前期までの仏敎彫像、絵画、工芸の代表的な作品について、その歴史的背景を踏まえつつ概観する。 授業計画 1. 日本美術史の基礎知識 2. 仏敎美術の基礎知識 3. 飛鳥時代前期の仏像 1 4. 飛鳥時代前期の仏像 2 5. 飛鳥時代後期の仏像 6. 飛鳥時代の絵画・工芸 7. 奈良時代の仏像 1 8. 奈良時代の仏像 2 9. 奈良時代の絵画・工芸 1 10. 奈良時代の絵画・工芸 2 11. 平安時代前期の絵画 12. 平安時代前期の仏像 1 13. 平安時代前期の仏像 2 14. 平安時代前期の工芸 15. まとめ テキスト 授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。 参考書・参考資料等 水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』美術出版社 『日本美術全集』講談社 学生に対する評価 授業態度（20％）、期末レポート（70％）、授業中任意の時期に実施する小テスト（10％）の比率で評価する。 前期授業終了までに各自テーマを設定し、4000 字程度のレポートを提出する。 養成をめざす力 日本語を読む力、自主性、日本美術史の基礎的理解力 その他 仏敎美術講読演習 B（後期）を履修・聴講することが望ましい。 日本史に関する基礎知識を確認しておくこと。また、授業中に提示する仏敎美術作品に興味を持ち、展覧会等を利用して実際に見学する機会を捉えてほしい。
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
仏 教 学 講 読 演 習 B	到達目標：代表的な仏教美術を中心に、平安時代後期から江戸時代までの日本美術の歴史を概観し、仏教美術を中心とした基礎的知識の理解と習得を到達目標とする。
	テーマ：日本美術史－平安時代後期～江戸時代－
	授業の概要
	寺院に祀られる仏像や仏画は崇高な礼拝対象である一方、歴史的文化遺産としても重要な意義を持つ。授業では、平安時代後期から江戸時代までの仏教美術や、絵画、工芸の代表的な作品について、その歴史的背景や仏教との関わりを踏まえつつ概観する。
学期	授業計画
	1. 平安時代後期の仏像 1
	2. 平安時代後期の仏像 2
	3. 平安時代後期の仏画
後 期	4. 平安時代後期の絵巻
	5. 平安時代後期の工芸
	6. 鎌倉時代の仏像 1
	7. 鎌倉時代の仏像 2
単位数	8. 鎌倉時代の仏画
	9. 鎌倉時代の絵画・工芸
	10. 室町時代の美術 1
	11. 室町時代の美術 2
2	12. 桃山時代の美術
	13. 江戸時代の美術 1
	14. 江戸時代の美術 2
	15. 江戸時代の美術 3
担当者	テキスト
	授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
	参考書・参考資料等
	水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』美術出版社 『日本美術全集』講談社
和 田 圭 子	学生に対する評価
	授業態度（20%）、期末レポート（70%）、授業中任意の時期に実施する小テスト（10%）の比率で評価する。
	後期講義終了までに各自テーマを設定し、4000 字程度のレポートを提出する。
	養成をめざす力
藤 田 光 寛	日本語を読む力、自主性、日本美術史の基礎的理解力
	その他
	仏教美術講読演習 A（前期）を履修・聴講することが望ましい。
	日本史に関する基礎知識を確認しておくこと。また、授業中に提示する仏教美術作品に興味を持ち、展覧会等を利用して実際に見学する機会を持てほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
仏 教 学 講 読 演 習 C	到達目標：後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乘仏教、タントラ仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性のある解釈を与えるかが大切な課題の 1 つであった。インド密教の総決算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点に焦点をあてて理解する。
	テーマ：インド・チベット仏教戒律思想史（1）
	授業の概要
	チベット仏教のサキャ派のサキャバンディタ（＝サパン、1182－1251）が著した『三律儀細別』を読む。受講生に応じて、このチベット語文献か英文解説書のいずれかを読解しながら解説し、小乗仏教と大乘仏教、タントラ仏教との三者の戒律（すなわち三律儀）の特徴、相違点、類似点などを学ぶ。
学期	授業計画
	下記の文献を精読しながら解説するが、受講生には分担を決めて発表してもらうので、十分な予習が必要です。当該テキストを毎回予習して講義に臨むこと。
	1. オリエンテーション
	2. サパンの生涯とその作品
前期	3. 三律儀について
	4. 小乗の戒律（すなわち波羅提木叉律儀）について
	5. 大乘の戒（すなわち菩薩律儀）について
	6. 密教の戒（すなわち真言律儀）
単位数	7～15. 密教の戒の章の講読
	テキスト
	授業時に適宜プリントして配布する。
	① Sakya Pandita Kunga Gyaltsan: <i>A Clear Differentiation of the Three Codes</i> , transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002
2	② Sakya Pandita Kun dgah rgyal mtshan : <i>sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba</i> .『サキャ派全書』Vol.5 No.4
	参考書・参考資料等
	藤田光寛『仏教徒のあり方と戒律』（高野山大学）
	森章司 編『戒律の世界』東京：淡水舎 1993 年
担当者	佐藤密雄『律蔵』（＝仏典講座 4）大蔵出版（株） 昭和 47 年など
	学生に対する評価
	期末の試験（70%）、授業中任意に実施する小テスト（30%）によって評価する。
	養成をめざす力
藤 田 光 寛	密教仏教の専門性、日本語を読む力、問題解決力
	その他
	3 回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。
	担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp です。で、質問などがあれば遠慮無く利用してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
真 言 密 教 講 読 演 習 A	到達目標：漢文読解力、秘密儀軌への知識、事相の理解を深める。
	テーマ：十八道次第の関連儀軌を読む
	授業の概要
	十八道次第はいくつかの請来された漢文の秘密儀軌を組み合わせてできたものである。『請来目録』に列記される十八道次第の元となった代表的な儀軌を読みながら、十八道次第の構造や真言密教における意義を考察する。已灌頂者のみが受講できる。
学期	授業計画
	1. 秘密儀軌、十八契印、十八道次第について
	2. 『親自在菩薩如意輪念誦儀軌』 1
	3. 同上 2
前期	4. 同上 3
	5. 同上 4
	6. 同上 5
	7. 同上 6
単位数	8. 同上 7
	9. 『無量寿如来親行供養儀軌』 1
	10. 同上 2
	11. 同上 3
2	12. 同上 4
	13. 同上 5
	14. 同上 6
	15. 同上 7
担当者	テキスト
	浄厳の木版『秘密儀軌』からコピーを配布
	参考書・参考資料等
	『真言宗全書』、『続真言宗全書』、『大正新脩大藏經』、『大日本校訂大藏經』、『定本国訳秘密儀軌』、など
T. ド ラ イ ト ラ イ ン	学生に対する評価
	レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）
	養成をめざす力
	密教仏教の専門性、日本語を読む力、想像力
T. ド ラ イ ト ラ イ ン	その他
	受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習する。
	別に課題を与えて受講生による発表を行う。
	授業は日本語で進める。
	プログラムは改訂される場合がある。
T. ド ラ イ ト ラ イ ン	受講者は伝法灌頂入壇者（已灌頂者）のみとする。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
真 言 密 教 講 読 演 習 B	到達目標：中院流の現代における主要の諸尊法次第と『中院流三十三尊法聞書』の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。
	テーマ：中院流三十三尊法の研究
	授業の概要
	三十三尊法は中院流において大変重要な位置にある。この授業では、そのなかからいくつかの諸尊法次第を選んで、それらに該当する『中院流三十三尊法聞書』を講読する。授業で研究した次第を伝授する予定です。已灌頂者のみが受講できる。
学期	授業計画
	1. 中院流三十三尊法と『中院流三十三尊法聞書』
	2. 諸尊次第と『聞書』の講読演習 1
	3. 同上 2
後 期	4. 同上 3
	5. 同上 4
	6. 同上 5
	7. 同上 6
単位数	8. 同上 7
	9. 同上 8
	10. 同上 9
	11. 同上 10
2	12. 同上 11
	13. 同上 12
	14. 同上 13
	15. 同上 14
担当者	テキスト
	『中院流聖教』10、高岡隆心『中院流三十三尊法全』と『中院流三十三尊法聞書』
	参考書・参考資料等
	中川善教『諸尊通用次第』と『諸尊通用次第入句』、大山公淳『中院流の研究』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、その他
T. ド ラ イ ト ラ イ ン	学生に対する評価
	レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）
	養成をめざす力
	密教仏教の専門性、日本語を読む力、想像力
T. ド ラ イ ト ラ イ ン	その他
	伝法灌頂の已灌頂者のみが受講できる。
	受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習する。
	別に課題を与えて受講生による発表を行う。
	授業は日本語で進める。
T. ド ラ イ ト ラ イ ン	受講者は伝法灌頂入壇者（已灌頂者）のみとする。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
真言密教講読演習ⅡC (別)	到達目標：真言教学の基軸にある即身成仏の思想形成の背景について 真言宗典の講読を通じて理解する テーマ：インド密教における即身成仏思想の形成と展開	
学期	授業の概要	学期
前期	即身成仏は真言教学にとって欠かすことのできない根本思想であるが、正しく理解するためにはその成立の背景をきちんと押さえておく必要がある。授業では、空海の即身成仏思想を確認したうえで、インドの宗教史全体のなかで即身成仏思想の位置づけを確認する。具体的には、仏教史における「成仏」観の変遷を辿ることにより仏教内部における背景を探り、その一方でヒンドゥー教シヴァ派の初期タントラ文献類を検討して仏教外部からの影響を探る。その上で真言宗所依の経典『大日経』『金剛頂経』に登場する即身成仏思想を読み解く。さらにインド後期密教への展開を確認し即身成仏思想の総合的な理解を深める。	
単位数	授業計画	単位数
2	1. 導入 2. 空海の即身成仏思想概観 3. インド宗教史全体からみた即身成仏思想 4. 仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ1 5. 仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ2 6. 仏教史全体からみた即身成仏思想の位置づけ3 7. 仏教外部における即身成仏思想1 8. 仏教外部における即身成仏思想2 9. 中期密教経典の即身成仏説1 10. 中期密教経典の即身成仏説2 11. 中期密教経典の即身成仏説3 12. 中期密教経典の即身成仏説4 13. 後期密教経典の即身成仏説1 14. 後期密教経典の即身成仏説2 15. 総括	
担当者	テキスト	担当者
加納和雄	授業で指示します。	
	参考書・参考資料等	
	授業で指示します。	
	学生に対する評価	
	授業中の発表など（60%）、テスト（40%）	
	養成をめざす力	
	密教仏教の専門性、外国語を読む力、論理性	
	その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
密教学特殊講義A	到達目標：高野山およびその周辺地域も含んだ歴史や文化を知ることによって、高野山への理解を深める。 テーマ：『高野町史』民俗編を読む	密教学特殊講義B
学期	授業の概要	学期
前期	『高野町史』民俗編を読むことを通して、高野山およびその周辺地域の歴史や文化の講義を行う。	
単位数	授業計画	単位数
2	1. 授業のガイダンス 2. 高野町をめぐる環境（1） 3. 高野町をめぐる環境（2） 4. 地縁社会のきずな（1） 5. 地縁社会のきずな（2） 6. 人の一生（1） 7. 人の一生（2） 8. ものづくり（1） 9. ものづくり（2） 10. 暮らしの民俗（1） 11. 暮らしの民俗（2） 12. くりかえされる民俗（1） 13. くりかえされる民俗（2） 14. 高野文化圏研究の構想 15. まとめ	
担当者	テキスト	担当者
森本一彦	適宜プリントを配布する。	
	参考書・参考資料等	
	高野町史編集委員会編『高野町史』民俗編 高野町 2012.3	
	学生に対する評価	
	レポート試験（80%）、授業参加の積極性（20%）で評価する。	
	養成をめざす力	
	日本語を読む力、想像力	
	その他	
	3 回生以上向けの科目だが1、2 回生の聴講も歓迎する。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
	到達目標：高野山およびその周辺地域も含んだ高野山文化圏の歴史や文化を地域づくりの実践に活かす発想力を養う。 テーマ：高野文化圏研究から地域実践に向けて	
学期	授業の概要	学期
	高野文化圏にどのような地域資源があるかを各自が再発見するとともに、各自が主体的にテーマを決めて、調査・研究・実践計画の立案を行う。	
単位数	授業計画	単位数
	1. 地域調査と実践の試み 2. 地図を読む（1） 3. 地図を読む（2） 4. 写真・絵画を読む（1） 5. 写真・絵画を読む（2） 6. 映像を読む（1） 7. 映像を読む（2） 8. エッセイを読む（1） 9. エッセイを読む（2） 10. 報告書を読む（1） 11. 報告書を読む（2） 12. 古文書を読む（1） 13. 古文書を読む（2） 14. 受講生の報告（1） 15. 受講生の報告（2）	
担当者	テキスト	担当者
	毎回プリントを配付する。	
	参考書・参考資料等	
	司馬遼太郎『街道をゆく』9 朝日文庫 2008.10	
	学生に対する評価	
	レポート試験（80%）、授業参加（20%）評価する。	
	養成をめざす力	
	日本語を読む力、想像力	
	その他	
	本授業は高野山を中心とした高野文化圏の歴史・文化をどのように地域づくりに活用できるかを目的としているので、講義の内容や実生活の体験をもとにしながら地域づくりプランを提案してもらいたいと考えている。授業開始の前後において地域を歩いてみて、問題点などを感じるとともに、レポートのテーマを選んで受講することが望ましい。	

科目名	密教特殊講義C
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：芸術作品の素晴らしさを味わい、その深さを見つけ出す自分に気づくこと テ ー マ：仏画を描く	
授業の概要 まず筆を持って描くことから始めよう。白描図像の制作である。敦煌の仏画を中心に、特色のあるものを時代別に選んで、その形を意識しながら線を書く。受講する者は、筆を持って線を書くことによって、その図像が「なぜ素晴らしいといえるのか」を発見するだろう。芸術作品の素晴らしさを味わい、その深さを見つけ出す自分に気づくように指導したい。	
授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方について説明する。 2. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 I・II 3. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 III・IV 4. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 V・VI 5. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 VII・VIII 6. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習 IX・X 7. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描く I・II 8. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描く III・IV 9. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描く V・VI 10. 作品 紺地金泥の作品を作る I 11. 作品 紺地金泥の作品を作る II 12. 作品 紺地金泥の作品を作る III 13. 作品 紺地金泥の作品を作る IV 14. 高野山霊宝館の見学 15. 総括	
テキスト コピーを配布する。	
参考書・参考資料等 授業で指示する。	
学生に対する評価 書写作品（70％） 授業参加への積極性（30％）	
養成をめざす力 自主性、忍耐力	
その他 筆・紙等の教材費として5,000円個人負担となります。初回に納入してください。 どなたも受講できます。	
学期	
前期	
単位数	
1:2	
担当者	
静	
慈	
圓	

科目名	密教特殊講義D
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：彩色の方面から芸術品の深さを知る。 テ ー マ：仏画を彩色する。	
授業の概要 ここでは仏画を描く基本（線描）を修得した上で、彩色を習います。彩色は説明だけでは理解できませんので、全て実践です。自分で彩色をしながら、各種の仏画を鑑賞し、彩色の方面から芸術品の深さを知ることを目標にします。	
授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方について説明する。 2. 用具をそろえる。 3. 膠の溶かし方 4. 絵の具を選ぶ 5. 平塗りとはかしの技法 6. ほかしの技法 1 7. ほかしの技法 2 8. 暈綳彩色の実習 1 9. 暈綳彩色の実習 2 10. 暈綳彩色の実習 3 11. 暈綳彩色の実習 4 12. 暈綳彩色の実習 5 13. 暈綳彩色の実習 6 14. 鑑賞 15. 総括	
テキスト コピーを配布する。	
参考書・参考資料等 授業で指示する。	
学生に対する評価 書写作品（70％） 授業参加への積極性（30％）	
養成をめざす力 自主性、忍耐力	
その他 絵の具・絵の具皿・彩色筆等の教材費として5,000円個人負担となります。初回に納入してください。 どなたでも受講できます。	
学期	
後期	
単位数	
1:2	
担当者	
静	
慈	
圓	

科目名	密教特殊講義E
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：This course aims at achieving a basic understanding and familiarity with the major teachings of esoteric Buddhism, particularly the teachings of Kōbō Daishi Kūkai and the Japanese Shingon school. テ ー マ：An overview of the teachings of Shingon Esoteric Buddhism taught in English	
授業の概要 The major topics and teachings of the esoteric Buddhism of Kōbō Daishi Kūkai and the Japanese Shingon school will be examined through lectures and discussions based on assigned readings of translations of primary materials in English translation.	
授業計画 1. Introduction 2. The background to Kūkai's esoteric thought 3. Kūkai's experience in Tang China and early activities in Japan (<i>Shōrai mokuroku and Chijū kankyō no shi</i>) 4. Esoteric and exoteric Buddhism 1 (<i>Kan'en no sho</i>) 5. Esoteric and exoteric Buddhism 2 (<i>Ben kenmitsu nikyō ron</i>) 6. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Sokushin jōbutsu gi</i>) 1 7. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Sokushin jōbutsu gi</i>) 2 8. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Sokushin jōbutsu gi</i>) 3 9. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Sokushin jōbutsu gi</i>) 4 10. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Shō-ji-jissō gi</i>) 1 11. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Shō-ji-jissō gi</i>) 2 12. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Unji gi</i>) 1 13. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Unji gi</i>) 2 14. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Unji gi</i>) 3 15. The development of Kūkai's esoteric theories (<i>Unji gi</i>) 4	
テキスト Hakeda, Yoshito, <i>Kūkai: Major Works</i> . New York: Columbia University Press, 1972. (0231059337) Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō, <i>Kūkai on the Philosophy of Language</i> . Tokyo: Keio University Press, 2010. (4766417577)	
参考書・参考資料等 Giebel, Rolf W. <i>Shingon Texts</i> . Berkeley: Numata Center for Buddhist translation and Research, 2004. (1886439249) Various secondary materials and scholarly articles will also be assigned as the course progresses.	
学生に対する評価 Term paper 50%, in-class presentation 20%, classroom participation 30%	
養成をめざす力 密教仏教の専門性、外国語を読む力、国際感覚	
その他 The medium of instruction is English. Registration is open only to those with an advanced level of English comprehension and by permission of the instructor. This is not a language class, it is an academic content class in English at the US undergraduate level. Japanese or Chinese reading ability is not required. Students must complete the required readings assigned for each class.	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
T・ド・ライ・ト・ライ・ン	

科目名	密教特殊講義F
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：This course aims at achieving a basic understanding and familiarity with the major teachings of esoteric Buddhism, particularly the teachings of Kōbō Daishi Kūkai and the Japanese Shingon school. テ ー マ：An overview of the teachings of Shingon Esoteric Buddhism taught in English	
授業の概要 The major topics and teachings of the esoteric Buddhism of Kōbō Daishi Kūkai and the Japanese Shingon school will be examined through lectures and discussions based on assigned readings of translations of primary materials in English translation.	
授業計画 1. Introduction 2. Kūkai's thought on the stages of mental development (<i>Hizō hōyaku</i>) 1 3. Kūkai's thought on the stages of mental development (<i>Hizō hōyaku</i>) 2 4. Kūkai's thought on the stages of mental development (<i>Hizō hōyaku</i>) 3 5. Kūkai's thought on the stages of mental development (<i>Hizō hōyaku</i>) 4 6. Kūkai's thought on the stages of mental development (<i>Hizō hōyaku</i>) 5 7. Kūkai's esoteric interpretation of the exoteric scriptures (<i>Hannyas-shingyō hiken</i>) 1 8. Kūkai's esoteric interpretation of the exoteric scriptures (<i>Hannyas-shingyō hiken</i>) 2 9. Kūkai's esoteric interpretation of the exoteric scriptures (<i>Hannyas-shingyō hiken</i>) 3 10. Kūkai's and the moral precepts of esoteric Buddhism (<i>Sanmayakai jo</i>) 1 11. Kūkai's and the moral precepts of esoteric Buddhism (<i>Sanmayakai jo</i>) 2 12. Topics in Shingon praxis theory 1 13. Topics in Shingon praxis theory 2 14. Later developments in Shingon doctrinal theory 3 15. Later developments in Shingon doctrinal theory 4	
テキスト Hakeda, Yoshito, <i>Kūkai: Major Works</i> . New York: Columbia University Press, 1972. (0231059337) Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō, <i>Kūkai on the Philosophy of Language</i> . Tokyo: Keio University Press, 2010. (4766417577) Dreitlein, Thomas Eijō, "An Annotated Translation of Kūkai's Secret Key to the Heart Sūtra," <i>Bulletin of the Research Institute of Esoteric Buddhist Culture</i> (Mikkyō Bunka Kenkyūsho Kiyō) 24 (2011) .	
参考書・参考資料等 Giebel, Rolf W. <i>Shingon Texts</i> . Berkeley: Numata Center for Buddhist translation and Research, 2004. (1886439249) Various secondary materials and scholarly articles will also be assigned as the course progresses.	
学生に対する評価 Term paper 50%, in-class presentation 20%, classroom participation 30%	
養成をめざす力 密教仏教の専門性、外国語を読む力、国際感覚	
その他 The medium of instruction is English. Registration is open only to those with an advanced level of English comprehension and by permission of the instructor. This is not a language class, it is an academic content class in English at the US undergraduate level. Japanese or Chinese reading ability is not required. Students must complete the required readings assigned for each class.	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
T・ド・ライ・ト・ライ・ン	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：『釈摩訶衍論』に関する理解を深めることを目的とする。 テーマ：『釈摩訶衍論』の研究
密教学特殊講義G	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
中村本然	
授業の概要	『大乘起信論』は大乘の仏教思想を体系づけた論とされ、大乘仏教を学ぶ仏教者にとって入門書的な役割をしている。『釈摩訶衍論』は『大乘起信論』の注釈書のひとつであるが、弘法大師はこの論に展開する教説に注目し、真言密教の教学を構築することになる。
授業計画	1. オリエンテーション 2. 『大乘起信論』梗概 3. 『大乘起信論』梗概 4. 『釈摩訶衍論』梗概 5. 『釈摩訶衍論』 6. 『釈摩訶衍論』 7. 『釈摩訶衍論』 8. 『釈摩訶衍論』 9. 『釈摩訶衍論』 10. 『釈摩訶衍論』 11. 『釈摩訶衍論』 12. 『釈摩訶衍論』 13. 『釈摩訶衍論』 14. 『釈摩訶衍論』 15. 総括
テキスト	『大乘起信論』大正大蔵経第32巻 『釈摩訶衍論』大正大蔵経第32巻
参考書・参考資料等	宇井伯寿著・高崎直道訳註『大乘起信論』岩波文庫 平川彰著『大乘起信論』大蔵出版 那須政隆著『釈摩訶衍論』成田山仏教研究所 森田龍徳著『釈摩訶衍論』藤井佐兵衛
学生に対する評価	授業参加への積極性（40％）・レポート（60％）とし評価する。
養成をめざす力	密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性
その他	
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：過去のできごとを歴史的に解明していく上で、根本史料となるのが古文書です。わが国における真言密教の展開を研究する場合も、古文書の知識なくしては進めることができません。この講義では、古文書学の基本を習得することを目的とします。 テーマ：真言宗に出された古文書を読む
密教学特殊講義H	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
武内孝善	
授業の概要	この講義では、時代を奈良から平安時代初期（八～十世紀）に限定し、第一に、空海伝並びに初期真言宗教団史を研究する上で、必須となる古文書学の基本事項をおさえる。第二は、当該時期の古文書のできるかぎり多く読み、内容の把握に努めるとともに問題点を指摘し、その解明を試みたい。
授業計画	1. 古文書とは何か 2. 古文書の様式について 3. 古文書を読む（1）太政官符1 4. 同（2）太政官符2 5. 同（3）太政官符3 6. 同（4）太政官牒1 7. 同（5）太政官牒2 8. 同（6）太政官牒3 9. 同（7）僧綱牒1 10. 同（8）僧綱牒2 11. 同（9）位記 12. 同（10）戒牒 13. 僧侶の手紙を読む（1）空海の手紙1 14. 同（2）空海の手紙2 15. 同（3）最澄の手紙
テキスト	毎時間、プリントを配付する。
参考書・参考資料等	・佐藤進一『古文書入門』法政大学出版部 ・竹内理三編『平安遺文』東京堂出版 ・『弘法大師全集』第五輯所収「官符等編年雑集」密教文化研究所・園城寺編『園城寺文書』第一巻 講談社
学生に対する評価	授業への取り組み（60％）と数回のレポート（40％）を総合して評価。
養成をめざす力	密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題解決力
その他	①身につくか否かは、各自の努力と熱意によります。 ②「習うより慣れろ」です。多くの文書に親しんでください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：この講義は、人文科学を研究していく上での基本的な事柄、特に文献学的な研究方法を身につけることを目的とします。 テーマ：文献学方法論－何をどのように使って研究するか－
密教学特殊講義I	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
武内孝善	
授業の概要	ハード面とソフト面にわけると、まずハード面では研究を進める上での基本となる道具類についてふれる。つまり、基本的な辞（事）典・史（資）料目録・文献目録・索引・史料集・年表などを紹介する。つぎにソフト面として、史（資）料とは何か、史（資）料を蒐集（しゅうしゅう）するときの留意事項、写本の扱い方、本文校訂の必要性和その方法、先行研究の整理・検討など、実際に史（資）料を蒐集して研究を進めていく上での基本を論じてみたい。
授業計画	1. はじめに－読むとはどういうことか－ 2. 史（資）料とは何か 3. 史（資）料を蒐集するときの留意事項 4. 道具類について（1） 5. 同（2） 6. 同（3） 7. 同（4） 8. 同（5） 9. 先行研究の整理・検討 10. 本文校訂の必要性和その方法 11. 写本の扱い方 12. 調書を作成する（1） 13. 同（2） 14. 写本を筆写する（1） 15. 同（2）
テキスト	毎時間、プリントを配付する。
参考書・参考資料等	・山本信吉『古典籍が語る－書物の文化史－』2004年 八木書店 ・長沢規矩也『書誌学序説』1965年 吉川弘文館 ・山岸徳平『書誌学序説』1977年 岩波書店 ・藤井隆『日本古典書誌学総説』1991年 和泉書院
学生に対する評価	授業に対する取り組み（60％）と数回のレポート（40％）を総合して評価。
養成をめざす力	密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題解決力
その他	①講義は教師と学生の共同作業です。主体的に講義に参加してほしい。 ②疑問はその時間内で解決しよう。大いに質問してほしい。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける ②チベットの仏像を見た時に、その名称が言えるようになる。 ③インド・チベット仏教史の流れを理解する。 テーマ：インド・チベット密教の図像資料の研究
密教学特殊講義J	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
奥山直司	
授業の概要	チベット探検で知られる河口慧海が持ち帰った図像資料などに基づいて、インド・チベット仏教美術の主題と表現形式を学び、さらに『三百尊図像集』などを用いて、図像の解説の練習を行う。あわせてインド・チベット仏教史の流れについて基礎的な知識の整理を行う。
授業計画	1. イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか 2. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式1 3. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式2 4. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式3 5. 河口慧海コレクション1 6. 河口慧海コレクション2 7. 河口慧海コレクション3 8. 河口慧海コレクション4 9. 『三百尊図像集』1 10. 『三百尊図像集』2 11. 『三百尊図像集』3 12. 『三百尊図像集』4 13. 『三百尊図像集』5 14. 『三百尊図像集』6 15. まとめ
テキスト	『河口慧海請来チベット資料図録』佼成出版社 『三百尊図像集』（ビブリオテカ・ブッディカ）
参考書・参考資料等	頼富本宏・下泉全曉『密教仏像図典 インドと日本の仏たち』人文書院
学生に対する評価	提出物の評価を含む授業参加状況（60％）、期末レポート（40％）
養成をめざす力	密教仏教の専門性、日本語を書く力、想像力
その他	遅刻3回で1欠席と見なすので注意。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教と心理学から、スピリチュアルなケアを展開するために必要な諸理論を学び、実践的技法の基礎についての理解を育む。 テーマ：理論と実践をつなぐための学び
仏教学特殊講義A	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
井上ウィマラ	
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像のかたち―その姿と意味
仏教学特殊講義B	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏像の技法・構造を学ぶことによって各時代の仏像様式への理解を深めることを到達目標とする。 テーマ：仏像のかたち―様式と技法
仏教学特殊講義C	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教体験とことばの世界を考究することによって、弘法大師空海が主張する法身説法のありようについての理解を深める。 テーマ：宗教体験とことば
仏教学特殊講義D	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
前谷彰	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教における苦への理解、対処姿勢を学ぶ テ－マ：仏教思想を現代社会に活かすための力を身につける
仏教学特殊講義E	授業の概要 仏教は、生老病死を苦と捉え、その苦からの解放を説きます。仏教を学ぶことは、臨床現場での問題と対峙する時に大きな示唆を与えてくれます。本講義は適時、仏典をひも解きながら、共に苦に臨む智慧を学びます。
学期	授業計画 1. 現代社会の問題 2. 宗教に臨むこと：宗教学の知見から 3. 宗教の役割：心の支えとしての宗教 4. 仏教・密教の思想：基本的な概念 5. 仏弟子の振る舞いと苦悩（1）：仏教説話から 6. 仏弟子の振る舞いと苦悩（2）：仏教説話から 7. 苦について（1） 8. 苦について（2） 9. 病と自殺について（1） 10. 病と自殺について（2） 11. スピリチュアルケアとは 12. スピリチュアルケアにおける仏教の有用性 13. 仏教・密教の宇宙論・世界観（1） 14. 仏教・密教の宇宙論・世界観（2） 15. 現代社会と仏教・密教の思想
後期	テキスト 講師作成資料を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 仏教思想研究会編『仏教思想5 苦』平楽寺書店、1984年。 他は授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 レポート（100％）
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、想像力、道徳性
森崎雅好	その他 現代社会の様々な問題に対処するためには、多くの知識が必要です。その知識から智慧が生まれます。まずは知識習得のための努力をお願いいたします。

科目名	到達目標：図像学的研究を資料を研究資料として扱えるようになることを目的とする。 テ－マ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。
真言密教特殊講義B	授業の概要 密教学講読演習 真言宗典講読 2-1(別)に引き続き、漢訳資料の講読を中心として図像学的見地から様々な尊格の比較研究を行う。 本授業では、図像資料講読演習を引き続き進めながら、各自で演習テーマとする尊格を決め、その尊格の譜系についての図像学的考察をまとめる内容となる。そのため、基礎知識として前期の授業での講読演習が不可欠となるので通期で受講することが望ましい。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 漢訳資料の基本的な扱い方 3. 漢訳資料の基本的な講読練習 4. 尊格表現方法の基本知識 5. 図像資料講読演習① 6. 図像資料講読演習② 7. 図像資料講読演習③ 8. 各自で研究テーマとする尊格の演習① 9. 各自で研究テーマとする尊格の演習② 10. 各自で研究テーマとする尊格の演習③ 11. 各自で研究テーマとする尊格の演習④ 12. 各自で研究テーマとする尊格の演習⑤ 13. 各自で研究テーマとする尊格の演習⑥ 14. 各自で研究テーマとする尊格の演習⑦ 15. レポート試験
後期	テキスト 大正新脩大藏経 図像部
単位数	参考書・参考資料等 松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館 1995年
2	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する 試験（60％） 授業内演習（30％） ノート作成（10％）
担当者	養成をめざす力 密教文化の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力
松長恵史	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山の伝統教学を通して、弘法大師の思想が後世どのように問題となり、どのように解釈されてきたかについて理解する力を身につける。 テ－マ：『宗義決釈集』の研究
真言密教特殊講義A	授業の概要 弘法大師の教学は、1,200年の間、多くの学僧によって様々な解釈されてきました。それら様々な解釈の集積が、今日の真言宗の教理・教学にはなりません。大師以後の真言宗では、天台密教の展開や鎌倉新仏教の流行などその時々々の問題への対応を密教経典や大師の著作に求め、思索を重ねてきました。そういった営みの中で、高野山には宝門・壽門という2大学派が現われ、今日に至っています。 この講義では、宝門の論議書である『宗義決釈集』に収められた論議を取り上げ、それぞれの内容を通して高野山独自の教学である宝壽二門の思想について学びながら、弘法大師の教学がどのように理解されてきたのかについて、考えていきます。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 『宗義決釈集』について①－論議について－ 3. 『宗義決釈集』について②－宝門と壽門－ 4. 『宗義決釈集』について③－内容と構成－ 5. 一乗経劫－即身成仏は“密教”だけの教えか？－①即身成仏をめぐる問題 6. 一乗経劫－即身成仏は“密教”だけの教えか？－②華天二宗の成仏論 7. 一乗経劫－即身成仏は“密教”だけの教えか？－③即事而真 8. 六大四曼互能生－六大所生・四曼能生はあり得るか？－①六大と四曼 9. 六大四曼互能生－六大所生・四曼能生はあり得るか？－②壽門の場合 10. 六大四曼互能生－六大所生・四曼能生はあり得るか？－③『大日経』の教主 11. 理法身説法－真理そのものは説法するのか？－①理法身と智法身 12. 理法身説法－真理そのものは説法するのか？－②『大日経』の教主再論 13. 理法身説法－真理そのものは説法するのか？－③真理は何か多か？ 14. 理法身説法－真理そのものは説法するのか？－④宝門と壽門の教学 15. まとめ
前期	テキスト 『宗義決釈集』、『真言宗全集』巻19、高野山大学統真言主全書刊行会 ※授業中にコピーを配布します
単位数	参考書・参考資料等 小田慈舟訳『宗義決釈集』、『国訳一切経』和漢撰述部、 『諸宗部』21、大東出版社 ※その他、授業において指示します。
2	学生に対する評価 授業内での発表（40％）、小テスト（20％）、期末レポート（40％）で評価します。
担当者	養成をめざす力 密教仏教の専門性、論理性、問題解決力
土居夏樹	その他 ・授業内で担当を決め、課題を課しますので、必ず予習をしてきておいてください。 ・各自の調査研究の資料に基づいて、発表・ディスカッションをおこなってもらいます。

科目名	到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テ－マ：葬送儀礼の実践習得
真言密教特殊講義C	授業の概要 葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。
密教儀礼の理論と実習1(別)	授業計画 1. 葬送儀礼の歴史 2. 真言宗の葬儀 3. 4. 5. 6. 7. 『引導略作法（二巻疏）』の解説 8. 導師と職衆の心得 9. 高野山の寺家の葬儀 10. 戒名について 11. 葬儀に用いる梵字と書き様（塔婆等） 12. 葬儀に関する質疑応答 13. 14. 15.
学期	テキスト 宮野有智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社
前期	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。
単位数	学生に対する評価 レポート提出により採点（100％）
2	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性
担当者	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）
齋藤天譽	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得	科目名
真言密教儀礼の理論と実習2（別）	授業の概要 『引導署作法（二巻疏）』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。	
学期	授業計画 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 『引導署作法（二巻疏）』の伝授と解説 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	学期
後期	テキスト 宮野有智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社	
単位数	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。	単位数
2	学生に対する評価 レポート提出により採点（100％）	
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性	担当者
齋藤天譽	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、区別して講義します。（詳細は開講時に）	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：唐に留学した空海がどんな教えを学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。 テーマ：『御請来目録』	科目名
密教学演習A	授業の概要 空海の帰国報告書ともいうべき『御請来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した経典類、③密教受法の経緯、④顕教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。	密教学演習B
学期	授業計画 1. 講義内容の説明 2～5. 入唐から帰国までの経緯報告 6～7. 闕期の罪について 8～10. 新訳等の経について 11～14. 密教の相承について 15. 請来した梵字真言讃等について 16. 請来した論疏章等について 17. 請来した仏菩薩金剛天等について 18. 請来した道具について 19. 請来した阿闍梨付嘱物について 20～21. 密教の受法の経緯について 22～23. 恵果との師弟の交流について 24～25. 般若三蔵の願いについて 26～28. 顕教と密教について 29. 講義の総括 ※演習時には随時卒論のテーマに基づく指導を行なう。	学期
通年	テキスト 『定本弘法大師全集』第一巻 高野山大学密教文化研究所	通年
単位数	参考書・参考資料等 宮坂宥勝監修『空海コレクション2』ちくま学芸文庫 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫	単位数
4	学生に対する評価 授業参加への積極性（40％）、試験（60％）として評価する。	4
担当者	養成をめざす力 密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力	担当者
中村本然	その他	奥山直司

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：エンゲイジド・ブッディズムに代表される現代仏教の新潮流について理解を深めると同時に、外国語文献を含む文献資料の読解力を養い、論文作成のノウハウを身につける。 テーマ：仏教新潮流と密教	科目名
密教学演習B	授業の概要 今世界の仏教地図はエンゲイジド・ブッディズムという言葉で一括される仏教の新潮流によって塗りかえられようとしている。本授業は、さまざまな形で顕れているこの新しい流れについて、代表的な出版物の読解を通じて学んでゆく。当番制の輪読によって授業を進め、論じ、考えてゆく。	密教学演習B
学期	授業計画 前期 1. ガイダンス：エンゲイジド・ブッディズムへの視点 2～4. 阿満利磨『社会をつくる仏教』を読む 5～7. 阿満利磨『行動する仏教』を読む 8～11. ランジャナ・ムコバディヤーヤ『日本の社会参加仏教』を読む 12～15. Engaged Buddhism を読む 後期 1. ガイダンス：チベット近現代史 2. チベット近現代史（続き） 3～5. ダライ・ラマ14世『チベットわが祖国』を読む 6～15. ダライ・ラマ14世『ダライ・ラマ 宗教を超えて』を読む	学期
通年	テキスト 阿満利磨『社会をつくる仏教』人文書院 阿満利磨『行動する仏教』ちくま学芸文庫 ランジャナ・ムコバディヤーヤ『日本の社会参加仏教』東信堂 Ch.Queen & S.King, <i>Engaged Buddhism: Buddhist Liberation Movements in Asia</i> , State University of New York Press ダライ・ラマ14世『チベットわが祖国』中公文庫 ダライ・ラマ14世『宗教を超えて－世界倫理への新たなビジョン』サンガ（His Holiness Dalai Lama, <i>Beyond Religion: Ethics for a Whole World</i> ）	通年
単位数	参考書・参考資料等 ダライ・ラマ14世『ダライ・ラマ 宗教を語る』春秋社	単位数
4	学生に対する評価 予習・発表準備状況（60％）、授業参加状況（40％）	4
担当者	養成をめざす力 日本語を読む力、問題発見力	担当者
奥山直司	その他	奥山直司

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 仏教の基本的知識を充実させ、論文作成能力を身につける。 テーマ: 仏教とは何か。
密 教 学 演 習 C	授業の概要 仏教の基本的知識を充実させ、論文の書き方についてのトレーニングを行う。
学期	授業計画 1. 仏教の基本的知識を身につける 2. 同上 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. まとめ
通 年	16. 学術論文を読解する 17. 同上 18. 同上 19. 学術論文の書き方トレーニング 20. 同上 21. 同上 22. 同上 23. 同上 24. 同上 25. 同上 26. 同上 27. 同上 28. 同上 29. 同上 30. 総まとめ
単位数	テキスト 必要に応じて担当者が配布する。
4	参考書・参考資料等 水野弘元『原始仏教』（サウラ叢書）平楽寺書店 S. ラーダクリシュナン著『インド仏教思想史』大蔵出版 早島鏡正・高崎直道・原実・前田専学『インド思想史』 東京大学出版会
担当者	学生に対する評価 学年末に提出してもらった卒業論文100%で評価する。
前 谷 彰	養成をめざす力 密教仏教の専門性、問題発見力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 文献研究に関わる者としての基本的な能力を養い、論文執筆に際しての形式・作法などを修得し、論文を批判的に読む訓練をする。 テーマ: 空海の著作、漢籍または中国語の論文を読む。
密 教 学 演 習 D	授業の概要 輪読形式でテキストを読み進める。中国語テキストの講読を主とする場合、中国語の未経験者でもかまわない。中国語履修者には輪読してもらう。 講義中に疑問となる箇所があれば、次回への宿題とし、十分な説明が出来るよう準備する。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 「唐密と儒、道之関係」(1) 3. 「唐密と儒、道之関係」(2) 4. 「唐密と儒、道之関係」(3) 5. 「唐密と儒、道之関係」(4) 6. 「唐密と儒、道之関係」(5) 7. 「唐密と儒、道之関係」(6) 8. 「唐密と儒、道之関係」(7) 9. 「唐密と儒、道之関係」(8) 10. 「唐密と儒、道之関係」(9) 11. 「唐密と儒、道之関係」(10) 12. 「唐密と儒、道之関係」(11) 13. 「唐密と儒、道之関係」(12) 14. 「唐密と儒、道之関係」(13) 15. 期末試験
通 年	16. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(1) 17. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(2) 18. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(3) 19. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(4) 20. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(5) 21. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(6) 22. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(7) 23. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(8) 24. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(9) 25. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(10) 26. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(11) 27. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(12) 28. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(13) 29. 「古代印度密教観音信仰の産生と演変」(14) 30. 期末試験
単位数	テキスト 最近の論文、または呂建福『中国密教史』、『即身成仏義』などのコピーを配布する。
4	参考書・参考資料等 『大漢和辞典』、『密教辞典』など。
担当者	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。
南 昌 宏	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、外国語を読む力、問題解決力 その他 受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 密教経典に対する理解力と分析力の養成 テーマ: 『大日経』を読む
密 教 学 演 習 E	授業の概要 弘法大師が平安初期に中国から日本に移植されたのは、『大日経』と『金剛頂経』の二つの教典を両部とする密教であった。大師晩年の代表的な著作『十住心論』は、悟りにいたるまでの転昇過程を十段階に分け、それらの十段階に儒教、道教、仏教によって教理的な説明を加えて、当時の諸思想を総合化したものである。その十住心思想の骨格を形成するための典拠となっているのが『大日経』および『大日経疏』である。本年度も『大日経』の住心品を取り上げ、三句の法門を中心に菩提心について考察する。後期に卒業論文の中間報告会を数回開催する。
学期	授業計画 【前期】 1. シラバスの説明、講義の進め方等 2. 『大日経』の原典資料と研究資料の紹介 3. 『大日経』の内容概略の説明 4. 『大日経』の本文を読む（住心品） 5. 同上2 6. 同上3 7. 同上4 8. 同上5 9. 同上6 10. 同上7 11. 同上8 12. 同上9 13. 同上10 14. 同上11 15. 同上12
通 年	【後期】 1. 卒業論文中間報告会 2. 卒業論文中間報告会 3. 『大日経』の本文を読む（住心品）（続き） 4. 同上2 5. 同上3 6. 同上4 7. 同上5 8. 同上6 9. 同上7 10. 同上8 11. 同上9 12. 同上10 13. 同上11 14. 同上12 15. 卒業論文の完成と提出
単位数	テキスト 漢訳: 『大毘盧遮那成佛神變加持經』大正848番（五部秘經を用いる） チベット訳: 東北494番 北京126番 その他、プリント配布
4	参考書・参考資料等 福田亮成訳『大日経』（新国訳大蔵経 密教部1）大蔵出版 松長有慶『密教経典開設』（現代密教講座 第二巻）大東出版社 頼富本宏著『大日経入門』大法輪閣、他
担当者	学生に対する評価 レポート（80%） 授業参加への積極性（20%）
乾 仁 志	その他 漢文テキストは調点が施された五部秘經を用いるので、読めるように予習しておくこと。 漢文のテキストとチベット訳（担当者が和訳を用意する）を引き比べながら、違い等に留意しながら内容の理解に努める。 卒業論文の指導は、授業とは別に随時実施する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 真言宗の常用経典である『理趣経』原典の読解を通じて仏教学を学ぶための文献学的・図像学的方法論を習得する。 テーマ: 「理趣経」と密教思想・密教美術の形成、およびその背景にある初期仏教・大乘仏教・ヒンドゥー教
密 教 学 演 習 F	授業の概要 仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必要な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして一例として梵文および漢文にて『理趣経』原典を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所に関連した際の対処方法を身につけてゆく。出席者は授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。
学期	授業計画 1. 導入 2. 仏教を学ぶための基礎知識 3. 仏教を学ぶための基礎知識 4. 『理趣経』原典の読解 5. 『理趣経』原典の読解 6. 『理趣経』原典の読解 7. 『理趣経』原典の読解 8. 『理趣経』原典の読解 9. 『理趣経』原典の読解 10. 『理趣経』原典の読解 11. 『理趣経』原典の読解 12. 『理趣経』原典の読解 13. 文献読解の結果を分析する 14. 文献読解の結果を分析する 15. 総括
通 年	1. 導入 2. 仏教を学ぶための基礎知識 3. 仏教を学ぶための基礎知識 4. インド大乘仏教文献の読解 5. インド大乘仏教文献の読解 6. インド大乘仏教文献の読解 7. インド大乘仏教文献の読解 8. インド大乘仏教文献の読解 9. インド大乘仏教文献の読解 10. インド大乘仏教文献の読解 11. インド大乘仏教文献の読解 12. インド大乘仏教文献の読解 13. 文献読解の結果を分析する 14. 文献読解の結果を分析する 15. 総括
単位数	テキスト 授業において指示します。
4	参考書・参考資料等 高野山大学仏教学科編『卒業論文の手引き』。 松長有慶、『理趣経講讀』、大法輪閣。 松長有慶、『理趣経』中公文庫 BIBLIO。 Toru Tomabechi, <i>Adhyardhasatika Prajnaparamita</i> , Vienna/Beijing, 2009.
担当者	学生に対する評価 授業中の発表など（60%）、レポート（40%）
加 納 和 雄	養成をめざす力 日本語を読む力、外国語を読む力、問題発見力 その他 主にインド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象としますが、熱意のある学生であれば誰でも歓迎します。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教經典を解説することによって漢文読解力と卒業論文を作成するための力を養いたい。 テーマ：『宿曜經』を読む。
密 教 学 演 習 G	
学期	授業の概要 『宿曜經』を読解することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、卒業論文についての個別指導を行なう。
通 期	授業計画 【前期】 1. オリエンテーション 2. 『宿曜經』講読演習 3. 『宿曜經』講読演習 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 卒論中間発表 8. 卒論中間発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. レポート、論文の書き方 14. レポート、論文の書き方 15. まとめ 【後期】 1. オリエンテーション 2. 卒論目次の作成 3. 卒論目次の作成 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 卒論発表 8. 卒論発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. 卒論発表 14. 卒論発表 15. まとめ
単位数	テキスト 『宿曜經』（大正 21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）
4	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』（臨川書店） 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法蔵館）
担当者	学生に対する評価 レポート（60％） 演習発表討論参加（40％）
佐 藤 隆 彦	養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：『発心集』の特質と中世仏教史の諸問題の理解。 テーマ：仏教と文学の接点
密 教 学 演 習 H	
学期	授業の概要 いわゆる仏教文学とよばれる作品を鑑賞することにより、文学の魅力、仏教史にかかわる諸問題を受講者とともに考えたい。教材は中世仏教説話集『発心集』（鴨長明）を中心に演習する。
通 年	授業計画 1～3. 無常感と無常観 4. 鴨長明の生涯 5～6. 『発心集』の序文 7～8. 卷一の巻頭話「玄寶」のはなし 9～10. 卷一の第三話「平等供奉」のはなし 11～12. 卷一の第四話「千観内供」のはなし 13～14. 卷一の第五話「増賀上人」のはなし 15～16. 卷一の第六話「高野の南筑紫上人」 17～18. 卷一の第七話「教懷上人」のはなし 19～20. 卷三の第四話「源大夫」のはなし 21～22. 卷三の第五話「ある禪師が補陀落山に詣でた」はなし 23～24. 卷三の第六話「ある女房が天王寺から海に入った」はなし 25～26. 卷三の第七話「蓮花城」の入水のはなし 27～28. 卷三の第九話「証空上人」のはなし 29～30. 卷四の第四話「叡実」のはなし
単位数	テキスト 教員が作成した教材を配布する。
4	参考書・参考資料等 「方丈記・発心集」小学館・日本古典文学集成
担当者	学生に対する評価 受講生の教材研究（50％）と定期試験（50％）
下 西 忠	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題解決力
	その他 日本文学や日本仏教史などで卒業論文を書こうとする者を希望する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の遺言状とみなされてきた『遺告二十五ヶ条』（以下、『御遺告』）は、古来、空海の生涯を考えるときの根本史料であった。しかし、今日では十世紀半ば以降の成立とみなされ、一次史料とはなりえなくなった。とはいえ、初期の真言宗教団の成立過程を考えるとときには、有力な史料の一つである。そこで、『御遺告』の最古の写本をテキストとして、写本の扱い方と読解力の修得を目標とする。 テーマ：『御遺告』を読む
密 教 学 演 習 I	授業の概要 承和二年（835）三月十五日、空海が諸弟子に告げたとみなされてきた『御遺告』を、最古の写本である金剛寺本をテキストとして読み、内容の把握と問題点の指摘を通して、その成立年代の解明をめざしたい。最終的には、金剛寺本を底本とする校訂本を作成する。
学期	授業計画 1. はじめにー空海研究の現状と課題ー 2. 関連史料と参考文献 3. 金剛寺本と『御遺告』の概要 4. 写本を扱う上での基本事項①ー写本と活字本ー 5. 写本を扱う上での基本事項②ーヲコト点と角筆点ー 6. 以下、受講者は、それぞれ分担して指定された個所の本文を筆写・校訂し、その校訂した本にものついて調読文と現代語訳を作成する。 7. 受講者は、①分担した個所の本文（写本）をいかに解説したか（筆写・校訂）、②その本文をどのように読んだか（調読文）、③いかに理解したか（現代語訳）、④空海の生涯を考える上で、また初期の真言教団を考える上で、いかなる問題点があるかについての考察、を順番に報告する 8. 本年度は第二十四条から解説する。第二十五条まで終われば第一条にもとる
通 年	テキスト 金剛寺本『御遺告』一帖（平安中期写本）
単位数	参考書・参考資料等 ・『御遺告』の活字本（『定本弘法大師全集』第7巻所収本） ・註釈書類（『続真言宗全書』第26巻） ・築島裕『平安時代調点本論考』汲古書院 ・小林芳規『角筆文献研究導論』（四冊）汲古書院
2	学生に対する評価 授業への参加度（60％）と数回のレポート（40％）とを総合して評価する。
武 内 孝 善	養成をめざす力 密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力
	その他 ①写本が扱えるようになると、活字本だけしか使えないときに比べて、研究範囲が大幅に拡大されます。 ②積極的に講義に参加し、写本の扱い方をマスターしてほしい。 ③そうして、写本を使って卒業論文を書いてほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】：卒業論文を書くために必要なアイデアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成力を養う。 【後期】：テーマにしたがって先行研究を整理し、分析し、論文として自らの考えを構成し表現していく力を身につける。 テーマ：【前期】：卒業論文作成のための準備トレーニング 【後期】：卒業論文作成の実践
密 教 学 演 習 J	授業の概要 前期は、研究テーマについて情報を集めるためにブレイン・ストーミングやKJ法によるマッピングなどを行う。その後で、図書館やインターネットを利用して情報を収集し、整理して、ショートプレゼンテーションを行い、ディスカッションによって知識の有機的なつながりを深めていく。 後期は、毎回授業のはじめに各自の進行状況を報告しあう。実際に論文を作成するプロセスにしたがって、個人指導をしながら進めてゆく。
学期	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて 2. 書いてみたいテーマについて 3. ブレイン・ストーミング 4. KJ法によるマッピング 5. アイディアを膨らませるために 6. 図書館の利用法 7. インターネットの利用法 8. 先行研究を知る 9. 資料の読み込み方 10. 分析と構成 11. プレゼンテーションとディスカッション1 12. プレゼンテーションとディスカッション2 13. プレゼンテーションとディスカッション3 14. 目次作成 15. ふりかえりとまとめ 1. 授業の流れと各自の進行状況の確認：前期レポートのふりかえり 2. タイトルについて 3. 章立てについて 4. 序章の意味について 5. 論文の格闘技的側面について 6. 資料の活かし方 7. 引用法 8. 論旨の浮かび上げらせ方 9. 書きながら修正していくこと 10. 読み合わせ1 11. 読み合わせ2 12. 読み合わせ3 13. 読み合わせ4 14. 読み合わせ5 15. ふりかえりとまとめ（諮問に向けて）
通 年	テキスト なし
単位数	参考書・参考資料等 『仏教心理学キーワード事典』春秋社
2	学生に対する評価 授業参加への積極性（30％）と期末レポート（70％）で評価する。
井 上 ウ イ マ ラ	養成をめざす力 密教仏教の専門性、論理性、問題解決力
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
総合科目（デジタルアーカイブ）	到達目標：・動画の撮影・編集を学ぶ。 ・チームで協力して作業することを学ぶ。 テーマ：・インタビュー映像（前半） ・ショートムービー（後半）	総合科目（古文書入門）	到達目標：変体仮名の習得と古文書の形態の理解。 テーマ：古文書学の基礎
学期	授業の概要	学期	授業の概要
前期	受講者を数名のチームに分け、期間中に各チーム2種類の動画を作成する。	前期	史料の読解に必要な知識を学ぶ。本講義は入門であるため、まずは変体仮名（くずし字）の習得と古文書の形態の理解を目指す。
単位数	授業計画	単位数	授業計画
2	1. ガイダンス 2. インタビュー映像作成（1） 3. インタビュー映像作成（2） 4. インタビュー映像作成（3） 5. インタビュー映像作成（4） 6. インタビュー映像作成（5） 7. インタビュー映像作成（6） 8. インタビュー映像作成（7） 9. ショートムービー作成（1） 10. ショートムービー作成（2） 11. ショートムービー作成（3） 12. ショートムービー作成（4） 13. ショートムービー作成（5） 14. ショートムービー作成（6） 15. ショートムービー作成（7）	2	1. ガイダンス 2. 古文書概説 3. 文書の種類 4. 変体仮名の字母を知る① 5. 変体仮名の字母を知る② 6. 百人一首を読む①（版本） 7. 百人一首を読む② 8. 地誌類を読む①（版本） 9. 地誌類を読む② 10. 「宣旨」を読む 11. 「下文」を読む 12. 「御教書」を読む 13. 「熊谷家文書」を読む 14. 戦国武将の手紙を読む① 15. 戦国武将の手紙を読む②
担当者	テキスト	担当者	テキスト
藤吉圭二	必要に応じ授業中にプリントを配布する。	浜畑圭吾	教員が用意する。
	参考書・参考資料等		参考書・参考資料等
	特になし。		網野善彦『古文書返却の旅』（中公新書）
	学生に対する評価		学生に対する評価
	・映像のできばえをチームごとに評価し、メンバーについてはチームリーダーによる評価を加味する。 ※詳細はガイダンスで説明する。		毎回のリアクションペーパー（50%）、定期試験（50%）
	養成をめざす力		養成をめざす力
	情報技術、自主性、チームワーク		日本語を読む力・書く力、想像力
	その他		その他
	・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。		私語厳禁。変体仮名の練習や文書の読解の際は受講者に答えてもらう。積極的な参加を望む。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
総合科目（書誌学）	到達目標：古文書の形態、保存・管理の実態などを理解する。 テーマ：書誌学の基礎		
学期	授業の概要	学期	
後期	古文書がどのようにして作られ、受け継がれていったのかということとを学ぶ。書籍だけでなく、広く史料類も扱う。		
単位数	授業計画		
2	1. ガイダンス 2. 古文書の形態 3. 古文書の保存 4. 大陸の書物の伝来 5. 古文書の書写 6. 書写と蔵書① 7. 書写と蔵書② 8. 古辞書の成立 9. 古筆 10. 奈良・平安時代の印刷と出版 11. 鎌倉時代の印刷と出版 12. 南北朝時代の印刷と出版 13. 室町時代の印刷と出版 14. 江戸時代前期の印刷と出版 15. 江戸時代後期の印刷と出版		
担当者	テキスト	担当者	
浜畑圭吾	教員が用意する。		
	参考書・参考資料等		
	中野三敏『和本のすすめ』（岩波新書）		
	学生に対する評価		
	毎回のリアクションペーパー（50%）、定期試験（50%）		
	養成をめざす力		
	日本語を読む力・書く力、想像力		
	その他		
	私語厳禁。		

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中級程度の英字新聞の理解 テーマ：必要な英語の情報を素早く読み取る。
企画科目（時事英語）	授業の概要 ネット上に流れる英字新聞を読む。
学期	授業計画 学生諸君の英語能力に応じ、下記のアドレスの英字新聞を読む。 NHK World English: http://www.nhk.or.jp/english/index.html Daily Yomiuri Online: http://www.yomiuri.co.jp/dy/ The Asahi Shimbun http://www.asahi.com/english/ Japan Times: http://www.japantimes.co.jp/
通年	テキスト テキストはありませんが、USB メモリーを用意すること。
単位数	2
2	参考書・参考資料等
担当者	学生に対する評価 授業態度と提出物で評価する。
高倉正行	養成をめざす力 外国語を読む力・書く力・聴く力・話す力、国際感覚、論理性 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教舞踊の基礎を身につけ、練習を積み重ねることにより、心、技、体を磨き、宗教舞踊の楽しさを感じ得る。 テーマ：御詠歌に合わせて舞い、宗教舞踊の楽しさを身につける
企画科目（舞踊）	授業の概要 宗教舞踊の基本的な身体の動かし方・理念・法具の扱い方・教典の譜の見方等基本を学ぶ。御詠歌の歌詞の意味、舞踊で表現されている意味を学び、心の表現の仕方について学ぶ。
学期	授業計画 1. 宗教舞踊を見てみる。基本的 理念・法具（持ち物）の扱い 方の解説。「いろは歌」 2. 教典の譜の見方を学ぶ。「いろは歌」により身体の動かし方の基本を学ぶ。 3. 「同行二人」 4. 「 5. 「 6. 「同行二人」仕上げ 7. 「妙遍」 8. 「 9. 「 10. 「 11. 「 12. 「 13. 「妙遍」仕上げ 14. 復習 15. 復習 16. 「三宝和讃」 17. 「 18. 「 19. 「 20. 「三宝和讃」仕上げ 21. 「相互供養」 22. 「 23. 「 24. 「 25. 「 26. 「 27. 「 28. 「 29. 復習 30. 復習
通年	テキスト 舞踊1曲ずつの教典（大師教会で購入）
単位数	2
2	参考書・参考資料等 高野山金剛流宗教舞踊基本教典 『はじめての「高野山宗教舞踊」入門』セルバ出版
担当者	学生に対する評価 授業中の技術の習熟度（60%） 努力度（20%） 筆記試験（20%）
辻高細 祖川 佐彩佐 智恵智 子子子	養成をめざす力 想像力、忍耐力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スピリチュアルなケアを展開するために必要な純粋に注意を向ける力、共感する力、傾聴する力を身につける。 テーマ：共感と傾聴
企画科目（傾聴実践）	授業の概要 授業のはじめに5分ほど呼吸によるマインドフルネス瞑想をする。ショートレクチャーの後でロールプレイを行い、ふりかえりをしながら体験学習を深める。
学期	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて（ケアと傾聴） 2. ケアの循環について：子育て、看取り、グリーフケア 3. コミュニケーションの音楽性 4. 話すことと聴くこと 5. 生育歴をふりかえる 6. 家系図が意味するもの 7. 家系図を動かしてみる 8. ミニカウンセリング1（ロールプレイの録音） 9. ミニカウンセリング2（会話録の分析） 10. ミニカウンセリング3（よき聞き手となるために） 11. 「死んだらどうなるのですか？」 12. スピリチュアルペインについて 13. 人生で大切な5つの仕事 14. 罪悪感と自尊心 15. ふりかえりとまとめ
前期	テキスト 井上ウィマラ『人生で大切な5つの仕事』春秋社
単位数	2
2	参考書・参考資料等 窪寺俊之・井上ウィマラ『スピリチュアルケアへのガイド』
担当者	学生に対する評価 授業参加への積極性（30%）と期末レポート（70%）で評価する
井上ウィマラ	養成をめざす力 チームワーク、共感性 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山内に伝わる仏教美術について学び、さらに実地に作品に接することにより、より深い仏教美術の知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：高野山における仏教美術研究
企画科目（仏教芸術）	授業の概要 高野山霊宝館の所蔵品を中心に、仏教美術、特に密教美術の造像をジャンルごとに取り上げ、作品の特徴や歴史的意義について知識を深め、さらに高野山霊宝館において実地に作品を鑑賞し、仏教美術研究の基礎を学ぶ。
学期	授業計画 1. 高野山の仏画1：両界曼荼羅と別尊曼荼羅 2. 高野山の仏画2：密教の仏菩薩 3. 高野山の仏画3：明王・天部 4. 高野山の仏画4：密教図像 5. 高野山の仏画5：その他 6. 高野山の仏像1：板彫両界曼荼羅 7. 高野山の仏像2：密教の仏菩薩 8. 高野山の仏像3：明王 9. 高野山の仏像4：天部 10. 高野山の工芸－密教法具ほか 11. 高野山霊宝館での作品研究 12. 高野山霊宝館での作品研究 13. 高野山霊宝館での作品研究 14. 高野山霊宝館での作品研究 15. 高野山霊宝館での作品研究
前期	テキスト 授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
単位数	2
2	参考書・参考資料等 『日本古寺美術全集』集英社、『高野山秘宝大観』フジタ
担当者	学生に対する評価 授業態度（10%）、期末レポート（70%）、授業に対する取り組み方（20%）の比率で評価する。 霊宝館において見学した作品を1つ選び、4000字程度のレポートを提出する。
副担任 和田圭子 慈圓	養成をめざす力 仏教美術の基礎力、観察力、積極性 その他 履修する学生は社会経験と就業経験を身につけるために、授業とは別に指示に従って高野山霊宝館の受付や案内業務を体験する。 様々な観点から積極的に作品を鑑賞する態度が望ましい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】日本の伝統文化である華道の歴史の理解と基本的 実技の修得。 【後期】高野山の伝統行事(年中行事)に生けられる伝統華・ 莊厳真華の理解 テ ー マ：【前期】日本の華道史と華道実技の基本 【後期】華道高野山の代表華である真華の修得
企画科目（華道）	
学期	
通年	
単位数	
2	
担当者	
五味和樹	授業の概要 【前期】 仏様にお花をお供えたのが始まりとされる日本の華道の歴史を現代まで解説すると共に、華道の基本の解説と実技の実習を行なう。 【後期】 高野山の伝統行事が行なわれる会場を莊厳する真華の解説と真華の実技実習。 授業計画 【前期】 1. ガイダンス 2. 華道高野山についての解説 3. 供華様式から投入花の解説 4. 投入花から現代花の解説 5. 盛花の解説 6. 盛花の実技実習 7. 盛花の変化態の解説と実習 8. 投入花の解説と実習 9. 投入花の変化態の解説と実習 10. 格花の解説と実習 11. 格花の変化態の解説と実習 12. 自由化の解説と実習 13. 自由化のテーマのもとめ方と実習 14. 実技テスト テキスト 華道高野山教本 参考書・参考資料等 特に無し 学生に対する評価 実技定期試験（60％）、小試験（40％） 養成をめざす力 創造力 その他 実技実習時に花材費 800 円～ 1,000 円必要です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教のヴィパッサナー（観）瞑想による意識の保ち方を学ぶことによって、自分を知る能力（自己覚知）を養う。 テ ー マ：自分を知るることについて
企画科目（ヴィパッサナー瞑想Ⅰ）	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
井上ウィマラ	授業の概要 最初にみんなの息を合わせるために「三宝帰依の歌」を歌い、「呼吸による気づき経」を説誦し、15 分ほど呼吸瞑想をする。その後で瞑想的エクササイズを行い、ふりかえりながら体験的学習を深める。 授業計画 1. 自己紹介と授業の進め方について（スピリチュアルケアとは何か？） 2. 如実知見と如実知自心（自分を知ることの大切さ） 3. アーナーバーナサティ・スッタ（呼吸による気づき経）から学ぶ 4. 身体感覚に心を開く：ヴェーダナー（受）を理解する 5. 呼吸に触れる 6. 呼び名の息遣い 7. 瞑想中の雑念への対処法：気づきの作法 8. 自尊心について 9. 食べる瞑想：アーハーラ（四つの栄養素）の教えについて 10. マインドフルネス瞑想の射程 11. 三業の心理学 12. 思いやりの育み方：慈悲喜捨の教えについて 13. 神秘体験について 14. 悟りと解脱 15. ふりかえりとまとめ テキスト 井上ウィマラ『呼吸による気づきの教え』佼成出版社 参考書・参考資料等 『仏教心理学キーワード事典』 春秋社 井上ウィマラ『人生で大切な 5 つの仕事』 春秋社 学生に対する評価 授業参加への積極性（30％）と期末レポート（70％）で評価する。 養成をめざす力 チームワーク、道徳性、共感性 その他 動きやすい服装で参加すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：他者との関係性の中に浮かび上がってくる自分のパターンに気づく。よりよいコミュニケーションの可能性を探索し、共感と傾聴の基本を身につける。 テ ー マ：関係性における気づきとコミュニケーション・スキル
企画科目（ヴィパッサナー瞑想Ⅱ）	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
井上ウィマラ	授業の概要 最初にみんなの息を合わせるために「慈しみの歌」を歌い、「気づきの確立経」を説誦し、10 分ほど呼吸瞑想を行う。瞑想的エクササイズやロール・プレイをした後で、振り返りながら体験学習を深める。 授業計画 1. 自己紹介と授業の進め方について。（スピリチュアリティと仏教瞑想について） 2. 進化における人間存在とケア 3. ミラーニューロンと鏡像段階 4. ミラーリング 5. 5 分間トーク（傾聴からの学び） 6. 他己紹介 7. 呼吸のモニタリング 8. 息遣いのメッセージ 9. 呼吸のキャッチボール 10. レーズンの折り 11. 怒りの活かし方 12. よい看病ができるための 5 条件 13. 世話から学びあうコミュニティ：四摂法の教えについて 14. 最後の一息について 15. ふりかえりとまとめ テキスト 窪寺俊之・井上ウィマラ『スピリチュアルケアへのガイド』 参考書・参考資料等 M. エプスタイン『ブッダのサイコセラピー』 春秋社 『人間関係性トレーニング』 ナカニシヤ書店 『仏教心理学キーワード事典』 春秋社 学生に対する評価 授業参加への積極性（30％）と期末レポート（70％）によって評価する。 養成をめざす力 チームワーク、道徳性 その他 動きやすい服装で参加すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：修法における次第の組み立てを理解し、その行法をより深めることを目的とし、重ねて真言宗を代表する密教法会たる理趣三昧法会を実修し、職衆及び導師の心得を身につける。 テ ー マ：行法や莊嚴の理解と理趣三昧法会の実修
企画科目（法式上級）（別）（法式上級）	
学期	
通年	
単位数	
2	
担当者	
淵田雲溪	授業の概要 四度の加行において自らが実践した所の十八道や金剛・胎藏の両部の次第、護摩の次第における行法の展開や内容を考察し、行法をより深く実践できるように試みる。 また、理趣三昧法会の実践をとおして、実際の法要の流れを理解し、導師や職衆としての作法を習熟する。 授業計画 【前期】 道場や壇上の莊嚴の解説・実践をし、加えて行法の基本たる十八道の次第を解説する。 また、法会における作法等の解説し、職衆として法会を実修する。 【後期】 護摩の次第を解説する。 また、伝法灌頂に入壇後、理趣経法の伝授を受け、交代で導師を務めて法会を実修。 【その他】 追悼法会、また報恩日の法会に職衆としての積極的な参加（出仕）を求める。 テキスト 『真言宗常用経典』、『四度加行 次第』、中川善教編『理趣経法』 参考書・参考資料等 『声明類聚』等 他は授業中で紹介する。 学生に対する評価 期末の課題レポートと法要作法の習熟度 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、密教僧の実践力 その他 ・空衣（尼僧は褌衫でも可）・白袈裟（または如法衣）を着しての受講となる。 ・以下の事項を受講の条件とする。 ①法式 A または B の単位を取得しておくこと。 ②少なくとも前期加行（十八道・金剛界）を受けた上で受講し、今年度内に伝法灌頂に入壇予定であること。 ・学内での受戒や加行、追悼法会や報恩日など、積極的な出仕をお願いする。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：初年度は基本的な奏法の習得・初歩的な曲の合奏と、邦楽の歴史・日本音楽の特徴理解。 二年目履修の際は、「六段の調べ」を習得し、初伝免許取得相当の技術を身に着ける事。 テーマ：地歌箏曲入門―箏（琴）を弾いてみよう。日本音楽の素晴らしさに触れてみよう。
企画科目（芸能）	授業の概要 音楽楽理と、邦楽の歴史に関する講義を交えながら、箏の演奏実習を中心に進めていく。箏に触れ、演奏することで、伝統文化に共通する精神性へと、学生諸氏の思考深化を促したい。
学期	授業計画 【前期】 1. 爪をつけて、箏をならしてみよう。 2. 楽譜の見方、楽器の扱い方を学ぼう。 3. 柱の立て方、はずし方。 4. 箏とは、楽器の部位の名称等。 5. ビデオ鑑賞。 6. 練習曲「さくら」・「荒城の月」を弾こう。 7. 同上 8. 同上 9. 邦楽の歴史を学ぼう（講義）。 10. 「三段の調べ」を弾こう。 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 邦楽の歴史を学ぼう（講義）。 15. 筆記・実技試験。 2年目の受講生は、全回「六段の調べ」の実習。
単位数	テキスト 楽譜は講師を通じて随時一括購入する。爪は初回授業で各自の指の号数を確認して注文する。
2	参考書・参考資料等 吉川英史『日本音楽の歴史』創元社。他は授業で紹介する。
担当者	学生に対する評価 音楽を真剣に楽しむ授業態度（70%） 演奏技術（10%） 筆記・実技試験（20%） 但し、上記％に関係なく、欠席1回マイナス5点とする。
穂谷有桜	養成をめざす力 チームワーク、問題解決力、想像力 その他 「箏は女性が弾くもの」という誤った通念があるようだが、実態は全く異なる。偏見を捨てて、音楽好きな学生は、男女を問わず、積極的に受講してほしい。 二年目の単位を取得した場合、本人が希望し、かつ技能が相当と認められる者には、有料で、絃楽教育奨励会認定の「初伝」免許を認免する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：阿息観の修得 テーマ：阿息観の理論と実習
企画科目（阿息観）	授業の概要 阿字観の前行と位置づけられている阿息観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。 テキストにしたがって講義を進める。
前期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 阿息観と悟り 3. 真言密教と釈迦 4. 瞑想の目的と種類 5. 修行の基本 6. 弘法大師空海の宗教体験 7. 阿息観について 8. 阿息観について 9. 阿息観の実習 10. 阿息観の実習 11. 討論 12. 阿息観の実習 13. 阿息観の現代的意義 14. 阿息観の現代的意義 15. まとめ
単位数	テキスト 山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）※生協取り扱い
2	参考書・参考資料等 『密教福祉Ⅰ』『密教福祉Ⅱ』（密教福祉研究会編）
担当者	学生に対する評価 期末レポート（80%）、討論小テスト（20%）
佐藤隆彦	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、想像力、創造力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：阿字観の修得 テーマ：阿字観の理論と実習
企画科目（月輪観と阿字観）	授業の概要 阿息観を踏まえて、月輪観と阿字観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。
後期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 阿息観について 3. 阿息観の実習 4. 月輪観について 5. 月輪観について 6. 月輪観実習 7. 『大日経』と阿字 8. 阿字観について 9. 阿字観について 10. 阿字観実習 11. 自由討論 12. 阿字観の口訣 13. 阿字観の口訣 14. 阿字観実習 15. まとめ
単位数	テキスト 山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）※生協取り扱い
2	参考書・参考資料等
担当者	学生に対する評価 期末レポート（80%）、討論小テスト（20%）
佐藤隆彦	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、想像力、創造力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：喪失体験へのケアについての専門知識を身につけ、ケアの態度を学ぶ。 テーマ：グリーフケアに関する知見を深める。
企画科目（グリーフケア）	授業の概要 グリーフ（grief）とは悲嘆を意味します。この悲嘆を受け入れる作業をグリーフワークと言い、グリーフケアとはその作業を支援することです。本講義では、心理学的観点からケアの姿勢の在り方を学びます。
後期	授業計画 1. 悲嘆反応とケアについて 概論 2. 死と死別について 3. 犯罪被害と複雑性悲嘆（1） 4. 犯罪被害と複雑性悲嘆（2） 5. 犯罪被害と複雑性悲嘆（3） 6. 自殺と自死遺族支援（1） 7. 自殺と自死遺族支援（2） 8. 自殺と自死遺族支援（3） 9. 緩和ケア（1） 10. 緩和ケア（2） 11. 緩和ケア（3） 12. 災害による喪失のケア（1） 13. 災害による喪失のケア（2） 14. 災害による喪失のケア（3） 15. まとめ：ケアの本質
単位数	テキスト 講師作成資料を配布する。
2	参考書・参考資料等 ラファエル B.(著)石丸正(訳)『災害の起こるとき カタストロフィーの精神医学』みすず書房、1989年 他は授業中に紹介する。
担当者	学生に対する評価 期末試験（100%）
森崎雅好	養成をめざす力 自主性、想像力、道徳性 その他 悲嘆の支援は、支援者自身の「いのち存在」への姿勢が問われます。すなわち、自身の人間観、人生観、死生観を認識することが求められます。常に自と他の「いのち」について考えながら講義に臨んでください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：将来の御詠歌指導者の養成を目指す。 テーマ：心に響く宗教音楽として現代にも広く伝える御詠歌を学ぶ
企画科目（詠歌）	授業の概要 【前期】スライドショー等で譜の見方、楽理等解りやすく解説する。 楽器等を併用し親しみやすい御詠歌の指導方法を学ぶ。和讃と詠歌の違いを知る。 【後期】前期の目標、テーマの完成を目指す為に基礎となる詠歌、和讃を学び積極的に唱える様に研鑽を深める。
学期	授業計画 【前期】 1. 御詠歌、和讃の概要（譜の見方、歴史など）追弔和讃 2. 追弔和讃、竜華（楽理含） 3. 竜華（所作） 4. 御開創千二百年和讃（解説） 5. 御開創千二百年和讃 6. 御開創千二百年和讃（所作、仕上げ） 7. 所作（いろは歌、他） 8. 所作（いろは歌、他） 9. めぐみの光かがやきて 10. めぐみの光かがやきて 11. めぐみの光かがやきて（仕上げ、個人の実修） 12. 金剛和讃（解説） 13. 金剛和讃→後期に引続き（2時限程する） 14. 前期履修曲復習 15. 実技及び筆記試験
通年	【後期】 1. 前期総括 2. 金剛和讃 3. 金剛和讃（仕上げ） 4. 相互供養和讃 5. 相互供養和讃 6. 御砂踏御詠歌 7. 御砂踏御詠歌 8. 御砂踏御詠歌 9. 時空を越えて 10. 時空を越えて 11. 時空を越えて 12. 所作（基本復習） 13. 所作（応用、履修曲に合わせて） 14. 後期履修曲復習 15. 実技、筆記試験
単位数	テキスト 高野山金剛流御詠歌教典 同和讃集、楽理教典、法具（（教務課に貸出有り）
2	参考書・参考資料等 金剛講必携、鈴結のひびき 高野山金剛流和讃の解説
担当者	学生に対する評価 実技、筆記試験（70％） 技術の習熟度（30％）
山辻上本山文秀雄昭道慈	養成をめざす力 御詠歌の基礎力、御詠歌の専門性 その他 1. 後期履修希望者は前期履修の後受講すること 2. 詠階は一年間履修すると准教師、二年間履修すると詠修、三年間履修すれば詠教、四年間履修すれば詠範を限りとして与える。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：茶の湯の歴史・思想の理解と精神・美意識への考察、および、基本的な所作や点前の修得。 テーマ：茶の湯における主客の心と感応
企画科目（茶道）	授業の概要 日本の伝統的な文化のひとつである茶の湯の、歴史や思想についての理解を深めるとともに、実際に所作や点前を経験・修得したうえで、受講生自らが茶会を企画し実践する。 その体験などをつうじて、茶の湯の精神や美意識について考える。
学期	授業計画 【前期】 1. ガイダンス 2. 講義 茶事のながれ 3. 客の所作と心得1 お茶のいただき方（薄茶） 4. 客の所作と心得2 席入りの仕方 5. 初風炉の茶会 6. 講義 茶道史1 7. 盆略点前1 割稽古 8. 盆略点前2 割稽古の復習 9. 講義 茶道の道具について 10. 盆略点前3 通し稽古 11. 盆略点前4 通し稽古 12. 盆略点前5 通し稽古 13. 講義 茶の湯の思想1 14. 盆略点前6 通し稽古の復習 15. まとめ
通年	【後期】 1. 盆略点前の復習1 2. 盆略点前の復習2 3. 講義 茶道史2 4. 客の所作と心得3 お茶のいただき方（濃茶） 5. 茶会の企画と実践1 6. 茶会の企画と実践2 7. 炬開きの茶会 8. 茶の湯の思想2 9. 茶会の企画と実践3 10. 茶会の企画と実践4 11. 講義 茶道史3 12. 茶会の企画と実践5 13. 初釜の茶会 14. 講義 茶の湯の思想3 15. まとめ
単位数	テキスト 『学校茶道（初級編）』財団法人茶道文化振興財団発行 授業時に一括購入
2	参考書・参考資料等 谷端昭夫著『よくわかる茶道の歴史』淡交社 谷見著『わかりやすい茶の湯の文化』淡交社
担当者	学生に対する評価 授業時に随時課す提出物 30% 茶会の企画と実践 35% 期末試験 35%
岡本文音	養成をめざす力 チームワーク、想像力 その他 実習の費用として、前期・後期、それぞれ 3000 円必要です。 茶室に入れる人数に限りがありますので、受講生を制限する場合もあります。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：祭文（各種）・表白・神文・佛名・教化の習得 テーマ：初級の声明で学べなかった南山進流声明の習得
企画科目（声明上級）	授業の概要 初級に於いて学べなかった声明及び今後法要や導師として必要となる声明を研鑽する。
学期	授業計画 【前期】 1. 誕生会祭文 2. 〃 3. 〃 4. 御影供祭文 5. 〃 6. 〃 7. 涅槃講祭文 8. 〃 9. 〃 10. 〈御影供〉表白・神文・佛名・教化 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. 〃
通年	【後期】 1. 〈大般若〉表白・神文・佛名 2. 〃 3. 〃 4. 〃 5. 〈理趣法〉表白・神文 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 理趣経（中曲）後半 10. 〃 11. 云何唄 12. 〃 13. 出家唄 14. 伽陀 15. 〃
単位数	テキスト ・祭文集－高野山出版社発行 各自高野山出版社にて購入の事 ・大般若法則・御影供表白－高野山専修学院発行 講義中に伝達する
2	参考書・参考資料等 宮野有智編「南山進流声明類聚」
担当者	学生に対する評価 授業中の発表・習熟度（30％） 期末テスト（70％）
辻秀道	養成をめざす力 密教仏教の専門性、声明を唱える力 その他 受講資格を下記の通り設ける 1. 本学「声明」初級を習得した者 2. 高野山専修学院及び尼僧学院を終了した者 3. 高野山高等学校宗教科を終了した者 4. その他同等の研鑽を終了した者

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。 テーマ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。
企画科目（一流伝授Ⅰ）	授業の概要 真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。
学期	授業計画 1. 略許可、講義の概要 2. 伝授についての序説 3. 一座行法の伝授・解説（1） 4. 一座行法の伝授・解説（2） 5. 一座行法の伝授・解説（3） 6. 一座行法の伝授・解説（4） 7. 一座行法の伝授・解説（5） 8. 一座行法の伝授・解説（6） 9. 一座行法の伝授・解説（7） 10. 一座行法の伝授・解説（8） 11. 一座行法の伝授・解説（9） 12. 一座行法の伝授・解説（10）
（前集中）	テキスト 中川善教編『諸尊通用次第（中院）』3 帖 1 帙 親王院（又は東方出版） 価格 10,000 円程度 （※入手方法に就いては、事前に公示する）
単位数	参考書・参考資料等 中川善教『諸尊通用次第撮要』 親王院 大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版 等
2	学生に対する評価 講義に臨む姿勢（出欠席を含む）（50％）、レポートによる採点（50％）
担当者	養成をめざす力 密教仏教の専門性 その他 1. 受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者（※伝法灌頂修了者）に限る。 2. 受講時は高野山における平衣（空衣・白袈裟等）又は黒衣・如法衣（尼僧は灰色の褌衫も可）を必ず着用すること。改良服・作務衣等での受講は不可。 3. 前後期通して受講すること。前期のみの受講はできない。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
企画科目（一流伝授Ⅱ）	到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。 テーマ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。
学期	授業の概要
（後集期中）	真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。
単位数	授業計画
2	1. 一座行法の伝授・解説（11） 2. 一座行法の伝授・解説（12） 3. 法会等の導師の作法・所作の解説（1） 4. 法会等の導師の作法・所作の解説（2） 5. 諸尊法の伝授（1） 6. 諸尊法の伝授（2） 7. 諸尊法の伝授（3） 8. 諸尊法の伝授（4） 9. 諸尊法の伝授（5） 10. 諸尊法の伝授（6） 11. 諸尊法の伝授（7） 12. 諸尊法の伝授（8）
担当者	テキスト
甲田有咲	中川善教編『諸尊通用次第(中院)』3帖1帙 親王院(又は東方出版) 価格 10,000 円程度 (※入手方法に就いては、事前に公示する)
	参考書・参考資料等
	中川善教『諸尊通用次第撮要』 親王院 大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版 等
	学生に対する評価
	講義に臨む姿勢（出欠席を含む）(50%)、レポートによる採点（50%）
	養成をめざす力
	密教仏教の専門性
	その他
	1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者（※伝法灌頂修了者）に限る。 2、受講時は高野山における平衣（空衣・白袈裟等）又は黒衣・如法衣（尼僧は灰色の褌衫も可）を必ず着用すること。改良服・作務衣等での受講は不可。 3、前後期通して受講すること。後期のみの受講はできない。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
サンスクリット語Ⅰ（別）	到達目標：サンスクリット語の短文読解能力を身につける。 テーマ：サンスクリット語音論トレーニング
学期	授業の概要
通年	サンスクリット語における音論を中心にして、サンスクリット語という古典言語のダイナミズムに触れ、ことばの本質的な世界の楽しさを味わい、様々な言語に対する豊かな感性を養う。
単位数	授業計画
2	1. 導入：サンスクリット語とは？ 16. 動詞組織 2. アルファベットとデーヴァナガリー文字 17. 動詞組織 3. Guṇa・Vṛddhi 法則 18. 動詞組織 4. 動詞の現在組織 19. 名詞造語法 5. 語根類推トレーニング 20. 複合語トレーニング 6. 語根類推トレーニング 21. 複合語トレーニング 7. 語根類推トレーニング 22. 複合語トレーニング 8. 連声（Sandhi）法則 23. 物語文学読解トレーニング 9. Sandhi 法則トレーニング 24. 物語文学読解トレーニング 10. Sandhi 法則トレーニング 25. 仏教文献読解トレーニング 11. 代名詞、前置詞、副詞 26. 仏教文献読解トレーニング 12. 短文読解トレーニング 27. 仏教文献読解トレーニング 13. 短文読解トレーニング 28. 仏教文献読解トレーニング 14. 短文読解トレーニング 29. 仏教文献読解トレーニング 15. 短文読解トレーニング 30. 仏教文献読解トレーニング
担当者	テキスト
前谷彰	担当者作成『サンスクリット語サブグラマー』 辻直四郎『サンスクリット文法』 (絶版のため、担当者がコピーして配布する)
	参考書・参考資料等
	必要に応じて担当者が支持する。
	学生に対する評価
	課題に対する予習・復習（30%）、期末試験2回（70%）
	養成をめざす力
	外国語を読む力・書く力、忍耐力
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ
サンスクリット語Ⅱ	到達目標：文法の基礎と応用を学び、サンスクリット文学を独学するために必要な実践的知識（文法書・辞書の使用法）を習得することを目標とする。 テーマ：仏教の韻文作品、散文作品を読む
学期	授業の概要
通年	サンスクリット語の精緻な文法体系に慣れ親しみ、読解のためのコツをつかんでインド古典の深みをあじわうことをめざす。前期はサンスクリット語初級の授業において培った基礎を確認した後、基礎的な短文からはじめて、簡単な仏典作品の読解を通じて、文章把握の手がかりをつかむ。後期は、基礎的な散文を学ぶために、平易かつ正確なサンスクリット表現で定評のある、ラトナーカラシャーンティの著作などを読む。授業のレベルおよび読解する作品は、出席者の希望を尊重する。
単位数	授業計画
2	【前期】 1. 導入 2. 基礎文法の確認1 3. 基礎文法の確認2 4. 短文読解練習1 5. 短文読解練習2 6. 短文読解練習3 7. 短文読解練習4 8. 仏典作品を読む1 9. 仏典作品を読む2 10. 仏典作品を読む3 11. 仏典作品を読む4 12. 仏典作品を読む5 13. 仏典作品を読む6 14. 仏典作品を読む7 15. テスト 【後期】 1. インド古典概論 2. サンスクリットの散文、注釈文献の様式 3. 散文作品読解1 4. 散文作品読解2 5. 散文作品読解3 6. 散文作品読解4 7. 散文作品読解5 8. 散文作品読解6 9. 散文作品読解7 10. 散文作品読解8 11. 散文作品読解9 12. 散文作品読解10 13. 散文作品読解11 14. 散文作品読解12 15. テスト
担当者	テキスト
加納和雄	テキストは、コピー配布する。
	参考書・参考資料等
	ランマン『サンスクリット読本』 辻直四郎『サンスクリット文法』 岩波書店。 G.A. Tubb, Scholastic Sanskrit: A Handbook for Students, Columbia Univ Pr 2007.
	学生に対する評価
	授業中の発表など(60%)、レポート(前期・後期に各一回ずつ)(40%)
	養成をめざす力
	外国語を読む力・書く力、問題発見力
	その他
	サンスクリット語の基礎に自信のない学生も歓迎します。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：【前期】	古典チベット語の基礎文法の習得
	【後期】	簡単な文学作品にたしきながら古典チベット語の文献の読解力を養う。
	テーマ：【前期】	チベット語文語文入門
チベット語語（別）	【後期】	チベット語文献に親しむ
	授業の概要	
	近年注目をあつめるチベット情勢。いっぽうはるか昔から伝統が培われてきたチベットの仏教。	
	そのいずれを知るためにもチベット語は必須となる。	
（別）	前期は、文字の書き方や、古典チベット語の文法の基礎を解説しながら、チベット語の特徴を学ぶ。また、発音やアクセントについてはラサ地方の口語チベット語を参考にしながら、チベット語の生きた姿にも慣れ親しむ。	
	後期は、前期の講義で学習した文法を復習しながら、仏典、伝記、詩を中心に、チベット語（文語）の文献を少しずつ読む。はじめてチベット語を学ぶ人のための入門クラス。	
	授業計画	
	【前期】	【後期】
学期	1. オリエンテーション	1. 導入
	2. 文字を学ぶ	2. 重要文法事項の再確認
	3. 構文法と発音（1）	3. チベット語短篇作品を読む－仏典－（1）
	4. 構文法と発音（2）	4. チベット語短篇作品を読む－仏典－（2）
通年	5. 辞書の引き方	5. チベット語短篇作品を読む－仏典－（3）
	6. 名詞、人称代名詞	6. チベット語短篇作品を読む－仏典－（4）
	7. 数詞と数の表現	7. チベット語短篇作品を読む－伝記－（5）
	8. 指示代名詞と形容詞	8. チベット語短篇作品を読む－伝記－（6）
単位数	9. 動詞と助動詞（1）	9. チベット語短篇作品を読む－伝記－（7）
	10. 動詞と助動詞（2）	10. チベット語短篇作品を読む－伝記－（8）
	11. 動詞と助動詞（3）	11. チベット語短篇作品を読む－韻文作品－（9）
	12. 格助辞（1）	12. チベット語短篇作品を読む－韻文作品－（10）
2	13. 格助辞（2）	13. チベット語短篇作品を読む－韻文作品－（11）
	14. その他の辞、副詞	14. チベット語短篇作品を読む－韻文作品－（12）
	15. 疑問代名詞、関係代名詞	15. テスト
	※折に触れて、チベットの文化や歴史についても紹介します。	
担当者	テキスト	
	コピーを配布する。	
	H.A. イェシュケあるいはチャンドラ・ダスの『蔵英辞典』（臨川書店）をどちらも購入のこと。	
	参考書・参考資料等	
加納和雄	山口瑞鳳『概説チベット語文語文典』（春秋社）	
	松本栄一・奥山直司『チベット「マンダラ」の国』（小学館）	
	※その他、必要に応じて講義の中で指示します。	
	学生に対する評価	
加納和雄	授業中の発表など（60%）、レポート（40%）	
	養成をめざす力	
	外国語を読む力・書く力・話す力	
	その他	
	チベットに興味のある方は、どなたでも歓迎いたします。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：【前期】 高野山で道を尋ねられた時など外国人旅行者と接するシチュエーションで簡単な会話ができるようになる。 【後期】 外国語旅行者を高野山案内する際に使える英語を身につける。	
	テーマ：【前期】 高野山で外国人旅行者に英語でおもてなし 【後期】 英語で高野山めぐり	
	授業の概要	
英会話	【前期】 高野山を訪れる外国人旅行者が困っているとき何か手助けできるのはよいことです。あわせて必要な情報を英語で提供できれば、相手にも喜んでもらえ、自分の英語を磨くチャンスにもできます。練習をしましょう。 【後期】 高野山を訪れた外国人旅行者に伽藍、奥の院などメインのスポットを案内するさい使える英語を習い、あわせて密教について少し英語で話せるよう学びましょう。	
	授業計画	
学期	【前期】 1. ガイダンス 2. もう一度と聞き返すには 3. 道を尋ねられたら（1） 4. 道を尋ねられたら（2） 5. 道を尋ねられたら（3） 6. 道を尋ねられたら（4） 7. 食べ物屋さんでメニューを開かれたら（1） 8. 食べ物屋さんでメニューを開かれたら（2） 9. 食べ物屋さんでメニューを開かれたら（3） 10. 食べ物屋さんでメニューを開かれたら（4） 11. ロールプレイで練習しよう（1） 12. ロールプレイで練習しよう（2） 13. ロールプレイで練習しよう（3） 14. ロールプレイで練習しよう（4） 15. まとめのフリートーキング	【後期】 1. ガイダンス 2. 英語で密教について話す（1） 3. 英語で密教について話す（2） 4. 英語で密教について話す（3） 5. 英語で密教について話す（4） 6. 英語で壇上伽藍を案内する（1） 7. 英語で壇上伽藍を案内する（2） 8. 英語で壇上伽藍を案内する（3） 9. 英語で壇上伽藍を案内する（4） 10. 英語で奥の院を案内する（1） 11. 英語で奥の院を案内する（2） 12. 英語で奥の院を案内する（3） 13. 英語で奥の院を案内する（4） 14. まとめの英語スピーチ（1） 15. まとめの英語スピーチ（2）
	※プログラムは改訂される場合があります。	
単位数	テキスト	
	必要に応じて担当者からプリントを配布します。	
2	参考書・参考資料等	
担当者	英和辞典を持参してください（電子辞書も可）。	
	学生に対する評価	
T.ドライライン	会話練習の積極性（40%）、試験（60%）で評価します。	
	養成をめざす力	
	外国語を聴く力・話す力、国際感覚	
	その他	
	【前期】 恥ずかしがってはいけません。教室でたくさん失敗し、覚えた表現は積極的に実地で使ってみましょう。ためらいなく、Do you need any help? と言えるようになりましょう。 【後期】 普段からインターネットのラジオを利用し、英語音声に耳を慣らしおきましょう。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：「学習のための学習」ではなく、実社会で使える語学の習得を目指す。 外国語学習を通して母国語と自国文化をより深く理解し、国際的な広い視野をもった人材を養いたい。 テーマ：中国語の基礎学習 ニーハオから始めよう！	
中国語 (初級)	授業の概要	
	視覚的に「漢文」として中国語をとらえるのではなく「聞く」「話す」に重点をおいた授業を行う。 正確な発音をマスターし、日常の挨拶語や平易な文など基本的文型の修得を目指す。	
	授業計画	
	【前期】 1. 年間授業計画の説明。中国に関する一般常識、中国語の特性、外国語学習の方法と意義など。 2. 「四声」と呼ばれる声調と、中国語の発音記号「ピンイン」の習得。徹底的な発音練習。 3. 中国独特の漢字「簡体字」の学習。 4. 「四声」と「ピンイン」の習得。電子辞書を含む中国語辞書の紹介と使い方の説明。 5. 「簡体字」と「ピンイン」で書いた受講者のネームカードを配り、名前を使った発音練習。以後出欠は中国語でとる。 6. 「四声」「ピンイン」「簡体字」のある程度習得すれば、テキストに従って挨拶や基本的な文型を学習する。 7-14. テキストを中心とした授業。 前期中に第1～4課を学習予定（学生の理解度により随時学習単元を増減）。文法解説は必要最低限とし、「聞く」「話す」に重点をおいた授業に徹する。 常用文の暗誦（文章丸暗記こそ語学学習の近道！）を義務付ける。実際に使える中国語の習得をめざす。 15. 前期試験について。アンケート。	【後期】 1. 前期に学習した「四声」「ピンイン」「簡体字」と、テキスト既習単元の総復習。前期試験の反省。 2-14. テキストを中心とした授業。 テキスト第5～8課を学習予定（学生の理解度により随時学習単元を増減）。 文法解説は前期よりやや増やすものの、煩雑にならない程度とし、既習文が実際に通じるかどうかを具に検証する。 学生の発言機会を増やし、発音・文法を正しながら「聞く」「話す」に重点をおいた授業に徹する。 常用文の暗誦を義務付け、実際に「聞ける」「話せる」中国語の習得をめざす。 また随時、日中関係など国際社会における中国の立場を検証し、現代中国の抱える諸問題についても考えてゆきたい。 15. 後期試験について。アンケート。
学期		
通年		
単位数	テキスト	
2	喜多山幸子・鄭幸枝『はじめて！中国語』白水社 ※生協で購入	
担当者	参考書・参考資料等	
	辞書（小学館の『中日辞典』など）はぜひとも購入してもらいたい。電子辞書やその他参考書籍についても授業中随時紹介する。その都度必要な資料を作成、配布する。	
土生川正賢	学生に対する評価	
	①試験（評価50%）：②授業中の発表や受講態度（評価25%）：③出欠状況（評価25%）を基準とし、総合的に判定する。但し、中国語に自信のある学生は出欠を問わず試験に合格すれば及第点は与える。	
	養成をめざす力	
	外国語を聴く力・話す力、国際感覚	
	その他	
	聞けぬ話せぬ語学では実社会では役に立たない。受講者の大部分は文法学者ではなく、多少とも実際に使える語学を志していると考ええる。簡単な挨拶文から始めるので、学生諸君には積極的に会話する姿勢を要求したい。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：国際的な視野をもち、中国語を使って仕事ができる人材を育成したい。 我が国の歴史・文化・政治的立場等を、中国語で堂々と主張できる国際人の養成。	
	テーマ：実践的中国語 中国語で意思表示しよう！	
	授業の概要	
中国語（上級）	基本的に初級クラスの延長であり、受講生の語学力にあわせた個別指導を行うので安心して受講して頂きたい。各々のレベルに応じて、実践的な中国語を修得できるよう指導する。	
	授業計画	
	【前期】 1. 年間授業計画の説明。初級クラスで学んだ中国語の発音と基本的文型など、語学力のチェックと復習。 2. 初級クラスで学んだ中国語の基礎復習。発音の再チェック。辞書・参考文献の紹介。 3-8. 初級クラス同様「聞く」「話す」に重点を置き、文法の基礎固めをしながら、初級でやり残したテキスト単元を学習。 9-14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 実際に使える中国語の習得をめざす。目で中国語を「見る」のではなく、常用文の暗誦により「聞く」「話す」という「音」に重点をおいた授業を行なう。 常用文を活用し、学生個々が中国語で自己の意思表示ができるようにつとめたい。 ヒアリング能力向上のため、可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。 15. 前期試験について。アンケート。	【後期】 1. 前期に学んだテキスト既習単元と基本文型の総復習。前期試験の反省。 2-14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 前期同様、実践的な中国語の習得をめざす。毎回、常用文の暗誦を義務付け、それを基礎として段階的に応用し、学生個々が中国語で自己の意思表示ができるようにつとめたい。 学生の発言機会を増やし、発音・文法を正しながら、引き続き「聞く」「話す」に重点をおいた授業に徹する。各人がレベルアップを実感できるようにつとめたい。可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。 年間を通して、日中関係など国際社会における中国の立場を検証し、現代中国の抱える諸問題についても考えてゆきたい。 15. 後期試験について。アンケート。
	学期	
通年		
単位数	テキスト	
	初級クラスで使った教科書の未修単元。 今年度は喜多山幸子・鄭幸枝『はじめて！中国語』白水社 ※生協で購入	
2	参考書・参考資料等	
担当者	上記テキスト全単元学習した後は、その都度必要な教材・資料を配布する。 電子辞書やその他参考書籍は授業中随時紹介する。辞書は毎回必携（電子辞書可）。	
	学生に対する評価	
	筆記試験と中国語による個別面接試験、授業中の発表やレポート、受講態度に出欠状況を加味して総合的に判定する。但し、中国語に自信ある学生は、出欠にかかわらず試験に合格すれば及第点は与える。	
	養成をめざす力	
土生川正賢	外国語を聴く力・話す力、国際感覚	
	その他	
	受講生のレベルにあわせた個別指導を心がけるので心配なく！ 諸君の先輩の中には北京大・復旦大・中山大など中国の一流の大学院に国費留学し学位取得した者もいる。井の中の蛙で終わらないでほしい。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 自らの健康・体力の保持増進を図るための素地を養い、良好な人間関係や社会性を身につけることを目的とする。	科目名
体育実技	授業の概要 【前期】 バレーボールを中心に団体競技のゲームを楽しみながら、仲間づくりと生涯スポーツとして親しめるように指導。 【後期】 バドミントンを中心に対人競技のゲームを楽しみながら、仲間づくりと生涯スポーツとして親しめるように指導。 授業計画 【前期】 バレーボール 1. 体育授業についての諸注意 2. 基礎動作の徹底 3. チームづくり、チームメイトと協力してゲームを楽しむ 4.	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：旧約聖書についての基礎的知識を獲得する。 テーマ：旧約聖書の宗教思想	科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：キリスト教の宗教思想について、基礎的知識を獲得する テーマ：キリスト教の宗教思想
宗教思想史Ⅰ	授業の概要 旧約聖書の宗教思想を概説します。旧約聖書という書物の性格を概観した後、天地創造神話をはじめとする様々な内容が持つ宗教思想的な意味を解説します。 授業計画 1. オリエンテーション 2. 旧約聖書とは？ 3. 天地創造神話の概要 4. 天地創造神話の意味 5. 神の似姿としての人間 6. 旧約聖書における人間の位置と現代 7. アブラハムによるイサクの献供 8. 出エジプトの物語 9. 十戒 10. 十戒の意味（1） 11. 十戒の意味（2） 12. 罪と許し 13. 智恵文書の思想 14. 預言者たちの言葉 15. まとめ テキスト なし 参考書・参考資料等 関根清三『倫理の探索』中公新書 学生に対する評価 授業参加度 40 点、小テスト 20 点、期末テスト 40 点 養成をめざす力 国際的視野、論理的思考力 その他	宗教思想史Ⅱ	授業の概要 キリスト教の宗教思想を概説します。近年明らかになってきた、イエスという人物の歴史的実像を紹介した後、キリスト教の教理を解説します。 授業計画 1. オリエンテーション 2. 新約聖書とは？ 3. 史的イエスの問題 4. マルコの福音書の問題 5. イエスの生涯 6. 宗教批判者としてのイエス 7. イエスの思想 8. ユダヤ教イエス派からキリスト教へ 9. ペテロ 10. パウロ 11. キリスト教教理の成立（1）ニカイア前史 12. キリスト教教理の成立（2）三位一体の神 13. キリスト教教理の成立（3）三位一体論の存在論 14. キリスト教教理の成立（4）キリスト論 15. まとめ テキスト なし 参考書・参考資料等 田川建三『イエスという男』三一書房 坂口ふみ『個の誕生』岩波書店 学生に対する評価 授業参加度 40 点、小テスト 20 点、期末テスト 40 点 養成をめざす力 国際的視野、論理的思考力 その他
学期		学期	
前期		後期	
単位数		単位数	
2		2	
担当者		担当者	
山脇雅夫		山脇雅夫	

科目名	心理学Ⅰ（別）
学期	前期
単位数	1・2
担当者	戸来知子
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：心理学の基本的な知識を習得する。 テーマ：フロイトに始まる心理学の系譜に沿って、自我心理学や発達心理学を中心に心理学を理解する。	
授業の概要 この授業では、心理学全般について紹介する。フロイト由来の自我心理学や発達心理学を中心に、人間の心の成長を考える。人間存在の実相を概観しながら、心のしくみとその成長のプロセスを理解する。	
授業計画 - オリエンテーション、授業計画の説明、心理学の歴史とその全体的な枠組みの紹介する。 - 実験心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学など、心理学の多様性とその関連性。 - フロイトの思想とその人生について。 - フロイトの考えた意識・無意識の理論、リビドーという概念について。 - 心的外傷理論、エディプスコンプレックスなど、フロイト由来の様々な概念について。 - ユング心理学の紹介、アニマ、タナトス等、ユング心理学の獨創性。 - エリクソンの自我心理学、エリクソンの人生と研究との関連性。 - エリクソンのライフサイクル論について（その1）、乳児期、幼児期初期、児童期。 - エリクソンのライフサイクル論について（その2）、青年期、前成人期、アイデンティティ考察。 - エリクソンのライフサイクル論について（その3）、成年期、老年期。 - ピアジェの子どもの発達理論の紹介。 - ブルナーの発達論の紹介。 - コールバーグの道徳性心理学の紹介。自尊感情、正義、倫理観の発達。 - ノディングスの「ケアリング」論、「善い」と「正しい」の関連性。 - まとめ。授業を振り返り、疑問点等、復習する。	
テキスト 特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。	
参考書・参考資料等 小此木啓吾著『フロイト思想のキーワード』講談社現代新書 放送大学テキスト 『精神分析とユング心理学』『心理学概論』 他は授業中に紹介する。	
学生に対する評価 授業中の小レポートを学期末試験の10%として加算する。	
養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力	
その他 毎回、出席をとる。配布した資料や参考文献を必ず読むこと。	

科目名	心理学Ⅱ（別）
学期	後期
単位数	1・2
担当者	戸来知子
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：心理学とは、どのような学問かを理解し、その基本的な知識を習得する。カウンセリングの理論の基礎知識を学ぶ。 テーマ：フロイト由来の心理学から派生した、様々な心理学の理論を学ぶ。臨床心理学やカウンセリングの分野を中心に学	
授業の概要 前期の「心理学Ⅰ」に続く授業とする。臨床心理学やカウンセリングの基礎となっている心理学を学習する。また、人間の心の概念の他、性格や人格についても学習する。	
授業計画 - オリエンテーション。授業の進め方、授業計画。心理学の歴史とその全体像の紹介。 - 様々な心理学の紹介。現在の臨床心理学の成り立ちについて。 - 人間の心についての理解。フロイトやユングの心の概念。 - ライフサイクル論について（エリクソン、レビンソン等）。 - マズローの自己実現の理論。 - ロジャースのカウンセリング理論（その1）、ロジャースの理論の基礎。 - ロジャースのカウンセリング理論（その2）、クライエント中心療法。 - マズローの自己実現の理論の概要。 - アドラー心理学の基礎理論の紹介。 - アイゼンクの性格類型論。リコーナの性格の理論について - オールポートの人格心理学の紹介。 - 様々な心理療法について。認知行動療法。内観法。自由連想法等。 - パーソナリティーの障害について。 - 境界性人格障害について理解を深める。 - まとめ。疑問点の再確認等。	
テキスト 特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。	
参考書・参考資料等 放送大学テキスト 『臨床心理学特論』（改訂新版） 『心理学カウンセリング序説』（改訂新版）	
学生に対する評価 授業中の小レポートを学期末試験の10%として加算する。	
養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力	
その他 毎回、出席をとる。理解を深めるために、授業中に配布する資料を必ず読むこと。	

科目名	社会学Ⅰ
学期	前期
単位数	2
担当者	藤吉圭二
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：・社会学が蓄積してきた基本的な思考スタイルに触れる。 ・参考文献を正確に書き写す力をつける。 テーマ：・自己・他者・関係	
授業の概要 テキストには20ほどの社会学者が取り上げられている。これらのうちいくつかを選び、社会学の基本的な問題意識と関連させつつ、その内容を解説していく。	
授業計画 - ガイダンス - 行為と演技（1） - 行為と演技（2） - 行為と演技（3） - 自己と他者（1） - 自己と他者（2） - 自己と他者（3） - 意味と現実（1） - 意味と現実（2） - 意味と現実（3） - 関係の力学（1） - 関係の力学（2） - 言語とコミュニケーション（1） - 言語とコミュニケーション（2） - まとめ	
テキスト 井上俊・伊藤公雄編『自己・他者・関係』（社会学ベーシックス1）世界思想社、2000 年程度。 ※生協・書店などで購入しておくこと。	
参考書・参考資料等 バーガー（蘭田稔訳）『聖なる天蓋 神聖世界の社会学』新曜社（1979） ※図書館で借りてみるとよろしい。	
学生に対する評価 ・毎回の授業時に実施する小テスト…50 点 ・定期試験…50 点 ※詳細はガイダンスで説明する。	
養成をめざす力 読む力、書く力	
その他 ・テキストを購入しておくこと（試験でも使用する）。 ・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。 ・テキストを持参しない者は著しい不利をこうむることがある。	

科目名	社会学Ⅱ
学期	後期
単位数	2
担当者	藤吉圭二
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：・現代文化の諸現象を社会学的視点から分析するトレーニングを積む。 ・参考文献を正確に書き写す力をつける。 テーマ：現代文化の社会学	
授業の概要 テキストには現代社会を考えるうえで重要な15ほどの文化現象が取り上げられ、その意義やそれを考察するための社会学的視点が紹介されている。これらのうちいくつかを選び、解説していく。	
授業計画 - ガイダンス - 流行としての現代文化（1） - 流行としての現代文化（2） - 流行としての現代文化（3） - 流行としての現代文化（4） - 流行としての現代文化（5） - 民俗としての現代文化（1） - 民俗としての現代文化（2） - 民俗としての現代文化（3） - 民俗としての現代文化（4） - 変容する現代文化（1） - 変容する現代文化（2） - 変容する現代文化（3） - 変容する現代文化（4） - まとめ	
テキスト 小川伸彦・山 泰幸編『現代文化の社会学 入門』（社会学ベーシックス2）ミネルヴァ書房、3000 年程度。 ※生協・書店などで購入しておくこと。	
参考書・参考資料等 宮本常一『忘れられた日本人 宮本常一著作集』未来社（1971） ※図書館で借りてみるとよろしい。	
学生に対する評価 ・毎回の授業時に実施する小テスト…50 点 ・定期試験…50 点 ※詳細はガイダンスで説明する。	
養成をめざす力 読む力、書く力	
その他 ・テキストを購入しておくこと（試験でも使用する）。 ・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。 ・テキストを持参しない者は著しい不利をこうむることがある。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：説話の構造を理解し、その面白さを知る。 テーマ：説話の魅力
日本文学Ⅰ	授業の概要 毎回いくつかの説話を読み、その魅力について考えてみる。その際、それぞれの説話の背景にも触れる。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 鼻の長い僧（宇治拾遺物語） 3. 家に戻った死体（宇治拾遺物語） 4. 夢を買った男（宇治拾遺物語） 5. 安倍晴明と蛙（宇治拾遺物語） 6. 様々な教え（十訓抄） 7. 天狗 その1（今昔物語集・宇治拾遺物語） 8. 天狗 その2（古今著聞集） 9. 家来になるには（十訓抄） 10. 八幡太郎の力（古今著聞集） 11. 女房の入水（発心集） 12. 恋に迷った僧（俊賴髄脳） 13. 牛になった僧（沙石集） 14. 高野に住む子供 その1（発心集） 15. 高野に住む子供 その2（発心集）
前期	テキスト 教員が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 黒田日出男『龍の棲む日本』（岩波新書）
2	学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50%）、定期試験（50%）
担当者	養成をめざす力 日本語を読む力、問題発見力、想像力
浜畑圭吾	その他 私語厳禁。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：芥川文学の魅力を知る。この講義をきっかけにして、様々な近現代文学を読んでもらいたい。 テーマ：芥川文学の魅力
日本文学Ⅱ	授業の概要 芥川龍之介には、雑誌『赤い鳥』などに載せた「年少物」と呼ばれる作品群がある。年少者を対象とした短編とはいえ、「蜘蛛の糸」のように芥川の代表作となったものもあり、その魅力は現代でも色あせてはいない。また、『今昔物語集』などの古典に取材した一連の作品群（「王朝物」）には、名作と呼ばれるものが多い。そこで本講義では、「年少物」と「王朝物」を中心に読み、芥川文学の魅力に迫ってみたい。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 芥川龍之介概説 3. 「蜘蛛の糸」「犬と笛」 4. 「魔術」 5. 「杜子春」 6. 「アグニの神」「仙人」 7. 「トロッコ」「猿蟹合戦」 8. 「白」 9. 「羅生門」 10. 「鼻」 11. 「芋粥」 12. 「袈裟と盛遠」 13. 「好色」 14. 「俊寛」 15. まとめ
後期	テキスト 教員が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 新潮日本文学アルバム『芥川龍之介』
2	学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）
担当者	養成をめざす力 日本語を読む力、問題発見力、想像力
浜畑圭吾	その他 私語厳禁。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：古文を正しく解釈できるように、古典（文語）文法の正しい知識を得ること。 テーマ：用言の活用
国文法Ⅰ	授業の概要 文語文法（古典文法）の知識を習得する。前期はおもに用言、つまり述語になる動詞・形容詞・形容動詞の活用とその種類を中心にそれぞれの品詞の特質を考える。
学期	授業計画 1. 古典文法は何のために学ぶのか 2. 文語文法と口語文法のちがい 3. 文節とはなにか 4. 動詞とはどのような品詞か 自動詞と他動詞 5. 動詞の活用（1）四段活用 6. 動詞の活用（2）上一段活用と上二段活用 7. 動詞の活用（3）下一段活用と下二段活用 8. 動詞の活用（4）変格活用 ナ変とラ変 9. 動詞の活用（5）変格活用 サ変とカ変 10. 形容詞とはどのような品詞か 11. 形容詞のク活用とシク活用 12. 形容動詞とはどのような品詞か 13. ナリ活用とタリ活用 14. 用言の総合問題 15. まとめ
前期	テキスト 教員が作成した教材を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 （1）高校で使用した「古典文法」の本（どこの出版社のものでも可） （2）古語辞書（電子辞書でも可）
2	学生に対する評価 （1）定期試験（50%） （2）2回的小テスト（50%）
担当者	養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力
下西忠	その他 受講者についてはとくに限定しないが、国語の教育免許状を取得しようとする学生は必ず受講してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：助動詞の正しい知識と敬語の基礎、とりわけ敬意の対象を理解すること。 テーマ：文語の助動詞と敬語法
国文法Ⅱ	授業の概要 古典（漢文もふくめて）を正しく解釈するためには、古典文法の正しい知識は必須条件である。とくに助動詞の知識は大切である。接続・活用形などの正しい理解に注意しながら、丁寧に講義をすすめていく。途中で理解度を確かめる意味で小テストを3回、また敬語の基礎も1回的小テストを実施する。
学期	授業計画 1. 助動詞とはどのようなものか 2. 受身・尊敬・自発・可能の助動詞「る」「らる」、打消「ず」、打消推量の助動詞「じ」 3. 使役・尊敬の助動詞「す」「さす」「しむ」、願望の助動詞「まほし」 4. 推量の助動詞（1）「む」「けむ」「らむ」 5. 推量の助動詞（2）「らし」「めり」、反実仮想「まし」 6. 推量の助動詞（3）「べし」 7. 完了の助動詞（1）「つ」「ぬ」 8. 完了の助動詞（2）「たり」「り」 9. 過去の助動詞「き」「けり」、願望の助動詞「たし」 10. 伝聞・推定の助動詞「なり」 11. 断定の助動詞「なり」「たり」、比況の助動詞「ごとし」 12. 敬語の基礎 尊敬語・謙譲語・丁寧語とはどのようなものか 13. 敬意の主体と対象 14. 「給ふ」「奉る」「聞こゆ」の識別 15. 敬語の課題
後期	テキスト 教員が作成した教材を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 （1）高校で使用した「古典文法」の本（どこの出版社のものでも可） （2）古語辞書（電子辞書でも可）
2	学生に対する評価 （1）4回的小テスト（80%） （2）定期試験（20%）
担当者	養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力
下西忠	その他 受講生についてはとくに限定しないが、国語の教育免許状を取得しようとする学生は必ず受講してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。 テーマ：言語としての日本語
国語学Ⅰ	授業の概要 テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な内容を講義する。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小レポート等、受講者に積極的に参加してもらうようにする。
授業計画	1. 言語と人間 二重分節性、言語の機能（1） 2. 同（2） 3. 日本語の音声・音韻 音声と音韻、単音の分類、母音（1） 4. 同（2） 5. 日本語の音声・音韻 音声器官、子音の基本事項（1） 6. 同（2） 7. 日本語の音声・音韻 清濁、拗音（1） 8. 同（2） 9. 日本語の音声・音韻 拍と音節、特殊拍、アクセントとその役割（1） 10. 同（2） 11. 日本語の文字表記 日本語の表記の特色、漢字の将来（1） 12. 同（2） 13. 日本語の文字表記 漢字の構造と用法（六書）、音と訓、国字・国訓（1） 14. 同（2） 15. 日本語の文字表記 平仮名・片仮名、ローマ字
学期	テキスト 藤田保幸『緑の日本語』和泉書店、2010年 生協で購入
前期	参考書・参考資料等 ジョージ・ユール『現代言語学 20 章－言葉の科学－』（大修館書店） 小泉保『教養のための言語学コース』（大修館書店） 他は授業中に紹介。
単位数	学生に対する評価 都度の課題（30%）、授業中の発表、ディスカッションへの参加度（10%）、および期末の試験（60%）による。
2	養成をめざす力 問題発見力、日本語の基礎知識
担当者	その他 授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。
上田恭寿	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。 テーマ：言語としての日本語
国語学Ⅱ	授業の概要 テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な内容を講義する。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小課題等、受講者に積極的に参加してもらうようにする。
授業計画	1. 日本語の語彙 語彙の概念、語彙量、理解語彙等、語彙調査（1） 2. 同（2） 3. 日本語の語彙 語種（和語・漢語・外来語）（1） 4. 同（2） 5. 日本語の語彙 語彙と位相（位相とは、女性語、隠語）（1） 6. 同（2） 7. 本語の文法 学校文法とその限界、文法と言語生活（1） 8. 同（2） 9. 日本語の文法 現代の文法の考え方、隣接分野としての語用論（1） 10. 同（2） 11. 日本語の方言 方言とは、東西差、方言区画、方言周囲論（1） 12. 同（2） 13. 日本語の位置 世界の中の日本語の位置、日本語の特質（1） 14. 同（2） 15. まとめ
学期	テキスト 藤田保幸、『緑の日本語教本』、和泉書店、2010年 生協で購入
後期	参考書・参考資料等 ジョージ・ユール、『現代言語学 20 章－言葉の科学－』（大修館書店） 小泉保、『教養のための言語学コース』（大修館書店） 他は授業中に紹介。
単位数	学生に対する評価 都度の課題（30%）、授業中の発表、ディスカッションへの参加度（10%）、および期末の試験（60%）による。
2	養成をめざす力 問題発見力、日本語の基礎知識
担当者	その他 授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。
上田恭寿	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代において特に論争の焦点となっている法的権利について、その法的背景なども視野に入れた上で理解すること、及び批判的思考ができること。 テーマ：憲法と人権
現代の人権と福祉（別）	授業の概要 授業はパワーポイントを利用し講義形式とします。 現代社会においては憲法に規定された従来の伝統的な人権の枠組みでは捉えきれない新たな人権が重要となってきています。本講義は、憲法上の権利、特に新しい人権と、権利の現代的展開に焦点を当てながら、法的な側面から現代社会を理解しようとする試みです。
授業計画	社会において現代の人権と関わる新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、参加する学生諸君の関心にもなるべく、応えていこうと思いますので、適宜変更の可能性がります。 1. イントロダクション（人権概念） 2. 国際的人権保障（紛争と人権） 3. 国際的人権保障（国際的な人権保障の枠組み）① 4. 国際的人権保障（国際的な人権保障の枠組み）② 5. 憲法総論（幸福追求権・自己決定権） 6. 医療における自己決定権（治療選択の権利・死ぬ権利） 7. 新たな医療技術とそれを用いる権利（子どもを産む権利）① 8. 新たな医療技術とそれを用いる権利（子どもを産む権利）② 9. 臓器移植と臓器の売買？ 10. クローン技術規制法 11. 人の選別と優生思想（選択的堕胎と受精卵診断）① 12. 人の選別と優生思想（選択的堕胎と受精卵診断）② 13. 公害問題と環境権（日本の環境保護法制） 14. 地球温暖化問題と京都議定書（国際社会の取り組み）
学期	テキスト 特に指定しない。
後期	参考書・参考資料等 竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』（第三版）
単位数	学生に対する評価 定期試験により（60%）、授業中のミニッツ・ペーパーや（行った場合には）小テストにより（40%） 授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。 授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。
2	養成をめざす力 論理性、議論する力
担当者	その他 受講者は（あるいは大学生はそもそも）新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。
竹村和也	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：憲法の基本的な枠組みと幾つかの権利に関して基本的な理解を得ること、及び批判的な思考ができること。 テーマ：憲法と人権
日本国憲法	授業の概要 憲法は国の基本的なあり方を定めた法であり、また守るべき理念や価値を定めた法です。本講義では憲法の中の人権規定とそれに関連するほかの法分野について、特に現代社会において問題となっている権利に焦点を当てます。特に、裁判員制度の開始を迎え刑事裁判に社会の関心があつまり、また、この数年冤罪問題がクローズアップされるなか、捜査・裁判における人権に焦点を当てる予定です。さらに、家族関係における平等の問題も取り扱う予定です。
授業計画	社会的に注目される新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、進捗により適宜変更の可能性はありますから、あくまで目安として、 1. イントロダクション（近代憲法と立憲主義） 2. 刑事司法の過程と身体的自由権（捜査と被疑者の権利）① 3. 刑事司法の過程と身体的自由権（捜査と被疑者の権利）② 4. 刑事司法の過程と身体的自由権（裁判と被告人の権利）① 5. 刑事司法の過程と身体的自由権（裁判と被告人の権利）② 6. 国民の司法参加① 7. 国民の司法参加② 8. 裁判員制度① 9. 裁判員制度② 10. 財産権と私法① 11. 財産権と私法② 12. 平等権と家族① 13. 平等権と家族② 14. 予備
学期	テキスト 特に指定しない。
後期	参考書・参考資料等 竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』（第三版）
単位数	学生に対する評価 定期試験により（60%）授業中のミニッツ・ペーパーや（行った場合には）小テストにより（40%） 授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。 授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。
2	養成をめざす力 論理性、批判的思考力
担当者	その他 受講者は（あるいは大学生はそもそも）新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。
竹村和也	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
情報処理	到達目標： 【前期】各自がホームページとブログを公開して、管理、更新を行うこと。 【後期】プレゼンテーションの計画能力とパワーポイントのスキルの習得。 テーマ：コンピュータにおける情報の編集と発信についてのスキルを養成する。	
	授業の概要	
	【前期】情報処理演習室（パソコン教室）でホームページ制作およびブログ作成を行い、情報の発信の方法に熟習する。（制作の過程で画像処理アプリケーションなどのスキルを習得する。） 【後期】パワーポイントを用いたプレゼンテーションの方法に熟習する。	
	授業計画	
学期	【前期】	【後期】
	1. ガイダンス 2. メール設定・個人ブログ設定 3. ホームページ企画構成（1） 4. ホームページ企画構成（2） 5. ホームページ制作（1） 6. ホームページ制作（2） 7. ホームページ制作（3） 8. ホームページ制作（4） 9. 中間 プレゼンテーション 10. ホームページ制作（5） 11. ホームページ制作（6） 12. ホームページ制作（7） 13. ホームページ制作（8） 14. 完成プレゼンテーション（1） 15. 完成プレゼンテーション（2）	1. ガイダンス 2. パワーポイント基礎（1） 3. パワーポイント基礎（2） 4. パワーポイント基礎（3） 5. プレゼン計画 原稿・素材制作（1） 6. プレゼン計画 原稿・素材制作（2） 7. プレゼン計画 原稿・素材制作（3） 8. プレゼン計画 原稿・素材制作（4） 9. 中間 プレゼンテーション 10. パワーポイント制作（1） 11. パワーポイント制作（2） 12. パワーポイント制作（3） 13. パワーポイント制作（4） 14. 完成 プレゼンテーション（1） 15. 完成 プレゼンテーション（2）
通年	テキスト	
単位数	必要に応じ授業中にプリントを配布する。	
2	参考書・参考資料等	
担当者	IT スキルの本はいろいろ出ているので自分の読みやすいものを見つけて1冊もっておくとよい。	
	学生に対する評価	
	通年評価：ホームページ35点、パワーポイント35点、プレゼンテーション30点 ※詳細はガイダンスで説明する。	
野口博司	養成をめざす力	
	情報技術（IT）、論理性、創造力	
	その他	
	使用予定アプリケーション	
	【前期】：Movable Type（ブログ＋ホームページ作成ソフト） ドロー・レタッチ系ソフト	
	【後期】：PowerPoint（プレゼンテーションソフト） ドロー・レタッチ系ソフト	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
梵字悉曇	到達目標： 【前期】梵字悉曇の基礎知識の修得 【後期】梵字悉曇（応用編）・真言、陀羅尼の書法実践 テーマ： 【前期】梵字悉曇の基礎知識 【後期】梵字悉曇の応用	
	授業の概要	
	【前期】摩多・体文・切継など、書法を実践しながら基礎知識を修得する。 【後期】前期で修得した文字を基本に、常用經典にある真言・陀羅尼を学び、その書法を実践する。	
	授業計画	
学期	【前期】	【後期】
	1. 年間授業計画の説明 2. 梵字悉曇の歴史と筆記用具（1） 3. 梵字悉曇の歴史と筆記用具（2） 4. 5. 6. 7. 8. 文字の修得 9. 字母五十一字（摩多・体文） 10. 悉曇十八章（切継について） 11. 12. 13. 14. 15.	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.
通年	テキスト	
単位数	兄玉義隆著『梵字必携』朱鷺書房 中川善教 編『真言宗常用諸経要聚』	
2	参考書・参考資料等	
担当者	静慈圓著『梵字悉曇』朱鷺書房	
	学生に対する評価	
	作品提出100%（前期・後期2回により採点）	
齋藤天譽	養成をめざす力	
	密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、外国語を書く力	
	その他	
	筆と半紙を準備（授業の最初に説明します）。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
常用經典	到達目標：『理趣経』、『梵網経』、梵網経、礼懺、三陀羅尼、般若心経、立義分、諸真言等が読誦できる様に務めます。 テーマ：真言宗の常用經典の読誦法（お経の読み方）の習得（他）	
	授業の概要	
	『理趣経』、『観音経』、『梵網経』を中心に、寺院日常の勤行・法要などに用いる諸經典の読誦法を習得し、順次『般若心経』や『立義分』など短い偈文などを暗誦できるように務めます。 また、僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『金胎礼懺』『三陀羅尼』読誦に務めます。 回忌法要やお盆の棚経などの日常の檀務・年忌法要についても、その意義と実践を学びます。	
	授業計画	
学期	【前期】	【後期】
	『真言宗常用諸経要聚』に収録される經典や偈文の読誦法を順次教授し、稽古します。また、読誦する經典や偈文の内容（意味）基礎的知識を簡単に概説します。 1「開経偈」、2「懺悔文」3「回向文」4「礼文」5「般若心経」、6「立義分」7「観音経」8「梵網経」9「九条錫杖」 10「三陀羅尼」、11「理趣経」12「舍利礼」 僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『金胎礼懺』『三陀羅尼』『諸真言』読誦に務めます。	『理趣経』を中心に、前期に学んだ諸經典の読誦の稽古を、引き続き行います。
通年	テキスト	
単位数	中川善教編『真言宗常用諸経要聚』 その他、資料を配布する。	
2	参考書・参考資料等	
担当者	必要に応じて講義の中で指示します。	
	学生に対する評価	
	授業態度（30%）、実技（70%）	
宮田永明	養成をめざす力	
	専門用語の理解、經典の読誦の仕方、読経の協調性	
	その他	
	講義には、念珠と輪袈裟、中川善教編『真言宗常用諸経要聚』を持参してください。	
	また、伽藍の金堂で開壇される「結縁灌頂」に入壇することを原則として義務付けます。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
声声明	到達目標：基本の法要となる理趣三昧法会に使われる声明を研鑽する テーマ：僧侶として必要な声明を基礎から学ぶ	
	授業の概要	
	日本音楽の基礎となった仏教音楽の「声明」。我々が法要などで用いる「南山進流」声明を基礎の導入部分から学ぶ。	
	授業計画	
学期	【前期】	【後期】
	1. 声明の楽譜、音階、演奏方法（旋律型）の解説及びオリエンテーション 2. 三 礼・ 3. 四智梵語 4. 四智梵語・ 5. 大日讃 6. 大日讃・ 7. 不動讃 8. 四智漢語 9. 四智漢語・心略漢語 10. 心略漢語・ 11. 仏 讃 12. 仏 讃 13. 散華（初段目） 14. 散華（初段目） 15. 散華（二段目）	1. 散華（二段目） 2. 散華（三段目） 3. 散華（三段目） 4. 対 揚 5. 対 揚 6. 対 揚 7. 対 揚 8. 唱 礼（金剛界） 9. 唱 礼 10. 唱 礼 11. 唱 礼 12. 理趣経（中曲） 13. 理趣経（中曲） 14. 理趣経（中曲） 15. 理趣経（中曲）
通年	テキスト	
単位数	宮野有智編『南山進流声明類聚・附伽陀』（注、必ず同一の声明類聚を購入又は持参する事） ※生協で購入可	
2	参考書・参考資料等	
担当者	小山公淳著『真言宗法儀解説』※生協で購入可	
	学生に対する評価	
	授業中の発表・習熟度（30%） 期末試験（70%）	
辻秀道	養成をめざす力	
	声明の基礎力、声明を唱える力	
	その他	
	筆記用具は鉛筆（シャープペンシル）等、後で修正出来る筆記用具を必ず持参すること。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：僧侶としての基礎を学ぶ テーマ：道場荘嚴の基礎
法式	授業の概要 真言宗の僧侶として必要な道場荘嚴の基礎知識と道場荘嚴の意識を解説する。
別	授業計画 【前期】 1. 講義内容の説明 2. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（1） 3. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（2） 4. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（3） 5. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（4） 6. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（5） 7. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（6） 8. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（7） 9. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（8） 10. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（9） 11. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（10） 12. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（11） 13. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（12） 14. 道場荘嚴の解説並びに六種供養について（13） 15. 前期試験 【後期】 1. 講義内容の説明 2. 坦莊嚴の解説（1） 3. 坦莊嚴の解説（2） 4. 坦莊嚴の解説（3） 5. 坦莊嚴の解説（4） 6. 坦莊嚴の解説（5） 7. 坦莊嚴の解説（6） 8. 坦莊嚴の解説（7） 9. 坦莊嚴の解説（8） 10. 坦莊嚴の解説（9） 11. 坦莊嚴の解説（10） 12. 坦莊嚴の解説（11） 13. 山内緒法会の解説（1） 14. 山内緒法会の解説（2） 15. 後期試験
学期	
通年	
単位数	
2	
担当者	テキスト 大山公淳著『真言宗法儀解説』他コピーを配布
中西雄泰	参考書・参考資料等 学生に対する評価 定期試験（80％） 授業参加の積極性（20％） 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、日本語を読む力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：布教原理の学習と布教実習の体験を通して教化伝道の重要性を認識する。 テーマ：布教の基本を学ぶ。
布布教	
別	授業の概要 本講義は布教の入門的な役割を果たす科目である。布教の基礎知識を身につけ真言宗教師（僧侶）としての意識向上を図る。
学期	
通年	
単位数	
2	
担当者	テキスト 寺河俊海著『現代布教の理論と実際』高野山出版社 生協で購入
橋本真人	参考書・参考資料等 適時プリントにて配布する 学生に対する評価 レポート（文書布教）・布教実習（発表）（50％） 授業時の態度（50％）で評価する 養成をめざす力 日本語を書く力・聴く力・話す力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：ネパール仏教の特質を探りながら、東洋人の宗教観を理解する。 テーマ：ネパール仏教を学ぶ
宗教学Ⅰ	授業の概要 ネパールのカトマンドゥ盆地では、仏教とヒンドゥー教が混在して信仰され、独特の宗教形態を形成しています。この講義では、その実態を紹介しながら、チベット仏教などと比較しつつ、ネパール仏教の特質を明らかにします。
1	授業計画 1. オリエンテーション 2. ネパールはどんな国か？ 3. インドの仏教史概観 4. チベットの仏教史概観 5. ネパールの仏教史① 6. ネパールの仏教史② 7. カトマンドゥ盆地の仏教寺院① 8. カトマンドゥ盆地の仏教寺院② 9. ネパールの仏教聖地 10. ネパール仏教の儀礼と行事① 11. ネパール仏教の儀礼と行事② 12. ネパール仏教の尊格と美術 13. ヒンドゥーの神々 14. ネパールに残る仏教文献資料 15. まとめ
前期	テキスト 田中公明・吉崎一美『ネパール仏教』（春秋社）
単位数	
2	
担当者	参考書・参考資料等 立川武蔵『インド・ネパール 聖なるものへの旅』（人文書院） 日本ネパール協会編『ネパールを知るための60章』（日本ネパール協会） など
川崎一洋	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、国際感覚 その他 ネパールに旅行されることをおすすめします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：さまざまな宗教の死生観を理解する。 テーマ：死後の世界を考える
宗教学Ⅱ	授業の概要 この講義で教科書に使用する『大師はいまだおわしますか』は、高野山・蓮華定院の住職である添田隆昭師が、弘法大師の入定信仰を出発点として、「死後の世界」について調査、思索された記録です。講義では、『大師はいまだおわしますか』を読みながら、西洋人、東洋人、そして日本人の死生観を考えます。仏教者（仏教の僧侶）がお葬式に臨む姿勢、葬儀の意義についても考えます。
2	授業計画 1. オリエンテーション 2. 弘法大師の靈験譚 3. 弘法大師の入定信仰 4. 西洋人の臨死体験 5. 東洋人の臨死体験 6. 閻魔王（ヤマ）について 7. 輪廻転生説のゆくえ 8. 中国で成立した『盂蘭盆経』 9. 日本人の「あの世」① 10. 日本人の「あの世」② 11. 日本人にとって仏教とは① 12. 日本人にとって仏教とは② 13. 葬式仏教を考える 14. 死者の行方 15. まとめ
後期	テキスト 添田隆昭『大師はいまだおわしますか』（高野山出版社）
単位数	
2	
担当者	参考書・参考資料等 梶山雄一『「さと」と「廻向」』（人文書院） 同『輪廻の思想』（人文書院） など
川崎一洋	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性 その他 教科書に使用する『大師はいまだおわしますか』では、洋の東西を問わず、たくさんの文献や書籍が参照されていますので、できるだけそれらに目を通すようにしてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：「修験道」の教理と歴史を学ぶことにより、日本人の宗教観を理解する。 テーマ：修験道を学ぶ
宗教の歴史Ⅰ（別）	
学期	
前期	
単位数	授業の概要 平成 16 年（2004）、高野山が吉野、熊野とともに「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界文化遺産に登録されました。これらの地域の文化に大きな影響を与えているのが「修験道」といわれる宗教形態です。当講義では、その修験道の歴史と教理と学ぶことにより、日本の宗教の歴史、日本人の宗教観や精神文化などを理解します。
2	授業計画 1. オリエンテーション 2. 日本の仏教史 3. 神道の歴史 4. 山の宗教 5. 宗教と修業 6. 神仏習合の歴史 7. 役の行者伝① 8. 役の行者伝② 9. 真言密教・天台密教と修験道 10. 山伏のファッション 11. 大峰山の信仰と歴史 12. 大峰修行の実際 13. 日本各地にある修験道の道場 14. まとめ① 15. まとめ②
担当者	テキスト 田中利典・正木晃『はじめての修験道』（春秋社）
川崎一洋	参考書・参考資料等 宮家準『修験道 その歴史と修業』（講談社学術文庫） 五来重『山の宗教 修験道案内』（角川ソフィア文庫） など
	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価
	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性
	その他 大峰山をはじめとする日本地にある修験道の道場を訪ね、修験道の「修行」を実際に体験することをおすすめします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：四国遍路の歴史を学ぶことにより、宗教における巡礼の目的や意義を理解する。 テーマ：四国遍路の歴史を学ぶ
宗教の歴史Ⅱ（別）	
学期	
後期	
単位数	授業の概要 平成 26 年、四国では、四国霊場開創 1200 年の行事が催されます。この講義では、弘法大師によって開かれたといわれる霊場を巡る四国遍路の歴史や、四国の各地に残る弘法大師の伝説を、江戸時代に出版された各種の霊場記などを読みながら学び、宗教と巡礼の関係を探ります。
2	授業計画 1. オリエンテーション 2. 四国遍路とは 3. 四国遍路の起源 4. 補陀落信仰と四国霊場 5. 熊野信仰と四国霊場 6. 四国八十八ヶ所霊場の成立過程① 7. 四国八十八ヶ所霊場の成立過程② 8. 四国霊場の確立①（澄禪の記録） 9. 四国霊場の確立①（真念の業績） 10. 四国に残る弘法大師の霊跡 11. 四国遍路の習俗 12. 近世から近代にかけての四国遍路 13. 現代の四国遍路 14. 四国霊場巡拝の作法 15. まとめ
担当者	テキスト 頼富本宏『四国遍路とはなにか』（角川選書）
川崎一洋	参考書・参考資料等 浅井証善『はじめての「四国遍路 88ヶ所めぐり」入門』（セルバ出版） 四国遍路と世界の巡礼研究会編『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館） など
	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価
	養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を読む力、道徳性
	その他 一部でもよいので、実際に四国遍路の旅を経験されることをおすすめします。 BS-TBS の番組「徳さんのお遍路さん 四国八十八ヶ所心の旅」毎週日曜午前 9：00 ～ 9:30 を視聴してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：合理的思考法を学ぶ テーマ：デカルトとバース
哲学方法論Ⅱ（別）	
学期	
後期	
単位数	授業の概要 近代哲学の父と呼ばれるフランスの哲学者デカルトと、プラグマティズムの創始者であるバースの思想の紹介を通して、合理的哲学の典型を学びます。
2	授業計画 1. 哲学とは何か？ 2. 方法とは何か？ 3. デカルトの時代 4. 科学革命の構造 5. デカルト哲学の歴史的意義 6. 方法的懐疑 7. モリヌクス問題 8. 身体への疑い 9. 承前 10. 数学への疑い 11. デカルト的コギト 12. バースの生涯 13. デカルト主義への批判 14. 「信念の固め方」 15. プラグマティズム格言
担当者	テキスト 伊藤邦武『物語 哲学の歴史』（中公新書）
山脇雅夫	参考書・参考資料等 デカルト『方法序説』（白水社）
	学生に対する評価 期末テスト 65 点、小テスト 20 点、授業参加への積極性 15 点
	養成をめざす力 論理的思考力、問題解決力、国際的視野
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：我々の身近な日本の宗教現象を学ぶことを通して、宗教学の視座と研究方法を理解すること。 テーマ：宗教学研究法を学ぶ。
宗教学方法論	
学期	
後期	
単位数	授業の概要 指定テキストのトピックスにもとづいて講義する。
2	授業計画 1. オリエンテーション（序章 宗教学への入り口） 2. （第 1 章）生と死の意味を問う 3. （第 2 章）生命の循環と継承 4. （第 3 章）救いと癒しの現場 5. （第 4 章）差別・暴力・権力と宗教 6. （第 5 章）政治と宗教の相克 7. （第 6 章）現代社会における宗教 8. （第 7 章）宗教における実践 9. （第 8 章）宗教における言葉 10. （第 9 章）宗教における世界像 11. （第 10 章）宗教における本質と規範 12. （第 11 章）諸宗教の見取り図 13. （第 12 章）「宗教」概念と宗教学 14. 宗教を心理・社会・思想において問う 15. 宗教学の実践
担当者	テキスト 島蘭進 編『宗教学キーワード』（有斐閣、2006 年）1,995 円 （本学生協で購入すること）
藤田光寛	参考書・参考資料等 ①脇本平也『宗教学入門』（講談社、1997 年）1,155 円 ②柳川啓一『宗教学とは何か』（法蔵館、2008 年）1,890 円
	学生に対する評価 期末の筆記試験（70％）、授業中任意に実施する小テスト（30％）によって評価する。
	養成をめざす力 密教仏教の専門性、論理性、道徳性
	その他 毎回、指定テキストや参考文献に目を通して授業に出席することが基本的条件です。授業ではノートを取り、整理をしておいて下さい。毎回休まずに出席すること。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp ですから、質問等があれば遠慮なくこれを利用してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本文学（上代・中古文学）の生成基盤を理解する。 テーマ：日本文学の特質を学ぶ
日本文学概論Ⅰ	授業の概要 日本文学とはどのようなものか。前期は上代・中古文学の特質について、具体的に作品に触れながら考えてみる。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 文学のかたち 3. 文学と思想 4. 文学と四季 5. 文学と地理 6. 万葉集の世界 7. 王朝和歌の世界 8. 紀貫之 9. 清少納言と紫式部 10. 源氏物語の誕生 11. 「あはれ」と「をかし」 12. 日記文学の誕生 13. 後宮記録と女房たち 14. 平安後期物語の世界 15. 歴史物語と説話集
前期	テキスト 教員が用意する。
単位数	2
2	参考書・参考資料等 数研出版『クリアカラー国語便覧』
担当者	学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50%）、定期試験（50%）
浜畑圭吾	養成をめざす力 日本語を読む力・聴く力、問題発見力 その他 私語厳禁。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本文学（中世・近世文学）の生成基盤を理解する。 テーマ：日本文学の特質を学ぶ
日本文学概論Ⅱ	授業の概要 日本文学とはどのようなものか。後期は中世・近世文学の特質について、具体的に作品に触れながら考えてみる。
学期	授業計画 1. 中世の歌壇と歌論 2. 中世和歌の世界 3. 「幽玄」 4. 史論と歴史物語 5. 軍記物語と説話 6. 「無常」 7. 兼好と頼阿 8. 文学の継承 9. 中世の芸能 10. キリシタン文学と宣教師 11. 町人の文学 12. 江戸の詩歌 13. 松尾芭蕉 14. 近世の芸能 15. 国学
後期	テキスト 教員が用意する。
単位数	2
2	参考書・参考資料等 数研出版『クリアカラー国語便覧』
担当者	学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50%）、定期試験（50%）
浜畑圭吾	養成をめざす力 日本語を読む力・聴く力、問題発見力 その他 私語厳禁。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の文学のなかで、古代から中世までの文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特質を理解する。 テーマ：日本文学史概観
日本文学史概説Ⅰ	授業の概要 上代（奈良時代）から中古（平安時代）、さらに中世（鎌倉時代）までの日本文学史を概説する。文学史の知識だけではなく、可能な限り作品の一部でもとりあげてその作品を鑑賞したい。作品の成立背景なども注意しながらその作品の文芸的価値を考えてみい。
学期	授業計画 1. この講義の目的・目標について 2. 上代文学の概観、古事記と日本書紀 3. 万葉集について 4. 中古文学の概観、勅撰集について、古今集について 5. 竹取物語、伊勢物語など 6. 枕草子、源氏物語前後 7. 日記文学について 土佐日記・蜻蛉日記など 8. 説話文学 日本霊異記・今昔物語集など 9. 歴史物語、中世文学の概観 10. 新古今集とそれ以後の和歌集 11. 連歌の発生とその展開 12. 日記・紀行・能狂言について 13. 随筆文学について 14. 軍記物語について 平家物語など 15. 説話文学について
前期	テキスト 教員が作成した教材を配布する。
単位数	2
2	参考書・参考資料等 1、日本文学全集（至文堂） 2、日本古典文学史（双文社）
担当者	学生に対する評価 定期試験（50%）と小テスト（50%）
下西忠	養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力 その他 とくに受講生の制限はしないが、国語の教育免許状を取得したい者は必ず受講すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の文学のなかで、中世後期文学（室町時代）ら明治時代まで文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特質を理解する。 テーマ：
日本文学史概説Ⅱ	授業の概要 中世後期文学（室町時代）と近代文学（明治時代）までの日本文学史を概説する。文学史の知識だけではなく、可能な限り作品の一部でもとりあげてその作品を鑑賞したい。作品の成立背景なども注意しながらその作品の文芸的価値を考えてみたい。
学期	授業計画 1. 勅撰集の終焉とその時代の和歌 2. 御伽草子の世界 3. 近世（江戸時代）文学の概観、江戸時代の和歌 4. 貞門俳諧と談林俳諧 5. 芭蕉の世界 6. 与謝蕪村・小林一茶、狂歌と川柳 7. 仮名草子、浮世草子など 8. 近松門左衛門の世界 9. 読本（上田秋成の世界）、洒落本・人情本など 10. 明治初期の文学と文学改良運動 11. 浪漫古典主義文学 12. 自然主義文学の位置づけと前期自然主義文学 13. 後期自然主義文学 14. 与謝野晶子の世界 15. 総括 文学史の意義
後期	テキスト 教員が作成した教材を配布する。
単位数	2
2	参考書・参考資料等 1、日本文学入門（小峰書店） 2、日本文学全集（至文堂）
担当者	学生に対する評価 定期試験（50%）と小テスト（50%）
下西忠	養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力 その他 前期と同様、受講生についての制限はないが、国語の教育免許状を取得したい者は必ず受講すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢文で書かれた散文作品を読み、国語教員としての能力を身に付けることを目標とする。 テーマ：漢文の散文を読む。
漢文学概論Ⅰ	授業の概要 志怪・伝奇小説の流れを汲む『聊斎志異』を読む。 和訳に基づいて漢文を訓読する訓練をする。 受講生には発表を求めるので、毎回予習が必要である。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 「九山王」(1) 3. 「九山王」(2) 4. 「九山王」(3) 5. 「九山王」(4) 6. 「九山王」(5) 7. 「九山王」(6) 8. 「遵化署狐」(1) 9. 「遵化署狐」(2) 10. 「遵化署狐」(3) 11. 「遵化署狐」(4) 12. 「遵化署狐」(5) 13. 「遵化署狐」(6) 14. 「遵化署狐」(7) 15. 期末試験
前期	テキスト コピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 携帯用の漢和辞典として『新字源』(角川書店)、あるいは『漢語林』(大修館書店)を使用するのが望ましい。その他、『大漢和辞典』など。
2	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする(『学生手帳』参照)。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。
担当者	養成をめざす力 日本語を話す力、外国語を読む力、論理性
南 昌 宏	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢詩を読み、国語教員としての能力を身に付けることを目標とする。 テーマ：『唐詩選』を読む。
漢文学概論Ⅱ	授業の概要 『唐詩選』の作品から、近体詩の特徴を知る。 注釈を読むことにより、訓読・読解・鑑賞の訓練をする。 受講生には発表を求めるので、毎回予習が必要である。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 「大同殿生玉芝……」(1) 3. 「大同殿生玉芝……」(2) 4. 「大同殿生玉芝……」(3) 5. 「大同殿生玉芝……」(4) 6. 「奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中……」(1) 7. 「奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中……」(2) 8. 「奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中……」(3) 9. 「奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中……」(4) 10. 「勅賜百官桜桃」(1) 11. 「勅賜百官桜桃」(2) 12. 「勅賜百官桜桃」(3) 13. 「勅賜百官桜桃」(4) 14. 「勅賜百官桜桃」(5) 15. 期末試験
後期	テキスト コピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 携帯用の漢和辞典として『新字源』(角川書店)、あるいは『漢語林』(大修館書店)を使用するのが望ましい。その他、『大漢和辞典』など。
2	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする(『学生手帳』参照)。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。
担当者	養成をめざす力 日本語を話す力、外国語を読む力、論理性
南 昌 宏	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：物語(小説)テキストの生成の機構について理解を深める テーマ：物語(小説)構造と物語(小説)テキスト
国語学講義Ⅰ	授業の概要 これまでの物語構造の研究を踏まえて物語構造を設定し、語りとしてのテキスト生成の機構を導き出し、物語(小説)テキストを分類する。いくつかの物語(小説)作品の構造を分析、また、日本語小説テキストに見られる特異的なテキストの分析を行う。
学期	授業計画 1. 物語テキストと日常会話テキスト 2. これまでの物語構造モデル研究(1) 3. これまでの物語構造モデル研究(2) 4. 志賀直哉、『小僧の神様』／芥川龍之介、『羅生門』の構造分析 5. 村上春樹、『風の歌を聴け』／ドラマ『古畑任三郎』の構造分析 6. 『和泉式部日記』における物語性 7. 語りとしての物語(小説)テキストの生成機構 8. 語りとしての物語(小説)テキストの分類 9. 藤沢周平作品テキストに見られる日本語小説の特異性 10. 北原亞以子作品テキストに見られる日本語小説の特異性 11. 宮部みゆき作品テキストに見られる日本語小説の特異性 12. 連接構文とは 13. 日本語小説における時制 14. 日本語小説における自由間接テキスト 15. まとめ
前期	テキスト なし。都度、プリントを配布する
単位数	参考書・参考資料等 ジェエラルド・プリンス『物語辞典』(松柏社)、石原千秋他『読むための理論』(世織書房)、山岡賢「語り」の記号論』(松柏者)、他は授業中に紹介。
2	学生に対する評価 授業への参加態度(40%)、および、期末のレポート(60%)による。
担当者	養成をめざす力 論理性、テキスト分析力、テキスト志向性
上田 恭 寿	その他 授業の都合により、一部の変更があり得る。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本語小説の内面表現テキストの特質について理解を深める テーマ：日本語小説における内面表現テキスト
国語学講義Ⅱ	授業の概要 日本語の物語(小説)テキストにおける内面表現の特質を抽出し、他の文学ジャンル、また、建築や絵画等、他の日本文化に見られる共通点を踏まえ、日本文化の特質について考察する。
学期	授業計画 1. 内面表現テキストの分類 2. 引用テキストにおける内言と外言 3. パフチンのポリフォニー 4. 対象化テキストの様々(1) 藤沢周平作品における内面表現テキスト 5. 中村雄二郎の「共通感覚」 6. 対象化テキストの様々(2) 夏目漱石作品における内面表現テキスト 7. メタファーとメトニミー 8. 対象化テキストの様々(3) 中島敦作品テキストにおける内面表現テキスト 9. 言文一致体のもたらしたものの、こと、ことば 10. 日本語小説における内面表現テキストの特質 11. 他の文学ジャンルにおいて見られる日本語テキストとの共通点 12. 他の日本文化に見られる特質との共通点 13. 聞く文化としての日本語テキストと日本文化における自己中心的志向性 14. まとめ
後期	テキスト なし。都度、プリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 藤井貞和『物語論講義』(東京大学出版会)、加藤周一『日本文化における時間と空間』(岩波出版)、他は授業中に紹介。
2	学生に対する評価 授業への参加態度(40%)、および期末のレポート(60%)による。
担当者	養成をめざす力 論理性、テキスト分析力、テキスト志向性
上田 恭 寿	その他 授業の進行の都合により一部の変更があり得る。。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
日本文化特殊講義 A	到達目標：昭和時代文壇の大御所とよばれた菊池寛の作品を深く鑑賞する力を養う。また、上記の「授業のテーマ」について受講生が何かを感じとって、将来の人生に活かしてもらいたい。また、菊池文学の世界を理解するとともに、菊池の友人であった芥川龍之介にもふれて、第四次「新思潮」の意義をも理解しようとするものである。 テーマ：生きるとはどのようなことか	日本文化特殊講義 B	到達目標：地藏信仰が諸作品に与えた影響を理解する。 テーマ：地藏説話の世界
学期	授業の概要	学期	授業の概要
後期	近現代文学の魅力を体感させたい。人間は「いかに考えたか」「いかに生きたか」ということを小説や戯曲を通して受講生に考えてもらいたいと思う。講義の半分は菊池寛の戯曲や小説を紹介する。彼の明確なテーマを理解しながら、菊池寛文学の本質に迫りたい。	後期	地藏菩薩は私たちに身近な存在である。辻や墓地でその姿を見るだけでなく、「かさじぞう」などの童話でも親しまれている。そうした地藏菩薩が古典文学作品の中でどのように描かれているのか、いくつかの作品をとりあげて考えてみたい。
単位数	授業計画	単位数	授業計画
2	1. 文学の魅力について – 感動について – 2. 山本周五郎の世界 – 『日本婦道記』に描かれた言葉 – 3. 藤沢周平の世界 – 武士の一分を考える – 4. 菊池寛の生涯 5. 菊池寛『藤十郎の恋』の成立 6. 菊池寛『父帰る』 7. 菊池寛『入れ札』 8. 菊池寛『俊寛』 9. 芥川龍之介『俊寛』 10. 菊池寛『身投げ救助業』 11. 芥川龍之介『芋粥』 12. 菊池寛『恩讐の彼方に』 13. 菊池寛『無名作家の日記』 14. 第四次「新思潮」の評価 15. 「生きる」ことの意義についてのさまざまな意見	2	1. ガイダンス 2. 宇治拾遺物語の地藏説話① 3. 宇治拾遺物語の地藏説話② 4. 沙石集の地藏説話① 5. 沙石集の地藏説話② 6. 沙石集の地藏説話③ 7. 沙石集の地藏説話④ 8. 太平記の地藏説話 9. 壬生寺関連の地藏説話 10. 聖財集の地藏説話 11. 源平盛衰記の地藏説話① 12. 源平盛衰記の地藏説話② 13. 源平盛衰記の地藏説話③ 14. 近世地誌類の六地藏伝承 15. まとめ
担当者	テキスト	担当者	テキスト
下西忠	教員が作成した資料を配する。 参考書・参考資料等 新潮文庫「恩讐の彼方に」、また講義中においても随時紹介する。 学生に対する評価 2つのレポート（1、課題の作品の梗概（50％）2、課題の作品の鑑賞（50％）） 養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力 その他 教材はかならず一週間前までに配布しておくので、当日の講義までにその作品を読んでくること。	濱畑圭吾	教員が用意する。 参考書・参考資料等 速水侑『地藏信仰』（はなわ新書 49） 学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50％）、レポート（50％） 養成をめざす力 日本語を読む力・聴く力、想像力 その他 私語厳禁。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
中国文化特殊講義 A	到達目標： 1. 『説文解字』を学ぶことにより古代文字の基礎知識を修得し、その内容（漢文）の読解力を向上させる。 2. 東洋文化の根幹である漢字に興味を持ち、中国文化へ目を向ける第一歩とすることを到達目標とする。 3. 説文の研究において、漢字の正・俗を理解する。 テーマ：許慎『説文解字』とその背景及びその講義と篆書体の基礎的知識の修得。	中国文化特殊講義 B	到達目標：中国学の諸分野（哲学・歴史・文学など）を研究するために必要な基礎的知識・語彙・方法を修得することを到達目標とする。 テーマ：『墨子』を読む。
学期	授業の概要	学期	授業の概要
前期	〔漢〕許慎『説文解字』は文字を系統的に分析し、字源の考察をした最古の文字学の専門書である。特に許慎『説文解字』とその背景、またその部首（第二巻途中までの予定）の基礎的知識の修得。	後期	テキストは、調点を付した漢文である。輪読形式による口頭発表で訓読をする。受講生は必ず予習し、難解な言葉はすべて調べて理解し、他人に説明できるよう努めなければならない。
単位数	授業計画	単位数	授業計画
2	1. オリエンテーション・漢字の変遷と『説文解字』前世 2. 『説文解字』の背景とその関連書 3. 『説文解字』の背景とその関連書 4. 部首と重文について 5. 「六書」について① 6. 「六書」について② 7. 説文部首 第一巻① 8. 説文部首 第一巻② 9. 説文部首 第一巻③ 10. 説文部首 第一巻④ 11. 説文部首 第一巻⑤ 12. 説文部首 第二巻① 13. 説文部首 第二巻② 14. 説文部首 第二巻③ 15. テスト	2	1. ガイダンス 2. 『墨子』親土篇（1） 3. 『墨子』親土篇（2） 4. 『墨子』親土篇（3） 5. 『墨子』親土篇（4） 6. 『墨子』親土篇（5） 7. 『墨子』親土篇（6） 8. 『墨子』修身篇（1） 9. 『墨子』修身篇（2） 10. 『墨子』修身篇（3） 11. 『墨子』修身篇（4） 12. 『墨子』修身篇（5） 13. 『墨子』修身篇（6） 14. 『墨子』修身篇（7） 15. 期末試験
担当者	テキスト	担当者	テキスト
野田悟	・〔漢〕許慎『説文解字』中華書局または江蘇古籍出版社 （個々に東方書店にて購入） http://www.toho-shoten.co.jp/ 参考書・参考資料等 ・『字通』（平凡社） ・『説文新義』（平凡社） ・『漢字学』（東海大学出版会） ・『訓読説文解字注』（東海大学出版会） ・『王福庵説文部首目』（西冷印社） ・その他必要に応じてプリントを配る。 学生に対する評価 ・基本的に期末テスト（60％）＋それぞれの発表及び提出物（40％）での評価をする。（素点） ・毎回の発表を10点満点で計算する。 ・授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・欠席（各－3点）及び遅刻・早退（各－1点）を素点から引く計算で成績をつける。 養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力 その他 ・「六書」及び本文の内容に入ったら、毎回個々に課題が課され、次週に発表をして頂く形式をとる。 ・受講者の人数等により、進度が大きく変わることが予想される。 ・『新字源』（角川書店）、『新撰漢和辞典』（小学館）、『全訳漢辞海』（三省堂）、『漢字源』（学研）、『漢語林』、『漢語新辞典』（大修館）のうち、どれか一冊を必ず持参すること。版は問わないが、できるだけ新しいものがよい。（電子辞典を持参してもかまわないが、必ず紙媒体の辞典も持参すること）。	南 昌 宏	漢文大系『墨子』のコピーを配布する。 参考書・参考資料等 『大漢和辞典』、『アジア歴史事典』、『中国学芸大事典』など。 学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。 養成をめざす力 外国語を読む力、問題発見力、問題解決力 その他 受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：平家物語の展開を理解し、軍記文学の特徴をとらえる。古典作品には様々な異本があることを知る。 テーマ：平家物語の世界
日本文化講読演習	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
浜畑圭吾	
授業の概要	鎌倉時代成立の平家物語は軍記文学の代表作品として知られているが、本講義では人物を中心に、その魅力に迫る。平安末期から鎌倉初期にかけての内乱を、人々がどのように生きたのか、考えてみたい。
授業計画	1. ガイダンスー平家物語の概要、成立と伝本ー 2. 平清盛①ー平家の興隆ー 3. 平清盛②ー清盛は悪人かー 4. 源頼朝①ー平治の乱と伊豆流罪ー 5. 源頼朝②ー征夷大將軍ー 6. 後白河院①ー平家との関係ー 7. 後白河院②ー源氏との関係ー 8. 木曾義仲①ー北陸合戦ー 9. 木曾義仲②ー最期の描き方ー 10. 源義経①ー牛若丸の活躍ー 11. 源義経②ー義経の「はやわぎ」ー 12. 平維盛と平重衡ー二人の貴公子ー 13. 平忠度ー文武両道の公達ー 14. 建礼門院ー平家の鎮魂ー 15. まとめー読み本系諸本の魅力ー
テキスト	教員が用意する。
参考書・参考資料等	高橋昌明『平家の群像 物語から史実へ』（岩波新書） 日下力『いくさ物語の世界』（岩波新書）
学生に対する評価	毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）
養成をめざす力	日本語を読む力・聴く力、想像力
その他	私語厳禁。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢籍を読むために必要な語彙・知識を修得し、専門的な論文や研究書などを読むための基礎力を養うことを到達目標とする。 テーマ：『孫子』を読む。
中国文化講読演習	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
南昌宏	
授業の概要	テキストは、原文・訓読・通釈・語釈などから成る。テキスト全文を輪読形式で読みつつ、難解な言葉を確認する。理解できない言葉は、宿題として調査し、次回に説明できるよう準備しておく。
授業計画	1. ガイダンス 2. 『孫子』 始計篇 (1) 3. 『孫子』 始計篇 (2) 4. 『孫子』 始計篇 (3) 5. 『孫子』 始計篇 (4) 6. 『孫子』 始計篇 (5) 7. 『孫子』 作戰篇 (1) 8. 『孫子』 作戰篇 (2) 9. 『孫子』 作戰篇 (3) 10. 『孫子』 作戰篇 (4) 11. 『孫子』 作戰篇 (5) 12. 『孫子』 謀攻編 (1) 13. 『孫子』 謀攻編 (2) 14. 『孫子』 謀攻編 (3) 15. 期末試験
テキスト	新釈漢文大系『孫子』のコピーを配布する。
参考書・参考資料等	『大漢和辞典』、『アジア歴史事典』、『中国学芸大事典』など。
学生に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。
養成をめざす力	日本語を読む力、問題発見力、問題解決力
その他	受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：【前期】 1 回生……唐代楷書:顔真卿『多寶塔碑』、褚遂良『雁塔聖教序』。 2 回生以上……北魏系楷書『張猛龍碑』、『張玄墓誌』。 【後期】 1 回生……(篆書)秦代『嶧山刻石』、清代鄧石如『白氏草堂記』、吳讓之『崔子玉座右銘』 2 回生以上……(隸書)漢代『禮器碑』（必須）、『曹全碑』、『張遷碑』、『石門頌』（三点の中から二点を選ぶ）
漢字Ⅰ	
授業の概要	本講座は基本的に古典隸書を根底とし、形臨、背臨を経て、学生同士で切磋琢磨し、作品制作を行う。方法としては、国内の他大学にはない中国の書道教育を根底にしたを指導を行う。
授業計画	1. オリエンテーション 2. 顔真卿『多寶塔碑』（ ）② （2 回生以上は『張猛龍碑』）① 3. 顔真卿『多寶塔碑』（ ）② 4. 顔真卿『多寶塔碑』（ ）③ 5. 褚遂良『雁塔聖教序』（ ）① 6. 褚遂良『雁塔聖教序』（ ）② 7. 褚遂良『雁塔聖教序』（ ）③ 8. 前半半紙臨書作品の提出。 9. 二つの法帖を比較臨書① 10. 二つの法帖を比較臨書② 11. 自分で法帖を1つに絞って再度臨書する。 12. 写経創作① 13. 写経創作② 14. 写経創作③ 15. 写経作品提出
テキスト	・二玄社法書選（二玄社）： 1 回生……40 顔真卿『多寶塔碑』、34 褚遂良『雁塔聖教序』/56『鄧石如集』、58『吳熙載集』 2 回生以上……23『張猛龍碑』、26『墓誌銘集・下』/3『石門頌』、5『禮器碑』、8『曹全碑』、9『張遷碑』 ※写経用紙セット LA26-59
参考書・参考資料等	・字書：『字源』、伏見冲敬編『書道字典』（角川書店）、『清人篆隸字典』（雄山閣）等 ・その他必要に応じてプリントを配布する。
学生に対する評価	・基本的に提出物（毎回の課題も含む）をそのまま評価する。 ・前期の授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は欠席の3分の1として計算する。
養成をめざす力	自主性、集中力、古典（法帖）の観察力
その他	・筆（太筆・細筆）、墨（原則として墨汁は許可しない）、半紙用毛氈、文鎮は個々に準備のこと。また創作用の半切画宣紙の使用については個々に指示をする。 ・書道実技の講座として、毎回の課題が課される。 ・授業以外での個々の自主練習は、評価に大きく左右されることを心得て臨むこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：【前期】 今年書体を楷書体、行書体に限定し、その中から一つの法帖を自分で選択し、実習する。その法帖の形、線の特徴をつかみ、実際に上手に表現できるように努める。 【後期】 上記2書体に草書体を加えた書体から法帖を一冊選び、その法帖の形、線などの特徴が、実際に表現できるように努める。
漢字Ⅱ	
授業の概要	臨書中心の実技の授業である。臨書作品を授業中に添削し、参考に指導者が目の前で書いてみせる。授業中に筆を執って書くだけでは絶対に上達しない。自宅でも筆を持つよう心がけて欲しい。個人指導を中心に据えて授業を進める。
授業計画	【前期】 1. 授業の方針、法帖の選び方、どんな授業を展開していくのかを説明した後、各自が法帖を選ぶ。 2. } 3. } 法帖の臨書 4. } 5. } 6. } 7. } 8. 今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。 9. } 10. } 法帖の臨書 11. } 12. } 13. } 14. } 15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。 【後期】 1. 各自が法帖を選ぶ。指導者はその相談に応じ共に考えながら法帖を選ぶ。 2. } 3. } 法帖の臨書 4. } 5. } 6. } 7. } 8. 今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。 9. } 10. } 法帖の臨書 11. } 12. } 13. } 14. } 15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
テキスト	各自が二玄社あるいは別の法帖から1冊選ぶ。
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	2回のレポート、出席回数、授業態度などで評価する。
養成をめざす力	自主性、忍耐力
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
かなⅠ	到達目標：【前期】「かな」成立の歴史を知り、実習を通して行書きのかな創作ができることを目標とする。 【後期】前期で身につけた技術をより高め「ちらし書き」の創作、及び古筆の臨書技術を身につけることを目標とする。 テーマ：【前期】細筆の使い方・墨の使い方を身につけ、かなの美を知る。 【後期】「ちらし書き」による白と黒の美の世界を表現する。古筆にそれを見る。	かなⅡ	到達目標：【前期】かなⅠの基本の上に個性豊かな古筆の原寸大臨書をし、それをもとに創作すること。 【後期】各自が選んだ古筆を拡大し、自己表現の技術を身につけること。 テーマ：【前期】三色紙の中から各自一つを選び臨書をくり返し、その特徴をとらえること。 【後期】古筆を基本とした自己表現の方法を見つける。
学期	授業の概要	学期	授業の概要
通年	【前期】日本独自の文字「かな」の成立の歴史を知り、その字母を覚える。かなの技術を身につける。 【後期】かな独自の構成法を知り、それを身につけ、その美が「余白」「流麗」「簡素」であることを知るために粘り強く実習する。	通年	【前期】かなⅠおよびそれと同程度のかの経験者を対象にかなの技術知識のより上達をめざす。ちらし書きの名品としての古筆を知り、各自、よりひかれるものを一つえらび練習する。臨書から創作へと進む。 【後期】決定した古筆を形式をかえて拡大臨書から創作へ、そしてより大きな料紙へと移っていき、これが自分独自の自己表現の形だと納得するまで錬成する。
単位数	授業計画	単位数	授業計画
2	【前期】1. 講義目標・概要の解説・書歴のアンケート 2. かな成立の歴史を解説・かなの基本線の練習 3. 「いろは歌」による単体練習・字母説明 4. 連綿の解説・実習 5. 変体がな解説・実習 6. 和歌一首（行書きの実習） 7～11. 手本No.1～No.4 実習・添削指導 12～15. 行書き創作の解説・実習・添削指導	2	【前期】1. 講義目標・概要の解説、書歴アンケート 2. 三色紙の解説、各自の古筆を決定する。 3～10. 選んだ古筆を原寸大臨書・小レポートを提出・古筆名の由来解説・料紙解説 11～15. 各古筆の雰囲気を出して創作する
担当者	テキスト	担当者	テキスト
山本圭子	プリント 参考書・参考資料等 古筆全般・かな字典 後期は古筆（三色紙・高野切第2種） 学生に対する評価 提出作品の枚数がそろった上で、用筆・墨の変化・字形・構成、それぞれ20%。誤字・精神性（線質）各10% 1/3以上欠席者は評価しません。	山本圭子	三色紙 参考書・参考資料等 古筆全般 学生に対する評価 1/3以上欠席者は評価しません。 臨書50%（形（連綿等）20%、構成20%、墨の変化構成10%） 創作50%。（独創性10%、構成・古筆の雰囲気各20%） 養成をめざす力 日本語を書く力（筆）、独創性、集中力 その他 ・実習科目は出席が大事です。出席して、数多く書かなければ上達しません。地道な努力と粘り強い意志をもって参加してください。 ・後期は前期よりかなり難しくなりますが、挑戦する気持ちを強くもって出席してください。書道は一朝一夕に上達するものではないので「継続は力なり」を信じて粘り強く実習に取り組んでください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
篆刻Ⅰ	到達目標： 1、古代文字（小篆および摹印篆）の基本的認識。 2、各東洋文化における印章の重要性及び関連性の理解。 3、各時代に沿った印章の造りの理解をもったの刻印技術の修得。 テーマ：篆刻の理論と実践	篆刻Ⅱ	到達目標： 1、古代文字（小篆および摹印篆）の基本的認識。 2、各東洋文化における印章の重要性及び関連性の理解。 3、各時代に沿った印章の造りの理解をもったの刻印技術の修得。 テーマ：篆刻の理論と実践
学期	授業の概要	学期	授業の概要
前期	・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の模刻を中心に実践、理論の双方より学ぶ。 ・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。	後期	・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の模刻を中心に実践、理論の双方より学ぶ。 ・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。
単位数	授業計画	単位数	授業計画
2	1. オリエンテーション・印材・工具等の紹介 2. 古代印章の起源と歴代璽印の変遷 3. 毛筆にて篆書の練習① 4. 毛筆にて篆書の練習② 5. 毛筆にて篆書の練習③ 6. 双稿填墨・印稿の練習 7. 刀法と側款の練習 8. 漢印① 9. 漢印② 10. 漢印③ 11. 秦印 12. 漢印または秦印による創作 13. 將軍印① 14. 將軍印② 15. これまでの模刻をもとに創作・作品提出 ＊進度により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。	2	1. 前期の復習と双稿填墨・印稿の練習 2. 將軍印③ 3. 將軍印④ 4. 將軍印での創作 5. 流派印の出現とその変遷（理論） 6. 浙派印① 7. 浙派印② 8. 浙派印③ 9. 徽派印① 10. 徽派印② 11. 徽派印③ 12. 浙派印または徽派印による創作 13. 肖形印① 14. 肖形印② 15. これまでの模刻をもとに創作・作品提出 ＊進度により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。
担当者	テキスト	担当者	テキスト
野田悟	・書道講座第6巻 篆刻（二玄社刊）＊生協にて購入。 参考書・参考資料等 ・『説文解字』（中華書局） ・『印学史』（西泠印社） ・『故宮博物院藏古璽印選』（文物出版社） ・『上海博物館藏印選』（上海書画出版社） ・袁枚政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版） ・『書の基本資料14・篆刻』（中教出版） ・『図解 篆刻入門』（木耳社） ・その他必要に応じてプリントを配布	野田悟	・書道講座第6巻 篆刻（二玄社刊）＊生協にて購入。 参考書・参考資料等 ・『説文解字』（中華書局） ・『印学史』（西泠印社） ・『故宮博物院藏古璽印選』（文物出版社） ・『上海博物館藏印選』（上海書画出版社） ・袁枚政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版） ・『書の基本資料14・篆刻』（中教出版） ・『図解 篆刻入門』（木耳社） ・その他必要に応じてプリントを配布
	学生に対する評価		学生に対する評価
	・基本的に提出作品による評価。（素点） ・欠席各－3点、遅刻・早退－1点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。		・基本的に提出作品による評価。（素点） ・欠席各－3点、遅刻・早退－1点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。
	養成をめざす力		養成をめざす力
	創造力。集中力、古典（法帖）の観察力		創造力。集中力、古典（法帖）の観察力
	その他		その他
	・用具、用材は、大阪の書道用品店にて各自で購入のこと。（最初の授業で説明する。） ・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。 ・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと。 ・二度目の受講者は、秦代以前の古璽や肖形印等個別に指導する。		・用具、用材は、大阪の書道用品店にて各自で購入のこと。（最初の授業で説明する。） ・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。 ・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと。 ・二度目の受講者は、秦代以前の古璽や肖形印等個別に指導する。

科目名	作業の到達目標及びテーマ 到達目標：臨書でつちかった基礎の上にとって、個性豊かでフレッシュな作品を創作する。 テーマ：【前期】中国や日本の古典の臨書を通して得た技術で、漢字、近代詩文などの条幅作品を制作する。 【後期】金剛峯寺・高野山大学書道師範取得や、卒業制作にふさわしい作品の制作をめざす。近代詩文などの条幅作品を制作する。	
	条幅制作A	作業の概要 【前期】○半切に漢字4～14文字の言葉を楷書体、行書体で創作する。（做書も可） ○半切（正方形）に漢詩、漢語を篆書体、隸書体、又は行書体で創作する。（做書も可） ○半切に漢字・仮名まじり文を創作する。課題は授業前に提示。 【後期】2尺×8尺（52cm×約228cm）の画仙紙に自分で詩や文章を選び創作する。漢詩を選んだ人は、まず字書ですべての文字を調べ一覧表を作成する。それを参考にして字のくつし方を見る。漢字仮名まじり文を書くこととする人は、全体の構成や空間のとり方など工夫し、漢字と仮名の調和も考えて製作をすすめる。 提出後、全体で互評会を実施。
		授業計画 【前期】 1. この授業の内容、授業の進め方、必要な書道用材の説明 2. 半切の大きさと、課題を楷書行書体で創作する。 3. 提出後、全体で互評会を実施する。 4. 篆書体、隸書体、行書体で課題を半切（正方形）で創作。 5. 又は漢字仮名まじり文の創作。どれかひとつを選び実習する。
		【後期】 1. 2尺×8尺（たて228cm×よこ52cm）の紙面に、書体、題材も自由で受講生が個性と創作意欲にあふれた作品を制作。 2. 題材、書体は途中変更も可能であるから、試行錯誤をくりかえしながら少しずつ作品を向上する。書き込むより他に道はないと思い、時間外でもしっかり取り組んで欲しい。 3. 早く仕上がった人は、書体を変えたり、題材を変えたり（漢字仮名まじり文でも可）して小品を制作しただけ。 4. 押印して提出後、互評会を実施する。
学期	2	
通期	特に無し。	
単位数	参考書・参考資料等 字書や二玄社の法帖類、各展覧会の作品集など。	
担当者	学生に対する評価 提出作品、出席回数、授業の取組を総合的に評価する。	
木 本 滋 久	養成をめざす力 自主性、創造力	
	その他 2尺×8尺の作品は評価の後、2月の高野山大学学外書道展に出品していただきます。表装代は各自の負担とします。 各自で事前に「字書」を購入しておくこと 画仙紙は事前に大阪の書道用品店で買っておくこと。 この授業は高野山書道師範取得を希望する者、書道で卒業論文を書くこととする学生は必修です。かなり習熟した技能を持っていることが要求されます。	

科目名	作業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】 古来より机上作品であった「かな」を条幅作品として表現する方法を知る。 【後期】 数種の大きさの紙にその大きさにあった筆を用い、自分のう テーマ：【前期】 机上作品と条幅作品の相違点を知る。 【後期】 条幅作品に自分なりのかなの美を表現すると共に感動も加えていく。	
	作業の概要 【前期】 古筆の拡大臨書から条幅作品として個性的な表現を加えていく。 条幅に表現するという事は筆者の人間性の深さ・生命感情の躍動の強さを「かな」を用いて充分に表現することである。そのため大きく影響する用具用材についての知識も必要である。 【後期】 現代性を表現するため、現代詩などを題材として制作する。 また古歌・古詩等であっても現代に生きる作品としていくために何が必要かを追求していく。	
学期	授業計画 【前期】 1. 条幅「かな」の解説・用具・用材等の説明。 2. 既成作品を鑑賞し、全体像を知る。 3. 高野切第三種の中の一書を135cm × 35cmの紙に拡大臨書をする。 4. 条幅として仕上げるための筆の大きさ、運腕、姿勢等を身につける。 5. 半切に創作する。和歌一首を個性豊かな作品に仕上げる。 6. 互評会・添削も行う。 7. 互評会・添削も行う。 8. 互評会・添削も行う。 9. 互評会・添削も行う。 10. 互評会・添削も行う。 11. 互評会・添削も行う。 12. 互評会・添削も行う。 13. 互評会・添削も行う。 14. 互評会・添削も行う。 15. 互評会・添削も行う。	
	【後期】 1. 60 × 60cmの紙に漢字かなまじり 2. 文を寸松庵色紙等の散らしの方法を参考にして現代的に制作する。 3. 適宜添削あり。 4. 互評会を行い、自省する。 5. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 6. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 7. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 8. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 9. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 10. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 11. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 12. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 13. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 14. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。 15. 228 × 52cmの紙縦横を自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を創作する。大きくなくても「かな」であることをいつも意識下におくこと。途中互評会を行う。	
単位数	テキスト 特になし。	
2	参考書・参考資料等 【前期】 高野切第三種既成作品、かな字典、歌集 【後期】 詩集、歌集、三色紙、かな字典、書道字典	
担当者	学生に対する評価 【前期】 用筆の習熟度（40%）、白と黒の対比の差（40%）、人間性の表現（20%） 【後期】 個性（40%）、紙と筆と墨の調和（40%）、墨の変化（10%）、気韻生動（10%）	
山本圭子	養成をめざす力 日本語を書く力（筆）、自主性、創造力	
	その他 ・かなⅠ、漢字Ⅰを受講済みであること。 ・初めてのかな条幅となると思うので、挑戦する気持ちと、初めてのことを知ろうとする謙虚さが重要です。 ・展覧会などに行き、様々な、かな条幅作品を鑑賞すること。	

科目名	書道史（日本）																																
書道史（日本）	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：書道作品の鑑賞眼を養い、その基本的事項について理解するとともに、書の世界を味わう。 テーマ：古代からの主な作品をできるだけたくさん鑑賞し、我が国の時代変遷との関連を理解する。 授業の概要 わが国における書の展開について講じ、時代ごといくつかのテーマを取り上げながら進めてゆく。また書は、その他の芸術をはじめ諸々の文化と密接に関わるものであるので、可能な限りそうした周辺の文化的事柄とも絡めて眺めてゆくこととした。 授業計画 <table border="0"> <tr> <td>【前期】</td> <td>【後期】</td> </tr> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>1. 南北朝時代①</td> </tr> <tr> <td>2. 漢字の伝来</td> <td>2. 南北朝時代②</td> </tr> <tr> <td>3. 飛鳥時代①</td> <td>3. 室町時代①</td> </tr> <tr> <td>4. 飛鳥時代②</td> <td>4. 室町時代②</td> </tr> <tr> <td>5. 奈良時代①</td> <td>5. 安土・桃山時代①</td> </tr> <tr> <td>6. 奈良時代②</td> <td>6. 安土・桃山時代②</td> </tr> <tr> <td>7. 平安時代①</td> <td>7. 安土・桃山時代③</td> </tr> <tr> <td>8. 平安時代②</td> <td>8. 江戸時代①</td> </tr> <tr> <td>9. 平安時代③</td> <td>9. 江戸時代②</td> </tr> <tr> <td>10. 平安時代④</td> <td>10. 江戸時代③</td> </tr> <tr> <td>11. 平安時代⑤</td> <td>11. 江戸時代④</td> </tr> <tr> <td>12. 書流・書論の出現</td> <td>12. 現代</td> </tr> <tr> <td>13. 鎌倉時代①</td> <td>13. 予備</td> </tr> <tr> <td>14. 鎌倉時代②</td> <td>14. 復習</td> </tr> <tr> <td>15. テスト</td> <td>15. テスト</td> </tr> </table> ※正倉院展の現地研修を、10月下旬～11月10日過ぎまでに実施の予定。 テキスト 『決定版』日本書道史 名見耶明監修 芸術新聞社 定価 3300 円 (生協にて購入) 参考書・参考資料等 ・『書道全集（日本編）』平凡社 ・飯島春敬『日本書道史要説』（1975 年・東京堂出版） ・小松茂美『展望日本書道史』（1986 年・中央公論社） ・小松茂美編『日本書道辞典』（1987 年・二玄社） ・『墨スペシャル 12 図説日本書道史』（1997 年・芸術新聞社） ・書学書道史学会編『日本・中国・朝鮮 書道史年表事典』（2005 年・萱原書房） ・その他必要に応じて、プリントを配布 学生に対する評価 ・基本的にペーパーテストによる評価。（素点） ・欠席各－3 点、遅刻・早退－1 点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。 養成をめざす力 論理性、問題発見力、古典（法帖）の観察力 その他 ・欠席や遅刻は学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと	【前期】	【後期】	1. オリエンテーション	1. 南北朝時代①	2. 漢字の伝来	2. 南北朝時代②	3. 飛鳥時代①	3. 室町時代①	4. 飛鳥時代②	4. 室町時代②	5. 奈良時代①	5. 安土・桃山時代①	6. 奈良時代②	6. 安土・桃山時代②	7. 平安時代①	7. 安土・桃山時代③	8. 平安時代②	8. 江戸時代①	9. 平安時代③	9. 江戸時代②	10. 平安時代④	10. 江戸時代③	11. 平安時代⑤	11. 江戸時代④	12. 書流・書論の出現	12. 現代	13. 鎌倉時代①	13. 予備	14. 鎌倉時代②	14. 復習	15. テスト	15. テスト
【前期】	【後期】																																
1. オリエンテーション	1. 南北朝時代①																																
2. 漢字の伝来	2. 南北朝時代②																																
3. 飛鳥時代①	3. 室町時代①																																
4. 飛鳥時代②	4. 室町時代②																																
5. 奈良時代①	5. 安土・桃山時代①																																
6. 奈良時代②	6. 安土・桃山時代②																																
7. 平安時代①	7. 安土・桃山時代③																																
8. 平安時代②	8. 江戸時代①																																
9. 平安時代③	9. 江戸時代②																																
10. 平安時代④	10. 江戸時代③																																
11. 平安時代⑤	11. 江戸時代④																																
12. 書流・書論の出現	12. 現代																																
13. 鎌倉時代①	13. 予備																																
14. 鎌倉時代②	14. 復習																																
15. テスト	15. テスト																																
学期																																	
通年																																	
単位数																																	
4																																	
担当者																																	
野田																																	
悟																																	

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉）
学期	前期
単位数	2
担当者	山口 幸照
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の言葉の意味や考え方、概念規定について学習する。地域福祉は比較的新しい概念である。その内容について学習する。 テ ー マ：地域福祉の概念と展開方法	
授業の概要 地域福祉は1990年以降本格的に実体化したものである。しかし、現代では社会福祉実践そのものを指す言葉として使われることが多い。ここでは実質上社会福祉と同義語となった地域福祉の概念と展開方法について学習する。	
授業計画 1. 地域福祉のあゆみ 2. 地域福祉の概念 3. 地域福祉の内容 4. 地域福祉の背景 5. 地域福祉の歴史・地域福祉準備期 6. 地域福祉の歴史・体系期 7. 地域福祉の歴史・基盤形成期 8. 地域福祉の歴史・展開期 9. セツルメントの理解 10. コミュニティーケア 11. コミュニティープラン 12. 在宅福祉サービス 13. 福祉ニーズ把握と地域社会 14. 福祉サービスの連携 15. コミュニティー形成・住民参加	
テキスト 社会福祉士養成講座『地域福祉論』中央法規出版	
参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識』Ⅰ～Ⅲ 中央法規出版	
学生に対する評価 授業参加への積極性・レポート・筆記試験で評価する。	
養成をめざす力 問題発見力、創造力、専門性	
その他	

科目名	社会福祉各論Ⅱ（地域福祉）
学期	後期
単位数	2
担当者	山口 幸照
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の目標として福祉コミュニティーの形成がある。地域を基盤とした社会福祉をみんなでどのように作っていくのかについて考えたい。 テ ー マ：地域福祉の方法と実践課題	
授業の概要 地域福祉実践を展開するには①福祉・保健・医療の整備②福祉・保健・医療の総合化③福祉増進・予防活動の促進④福祉環境の整備⑤住民参加活動の支援が必要となる。この5つを柱に地域福祉実践について学習する。	
授業計画 1. 相談・情報提供サービスの総合化 2. ケアマネジメント 3. 老人保健福祉計画 4. 福祉増進・予防活動 5. 福祉環境づくり 6. 住民参加の福祉活動支援 7. ボランティア活動・福祉教育 8. N P O の福祉活動 9. 民生委員・児童委員 10. 社会福祉協議会 11. 社会福祉施設 12. 地域組織化と福祉組織化 13. 公的財源 14. 共同募金 15. 民間財源	
テキスト 社会福祉士養成講座『地域福祉論』中央法規出版	
参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識』Ⅰ～Ⅲ 中央法規出版	
学生に対する評価 授業参加への積極性・レポート・筆記試験で評価する。	
養成をめざす力 問題発見力、創造力、専門性	
その他	

科目名	社会福祉各論Ⅰ（障害者福祉論）
学期	前期
単位数	2
担当者	山口 幸照
授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テ ー マ：障害者福祉の制度と政策 障害者福祉の体系と実践	
授業の概要 障害者に対する支援と障害者自立支援制度を学び、障害者のおかれている社会情勢を理解する。 障害者の生活実態や地域生活の体制を理解し障害者の置かれている立場を考えることとする。 障害者の見方とその背景について理解し、照愛車の定義と概念を理解する。	
授業計画 （1）. 障害者を取りまく状況と諸問題 （1）. 障害者のための総合的対策 （1）. 障害者の特性・健康・家族・地域社会 （1）. 障害者の法体系 （1）. 自立支援支援の体系 （1）. 施設サービスと在宅サービス （1）. 保健・医療・福祉の連携 （1）. 障害者の相談援助活動の実際	
テキスト 社会福祉士養成講座『障害者福祉論』中央法規出版	
参考書・参考資料等 講義の中で必要に応じ指示する。	
学生に対する評価 授業参加への積極性・レポート・筆記試験で評価する。 具体的には、4分の3以上の出席・レポートの提出・筆記試験の内容をすべて考慮し評価する。	
養成をめざす力 問題発見力、創造力、専門性	
その他 出席が少ない場合は不可とする。	

科目名	社会福祉各論Ⅱ（高齢者福祉）
学期	後期
単位数	2
担当者	山口 幸照
授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テ ー マ：老人福祉の制度と政策 老人福祉の体系と実践	
授業の概要 進展する高齢社会は、これから団塊の世代が高齢期になることによりよ本格化する。そのような中で社会福祉分野ではじめて社会保険制度による方式つまり介護保険制度が導入された。当然その前提となる福祉理念も大きく変化することとなった。 ここでは、最新の福祉理念を盛り込んだ高齢者福祉制度を学ぶと同時に、高齢者を取りまく医療・保健その他関連制度も学ぶこととする。	
授業計画 （1）. 少子高齢社会の到来 （1）. 高齢者を取りまく状況と諸問題 （1）. 高齢者のための総合的対策 （1）. 高齢者の特性・健康・家族・地域社会 （1）. 老人福祉法・介護保険法・老人保健法 （1）. 高齢者生活支援の体系 （1）. 施設サービスと在宅サービス （1）. ボランティア活動と社会福祉協議会 （1）. 高齢者と生きがい・社会参加活動 （1）. 保健・医療・福祉の連携 （1）. 高齢者の相談援助活動の実際	
テキスト 社会福祉士養成講座『高齢者福祉論』中央法規出版	
参考書・参考資料等 講義の中で必要に応じ指示する。	
学生に対する評価 授業参加の積極性・レポート・筆記試験で評価する。 具体的には、4分の3以上の出席・レポートの提出・筆記試験の内容をすべて考慮し評価する。	
養成をめざす力 問題発見力、創造力、専門性	
その他 出席が少ない場合は不可とする。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：我が国の児童・家族の現状と児童福祉の必要性について学生が十分に理解することを到達目標とする。 テーマ：我が国の児童・家族の現状と児童福祉政策の実態
社会福祉各論（児童福祉）	
学期	
後期	
単位数	授業の概要 我が国の子どもや家族の現状とニーズを把握し、これに対する社会福祉政策がどのように進展してきたかを概観する。さらに、現在の子どもを取り巻く社会の実態を理解し、諸外国（イギリス・オランダ・ドイツ）の取り組みとの比較を行う。
2	授業計画 1. オリエンテーション 授業内容の解説と自己紹介 2. 児童福祉の理念 3. 児童福祉の概念と歴史 4. 現代社会と児童家庭福祉 5. 少子・高齢社会における福祉課題 6. 児童福祉の法体系と実施体制 7. 児童福祉法 8. 母子保健 9. 児童福祉法に基づく障害児の福祉 10. 保育 11. 児童虐待 12. ひとり親家庭の福祉 13. 児童虐待防止と学校の役割 14. 児童福祉援助活動の実際 15. 期末試験
担当者	テキスト 『児童虐待防止と学校の役割』信山社 2005 新・社会福祉士養成講座『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度－児童福祉論』中央法規
山口幸照	参考書・参考資料等 『現代福祉学レキシコン第二版』雄山閣出版 『社会福祉法要説』有斐閣
	学生に対する評価 授業参加の積極性、レポートで評価する。
	養成をめざす力 問題発見力、創造力、専門性
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会保障は、社会保障・医療・年金・雇用・子育て支援という広範囲は領域を取り扱う分野である。その領域の多くの分野は、国民の生活と直結している。利用者の生活支援を考えると総合的に生活関連の分野を学習することが重要である。 テーマ：社会保障の歴史と現状
社会保障1総論Ⅰ（別）	
学期	
前期	
単位数	授業の概要 わが国では、人口の高齢化がますます進んでいる。少子化も歯止めがかからない。社会保障は高齢化社会で重要な位置をしめるにも関わらず国民的な理解が必ずしもあるとはいえない。ここでは社会保障の基本的な事項について理解することを目的としたい。
2	授業計画 1. 社会保障の概念と範囲 2. ベバリッジの社会保障計画 3. 社会保障の歴史 4. 社会保障の機能 5. 社会保障と労働力 6. 社会保障の方法 7. 社会保険の財政 8. 年金制度の遠隔 9. 年金制度の現状と課題 10. 医療保障制度の沿革 11. 医療保障制度の現状と課題 12. 介護保険制度の創設 13. 介護保険制度の意義 14. 介護保険制度の内容 15. 介護保険制度の課題
担当者	テキスト 社会福祉士養成講座『社会保障論』中央法規出版
山口幸照	参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅲ』中央法規出版
	学生に対する評価 授業参加の積極性・レポート・筆記試験で評価する。
	養成をめざす力 問題発見力、創造力、専門性
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会保障の目的を実現するための方法としての種類について学習する。費用負担について国民的理解をどのようにして得るのかを理解する。 テーマ：社会保障の方法と費用負担
社会保障2総論Ⅱ（別）	
学期	
後期	
単位数	授業の概要 社会保障を実現するためには具体的な社会政策が必要である。そのためには社会保険、社会サービスの利用者の基準を綿密に決定していくことが重要である。すべての国民に平等にサービスがいきわたることが求められている。そのための要件を学習する。
2	授業計画 1. 労働保険制度の沿革 2. 雇用保険制度の沿革、現状 3. 労災保険制度の現状と課題 4. 生活保障と民間保険 5. 生活リスクと民間保険の役割 6. 社会保険の管理運営 7. 権利救済制度 8. 社会保障費の構造と経済社会の変動 9. 社会保障改革と将来ビジョン 10. 社会保障費の国民負担 11. 諸外国の社会保障・フランス 12. 諸外国の社会保障・ドイツ 13. 諸外国の社会保障・スウェーデン 14. 諸外国の社会保障・イギリス 15. 諸外国の社会保障・アメリカ
担当者	テキスト 社会福祉士養成講座『社会保障論』中央法規出版
山口幸照	参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅲ』中央法規出版
	学生に対する評価 授業参加の積極性・レポート・筆記試験で評価する。
	養成をめざす力 問題発見力、創造力、専門性
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会経済状況の変化とそれに伴う国民生活の変容に対応して、歴史的に発展してきた社会福祉の概念と役割について理解する テーマ：社会福祉の基礎的理解
社会福祉概論Ⅰ	
学期	
前期	
単位数	授業の概要 社会福祉全般について、基礎的な事項について学習する。歴史と現状についてわかりやすく解説し、平易に理解することを目的とする。
2	授業計画 1. 現代社会と社会福祉その1 2. 現代社会と社会福祉その2 3. 社会福祉の対象分野と福祉ニードその1 4. 社会福祉の対象分野と福祉ニードその2 5. 社会福祉援助活動の意義・組織・方法その1 6. 社会福祉援助活動の意義・組織・方法その2 7. 社会福祉援助活動の担い手その1 8. 社会福祉援助活動の担い手その2 9. 社会福祉の法と行財政その1 10. 社会福祉の法と行財政その2 11. 社会福祉の運営問題その1 12. 社会福祉の運営問題その2 13. 社会福祉運営の原理と枠組みその1 14. 社会福祉運営の原理と枠組みその2
担当者	テキスト 社会福祉士養成講座『社会保障論』中央法規出版
山口幸照	参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅲ』中央法規出版
	学生に対する評価 授業参加の積極性・レポート・筆記試験で評価する。
	養成をめざす力 問題発見力、創造力、専門性
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：教員の職務内容について学生が十分理解し、安易な職務選択をすることがないことを到達目標とする。 テーマ：教員の職務と使命
教職入門	授業の概要 本講義は、教員の職務について解説し、教職への導入の役割を果たす科目である。 表面化しない教員の職務の現状について、現場の事例を多く取り入れ解説する。
前期	授業計画 1. 講義の目的と概要の解説を行う。 2. 教職の意義と教員の役割について解説する。 3. 教員養成・教職課程の変遷について解説する。 4. 教員の種類と職階及び教員の役割と社会的使命について考察し解説する。 5. 教員の職務と学習指導要領の関係について説明し考察する。 6. 教員の職務と校務分掌の関係について解説する。 7. 生徒指導と教員の職務について、事例を中心に解説する。小試験。 8. 進路指導・教育相談と教員について、事例を中心に解説する。 9. 学級経営と教員について解説し、論じる。 10. 教員の研修について、職務研修を中心に現状を解説し考察する。 11. 教員の服務と身分保障について説明する。 12. 服務の基本基準について説明する。 13. 職務上の服務と身分上の服務について説明する。 14. 教員採用の現状と進路選択について考察する。 15. 総括講義
単位数	テキスト 伊藤一雄著『教職基礎論』サンライズ出版 2010.4 発行
2	参考書・参考資料等 教職問題研究会著『教師論』（改訂版）2007.4 発行
担当者	学生に対する評価 定期試験（60％）、小試験（20％）、授業参加（単なる出席でなく質問や発表内容なども含む）（20％）で評価する。
伊藤一雄	養成をめざす力 教員として必要な知識の修得・技能の修得・意欲の向上 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：将来教員を志望する学生を対象に、教育の機能と社会について理解することを目標とする。 テーマ：教育の理念並びに教育の関する歴史及び思想
教育原論	授業の概要 教育という営みは人間形成という個人的な面と、文化を伝達し社会に役立てるという社会的な面の二面性がある。本講義は教育の目的や機能について解説し、教育とはどのような営みなのかを考察する。また、現代の日本社会の学校が抱えている教育の病理について、構造的な側面から解説する。
前期	授業計画 1. 人間形成と教育及び子どもの発達と教育 第1回：教育の目的と国家 第2回：子どもの発達と教育 第3回：子どもの生活と教育 2. 近代の教育思想とわが国の教育の変遷について概説する。 第4回：ヨーロッパにおける教育思想の変遷を概説する。 第5回：アジアにおける教育思想の変遷を概説する。 第6回：わが国の教育思想の変遷を概説する。 第7回：第1回～第6回の講義内容についてのまとめ。小テストを行う。 3. 学校教育 第8回：義務教育について解説する。 第9回：後期中等教育について解説する。 第10回：高校の多様化と教育課程について解説する。 第11回：高校教育から義務教育と大学教育を考える。 第12回：障害者教育について解説する。 4. 教育と社会 第13回：国際化と教育との関わりについて論じる。 第14回：学校教育の大衆化について論じる。 第15回：第8回～14回の講義内容についてのまとめ、小テストを行う。
単位数	テキスト 田嶋一著『やさしい教育原理』有斐閣
2	学生に対する評価 伊藤一雄他著『教職への道標』サンライズ出版
山脇雅夫	参考書・参考資料等 小テスト（30％）、定期試験（70％）＋授業への参加を加味する。 養成をめざす力 教育についての基礎知識、論理的思考力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：児童・生徒の発達の特徴について理解する。 テーマ：教育現場に必要な心理学的知見を学ぶ。
教育心理学	授業の概要 児童・生徒の発達段階に応じて、その個人の個性を伸ばすことが教育の役割である。そのためには、人間の心の発達や機能についての深い理解が求められる。本講義では、発達論を中心とした心理学の知見を紹介する。
前期	授業計画 1. 教育心理学とは 2. 発達の諸理論（1） 3. 発達の諸理論（2） 4. 学習理論（1） 5. 学習理論（2） 6. 記憶 7. 授業設計と学習指導 8. パーソナリティと適応（1） 9. パーソナリティと適応（2） 10. 学校カウンセリング 11. 学級集団と学級経営 12. 発達障害と教育（1） 13. 発達障害と教育（2） 14. 教育評価と知能理論 15. まとめ
単位数	テキスト 新井邦二郎・濱口佳和・佐藤純共著『心理学の世界 基礎編6 教育心理学 学校での子どもの成長をめざして』培風館、2009年
2	参考書・参考資料等 伊藤良高・永野典詞・大津尚志・中谷彪編『子ども・若者政策のフロンティア』晃洋書房、2012年。 他は授業中に紹介する。
担当者	学生に対する評価 期末試験（100％）
森崎雅好	養成をめざす力 自主性、論理性、忍耐力 その他 教育とは、次世代を担う“人”を育てるということです。そのため教育者には大きな責任が伴います。まずは、基礎的な知識をしっかりと学んでください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：・社会調査で利用される統計の「読み方」に慣れる。 ・相手にわかりやすく説明する力をつける。 テーマ：・教育と強制のあいだ
教育社会学	授業の概要 教育には児童・生徒の自主性を尊重しつつ、一定の方向に持っていかなければならないという両義的な性質がある。甘くするだけでも厳しくするだけでも効果は期待しにくい。こうした教育のもつ両義性について少年犯罪を事例に学んでいく。
後期	授業計画 1. ガイダンス 2. 報告レジュメのつくりかた（1） 3. 報告レジュメのつくりかた（2） 4. 報告レジュメのつくりかた（3） 5. 白書統計から眺めた少年犯罪（1） 6. 白書統計から眺めた少年犯罪（2） 7. 人間関係に縛られた少年たち（1） 8. 人間関係に縛られた少年たち（2） 9. 成熟した社会のパラドクス（1） 10. 成熟した社会のパラドクス（2） 11. 保護の対象から責任の対象へ（1） 12. 保護の対象から責任の対象へ（2） 13. 社会の病理から個人の病理へ（1） 14. 社会の病理から個人の病理へ（2） 15. 不寛容な社会のパラドクス
単位数	テキスト 土井隆義『人間失格？』日本図書センター、2000円程度。 ※生協・書店などで購入しておくこと。 ※ガイダンス時に用意していない場合は原則として受講を認めない。
2	参考書・参考資料等 テキスト巻末のブックガイドを活用すること。
担当者	学生に対する評価 ・報告レジュメのできばえ…50点 ・定期試験…50点 ※詳細はガイダンスで説明する
藤吉圭二	養成をめざす力 本の内容をまとめる力、プレゼン力 その他 ・テキストを購入しておくこと（試験でも使用する）。 ・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。 ・受講希望者が多い場合には選抜することがある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：教育課程とはなにかを理解し、中学校及び高校の学習指導要領の意図するものはなにか、またそれはどのように構成されているのかをどれだけ把握できたかを到達目標とする。 テーマ：学習指導要領と学校教育課程の間を探る。
教育課程論	授業の概要 教育課程は学校の教育実践の基盤となるものである。教育課程の意図する点について本講義を通じて新学習指導要領を中心に解説し、併せて、その変遷について述べる。 さらに、学校教育と学習指導要領の間にある「隠れたカリキュラム」の実践的意義について考察する。
学期	授業計画 第1回：教育課程とは何か及び教育課程の目標とするところについて解説する。 第2回：教育課程の内容構成について解説する。 第3回：学校のエデュケーションと教育課程の編成について解説する。 第4回：教育課程と教科の構成について解説する。 第5回：教育課程の評価方法について解説する。 第6回：学習指導要領と教育課程の変遷(1) 発足時から1958年改訂まで 第7回：学習指導要領と教育課程の変遷(2) 1958年改訂から1977年改訂まで 第8回：学習指導要領と教育課程の変遷(3) 1977年改訂から1998年改訂まで 第9回：学習指導要領と教育課程の変遷(4) 1998年改訂から現在まで 第10回：新学習指導要領の意図するもの 第11回：学習指導要領の法的拘束性について考察する。 第12回：教育課程と隠れたカリキュラムについて解説し考察する(1) 第13回：教育課程と隠れたカリキュラムについて解説し考察する(2) 第14回：中等教育カリキュラムの国際比較 日・米・欧(ドイツ・フランス)の比較 第15回：総括講義 教育課程の編成と学校のエデュケーションの現状
後期	テキスト 平成21年度版 学習指導要領(中学校編)及び(高等学校編) 文部科学省
単位数	参考書・参考資料等 伊藤一雄著『教職への道標』サンライズ出版 2008.10 発行 伊藤一雄他著『教育課程論』晃陽書房 2010.4 発行
2	学生に対する評価 定期試験(50%)、小試験(30%)、授業参加(単なる出席でなく質問や発表内容を含む)(20%)
担当者	養成をめざす力 教員として必要な知識の修得・技能の修得・意欲の向上
伊藤一雄	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教教育の意義を学び、宗教教育のあり方について考えを深める。 テーマ：宗教教育の理論と実際
宗教科教育法Ⅰ	授業の概要 学校教育における宗教教育に必要な理論と実際について学習する。 宗教教育の意義について学ぶとともに、宗教科教育法を通して戦前と戦後における宗教教育の実態を探り、宗教教育のあり方について考える。そのうえで、実際の宗教教育の進め方について学習する。
学期	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方等 2. 宗教教育とは(1) 3. 宗教教育とは(2) 4. 宗教教育とは(3) 5. 宗教科教育法について(1) 6. 宗教科教育法について(2) 7. 宗教科教育法について(3) 8. 宗教教育の歴史(1) 9. 宗教教育の歴史(2) 10. 宗教教育の歴史(3) 11. 宗教教育の歴史(4) 12. 学習指導案の作成(1) 13. 学習指導案の作成(2) 14. 学習指導案の作成(3) 15. 学習指導案の作成(4)
前期	テキスト 斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会 その他、プリント配布
単位数	参考書・参考資料等 教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林 小口偉一編『宗教学辞典』東京大学出版社、等
2	学生に対する評価 試験(60%)、レポート(40%)
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、想像力、道徳性
乾	その他 宗教科教育法は他の一般教科とは少し性格が異なる。その点を受講者は十分に留意し、主体的に学習してほしい。そのためには、とくに宗教科の教師になるということの意味をよく考えることが必要である。
仁志	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教教育科の授業方法や実際について学ぶ。 テーマ：模擬授業を通してみた宗教教育の実際
宗教科教育法Ⅱ	授業の概要 受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、高校生を対象とした宗教教育の授業内容や方法などについて学習する。
学期	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞 2. 山内の歴史探訪と案内 3. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」1 (釈尊伝) 4. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」2 (釈尊伝) 5. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」3 (釈尊伝) 6. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」4 (釈尊伝) 7. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」1 (弘法大師伝) 8. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」2 (弘法大師伝) 9. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」3 (弘法大師伝) 10. 模擬授業 テーマ「祖師の生涯」4 (弘法大師伝) 11. 模擬授業 テーマ「祖師の教え」1 (仏教の教え) 12. 模擬授業 テーマ「祖師の教え」2 (仏教の教え) 13. 模擬授業 テーマ「祖師の教え」3 (真言宗の教え) 14. 模擬授業 テーマ「祖師の教え」4 (真言宗の教え) 15. 模擬授業の反省と総括
後期	テキスト 中村元・田辺和子共著『ブッダ物語』(岩波ジュニア新書) 岩波書店
単位数	松長有慶著『空海・心の眼をひらく－弘法大師の生涯と密教－』大法輪閣 富田向真著『青少年のための仏教読本』高野山真言宗布教研究所
2	参考書・参考資料等 斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会 教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林
担当者	学生に対する評価 模擬授業(学習指導案と教材研究を含む)(60%)、レポート(40%)
乾	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、日本語を書く力・聴く力・話す力、自主性
仁志	その他 宗教科の教師になるということの意味をよく考え、仏教・密教に関する基礎知識を普段からしっかり養い、創意工夫して、模擬授業に望むこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中学生を対象とした宗教教育科の授業方法や実際について学ぶ。 テーマ：模擬授業を通してみた中学生に対する宗教教育の可能性。
宗教科教育法Ⅲ	授業の概要 受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、中学生を対象とした宗教教育の可能性や具体的な授業内容や方法などについて学習する。
学期	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞 2. 山内の歴史探訪と案内 3. 模擬授業 テーマ「世界の宗教」1 (宗教のおこりと原始宗教) 4. 模擬授業 テーマ「世界の宗教」2 (民族宗教と世界宗教) 5. 模擬授業 テーマ「世界の宗教」3 (東洋の宗教と西洋の宗教) 6. 模擬授業 テーマ「宗教の歴史」1 (仏教の歴史) 7. 模擬授業 テーマ「宗教の歴史」2 (キリスト教の歴史) 8. 模擬授業 テーマ「宗教の歴史」3 (イスラム教の歴史) 9. 模擬授業 テーマ「宗教の教え」1 (仏教の教え) 10. 模擬授業 テーマ「宗教の教え」2 (仏教の教え) 11. 模擬授業 テーマ「宗教の教え」3 (キリスト教の教え) 12. 模擬授業 テーマ「宗教の教え」4 (キリスト教の教え) 13. 模擬授業 テーマ「宗教の教え」5 (イスラム教の教え) 14. 模擬授業 テーマ「宗教の教え」6 (イスラム教の教え) 15. 模擬授業の反省と総括
前期	テキスト 村上重良『世界の宗教－世界史・日本史の理解に－』(岩波ジュニア新書) 岩波書店
単位数	参考書・参考資料等 斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会 教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林
2	学生に対する評価 模擬授業(学習指導案と教材研究を含む)(60%)、レポート(40%)
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、日本語を書く力・聴く力・話す力、自主性
乾	その他 宗教科の教師になるということの意味をよく考え、宗教一般に関する基礎知識を普段からしっかり養い、創意工夫して、模擬授業に望むこと。
仁志	

科目名	国語科教育法Ⅰ
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
下西忠	
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：国語への関心を高め、表現力を伸長し、日本文化と伝統についての理解を深める。 テ ー マ：学習指導要領を通して、国語科教育の目的・目標を理解させる。	
授業の概要 教材研究の方法を各単元ごとに具体的に指導する。 学習指導案の作成の意義・手順などを具体的に指導する。	
授業計画 1. 国語科教育の目的・目標（中学校と高等学校） 2. 中学校の学習指導要領（国語）の内容を読み、その意味を正しく理解する。 3. 高等学校の学習指導要領（国語）の内容を読み、その意味を正しく理解する。 4. 高等学校における古典の授業の方法を具体的に考える。 5. 学習指導案とは何か。その意義と目的について。 6. 教材研究の方法と指導案の作成方法（1） 外山滋比古『知的創造のヒント』（1） 7. 教材研究の方法と指導案の作成方法（2） 同 上（2） 8. 教材研究の方法と指導案の作成方法（3） 古文『十訓抄』－顕宗といふ笛吹き－ 9. 教材研究の方法と指導案の作成方法（4） 古文『竹取物語』かぐや姫のおひたち 10. 教材研究の方法と指導案の作成方法 漢文「返り点のつけかた」 11. 国文法の授業の問題点と課題（口語の場合） 12. 国文法の授業の問題点と課題（文語の場合） 13. 教員による実践授業（1）現代文 14. 教員による実践授業（2）古文 15. 総括講義 国語科の授業の必要性など	
テキスト 国語総合（第一学習社）	
参考書・参考資料等 国語科教育研究（学芸図書）	
学生に対する評価 定期試験（50%）とレポート（50%）	
養成をめざす力 自主性、チームワーク、創造力	
その他 単位登録は、国語科の教育免許をとる学生に限る。	

科目名	国語科教育法Ⅱ
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
下西忠	
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：実際の模擬授業を通して、多くの実践体験をつむとともに、教師に必要なさまざまな資質を養う。また各単元における指導案の書き方も研究することとする。 テ ー マ：模擬授業	
授業の概要 毎時間一名による模擬授業（50分）とそれに対する他の受講生の意見・批評。また教員の意見・指導（40分）。忌憚のない積極的な意見を出し合うことにより、授業の内容・教材研究・指導案の書き方などを学ぶ。また併設校で実際に教育実習をおこなっている学生の授業を参観することにより、高校の現場を知ること学ぶたい。	
授業計画 1. ガイダンス（模擬授業の意義、指導案の目的と意義） 2. 模擬授業（1）現代文〈評論〉「独創をうむ条件」 3. 模擬授業（2）古文〈物語〉「伊勢物語」 4. 模擬授業（3）国語表現「文章を要約する」 5. 模擬授業（4）古典文法「動詞の活用」 6. 模擬授業（5）現代文〈小説〉「羅生門」 7. 高校現場を体感する（1） 8. 高校現場を体感する（2） 9. 現場体験の反省会 10. 模擬授業（6）漢文「漁夫の利」 11. 模擬授業（7）古文〈物語〉「竹取物語」 12. 模擬授業（8）国語表現「報告文と手紙を書く」 13. 模擬授業（9）現代文〈詩歌〉「一つのメルヘン」 14. 模擬授業（10）古文〈詩歌〉「新古今集」 15. 総括 教材研究と模擬授業の反省点	
テキスト 国語総合（第一学習社）	
参考書・参考資料等 国語科教育研究（学芸図書）	
学生に対する評価 定期試験（50%）とレポート（50%）	
養成をめざす力 自主性、チームワーク、創造力	
その他 単位登録は、国語科の教育免許をとる学生に限る。	

科目名	国語科教育法Ⅲ
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
下西忠	
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：古文の読解力、国文法の知識の体得、和歌や俳句の鑑賞の仕方、修辭を具体的に学ぶ。 テ ー マ：古文の指導	
授業の概要 古文を苦手とする中学生・高校生らに対してどのように興味ある授業展開ができるか、担当者の現場経験を入れて解説する。古文の力を高める教材研究、国文法の力をたかめる教材研究の方法、古文を理解するために、日本の伝統文化行事、和歌、俳句の修辭などの解説をおこなう。	
授業計画 1. ガイダンス（古文学習の知識と意義） 2. 古代と現代の時代背景や生活習慣などの違いについて 3. 文語と口語のちがいなど 4. 古文の教材研究（1）説話 5. 古文の教材研究（2）物語 6. 用言の知識と指導法 7. 付属語（助動詞）の文法的意味（1） 8. 付属語（助動詞）の文法的意味（2） 9. 付属語（助詞）の研究 10. 受講生による模擬授業（用言を中心に） 11. 受講生による模擬授業（助動詞を中心に） 12. 受講生による模擬授業（助詞を中心に） 13. 受講生による模擬授業（和歌の修辭） 14. 文学史の知識とその活用法 15. 総括授業 古文の魅力	
テキスト 教師が作成した教材を配布する。	
参考書・参考資料等 古典文法（高校で使用したもの） どの出版社のものでも可。	
学生に対する評価 定期試験（50%）と小テスト（50%）	
養成をめざす力 問題発見力、問題解決力、創造力	
その他 国語の教育免許状を取得しようとする者にかぎる	

科目名	国語科教育法Ⅳ
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
下西忠	
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：基礎学力の向上（とくに古典の力を身につける）単語力、文法力、漢文の句法 テ ー マ：国語の基礎学力向上	
授業の概要 教壇にたつためには基礎的な国語力が当然ながら必要である。現代文、古文、漢文それぞれの分野の文章を読み、教員が用意した教材の問題を解きながら、さらなる基礎学力をはかる。	
授業計画 1. 沙石集と戦国策 2. 方丈記と世説新語 3. 発心集と莊子 4. 十訓抄と淮南子 5. 伊勢物語と史記 6. 大鏡と孔子家語 7. 大和物語と啓顔録 8. 徒然草と籍川笑林 9. 枕草子と春秋左氏伝 10. 古事談と礼記 11. 鶉衣と列子 12. 徒然草と戦国策 13. 古今著聞集と孟子 14. 平家物語と唐子 15. 土佐日記と列異伝	
テキスト 教師が作成した教材を配布する。	
参考書・参考資料等 文学史の本（どこの出版社のものでも可） 古語辞典・漢和辞典	
学生に対する評価 教材研究（50%）と上記教材の理解度（50%）	
養成をめざす力 問題発見力、問題解決力、創造力	
その他 国語の教育免許状を取得しようとする者に限る。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
教育方法論	到達目標：近代から現代に至る教育方法に関する思想や技法を知り、今日的な教育方法の問題点や課題を考察することができる。 テーマ：教育方法の思想と具体的教授法の研究
学期	授業の概要
前期	17世紀から20世紀に至る主要な教育思想の史的展開とその教授理論を概観し、現代の授業論に関する基礎と実践モデルを考察する。
単位数	授業計画
2	1. コメニウスの教育思想－近代教育の創始者－ 2. ペスタロッチの教育思想（1）－人類教育の父－ 3. ペスタロッチの教育思想（2）－基礎陶冶と人間形成論－ 4. ヘルバルトの教育思想（1）－科学的教育学の創始者－ 5. ヘルバルトの教育思想（2）－教授段階説の構造－ 6. 個別化教授法の理論と展開（1）－デューイの教育論－ 7. 個別化教授法の理論と展開（2）－個別化教授理論－ 8. 個別化教授法の理論と展開（3）－個別化教授プラン－ 9. 生活綴り方的教育方法の理論と実践 10. 問題解決学習と系統学習の理論 11. 現代授業研究の現状－視聴覚教育も含む－ 12. 今日の授業改革の論点 13. 完全習得学習の理論と実践 14. 我が国の学力論の展開 15. 授業のまとめ－総括テスト－
担当者	テキスト
山本芳孝	特になし。
	参考書・参考資料等
	市川伸一『学力低下論争』ちくま新書
	学生に対する評価
	期末試験（80%）、授業への取り組み（20%）により評価する。 受験資格は2/3以上出席とする。
	養成をめざす力
	日本語を書く力、論理性、問題発見力
	その他
	授業中にディスカッションやレポート作成を求めていることがあるので、積極的に応じること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
情報技術論	到達目標：授業をする側として使いこなさなければならない情報技術に習熟する。 テーマ：教育現場で情報機器を使いこなす。
学期	授業の概要
後期	学校教育で必要となる情報技術の概要を知ると共に、それを日常的に使いこなせるだけの技術力と習慣力をつける。受講者は、授業時間内にクラスの前でプレゼンをし、授業時間外で地道な作業をしなければならない。
単位数	授業計画
2	1. ガイダンス 2. 学校で使う情報機器の概要 3. 情報技術：文書作成（1） 4. 情報技術：文書作成（2） 5. 情報技術：統計表作成（1） 6. 情報技術：統計表作成（2） 7. 情報技術：スライド作成（1） 8. 情報技術：スライド作成（2） 9. 模擬授業の説明 10. 模擬授業の1（1） 11. 模擬授業の1（2） 12. 模擬授業見直し 13. 模擬授業の2（1） 14. 模擬授業の2（2） 15. まとめ ※プログラムは改訂される場合があります。
担当者	テキスト
藤吉圭二	必要に応じてプリントを配布する。
	参考書・参考資料等
	パソコンやソフトウェアの本はたくさんでいる。大きな書店で手に取り自分に合ったものを1冊持っておくとよい。
	学生に対する評価
	各課題のできばえ（50%）、試験（50%）
	養成をめざす力
	情報機器を用いたコミュニケーション力
	その他
	開講時に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。また、教職科目であり、履修しても卒業単位に含まれないので注意すること。宿題も多く大変である。 1 回目に欠席すると著しい不利益を受ける場合がある。 心配な学生は事前に担当者に相談すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
道徳教育の研究	到達目標：①学習指導要領における道徳の目標、内容を理解する。 ②「道徳の時間」の実践的指導力を修得する。 ③道徳教育の理念と歴史を理解する。 テーマ：
学期	授業の概要
後期	道徳教育における実践的教育力を獲得することを目指す。そのために、1）道徳の本質、2）道徳教育の歴史、3）道徳教育の方法について、講義する。
単位数	授業計画
2	第1回 人間存在と道徳（学習指導要領における道徳の目標と内容） 第2回 承前 第3回 西洋の道徳教育の歴史①、ソクラテスの対話法 第4回 西洋の道徳教育の歴史②、プラトンとギリシャの四元徳 第5回 西洋の道徳教育の歴史③、アリストテレスの徳の倫理 第6回 西洋の道徳教育の歴史④、ルソーの自然主義 第7回 日本の道徳教育の歴史①、明治以前の道徳教育 第8回 日本における道徳教育②、明治期の道徳教育 第9回 道徳教育の授業理論①（インカルケーション） 第10回 道徳教育の授業理論②（価値の明確化） 第11回 道徳教育の授業理論③（コールバーグ理論に基づく道徳教育） 第12回 学習指導案の作成（中学の副教材・資料から） 第13回 模擬授業（数グループに分かれ、グループごとに発表） 第14回 承前 第15回 全体の振り返り
担当者	テキスト
山脇雅夫	『中学学習指導要領解説 道徳編』文部科学省
	参考書・参考資料等
	授業内で指示する。
	学生に対する評価
	学習指導案作成と模擬授業40点、学期末レポート60点。
	養成をめざす力
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ
特別教育活動	到達目標：特別活動の必要性や内容、方法、歴史などに関して理解を深め、教員になる上での資質や実践力を培う。 テーマ：特別活動の本質と実践の探究
学期	授業の概要
前期	特別活動の変遷、特別活動の特質、特別活動の内容及び方法等に関して考察する。
単位数	授業計画
2	1. 特別活動とは（授業のガイダンス） 2. 学習指導要領における特別活動の変遷（1）（昭和22年版から昭和44年版） 3. 学習指導要領における特別活動の変遷（2）（昭和52年版から平成20年版） 4. 特別活動の今日的意義と必要性 5. 特別活動の改善の特徴 6. 特別活動と他領域との関係及び取扱い 7. 特別活動の年間計画の作成（資料収集とグループ協議） 8. 特別活動の年間計画の作成（年間計画の作業と完成） 9. 学級活動の特質と内容 10. 学級活動の指導案作成 11. 生徒会活動及び学校行事の特質と内容 12. 個と集団に関わる一般原理 13. 学級集団作りの過程と構造 14. リーダーシップと集団形成 15. 授業のまとめ－総括テスト－
担当者	テキスト
山本芳孝	特になし。
	参考書・参考資料等
	藤原正彦『国家の品格』新潮新書
	学生に対する評価
	期末試験（80%）、授業への取り組み（20%）により評価する。 受験資格は2/3以上出席とする。
	養成をめざす力
	日本語を書く力、論理性、問題発見力
	その他
	授業の進め方としては、発表やディスカッションなど学生による活動の場を多く取り入れたいと考えているので、積極的に参加してほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：生徒指導と進路指導の基礎理論を理解した上で、生徒指導、進路指導の多くの事例をあげ、その課題にどれだけ接近できたかにより到達点を測る。 テーマ：キャリアガイダンス・カウンセリングを活かした生徒指導
生徒指導・進路指導	授業の概要 自分の将来をどう展望するか、進路指導の課題に真剣に取りくめば、それは生徒指導に活かしてくる。本講義では、中・高等学校の生徒指導・進路指導を進める上での基礎的事項を解説した後、担当者の生徒指導主事、進路指導主事の現場経験を活用し、実践例を多く入れ課題解決型の講義にしたい。
学期	授業計画 1. 教育指導と教員の役割を考察する。 2. 生徒の現状と生徒理解の方法を把握する。 3. 社会変化と子どもの生活の変化を解説する。 4. 社会変化と中・高校生の問題行動を知る。 5. 生徒の生育歴と問題行動の関係を把握する。小試験を実施する。 6. 生徒指導の実践（反社会的問題行動を中心に）を解説する。 7. 生徒指導の実践（非社会的問題行動を中心に）を解説する。 8. 進路指導の基礎（職業指導から進路指導）を解説する。 9. 進路指導の基礎（進路指導からキャリア教育）を解説する。 10. 進路選択の基礎理論を解説する。（特性・因子理論から職業的発達理論までとその後） 11. 進路選択の実務を解説する。（1） 12. 進路選択の実務を解説する。（2） 13. キャリア教育とは、どのような教育指導なのか解説し実践例を学ぶ。 14. キャリア教育と生徒指導の関係を考察する。 15. 総括講義
前期	テキスト 伊藤一雄著「新・教育指導の理論と実践」 サンライズ出版 2007.4
単位数	参考書・参考資料等 伊藤一雄著「キャリア開発と職業指導」 法律文化社 2011.4
2	学生に対する評価 定期試験（60％）、小試験（20％）、授業参加（単なる出席でなく質疑、発表などどれだけ主体的に授業に取組んだか）（20％）
担当者	養成をめざす力 教員として必要な知識の修得、技能の修得、指導力の向上
伊藤一雄	その他 各自の中学、高校時代の生徒指導上の課題を素材として指導方法を考察したい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：4年間の教職科目の学習及び教育実習の経験などを通じて、教職に対する理解がどれだけ深まったか。教職に対する意欲がどれだけ高揚したかを確証し、具体的な指導方法の向上を図る。 テーマ：教職に対する理解の深化と意欲の伸長
教職実践演習	授業の概要 4年間の教職科目の学習及び教育実習を通じて、教育指導の技術の一層の進化と定着を図ることを目標とする。
学期	授業計画 1. 本演習の目指す目標・内容について解説する。各自の教職実践演習カルテの記入を図る。 2. 各自の教育実習の体験を発表し、今日の学校の抱える課題を共有する。Ⅰ 3. 各自の教育実習の体験を発表し、今日の学校の抱える課題を共有する。Ⅱ 4. 生徒指導（反社会的行動の生徒）の指導方法について各自の体験をもとに解決策を探る。 5. 生徒指導（非社会的行動の生徒）の指導方法について各自の体験をもとに解決策を探る。 6. 生徒指導についてのロールプレイⅠ 7. 生徒指導についてのロールプレイⅡ 8. キャリアガイダンスとカウンセリングの実践Ⅰ －進学希望生徒の場合－ 9. キャリアガイダンスとカウンセリングの実践Ⅱ －就職希望生徒の場合－ 10. キャリアガイダンスとカウンセリングの実践Ⅲ －進路未決定生徒の場合－ 11. ミニ模擬授業Ⅰ－授業方法と技術－ 12. ミニ模擬授業Ⅰ－授業構成と評価－ 13. 授業方法、授業順序、内容構成、生徒指導のかかわりについて考察する。 14. 教職実践演習カルテの記入事項の再点検と個人的課題の整理 15. 教職実践演習カルテを記入した個々の学生に対してカウンセリングを行う。
後期	テキスト なし、必要に応じプリントを配布する
単位数	参考書・参考資料等 伊藤一雄 他著 「新・教育指導の理論と実践」サンライズ出版 2006.4
2	学生に対する評価 発表レジュメの内容（20％）、発表方法・技術（20％）、ガイダンス・カウンセリングの技術（20％）、ミニ模擬授業（20％）、総括レポート（20％）を総合する。
担当者	養成をめざす力 教員として必要な技能の修得、意欲の向上、指導力の向上
伊藤一雄	その他 演習にいかにより意欲的に参加できたかが大切である。教育実習ノートを持参すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：学校教育相談の実情を理解すると共に必要な基礎的知識を習得する。教育相談の基礎理論となる、教育や心理学の基礎理論を理解する。 児童・生徒の抱える様々な問題や悩みに対応できる知識と解決方法を学ぶ。 テーマ：児童・生徒が学校や家庭の生活で抱える様々な問題とその対処方法を理解する。生徒の発達段階の理解や、自尊感情の育成についての理論を理解する。学習障害や、ADHDなどの広汎性発達障害について学習する。
教育相談	授業の概要 基本的には講義形式で進めるが、学生と双方向の授業であるように、常に意見を求める。テーマを決めてディスカッションを行う。 考えるヒントとなるビデオ教材も鑑賞する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション。授業計画、授業の概要の説明。教育相談の定義。 2. 教育相談の概念、枠組み、範疇。学校教育相談の具体例。 3. 人間の発達段階と児童期や青年期の特性について。 4. 自尊感情の育成方法。 5. 児童期の子ども達の様々な悩みについて。 6. 学校内外でのいじめや不登校の問題について。 7. 子どもを取りまく家庭の問題について。（DVや虐待の問題も含む） 8. 様々な不適応問題の原因と解決策。 9. 発達障害について。（学習障害、ADHD、アスペルガー症候群等） 10. 発達障害を持つ子どもと家族への援助。（大人のADHDも含める。） 11. カウンセリングの基本的なテクニックと理論の紹介 12. 国際化に伴う教育相談。（外国人未就学児童の問題など） 13. 社会問題化するドラッグや非行、引きこもり等の問題について。 14. 教育者としての教師の自己管理について（教師の燃え尽き症候群、教師への援助） 15. まとめ。 授業を振り返って、児童・生徒にでき得る援助と、自分自身の人間的成長についての考察。
後期	テキスト 『教職基礎論』サンライズ出版
単位数	参考書・参考資料等 滝口俊子『スクールカウンセリング』放送大学
2	学生に対する評価 授業に取り組む姿勢および小レポートの提出も評価に加える。
担当者	養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力
戸來知子	その他 毎回、出席をとる。自分の意見を積極的に発言することを求める。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 教育実習の意義は、第一に、受講生による教師論・教育論を主体的に再構築することである。これまで大学で学んだ教養的教育、教科専門教育及び教職専門教育の知識を学校現場で実践・検証し、自らの教師論・教育論を再構築することを目標とする。第二に、教員になるための職能を感得する機会を得ることである。現代の学校教育の状況、今日の教員や児童・生徒の考え方や実態を捉える中で、教員となるための職能を自ら高めていくことを目標とする。
教育実習の研究	授業の概要 教育実習の事前・事後指導を通して、教員になるための動機づけ・意義づけを強め、教育実習に必要な基礎知識・技能を習得させる。
学期	授業計画 1. 事前指導（5回） 第1回：教育実習の意義と目標 第2回：教育実習の基礎知識 第3回：学校現場の1日と実習日誌の書き方 第4回：授業の進め方、指導案の書き方 第5回：教育実習の心得の確認と教育実習レポートの書き方 2. 教育実習（中学校または高等学校において90時間の委託実習を行う） 3. 事後指導（2回） 第6回：教育実習の報告 教職の意義の相互確認 第7回：教育実習の総括 教員採用試験について
前期	テキスト 各教科書
単位数	参考書・参考資料等 教育実習を考える会編『教育実習の常識』蒼丘書林 教育実習日誌・教科指導案
1	学生に対する評価 実習校からの教育実習評価表、教育実習レポート・教育実習日誌・指導案、授業態度・授業参加を加味する
担当者	養成をめざす力 教員としての弁えについての知識、教員としての技能についての実践的理解
山脇雅夫	その他 今年度の教育実習Ⅰに行く学生は、必ず木曜日1講時（前期）の「教育実習の研究」を受講すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
キャリアアカウンセリングⅠ	到達目標：大学生活と社会の接点、キャリアデザインの考え方を習得する。 テーマ：労働と社会と自分	キャリアアカウンセリングⅡ	到達目標：自分自身のことを適切に語り、他者の話を上手に聴く。 テーマ：伝える姿勢、聴く姿勢を身につけ、円滑な人間関係を築く。
学期	授業の概要 職業社会を理解する上で必要な基礎知識の習得を目指します。 今後の自分のキャリアを設計していくために、大学で学ぶことの意味を考え、現時点でできること、これから学習していくことは何かを、学生同士が議論しながら進めていきます。	学期	授業の概要 コミュニケーションには、身体的表現力、言語的表現力、受信力の3つが重要となります。この講義では、コミュニケーション力の向上を目指して、これら3つに関する知識の習得及び実習形式の講義を行います。
前期	授業計画 1. オリエンテーション 2. キャリアデザインの意味 3. 自己を見つめる①（ライフライン） 4. 自己を見つめる②（交流分析とストローク） 5. 働くことの意味 6. 会社とはなにか（社会における企業の役割） 7. 学校と職場の違い 8. 就職とはどういうことか 9. いろいろな働き方（業種・業界） 10. 社会と専門領域との合致（学びの意味） 11. 社会で求められるコミュニケーション能力 12. コミュニケーションスキル実践①（挨拶、表情、立居振舞） 13. コミュニケーションスキル実践②（言葉遣い、敬語） 14. キャリアデザインマップ作成 15. まとめ	前期	授業計画 1. 社会性とは何か 2. コミュニケーションについて 3. 身体性への気づき①（動作法：正しい姿勢を身につける） 4. 身体性への気づき②（動作法：身体部位の動きを身につける） 5. 身体的コミュニケーション①（体を使った情報伝達） 6. 身体的コミュニケーション②（相手の動きに合わせた情報伝達） 7. 交流分析①：自分の世界観を知る 8. 交流分析②：自分のコミュニケーションの特徴を知る 9. アサーショントレーニング：自分の意見をはっきりと述べる 10. 言語的コミュニケーション①（自己紹介・自己PR） 11. 言語的コミュニケーション②（他者紹介・話し合い） 12. 身体的コミュニケーションまとめ（動作法・情報伝達） 13. 言語的コミュニケーションまとめ①（討論会） 14. 言語的コミュニケーションまとめ②（面接場面の役割体験） 15. 社会性について　まとめ
単位数	テキスト 教員作成の資料 池上彰『会社のことをよくわからないまま社会人になった人へ』（海竜社）	単位数	テキスト 講師作成資料を配布する。
2	参考書・参考資料等 大久保幸夫『キャリアデザイン入門＜1＞基礎力編　（日経文庫） 中沢孝夫『就活のまえに』（ちくまプリマー新書）	2	参考書・参考資料等 平木典子著『アサーショントレーニング　ーさわやかな自己表現ー』（金子書房、1993年）
担当者	学生に対する評価 授業内課題（グループ討議・レポート発表・実技演習）（60％）、学期末レポート（40％）	担当者	他は授業中に紹介する
田村美幸	養成をめざす力 日本語を話す力、自主性、問題発見力	森崎雅好	学生に対する評価 毎回の講義後の小感想文（30％）、期末レポート（70％）
	その他 就職活動の準備のためだけではなく、大学で学ぶ専門領域が自分のキャリア形成にとって、どんな意味を持つかということを考える授業です。積極的な参加を期待します。		養成をめざす力 チームワーク、想像力、道徳性
			その他 現代社会ではコミュニケーション力が求められています。適度な自己開示、他者への開かれた態度を身につけることは、円滑な人間関係を生み出します。講義中での積極的な意見交流を望みます。

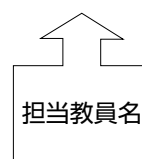
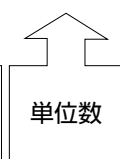
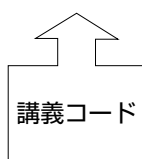
科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
就職スキル講座	到達目標：自己の能力を確認し、就職活動に必要なスキルを習得する。 テーマ：就職活動の意識づけと行動化		
学期	授業の概要 社会に対して視野を広げ、就職活動の進め方や必要なスキルを身につけます。 演習、フィードバックを通して実践的な授業を展開します。	学期	
前期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 社会人として求められる能力（社会人基礎能力） 3. 就職活動の流れと構造 4. 自己の能力と業種の特性との合致 5. ビジネスマナー①（言葉遣い、立居振舞） 6. ビジネスマナー②（会社訪問） 7. ビジネスマナー③（電話応対） 8. 演習①（自己PRの作成） 9. 演習②（履歴書の作成） 10. 演習③（エントリーシートの作成） 11. 演習④（志望動機の作成） 12. 演習⑤（面接の流れと方法） 13. 演習⑥（模擬面接、グループ面接） 14. 演習⑦（模擬面接、グループディスカッション） 15. 演習⑧（総括と自己点検）		
単位数	テキスト 教員作成の資料を配布する。	単位数	
2	参考書・参考資料等 金井壽宏『働く人のためのキャリア・デザイン』（PHP新書）		
担当者	学生に対する評価 授業内課題（40％）、授業内演習（40％）、学期末レポート（20％）	担当者	
田村美幸	養成をめざす力 日本語を聞く力・話す力		
	その他 実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。 受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきたいと思います。 各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。		

大 学 院

◆目次について

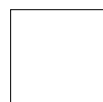
この『平成 25 年度講義概要・授業計画』では、まず目次で自分の学年のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	藤 田 光 寛	2	1 年次	－		1



◆講義コードについて

講義コードは5ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。



(5 ケタ)

課程

5 = 文学部生用
8 = 別科生用
9 = 大学院生用

曜日

1 = 月曜日
2 = 火曜日
3 = 水曜日
4 = 木曜日
5 = 金曜日
6 = 土曜日
7 = 集中講義
8 = 実習
9 = 論文

時限

1 = 1 講時
2 = 2 講時
3 = 3 講時
4 = 4 講時
5 = 5 講時

通し番号

01 ~ 49 = 前期授業
および通年授業
51 ~ 99 = 後期授業

◆受講登録について

- 1 受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、**4月8日（月）から4月17日（水）午後5時まで**に教務課へ提出してください。
- 2 履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。
 - ① 学籍番号（※身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。
 - ② 履修登録欄には、今年度に受講するすべての授業科目を、『平成 25 年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（卒業論文も含む）を記入してください。
- 3 履修登録票を教務課へ提出した学生は、**4月23日（火）から4月26日（金）午後5時まで**に、教務課で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。

この時に学生証が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務課へ提出してください。
- 4 最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、1年間保管してください。
- 5 後期（9月24日開講）授業科目の追加及び登録変更は、**9月24日（火）から9月27日（金）午後5時までの**後期履修登録変更期間に、教務課へ申し出てください。ただし、通年科目の追加・変更・取消はできません。

◆出席票について

- 「出席票」は、各授業の第1回目から第3回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。
- それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の3分の2以上の出席がないと「失格」になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加し、午後（第3講時、第4講時）は通常どおり授業を実施しますので、留意してください。

1. 文学研究科修士課程（修了要件：30 単位）

[密教学専攻 博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース]

1) 基礎科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
後期	月	2	91251	密教学講義（大）	乾 仁 志	2	8 単位を超えて修了要件に参入できない。	院 -1
前期	水	5	93501	仏教学講義（大）	前 谷 彰	2		院 -1
後期	金	2	95251	インド学講義（大）	奥 山 直 司	2		院 -1
前期	月	3	91301	祖典演習（大）	中 村 本 然	2		院 -1

2) 主要科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	4	94402	密教学特殊研究 1（大）	T. ドライライン	2	主要科目 12 単位必修	院 -2
後期	木	4	94452	密教学特殊研究 2（大）	T. ドライライン	2		院 -2
前期	水	5	93502	密教史特殊研究 1（大）	武 内 孝 善	2		院 -2
後期	水	5	93551	密教史特殊研究 2（大）	武 内 孝 善	2		院 -2
前期	月	2	91201	密教学演習 A-1（大）	中 村 本 然	2		院 -3
後期	月	2	91252	密教学演習 A-2（大）	中 村 本 然	2		院 -3
前期	水	1	93101	密教学演習 B-1（大）	南 昌 宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 B-2（大）	南 昌 宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 C-1（大）	乾 仁 志	2		院 -4
後期	水	2	93251	密教学演習 C-2（大）	乾 仁 志	2		院 -4
前期	火	3	92301	密教史演習 A-1（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A-2（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B-1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5
後期	水	2	93252	密教史演習 B-2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5
前期	木	2	94201	密教史演習 C-1（大）	武 内 孝 善	2		院 -5
後期	木	2	94251	密教史演習 C-2（大）	武 内 孝 善	2		院 -5
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	中 村 本 然	2		院 -6
前期	火	1	92101	密教史講読 1（大）	奥 山 直 司	2		院 -6
後期	火	1	92151	密教史講読 2（大）	奥 山 直 司	2		院 -6
後期	水	1	93152	現代社会と宗教（大）	中 村 本 然	2	社会人コースは 4 単位必修	院 -6
前期	水	1	93102	密教と文化（大）	前 谷 彰	2		院 -7
前期	金	3	95351	事相研究 I -1（大）	齋 藤 天 譽	2	僧侶コースは 4 単位必修	院 -7
後期	金	3	95352	事相研究 I -2（大）	齋 藤 天 譽	2		院 -7
前期	木	4	94401	事相研究 II -1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -7
後期	木	4	94451	事相研究 II -2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -8

3) 関連科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	3	94301	仏教学特殊研究（大）	前 谷 彰	2		院 -8
後期	火	3	92352	仏教史特殊研究（大）	加 納 和 雄	2		院 -8
前期	水	2	93203	仏教学演習 A-1（大）	加 納 和 雄	2		院 -9
後期	水	2	93253	仏教学演習 A-2（大）	加 納 和 雄	2		院 -9
前期	火	3	92302	仏教史演習 A-1（大）	前 谷 彰	2		院 -9

後期	火	3	92353	仏教史演習 A-2 (大)	前 谷 彰	2		院 -9
前期	木	1	94101	仏教史演習 B-1 (大)	下 西 忠	2		院 -10
後期	木	1	94151	仏教史演習 B-2 (大)	下 西 忠	2		院 -10
前期	木	3	94302	仏教史講読 1 (大)	藤 田 光 寛	2		院 -10
後期	木	3	94351	仏教史講読 2 (大)	藤 田 光 寛	2		院 -10

4) 共通科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
集中	－	－	97001	密教実践法の研究 1 (大)	甲 田 宥 咩	2	7 / 31 ~ 8 / 2	院 -11
集中	－	－	97002	密教実践法の研究 2 (大)	甲 田 宥 咩	2	9 / 18 ~ 9 / 20	院 -11
前期	火	3	92303	仏教芸術の研究 1 (大)	和 田 圭 子	2		院 -11
後期	火	3	92354	仏教芸術の研究 2 (大)	和 田 圭 子	2		院 -11
後期	水	1	93153	アジア地域の宗教文化の研究 (大)	井 上 ウ ィ マ ラ	2		院 -12
前期	木	3	94303	現代社会と仏教の研究 1 (大)	T. ドライトライン	2		院 -12
後期	木	3	94352	現代社会と仏教の研究 2 (大)	T. ドライトライン	2		院 -12
集中	－	－	97003	教育学特殊研究 (大)	伊 藤 一 雄	2	7 / 27 ~ 7 / 29	院 -12

5) 修士論文

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
通年	－	－	99001	修士論文 (密教学)	副 学 長	0		－
前期	－	－	99003	修士論文 (密教学) (前期)	副 学 長	0	7月提出許可者のみ	－

1. 文学研究科修士課程（修了要件：30 単位）

〔仏教学専攻 博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース〕

1) 基礎科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
後期	月	2	91251	密教学講義（大）	乾 仁 志	2	8 単位を超えて修了要件に 参入できない。	院 -1
前期	水	5	93501	仏教学講義（大）	前 谷 彰	2		院 -1
後期	金	2	95251	インド学講義（大）	奥 山 直 司	2		院 -1
前期	月	3	91301	祖典演習（大）	中 村 本 然	2		院 -1

2) 主要科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	3	94301	仏教学特殊研究（大）	前 谷 彰	2	主要科目 12 単位必修	院 -8
後期	火	3	92352	仏教史特殊研究（大）	加 納 和 雄	2		院 -8
前期	水	2	93203	仏教学演習 A-1（大）	加 納 和 雄	2		院 -9
後期	水	2	93253	仏教学演習 A-2（大）	加 納 和 雄	2		院 -9
前期	火	3	92302	仏教史演習 A-1（大）	前 谷 彰	2		院 -9
後期	火	3	92353	仏教史演習 A-2（大）	前 谷 彰	2		院 -9
前期	木	1	94101	仏教史演習 B-1（大）	下 西 忠	2		院 -10
後期	木	1	94151	仏教史演習 B-2（大）	下 西 忠	2		院 -10
前期	木	3	94302	仏教史講読 1（大）	藤 田 光 寛	2		院 -10
後期	木	3	94351	仏教史講読 2（大）	藤 田 光 寛	2		院 -10
後期	水	1	93152	現代社会と宗教（大）	中 村 本 然	2	社会人コースは 4 単位必修	院 -6
前期	水	1	93103	仏教と文化（大）	前 谷 彰	2		院 -7
前期	金	3	95351	事相研究 I -1（大）	齋 藤 天 譽	2	僧侶コースは 4 単位必修	院 -7
後期	金	3	95352	事相研究 I -2（大）	齋 藤 天 譽	2		院 -7
前期	木	4	94401	事相研究 II -1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -7
後期	木	4	94451	事相研究 II -2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -8

3) 関連科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	4	94402	密教学特殊研究 1（大）	T. ドライトライン	2		院 -2
後期	木	4	94452	密教学特殊研究 2（大）	T. ドライトライン	2		院 -2
前期	水	5	93502	密教史特殊研究 1（大）	武 内 孝 善	2		院 -2
後期	水	5	93551	密教史特殊研究 2（大）	武 内 孝 善	2		院 -2
前期	月	2	91201	密教学演習 A-1（大）	中 村 本 然	2		院 -3
後期	月	2	91252	密教学演習 A-2（大）	中 村 本 然	2		院 -3
前期	水	1	93101	密教学演習 B-1（大）	南 昌 宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 B-2（大）	南 昌 宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 C-1（大）	乾 仁 志	2		院 -4
後期	水	2	93251	密教学演習 C-2（大）	乾 仁 志	2		院 -4
前期	火	3	92301	密教史演習 A-1（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A-2（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B-1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5
後期	水	2	93252	密教史演習 B-2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5

前期	木	2	94201	密教史演習 C-1 (大)	武 内 孝 善	2		院 -5
後期	木	2	94251	密教史演習 C-2 (大)	武 内 孝 善	2		院 -5
後期	月	3	91351	密教学講読 (大)	中 村 本 然	2		院 -6
前期	火	1	92101	密教史講読 1 (大)	奥 山 直 司	2		院 -6
後期	火	1	92151	密教史講読 2 (大)	奥 山 直 司	2		院 -6

4) 共通科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
集中	－	－	97001	密教実践法の研究 1 (大)	甲 田 宥 畔	2	7/31～8/2	院 -11
集中	－	－	97002	密教実践法の研究 2 (大)	甲 田 宥 畔	2	9/18～9/20	院 -11
前期	火	3	92303	仏教芸術の研究 1 (大)	和 田 圭 子	2		院 -11
後期	火	3	92354	仏教芸術の研究 2 (大)	和 田 圭 子	2		院 -11
後期	水	1	93153	アジア地域の宗教文化の研究 (大)	井 上 ウ ィ マ ラ	2		院 -12
前期	木	3	94303	現代社会と仏教の研究 1 (大)	T. ドライトライン	2		院 -12
後期	木	3	94352	現代社会と仏教の研究 2 (大)	T. ドライトライン	2		院 -12
集中	－	－	97003	教育学特殊研究 (大)	伊 藤 一 雄	2	7/27～7/29	院 -12

5) 修士論文

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
通年	－	－	99002	修士論文 (仏教学)	副 学 長	0		－
前期	－	－	99004	修士論文 (仏教学) (前期)	副 学 長	0	7月提出許可者のみ	－

2. 文学研究科博士後期課程（修了要件：12 単位）

〔密教学専攻〕

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	4	94402	密教学特殊研究 1（大）	T.ドライトライン	2	※ 密教特殊演習 4 単位を含め、12 単位以上を履修しなければならない。 （複数回受講可）	院 -2
後期	木	4	94452	密教学特殊研究 2（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
前期	水	5	93502	密教史特殊研究 1（大）	武 内 孝 善	2		院 -2
後期	水	5	93551	密教史特殊研究 2（大）	武 内 孝 善	2		院 -2
前期	月	2	91201	密教学演習 A-1（大）	中 村 本 然	2		院 -3
後期	月	2	91252	密教学演習 A-2（大）	中 村 本 然	2		院 -3
前期	水	1	93101	密教学演習 B-1（大）	南 昌 宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 B-2（大）	南 昌 宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 C-1（大）	乾 仁 志	2		院 -4
後期	水	2	93251	密教学演習 C-2（大）	乾 仁 志	2		院 -4
前期	火	3	92301	密教史演習 A-1（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A-2（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B-1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5
後期	水	2	93252	密教史演習 B-2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5
前期	木	2	94201	密教史演習 C-1（大）	武 内 孝 善	2		院 -5
後期	木	2	94251	密教史演習 C-2（大）	武 内 孝 善	2		院 -5
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	中 村 本 然	2		院 -6
前期	火	1	92101	密教史講読 1（大）	奥 山 直 司	2		院 -6
後期	火	1	92151	密教史講読 2（大）	奥 山 直 司	2		院 -6
前期	水	5	93503	密教特殊演習 A-1（大）	奥 山 直 司	2		院 -13
後期	水	5	93552	密教特殊演習 A-2（大）	奥 山 直 司	2		院 -13
前期	木	5	94501	密教特殊演習 B-1（大）	武 内 孝 善	2		院 -13
後期	木	5	94551	密教特殊演習 B-2（大）	武 内 孝 善	2		院 -13

〔仏教学専攻〕

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	3	94301	仏教学特殊研究（大）	前 谷 彰	2	※ 仏教特殊演習 4 単位を含め、12 単位以上を履修しなければならない。 （複数回受講可）	院 -8
後期	火	3	92352	仏教史特殊研究（大）	加 納 和 雄	2		院 -8
前期	水	2	93203	仏教学演習 A-1（大）	加 納 和 雄	2		院 -9
後期	水	2	93253	仏教学演習 A-2（大）	加 納 和 雄	2		院 -9
前期	火	3	92302	仏教史演習 A-1（大）	前 谷 彰	2		院 -9
後期	火	3	92353	仏教史演習 A-2（大）	前 谷 彰	2		院 -9
前期	木	1	94101	仏教史演習 B-1（大）	下 西 忠	2		院 -10
後期	木	1	94151	仏教史演習 B-2（大）	下 西 忠	2		院 -10
前期	木	3	94302	仏教史講読 1（大）	藤 田 光 寛	2		院 -10
後期	木	3	94351	仏教史講読 2（大）	藤 田 光 寛	2		院 -10

講 義 概 要

•

授 業 計 画

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教に関する基本的な理解を培うことを目的とする。 テーマ：密教の基礎知識の養成	科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の基礎知識についての確認作業を行い、仏教の思想が将来的にどのように生かし得るかについて、それぞれの認識を深めてもらう。 テーマ：仏教とは何か
密 教 学 講 義 （大）	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵や金剛智三蔵によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらない。弘法大師空海によって確立されることになる（真言）密教の特徴を概観する。	仏 教 学 講 義 （大）	授業の概要 仏教とは何かについての基本的疑問を提示することによって、仏教が初期・大乘・密教と歴史的に展開してきた足跡を追うことによって、仏教の何たるかについての基本的問題に焦迫する。
学期	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 十住心の思想；①十住心思想の構成 3. 十住心の思想；②十住心思想の特徴 4. 真言密教の仏陀観；①釈迦如来から大日如来へ 5. 真言密教の仏陀観；②様々な信仰の対象 6. 曼荼羅；①両部曼荼羅の成立 7. 曼荼羅；②四種曼荼羅とは 8. 真言密教の人間観；①空海と心の本性の探究 9. 真言密教の人間観；②心性本淨思想の源流 10. 即身成仏への道；①密教の三昧耶戒 11. 即身成仏への道；②浄菩提心と観法 12. 即身成仏への道；③四重禁戒と十善戒 13. 即身成仏思想；①六大・四曼・三密 14. 即身成仏思想；②即身の意味と三種即身成仏 15. 密教の特性	学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 初期仏教の基礎知識の確認。 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 大乘とは何か。 7. 同上 8. 同上 9. 密教とは何か。 10. 同上 11. 同上 12. 初期仏教思想を現代にどのように生かすか。 13. 大乘を現代にどのように生かすか。 14. 密教を現代にどのように生かすか。 15. 総まとめ
後 期	テキスト 勝又俊教著『密教入門』春秋社	前 期	テキスト 担当者がコピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店 高神覺昇著『密教概論』大法輪閣 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫、その他	単位数	参考書・参考資料等 必要に応じて、担当者が紹介する。
2	学生に対する評価 授業参加の積極性（20%）、試験（80%）	2	学生に対する評価 授業時に指示する課題をどれだけこなしているか（50%）、学期末のレポート（50%）によって評価する。
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性	担当者	養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚
乾 仁 志	その他 講義にはノートと配布プリント（テキストと参考資料）および『仏教辞典』等を持参してください。 授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートに写してください。 学生に対する評価ある「授業参加の積極性 20%」は、ノートを点検して採点します。 分からない仏教用語は、随時『仏教辞典』を開いて確認してください。	前 谷 彰	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける。 ②チベットの仏像を見た時に、その名称が言えるようになる。 ③インド・チベット仏教史の流れを理解する。 テーマ：インド・チベット密教の図像資料の研究	科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師の僧侶観や仏教と国家などについての理解を深めたい。 テーマ：『秘蔵宝鑰』を読む
イン ド 学 講 義 （大）	授業の概要 チベット探検で知られる河口慧海が持ち帰った図像資料などに基づいて、インド・チベット仏教美術の主題と表現形式学び、さらに『三百尊図像集』などを用いて、図像の解説の練習を行う。あわせてインド・チベット仏教史の流れについて基礎的な知識の整理を行う。	祖 典 演 習 （大）	授業の概要 『秘蔵宝鑰』は弘法大師が天長七年(830)頃に、時の天皇の要請によって撰述した著書である。この論には空海思想の集大成ともいえる十住心思想が論じられている。講義では、特に第四唯蘊無我心に注目してみたい。
学期	授業計画 1. イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか 2. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式1 3. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式2 4. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式3 5. 河口慧海コレクション1 6. 河口慧海コレクション2 7. 河口慧海コレクション3 8. 河口慧海コレクション4 9. 『三百尊図像集』1 10. 『三百尊図像集』2 11. 『三百尊図像集』3 12. 『三百尊図像集』4 13. 『三百尊図像集』5 14. 『三百尊図像集』6 15. まとめ	学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『秘蔵宝鑰』の成立背景 3. 『秘蔵宝鑰』他縁大乘心の綱領① 4. 『秘蔵宝鑰』他縁大乘心の綱領② 5. 『秘蔵宝鑰』他縁大乘心の綱領③ 6. 『秘蔵宝鑰』偈頌による表現① 7. 『秘蔵宝鑰』偈頌による表現② 8. 『秘蔵宝鑰』この住心の本拠① 9. 『秘蔵宝鑰』この住心の本拠② 10. 『秘蔵宝鑰』極不の問答① 11. 『秘蔵宝鑰』極不の問答② 12. 講義総括
後 期	テキスト 『河口慧海請来チベット資料図録』佼成出版社 『三百尊図像集』（ビブリオテカ・ブツディカ）	前 期	テキスト 『十卷章』高野山大学出版
単位数	参考書・参考資料等 頼富本宏・下泉全曉『密教仏像図典 インドと日本の仏たち』人文書院	単位数	参考書・参考資料等 小田慈母著『十卷章講説』高野山出版社など
2	学生に対する評価 提出物の評価を含む授業参加状況（60%）、期末レポート（40%）	2	学生に対する評価 授業参加の積極性（40%）・試験（60%）で評価する。
担当者	養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を書く力、想像力	担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、問題発見力
奥 山 直 司	その他 遅刻3回で1欠席と見なすので注意。	中 村 本 然	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
密教学特殊研究 1 (大)	到達目標：空海の英訳三部作の現代語訳を通じてその思想を理解し、わかりやすく他に伝えることができる。 テーマ：空海の英訳三部作を現代語訳する－英訳から現代日本語へ－	密教学特殊研究 2 (大)	到達目標：空海の英訳三部作の現代語訳を通じてその思想を理解し、わかりやすく他に伝えることができる。 テーマ：空海の英訳三部作を現代語訳する－英語から現代日本語へ－
学期	授業の概要 高木神元・T. ドライトラインの共著である空海の三部作の英訳をテキストとして現代和訳をしながら、空海の思想の現代における意義を吟味し、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。	学期	授業の概要 高木神元・T. ドライトラインの共著である空海の三部作の英訳をテキストとして現代和訳をしながら、空海の思想の現代における意義を吟味し、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。
前期	授業計画 1. 空海の思想的展開とその思想史意義 2. 『即身成佛義』 1 3. 同上 2 4. 同上 3 5. 同上 4 6. 同上 5 7. 同上 6 8. 『声字実相義』 1 9. 同上 2 10. 同上 3 11. 同上 4 12. 『昨字義』 1 13. 同上 2 14. 同上 3 15. 同上 4	後期	授業計画 1. 空海の思想的展開とその思想史意義 2. 『即身成佛義』 1 3. 同上 2 4. 同上 3 5. 同上 4 6. 同上 5 7. 同上 6 8. 『声字実相義』 1 9. 同上 2 10. 同上 3 11. 同上 4 12. 『昨字義』 1 13. 同上 2 14. 同上 3 15. 同上 4
単位数	テキスト Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō, <i>Kūkai on the Philosophy of Language</i> . Tokyo: Keio University Press, 2010. (4766417577)	単位数	テキスト Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō, <i>Kūkai on the Philosophy of Language</i> . Tokyo: Keio University Press, 2010. (4766417577)
2	参考書・参考資料等 『定本弘法大師全集』、小田慈舟『十卷章講説』、Hakeda, Yoshito, <i>Kūkai: Major Works</i> 、その他	2	参考書・参考資料等 『定本弘法大師全集』、小田慈舟『十卷章講説』、Hakeda, Yoshito, <i>Kūkai: Major Works</i> 、その他
担当者	学生に対する評価 レポート (50%)、発表 (20%)、授業参加の積極性 (30%)	担当者	学生に対する評価 レポート (50%)、発表 (20%)、授業参加の積極性 (30%)
T. ドライトライン	養成をめざす力 密教仏教の専門性、外国語を読む力、国際感覚 その他 参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。 テキストのテーマに合わせて、空海の思想について受講生による発表を行う。 英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。 プログラムは改訂される場合がある。	T. ドライトライン	養成をめざす力 密教仏教の専門性、外国語を読む力、国際感覚 その他 参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。 テキストのテーマに合わせて、空海の思想について受講生による発表を行う。 英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。 プログラムは改訂される場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
密教史特殊研究 1 (大)	到達目標：過去のできごとを歴史的に解明していく上で、根本史料となるのが古文書です。わが国における真言密教の展開を研究する場合も、古文書の知識なくしては進めることができません。この講義では、古文書学の基本を習得することを目的とします。 テーマ：真言宗に出された古文書を読む	密教史特殊研究 2 (大)	到達目標：この講義は、人文科学を研究していく上での基本的な事柄、特に文献学的な研究方法を身につけることを目的とします。 テーマ：文献学方法論－何をどのように使って研究するか－
学期	授業の概要 この講義では、時代を奈良から平安時代初期(八～十世紀)に限定し、第一に、空海伝並びに初期真言宗教団史を研究する上で、必須となる古文書学の基本事項をおさえる。第二は、当該時期の古文書をできるかぎり多く読み、内容の把握に努めるとともに問題点を指摘し、その解明を試みたい。	学期	授業の概要 ハード面とソフト面にわけると、まずハード面では研究を進める上での基本となる道具類についてふれる。つまり、基本的な辞(事)典・史(資)料目録・文献目録・索引・史料集・年表などを紹介する。つぎにソフト面として、史(資)料とは何か、史(資)料を蒐集(しゅうしゅう)するときの留意事項、写本の扱い方、本文校訂の必要性とその方法、先行研究の整理・検討など、実際に史(資)料を蒐集して研究を進めていく上での基本を論じてみたい。
前期	授業計画 1. 古文書とは何か 2. 古文書の様式について 3. 古文書を読む (1) 太政官符 1 4. 同 (2) 太政官符 2 5. 同 (3) 太政官符 3 6. 同 (4) 太政官牒 1 7. 同 (5) 太政官牒 2 8. 同 (6) 太政官牒 3 9. 同 (7) 僧綱牒 1 10. 同 (8) 僧綱牒 2 11. 同 (9) 位記 12. 同 (10) 戒牒 13. 僧侶の手紙を読む (1) 空海の手紙 1 14. 同 (2) 空海の手紙 2 15. 同 (3) 最澄の手紙	後期	授業計画 1. はじめに－読むとはどういうことか－ 2. 史(資)料とは何か 3. 史(資)料を蒐集するときの留意事項 4. 道具類について (1) 5. 同 (2) 6. 同 (3) 7. 同 (4) 8. 同 (5) 9. 先行研究の整理・検討 10. 本文校訂の必要性とその方法 11. 写本の扱い方 12. 調書を作成する (1) 13. 同 (2) 14. 写本を筆写する (1) 15. 同 (2)
単位数	テキスト 毎時間、プリントを配付する。	単位数	テキスト 毎時間、プリントを配付する。
2	参考書・参考資料等 ・佐藤進一『古文書入門』法政大学出版部 ・竹内理三編『平安遺文』東京堂出版 ・『弘法大師全集』第五輯所収「官符等編年雑集」密教文化研究所 ・園城寺編『園城寺文書』第一巻 講談社	2	参考書・参考資料等 ・山本信吉『古典籍が語る－書物の文化史－』2004年 八木書店 ・長沢規矩也『書誌学序説』1965年 吉川弘文館 ・山岸徳平『書誌学序説』1977年 岩波書店 ・藤井 隆『日本古典書誌学総説』1991年 和泉書院
担当者	学生に対する評価 授業への取り組み (60%) と数回のレポート (40%) で評価。	担当者	学生に対する評価 授業に対する取り組み (60%) と数回のレポート (40%) で評価。
武内孝善	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題解決力 その他 ①身につくか否かは、各自の努力と熱意によります。 ②「習うより慣れろ」です。多くの文書に親しんでください。	武内孝善	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力 その他 ①講義は教師と学生の共同作業です。主体的に講義に参加してほしい。 ②疑問はその時間内で解決しよう。大いに質問してほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：唐に留学した空海がどんな教えを学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。 テーマ：『御請来目録』
密教学演習A－1（大）	授業の概要 空海の帰国報告書ともいうべき『御請来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した經典類、③密教受法の経緯、④顕教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。
学期	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 入唐から帰国までの経緯報告① 3. 入唐から帰国までの経緯報告② 4. 入唐から帰国までの経緯報告③ 5. 入唐から帰国までの経緯報告④ 6. 闕期の罪について① 7. 闕期の罪について② 8. 新訳等の経について① 9. 新訳等の経について② 10. 新訳等の経について③ 11. 密教の相承について① 12. 密教の相承について② 13. 密教の相承について③ 14. 密教の相承について④ 15. 講義の総括
前期	テキスト 『定本弘法大師全集』第一巻 高野山大学密教文化研究所
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 宮坂宥勝監修『空海コレクション2』ちくま学芸文庫 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
中村本然	学生に対する評価 授業参加の積極性（40%）、試験（60%）で評価する。 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：唐に留学した空海がどんな教えを学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。 テーマ：『御請来目録』
密教学演習A－2（大）	授業の概要 空海の帰国報告書ともいうべき『御請来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した經典類、③密教受法の経緯、④顕教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。
学期	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 請来した梵字真言讃等について 3. 請来した論疏章等について 4. 請来した仏菩薩金剛天等について 5. 請来した道具について 6. 請来した阿闍梨付嘱物について 7. 密教の受法の経緯について① 8. 密教の受法の経緯について② 9. 恵果との師弟の交流について① 10. 恵果との師弟の交流について② 11. 般若三蔵の願いについて① 12. 般若三蔵の願いについて② 13. 顕教と密教について① 14. 顕教と密教について② 15. 講義の総括
後期	テキスト 『定本弘法大師全集』第一巻 高野山大学密教文化研究所
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 宮坂宥勝監修『空海コレクション2』ちくま学芸文庫 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
中村本然	学生に対する評価 授業参加の積極性（40%）、試験（60%）で評価する。 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な能力を養い、論文執筆に際しての形式・作法などを修得し、論文を批判的に読む訓練をする。 テーマ：空海の著作、漢籍または中国語の論文を読む。
密教学演習B－1（大）	授業の概要 輪読形式でテキストを読み進める。中国語テキストの講読を主とする場合、中国語の未経験者でもかまわない。中国語履修者には輪読してもらう。 講義中に疑問となる箇所があれば、次回への宿題とし、十分な説明が出来るよう準備する。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 「唐密与儒、道之関係」(1) 3. 「唐密与儒、道之関係」(2) 4. 「唐密与儒、道之関係」(3) 5. 「唐密与儒、道之関係」(4) 6. 「唐密与儒、道之関係」(5) 7. 「唐密与儒、道之関係」(6) 8. 「唐密与儒、道之関係」(7) 9. 「唐密与儒、道之関係」(8) 10. 「唐密与儒、道之関係」(9) 11. 「唐密与儒、道之関係」(10) 12. 「唐密与儒、道之関係」(11) 13. 「唐密与儒、道之関係」(12) 14. 「唐密与儒、道之関係」(13) 15. 期末試験
前期	テキスト 最近の論文、または呂建福『中国密教史』、『即身成仏義』などのコピーを配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 『大漢和辞典』、『密教辞典』など。
南昌宏	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評価とする。 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、外国語を読む力、問題解決力 その他 受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な能力を養い、論文執筆に際しての形式・作法などを修得し、論文を批判的に読む訓練をする。 テーマ：空海の著作、漢籍または中国語の論文を読む。
密教学演習B－2（大）	授業の概要 輪読形式でテキストを読み進める。中国語テキストの講読を主とする場合、中国語の未経験者でもかまわない。中国語履修者には輪読してもらう。 講義中に疑問となる箇所があれば、次回への宿題とし、十分な説明が出来るよう準備する。
学期	授業計画 1. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(1) 2. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(2) 3. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(3) 4. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(4) 5. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(5) 6. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(6) 7. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(7) 8. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(8) 9. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(9) 10. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(10) 11. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(11) 12. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(12) 13. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(13) 14. 「古代印度密教観音信仰の産生与演变」(14) 15. 期末試験
後期	テキスト 最近の論文、または呂建福『中国密教史』、『即身成仏義』などのコピーを配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 『大漢和辞典』、『密教辞典』など。
南昌宏	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評価とする。 養成をめざす力 密教仏教の基礎力、外国語を読む力、問題解決力 その他 受講者の人数が少なければ、ガイダンス時に受講生と相談してテキストを変更する場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教経典に対する理解力と分析力の養成 テーマ：『大日経』を読む
密教学演習C-1（大）	授業の概要 弘法大師が平安初期に中国から日本に移植されたのは、『大日経』と『金剛頂経』の二つの教典を両部とする密教であった。大師晩年の代表的な著作『十住心論』は、悟りにいたるまでの転昇過程を十段階に分け、それらの十段階に儒教、道教、仏教によって教理的な説明を加えて、当時の諸思想を総合化したものである。その十住心思想の骨格を形成するための典拠となっているのが『大日経』および『大日経疏』である。本年度も『大日経』の住心品を取り上げ、三句の法門を中心に菩提心について考察する。
学期	授業計画 【前期】 1. シラバスの説明、講義の進め方等 2. 『大日経』の原典資料と研究資料の紹介 3. 『大日経』の内容概略の説明 4. 『大日経』の本文を読む（住心品）1 5. 同上 2 6. 同上 3 7. 同上 4 8. 同上 5 9. 同上 6 10. 同上 7 11. 同上 8 12. 同上 9 13. 同上 10 14. 同上 11 15. 同上 12
前期	テキスト 漢訳：『大毘盧遮那成佛神変加持经』大正 848 番（五部秘经を用いる） チベット訳：東北 494 番 北京 126 番 その他、プリント配布
単位数	参考書・参考資料等 福田亮成訳『大日経』（新国訳大藏经 密教部 1）大蔵出版 松長有慶『密教経典解説』（現代密教講座 第二巻）大東出版社 頼富本宏著『『大日経』入門』大法輪閣、他
2	学生に対する評価 レポート（80％） 授業参加の積極性（20％）
担当者	養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を読む力・話す力、外国語を読む力
乾	その他 漢文テキストは訓点が施された五部秘经を用いるので、読めるように予習しておくこと。 漢文のテキストとチベット訳（担当者が和訳を用意する）を引き比べながら、違い等に留意しながら内容の理解に努める。 前もって注釈書にも目を通してくるよう要望したい。
仁志	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：エンゲイジド・ブディズムに代表される現代仏教の新潮流について理解を深めると同時に、外国語文献を含む文献資料の読解力を養い、論文作成のノウハウを身につける。 テーマ：仏教新潮流と密教
密教史演習A-1（大）	授業の概要 今世界の仏教地図はエンゲイジド・ブディズムという言葉で一括される仏教の新潮流によって塗りかえられようとしている。本授業は、さまざまな形で顕れているこの新しい流れについて、代表的な出版物の読解を通じて学んでゆく。当番制の輪読によって授業を進め、論じ、考えてゆく。
学期	授業計画 1. ガイダンス：エンゲイジド・ブディズムへの視点 2～4. 阿満利磨『社会をつくる仏教』を読む 5～7. 阿満利磨『行動する仏教』を読む 8～11. ランジャナ・ムコパディヤーヤ『日本の社会参加仏教』を読む 12～15. Engaged Buddhism を読む
前期	テキスト 阿満利磨『社会をつくる仏教』人文書院 阿満利磨『行動する仏教』ちくま学芸文庫 ランジャナ・ムコパディヤーヤ『日本の社会参加仏教』東信堂 Ch.Queen & S.King, <i>Engaged Buddhism: Buddhist Liberation Movements in Asia</i> , State University of New York Press ダライ・ラマ 14 世『チベットわが祖国』中公文庫 ダライ・ラマ 14 世『宗教を超えて－世界倫理への新たなビジョン』サンガ（His Holiness Dalai Lama, <i>Beyond Religion: Ethics for a Whole World</i> ）
単位数	参考書・参考資料等 ダライ・ラマ 14 世『ダライ・ラマ 宗教を語る』春秋社
2	学生に対する評価 予習・発表準備状況（60％）、授業参加状況（40％）
担当者	養成をめざす力 日本語を読む力、外国語を読む力、問題発見力
奥山直司	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：エンゲイジド・ブディズムに代表される現代仏教の新潮流について理解を深めると同時に、外国語文献を含む文献資料の読解力を養い、論文作成のノウハウを身につける。 テーマ：仏教新潮流と密教
密教史演習A-2（大）	授業の概要 今世界の仏教地図はエンゲイジド・ブディズムという言葉で一括される仏教の新潮流によって塗りかえられようとしている。本授業は、さまざまな形で顕れているこの新しい流れについて、代表的な出版物の読解を通じて学んでゆく。当番制の輪読によって授業を進め、論じ、考えてゆく。
学期	授業計画 1. ガイダンス：チベット近現代史 2. チベット近現代史（続き） 3～5. ダライ・ラマ 14 世『チベットわが祖国』を読む 6～15. ダライ・ラマ 14 世『ダライ・ラマ 宗教を超えて』を読む
後期	テキスト 阿満利磨『社会をつくる仏教』人文書院 阿満利磨『行動する仏教』ちくま学芸文庫 ランジャナ・ムコパディヤーヤ『日本の社会参加仏教』東信堂 Ch.Queen & S.King, <i>Engaged Buddhism: Buddhist Liberation Movements in Asia</i> , State University of New York Press ダライ・ラマ 14 世『チベットわが祖国』中公文庫 ダライ・ラマ 14 世『宗教を超えて－世界倫理への新たなビジョン』サンガ（His Holiness Dalai Lama, <i>Beyond Religion: Ethics for a Whole World</i> ）
単位数	参考書・参考資料等 ダライ・ラマ 14 世『ダライ・ラマ 宗教を語る』春秋社
2	学生に対する評価 予習・発表準備状況（60％）、授業参加状況（40％）
担当者	養成をめざす力 日本語を読む力、外国語を読む力、問題発見力
奥山直司	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教經典を解説することによって漢文読解力と修士論文を作成するための力を養いたい。 テーマ：『宿曜經』を読む。
密教史演習B-1(大)	
学期	
前期	
単位数	テキスト 『宿曜經』（大正 21 No. 1299 担当者がコピーを配布します） （和本 担当者用意）
2	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』（臨川書店） 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法蔵館）
担当者	
佐藤隆彦	学生に対する評価 レポート（60％） 演習発表討論参加（40％） 養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教經典を解説することによって漢文読解力と修士論文を作成するための力を養いたい。 テーマ：『宿曜經』を読む。
密教史演習B-2(大)	
学期	
後期	
単位数	テキスト 『宿曜經』（大正 21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）
2	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』（臨川書店） 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法蔵館）
担当者	
佐藤隆彦	学生に対する評価 レポート（60％） 演習発表討論参加（40％） 養成をめざす力 論理性、問題発見力、問題解決力 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の遺言状とみなされてきた『遺告二十五ヶ条』（以下、『御遺告』）は、古来、空海の生涯を考えるときの根本史料であった。しかし、今日では十世紀半ば以降の成立とみなされ、一次史料とはなりえなくなった。とはいえ、初期の真言宗教団の成立過程を考えるとときには、有力な史料の一つである。そこで、『御遺告』の最古の写本をテキストとして、写本の扱い方と読解力の修得を目標とする。 テーマ：『御遺告』を読む
密教史演習C-1(大)	
学期	
前期	
単位数	テキスト 金剛寺本『御遺告』一帖（平安中期写本）
2	参考書・参考資料等 ・『御遺告』の活字本（『定本弘法大師全集』第7巻所収本） ・註釈書類（『続真言宗全書』第26巻） ・築島 裕『平安時代調点本論考』汲古書院 ・小林芳規『角筆文献研究導論』（四冊）汲古書院
担当者	
武内孝善	学生に対する評価 授業への参加度（60％）と数回のレポート（40％）で評価する。 養成をめざす力 密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力 その他 ①写本が扱えるようになると、活字本だけしか使えないときに比べて、研究範囲が大幅に拡大されます。 ②積極的に講義に参加し、写本の扱い方をマスターしてほしい。 ③そうして、写本を使って修士論文を書いてほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の遺言状とみなされてきた『遺告二十五ヶ条』（以下、『御遺告』）は、古来、空海の生涯を考えるときの根本史料であった。しかし、今日では十世紀半ば以降の成立とみなされ、一次史料とはなりえなくなった。とはいえ、初期の真言宗教団の成立過程を考えるとときには、有力な史料の一つである。そこで、『御遺告』の最古の写本をテキストとして、写本の扱い方と読解力の修得を目標とする。 テーマ：『御遺告』を読む
密教史演習C-2(大)	
学期	
後期	
単位数	テキスト 金剛寺本『御遺告』一帖（平安中期写本）
2	参考書・参考資料等 ・『御遺告』の活字本（『定本弘法大師全集』第七巻所収本） ・註釈書類（『続真言宗全書』第26巻） ・築島 裕『平安時代調点本論考』汲古書院 ・小林芳規『角筆文献研究導論』（四冊）汲古書院
担当者	
武内孝善	学生に対する評価 授業への参加度（60％）と数回のレポート（40％）で評価する。 養成をめざす力 密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力 その他 ④写本が扱えるようになると、活字本だけしか使えないときに比べて、研究範囲が大幅に拡大されます。 ⑤積極的に講義に参加し、写本の扱い方をマスターしてほしい。 ⑥そうして、写本を使って修士論文を書いてほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言密教における浄土信仰である秘密念仏思想の理解を深めることを目的とする。 テーマ：『秘密宗念仏鈔』を読む
密教教学講読（大）	
学期	後期
単位数	2
担当者	中村 本然
授業の概要	道範(1179-1252)の著わした『秘密宗念仏鈔』は真言教学における浄土思想を論じたものである。本書には真言密教の阿弥陀観はもとより、尋常行儀・臨終用心について論及され、更に大師信仰の結実としての御宝号「南無大師遍照金剛」にも触れられている。
授業計画	1. オリエンテーション 2. 『秘密宗念仏鈔』名号事 3. 『秘密宗念仏鈔』名号事 4. 『秘密宗念仏鈔』名号事 5. 『秘密宗念仏鈔』名号事 6. 『秘密宗念仏鈔』称名本願事 7. 『秘密宗念仏鈔』念仏三昧事 8. 『秘密宗念仏鈔』念仏三昧事 9. 『秘密宗念仏鈔』十念事 10. 『秘密宗念仏鈔』十念事 11. 『秘密宗念仏鈔』法華三昧事 12. 『秘密宗念仏鈔』法華三昧事 13. 『秘密宗念仏鈔』大悲三昧事 14. 総括
テキスト	『秘密宗念仏鈔』道範記 光台院寄託
参考書・参考資料等	『秘密宗念仏鈔』〈『真言宗安心全書』下〉
学生に対する評価	授業参加の積極性（40％）・レポート（60％）で評価する。
養成をめざす力	密教仏教の基礎力、問題解決力
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：チベット人が著した仏教史書に関する知識を深め、その研究方法を身につけ、読解力を高める。 テーマ：プトゥン『仏教史』の研究
密教史講読 1（大）	
学期	前期
単位数	2
担当者	奥山 直司
授業の概要	プトゥン・リンチェントップが著した『仏教史』は、チベット撰述の仏教史書の中では最も名高く、かつ標準的なものである。本授業では、本書の読解を通じて、チベット人の構想する仏教史がどのようなものであるかを知ると共に、その成立事情、歴史観、問題点などについて考察を加えてゆく。基本的には当番制を取り、受講生の予習状況を見ながら授業を進める。
授業計画	1. ガイダンス、資料の確認と取りそろえ。 2. プトゥンの『仏教史』読解 1 3. プトゥンの『仏教史』読解 2 4. プトゥンの『仏教史』読解 3 5. プトゥンの『仏教史』読解 4 6. プトゥンの『仏教史』読解 5 7. プトゥンの『仏教史』読解 6 8. プトゥンの『仏教史』読解 7 9. プトゥンの『仏教史』読解 8 10. プトゥンの『仏教史』読解 9 11. プトゥンの『仏教史』読解 10 12. プトゥンの『仏教史』読解 11 13. プトゥンの『仏教史』読解 12 14. プトゥンの『仏教史』読解 13 15. まとめ
テキスト	bDe bar gshegs pa'i bstan pa'i gsal byed: Chos kyi 'byung gnas gsung rab rin po che'i mdzod ces bya ba (図書館所蔵本をコピーして用いる)
参考書・参考資料等	E.Obermiller, History of Buddhism (Chos-hbyung) by Bu-ston (鈴木学術財団によるリプリントを図書館が所蔵)
学生に対する評価	予習状況（50％）、授業参加状況（50％）
養成をめざす力	密教仏教の専門性、日本語を書く力、外国語を読む力
その他	十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：チベット人が著した仏教史書に関する知識を深め、その研究方法を身につけ、読解力を高める。 テーマ：プトゥン『仏教史』の研究
密教史講読 2（大）	
学期	後期
単位数	2
担当者	奥山 直司
授業の概要	プトゥン・リンチェントップが著した『仏教史』は、チベット撰述の仏教史書の中では最も名高く、かつ標準的なものである。本授業では、本書の読解を通じて、チベット人の構想する仏教史がどのようなものであるかを知ると共に、その成立事情、歴史観、問題点などについて考察を加えてゆく。基本的には当番制を取り、受講生の予習状況を見ながら授業を進める。
授業計画	1. ガイダンス、資料の確認と取りそろえ。 2. プトゥンの『仏教史』読解 1 3. プトゥンの『仏教史』読解 2 4. プトゥンの『仏教史』読解 3 5. プトゥンの『仏教史』読解 4 6. プトゥンの『仏教史』読解 5 7. プトゥンの『仏教史』読解 6 8. プトゥンの『仏教史』読解 7 9. プトゥンの『仏教史』読解 8 10. プトゥンの『仏教史』読解 9 11. プトゥンの『仏教史』読解 10 12. プトゥンの『仏教史』読解 11 13. プトゥンの『仏教史』読解 12 14. プトゥンの『仏教史』読解 13 15. まとめ
テキスト	bDe bar gshegs pa'i bstan pa'i gsal byed: Chos kyi 'byung gnas gsung rab rin po che'i mdzod ces bya ba (図書館所蔵本をコピーして用いる)
参考書・参考資料等	E.Obermiller, History of Buddhism (Chos-hbyung) by Bu-ston (鈴木学術財団によるリプリントを図書館が所蔵)
学生に対する評価	予習状況（50％）、授業参加状況（50％）
養成をめざす力	密教仏教の専門性、日本語を書く力、外国語を読む力
その他	十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代科学の現状と課題についての理解を深める。 テーマ：宗教と科学
現代社会と宗教（大）	
学期	後期
単位数	2
担当者	中村 本然
授業の概要	科学文明は、人々の生活を向上させ、人類に幸福をもたらすと考えられてきている。ところで近年になってそれが大きく揺らぎ始め、ともすれば人間の存続をも危ぶまれる事態を招きつつある。オゾン層の破壊や地球の温暖化・砂漠化などの環境問題、脳死・臓器移植などの生命倫理や、ストレス社会の構造などの現象として現われている。このような社会問題化している事象も、科学がさらに発展すれば解決されるとみる向きがある中で、科学の方向性や行く末に危惧の念を抱く人も増えている。現代科学文明に欠落しているとしばしば指摘される宗教的・哲学的理性についても併せて検証する。
授業計画	1. オリエンテーション 2. たましいについて① 3. たましいについて② 4. 共時性について① 5. 共時性について② 6. 死について① 7. 死について② 8. 意識について① 9. 意識について② 10. 自然について① 11. 自然について② 12. 心理学について① 13. 心理学について② 14. 宗教と科学の対話 15. まとめ
テキスト	河合準雄『宗教と科学の接点』 湯浅泰雄『宗教と科学の間』 グライ・ラマ『タライ・ラマ科学への旅』
参考書・参考資料等	F. クリック著『DNAに魂はあるか』〈講談社〉／養老孟司著『唯脳論』〈青土社〉／レスター・ブラウン『地球環境』〈ウェッジ発行〉／ジム・ラブロック『地球生命圏』〈工作舎発行〉／根川進・立花隆『精神と物質』〈文春文庫〉／アービン・ラスロ『マクロシフト』〈文春ネスコ発行〉／村上和雄『遺伝子オンで生きる』〈サンマーク社〉／桜井邦朋『宇宙には意志がある』〈徳間書店〉等
学生に対する評価	授業中の発表（50％）、課題レポート（20％）、期末試験（30％）によって評価する。
養成をめざす力	密教仏教の専門性、情報技術（IT）、論理性
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：「いのち」の意味を、仏教および科学の視点から深く理解する。 テーマ：仏教と科学の視点から「いのち」の意味を探る。	科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
密教と文化／ 仏教と文化（大）	授業の概要 業の概要： 仏教における「いのち」の意味を、「縁起」の思想を中心に考え、科学の領域では量子力学の視点から考察し、両者の間に横たわる相違点と共通点を探って行く。	事相研究Ⅰー１（大）	授業の概要 葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。
学期	授業計画 1. 導入 2. 「いのち」ということばについて考える。 3. 「縁起」のメカニズムの中で、「いのち」の意味を探る。 4. 『スッタニパータ』に、「いのち」の意味を探る。 5. 同上 6. 唯識思想において「いのち」の意味を探る。 7. 同上 8. 科学一般における「いのち」の意味について考える。 9. 同上 10. 量子力学の視点から「いのち」の意味を考える。 11. 同上 12. 弘法大師の著作の中に「いのち」の意味を探る。『即身成仏義』 13. 同上 14. 同上 15. 総まとめ	前期	授業計画 1. 葬送儀礼の歴史 2. 真言宗の葬儀 3. 4. 5. 6. 7. 『引導署作法（二巻疏）』の解説 8. 導師と職衆の心得 9. 高野山の寺家の葬儀 10. 戒名について 11. 葬儀に用いる梵字と書き様（塔婆等） 12. 葬儀に関する質疑応答 13. 14. 15.
単位数	テキスト 必要に応じて担当者が配布する。	単位数	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社
2	参考書・参考資料等 必要に応じて担当者が紹介する。	2	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。
担当者	学生に対する評価 学期末に提出してもらうレポートによって評価（100％）する。	担当者	学生に対する評価 授業参加の積極性（100％）
前谷彰	養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚 その他	齋藤天譽	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性 その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得	科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：秘密事相の基礎知識を習得することを授業の目的とする。 テーマ：秘密事相の研究
事相研究Ⅰー２（大）	授業の概要 『引導署作法（二巻疏）』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。	事相研究Ⅱー１（大）	授業の概要 初心者を対象に基礎知識の習得に重点を置く。浄厳の『通用字輪觀口訣』を読む。
学期	授業計画 1. } 2. } 3. } 4. } 5. } 6. } 7. } 8. } 『引導署作法（二巻疏）』の伝授と解説 9. } 10. } 11. } 12. } 13. } 14. } 15. }	学期	授業計画 1. 授業についてのオリエンテーション 2. 三種秘観について 3. 浄厳和尚について 4. 『通用字輪觀口訣』を読む 上記項目にしたがって、講義と演習討論形式とを使い分けながら授業を行う。
後期	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社	前期	テキスト コピーにて配布する。
単位数	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。	単位数	参考書・参考資料等 『新安流四度口訣集』
2	学生に対する評価 授業参加の積極性（100％）	2	学生に対する評価 期末レポート（65％） 課題発表（20％） 小テスト（15％）
担当者	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性	担当者	養成をめざす力 密教仏教の専門性、問題発見力、忍耐力
齋藤天譽	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、区別して講義します。（詳細は開講時に）	佐藤隆彦	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
事相研究Ⅱ―2（大）	到達目標：理趣經法の専門知識を習得することを授業の目的とする。 テーマ：理趣經法の研究	
学期	授業の概要 灌頂終了者を対象に理趣經法の高度な知識の習得に重点を置く。	学期
前期	授業計画 1. 授業についてのオリエンテーション 2. 事相の歴史 3. 四度の行法と次第 4. 灌頂と印可 5. 各種の修法 6. 諸流派の行要 7. 印と真言 8. 聖教の解説 上記項目にしたがって、講義形式で授業を行う。	
単位数	テキスト 中川善教『理趣經法』（数珠屋四郎兵衛）	単位数
2	参考書・参考資料等 梅尾祥雲『祕密事相の研究』（臨川書店） 上田靈城『真言密教事相概説』四度部、諸尊法灌頂部上、下（同朋舎） 高見寛恭『理趣法の意得』	
担当者	学生に対する評価 期末レポート（65％） 課題発表（20％） 小テスト（15％）	担当者
佐藤隆彦	養成をめざす力 密教仏教の専門性、問題発見力、忍耐力	
	その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
仏教学特殊研究（大）	到達目標：原語と漢訳語の比較作業を通して、仏教思想のある意味での「歪み」を修正できればよいと考えている。 テーマ：原典における原語と漢訳語の異相	仏教史特殊研究（大）
学期	授業の概要 サンスクリット語やパーリ語の原典における原語と、漢訳語との間には仏教思想を根底から覆さなければならないような重要な異相を認めることができるので、当講義では重要な原語を取り上げ、それらの語がどのような漢語に置き換えられているかを検証することによって、仏教思想の誤謬性について考察する。	学期
前期	授業計画 1. 原語と翻訳語の異相全般について概略する。 2. 八正道について 3. 梵行・清浄行について 4. 顕示・開顕について 5. 同上 6. 苦行について 7. 清浄について 8. 菩提心・菩薩について 9. 一乗・一趣道について 10. 一心について 11. 涅槃について 12. 渴愛について 13. 小乗・大乘・密教について 14. 同上 15. まとめ	後期
単位数	テキスト 担当者がプリントを用意する。	単位数
2	参考書・参考資料等 必要に応じて紹介する。	2
担当者	学生に対する評価 学期末のレポートによって評価（100％）する。	担当者
前谷彰	養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚	加納和雄
	その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
到達目標：サンスクリット原典読解能力を習得し、梵文写本にもとづく原典校訂のノウハウを培う テーマ：梵文『宝性論』読解	
授業の概要	五世紀に成立したインド大乘仏教論書『宝性論』（ <i>Ratnagotravibhāga</i> ）は、それまで諸々の大乘經典に説かれてきた如来蔵思想を初めて体系的にとりまとめ、一大思想体系に仕立て上げた。やがて時代が下ると『宝性論』は弥勒に帰され、種々のインド仏教文献に依用されるようになる。その際、『宝性論』は中観派、時には瑜伽行派の立場から多様かつ自由な解釈がなされ、その思想が展開する。授業では、『宝性論』の梵文原典を精読し、如来蔵思想の形成と展開の軌跡をたどる。読解に際しては、梵文写本を用いて刊行本の読みを検討し、正誤表を作成しながら、原典批判の姿勢を養う。
授業計画	1. 授業の梗概 2. インド仏教思想史における如来蔵思想の位置づけ 3. 梵文『宝性論』読解 4. 梵文『宝性論』読解 5. 梵文『宝性論』読解 6. 梵文『宝性論』読解 7. 梵文『宝性論』読解 8. 梵文『宝性論』読解 9. 梵文『宝性論』読解 10. 梵文『宝性論』読解 11. 梵文『宝性論』読解 12. 梵文『宝性論』読解 13. 梵文『宝性論』読解 14. 梵文『宝性論』読解 15. テスト
テキスト	授業で指示します。
参考書・参考資料等	E.H. Johnston, <i>Ratnagotravibhāga</i> . Patna, 1950.
学生に対する評価	授業中の発表など（梵文の和訳）（90%）、レポート（10%）
養成をめざす力	密教仏教の専門性、外国語を読む力、問題解決力
その他	出席者は、サンスクリットの基礎文法を習得していること。授業は輪読形式。毎時間の発表を課す。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言宗の常用経典である『理趣経』原典の読解を通じて仏教学を学ぶための文献学的・図像学的方法論を習得する。 テーマ：『理趣経』と密教思想・密教美術の形成、およびその背景にある初期仏教・大乘仏教・ヒンドゥー教
仏教学演習A-1（大）	授業の概要 仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必要な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして一例として梵文および漢文にて『理趣経』原典を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所遭遇した際の対処方法を身につけてゆく。出席者は授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。
学期	授業計画 1. 導入 2. 仏教を学ぶための基礎知識（1） 3. 仏教を学ぶための基礎知識（2） 4. 『理趣経』原典の読解（1） 5. 『理趣経』原典の読解（2） 6. 『理趣経』原典の読解（3） 7. 『理趣経』原典の読解（4） 8. 『理趣経』原典の読解（5） 9. 『理趣経』原典の読解（6） 10. 『理趣経』原典の読解（7） 11. 『理趣経』原典の読解（8） 12. 『理趣経』原典の読解（9） 13. 文献読解の結果を分析する（1） 14. 文献読解の結果を分析する（2） 15. 文献読解の結果を分析する（3） 15. 総括
前期	テキスト 授業において指示します。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 高野山大学仏教学科編『卒業論文の手引き』。 松長有慶、『理趣経講讀』、大法輪閣。 松長有慶、『理趣経』中公文庫 BIBLIO。 Toru Tomabechi, <i>Adhyardhasatika Prajnaparamita</i> , Vienna/Beijing, 2009.
加納和雄	学生に対する評価 授業中の発表など（60%）、レポート（40%） 養成をめざす力 その他 主にインド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象としますが、熱意のある学生であれば誰でも歓迎します。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言宗の常用経典である『理趣経』原典の読解を通じて仏教学を学ぶための文献学的・図像学的方法論を習得する。 テーマ：『理趣経』と密教思想・密教美術の形成、およびその背景にある初期仏教・大乘仏教・ヒンドゥー教
仏教学演習A-2（大）	授業の概要 仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必要な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして一例として梵文および漢文にて『理趣経』原典を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所遭遇した際の対処方法を身につけてゆく。出席者は授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。
学期	授業計画 1. 導入 2. 仏教を学ぶための基礎知識（1） 3. 仏教を学ぶための基礎知識（2） 4. インド大乘仏教文献の読解（1） 5. インド大乘仏教文献の読解（2） 6. インド大乘仏教文献の読解（3） 7. インド大乘仏教文献の読解（4） 8. インド大乘仏教文献の読解（5） 9. インド大乘仏教文献の読解（6） 10. インド大乘仏教文献の読解（7） 11. インド大乘仏教文献の読解（8） 12. インド大乘仏教文献の読解（9） 13. 文献読解の結果を分析する（1） 14. 文献読解の結果を分析する（2） 15. 文献読解の結果を分析する（3） 15. 総括
後期	テキスト 授業において指示します。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 高野山大学仏教学科編『卒業論文の手引き』。 松長有慶、『理趣経講讀』、大法輪閣。 松長有慶、『理趣経』中公文庫 BIBLIO。 Toru Tomabechi, <i>Adhyardhasatika Prajnaparamita</i> , Vienna/Beijing, 2009.
加納和雄	学生に対する評価 授業中の発表など（60%）、レポート（40%） 養成をめざす力 その他 主にインド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象としますが、熱意のある学生であれば誰でも歓迎します。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の基本的知識を充実させ、論文作成能力を身につける。 テーマ：仏教とは何か。
仏教史演習A-1（大）	授業の概要 仏教の基本的知識を充実させ、論文の書き方についてのトレーニングを行う。
学期	授業計画 1. 仏教の基本的知識を身につける 2. 同上 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. まとめ
前期	テキスト 必要に応じて担当者が配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 水野弘元『原始仏教』（サラー叢書）平楽寺書店 S. ラーダクリシュナン著『インド仏教思想史』大蔵出版 早島鏡正・高崎直道・原実・前田専学『インド思想史』 東京大学出版会
前谷彰	学生に対する評価 学年末に提出してもらう仮修士論文で評価（100%）する。 養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚 その他
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の基本的知識を充実させ、論文作成能力を身につける。 テーマ：仏教とは何か。
仏教史演習A-2（大）	授業の概要 仏教の基本的知識を充実させ、論文の書き方についてのトレーニングを行う。
学期	授業計画 1. 学術論文を読解する 2. 同上 3. 同上 4. 学術論文の書き方トレーニング 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. 総まとめ
後期	テキスト 必要に応じて担当者が配布する。
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 水野弘元『原始仏教』（サラー叢書）平楽寺書店 S. ラーダクリシュナン著『インド仏教思想史』大蔵出版 早島鏡正・高崎直道・原実・前田専学『インド思想史』 東京大学出版会
前谷彰	学生に対する評価 学年末に提出してもらう仮修士論文で評価（100%）する。 養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を読む力・聴く力、国際感覚 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
仏教史演習B-1 (大)	到達目標：『発心集』の特質と中世仏教史の諸問題の理解。 テーマ：仏教と文学の接点	仏教史演習B-2 (大)	到達目標：『発心集』の特質と中世仏教史の諸問題の理解。 テーマ：仏教と文学の接点
学期		学期	
前期		後期	
単位数	テキスト 教員が作成した教材を配布する。	単位数	テキスト 教員が作成した教材を配布する。
2	参考書・参考資料等 「方丈記・発心集」小学館・日本古典文学集成	2	参考書・参考資料等 「方丈記・発心集」小学館・日本古典文学集成
担当者	学生に対する評価 受講生の教材研究（50％）と定期試験（50％）	担当者	学生に対する評価 受講生の教材研究（50％）と定期試験（50％）
下西忠	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力 その他 日本文学や日本仏教史などで修士論文を書こうとする者を希望する。	下西忠	養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、問題発見力 その他 日本文学や日本仏教史などで修士論文を書こうとする者を希望する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
仏教史講読1 (大)	到達目標： 後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乘仏教、タントラ仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性のある解釈を与えるかが大切な課題の1つであった。インド密教の総決算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点に焦点をあてて理解する。 テーマ：インド・チベット仏教戒律思想史（1）	仏教史講読2 (大)	到達目標： 後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乘仏教、タントラ仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性のある解釈を与えるかが大切な課題の1つであった。インド密教の総決算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点に焦点をあてて理解する。 テーマ：インド・チベット仏教戒律思想史（2）
学期		学期	
前期		後期	
単位数	授業時に適宜プリントして配布する。 ① Sakya Pandita Kunga Gyaltsan: <i>A Clear Differentiation of the Three Codes</i> , transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002 ② Sakya Pandita Kun dgah rgyal mtshan : <i>sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba</i> .『サキヤ派全書』Vol.5 No.4	単位数	① Sakya Pandita Kunga Gyaltsan: <i>A Clear Differentiation of the Three Codes</i> , transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002 ② Sakya Pandita Kun dgah rgyal mtshan : <i>sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba</i> .『サキヤ派全書』Vol.5 No.4
2	参考書・参考資料等 藤田光寛『仏教徒のあり方と戒律』（高野山大学） 森章司 編『戒律の世界』東京：淡水舎 1993 年 佐藤密雄『律蔵』（＝仏典講座4）大蔵出版（株） 昭和47 年など	2	参考書・参考資料等 藤田光寛『仏教徒のあり方と戒律』（高野山大学） 森章司 編『戒律の世界』東京：淡水舎 1993 年 佐藤密雄『律蔵』（＝仏典講座4）大蔵出版（株） 昭和47 年など
担当者	学生に対する評価 期末の試験（70％）、授業中任意に実施する小テスト（30％）によって評価する。	担当者	学生に対する評価 期末の試験（70％）、授業中任意に実施する小テスト（30％）によって評価する。
藤田光寛	養成をめざす力 密教仏教の専門性、日本語を読む力、問題解決力 その他 3回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp ですの、質問などがあれば遠慮無く利用してください。	藤田光寛	養成をめざす力 密教仏教の専門性、外国語を読む力、問題解決力、想像力 その他 3回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp ですの、質問などがあれば遠慮無く利用してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。 テーマ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。
密教実践法の研究 1 (大)	
学期	
集前期	
単位数	
2	
担当者	
甲田宥咲	
授業の概要	真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。
授業計画	1. 略許可、講義の概要 2. 伝授についての序説 3. 一座行法の伝授・解説 (1) 4. 一座行法の伝授・解説 (2) 5. 一座行法の伝授・解説 (3) 6. 一座行法の伝授・解説 (4) 7. 一座行法の伝授・解説 (5) 8. 一座行法の伝授・解説 (6) 9. 一座行法の伝授・解説 (7) 10. 一座行法の伝授・解説 (8) 11. 一座行法の伝授・解説 (9) 12. 一座行法の伝授・解説 (10)
テキスト	中川善教編『諸尊通用次第(中院)』3帖1帙 親王院(又は東方出版) 価格 10,000 円程度 (※入手方法に就いては、事前に公示する)
参考書・参考資料等	中川善教『諸尊通用次第撮要』 親王院 大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版 等
学生に対する評価	講義に臨む姿勢(出欠席を含む)(50%)、レポートによる採点(50%)
養成をめざす力	密教仏教の専門性
その他	1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者(※伝法灌頂修了者)に限る。 2、受講時は高野山における平衣(空衣・白袈裟等)又は黒衣・如法衣(尼僧は灰色の編衫も可)を必ず着用すること。改良服・作業衣等での受講は不可。 3、前後期通して受講すること。後期のみの受講はできない。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。 テーマ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。
密教実践法の研究 2 (大)	
学期	
集後期	
単位数	
2	
担当者	
甲田宥咲	
授業の概要	真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。
授業計画	1. 一座行法の伝授・解説 (11) 2. 一座行法の伝授・解説 (12) 3. 法会等の導師の作法・所作の解説 (1) 4. 法会等の導師の作法・所作の解説 (2) 5. 諸尊法の伝授 (1) 6. 諸尊法の伝授 (2) 7. 諸尊法の伝授 (3) 8. 諸尊法の伝授 (4) 9. 諸尊法の伝授 (5) 10. 諸尊法の伝授 (6) 11. 諸尊法の伝授 (7) 12. 諸尊法の伝授 (8)
テキスト	中川善教編『諸尊通用次第(中院)』3帖1帙 親王院(又は東方出版) 価格 10,000 円程度 (※入手方法に就いては、事前に公示する)
参考書・参考資料等	中川善教『諸尊通用次第撮要』 親王院 大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版 等
学生に対する評価	講義に臨む姿勢(出欠席を含む)(50%)、レポートによる採点(50%)
養成をめざす力	密教仏教の専門性
その他	1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者(※伝法灌頂修了者)に限る。 2、受講時は高野山における平衣(空衣・白袈裟等)又は黒衣・如法衣(尼僧は灰色の編衫も可)を必ず着用すること。改良服・作業衣等での受講は不可。 3、前後期通して受講すること。後期のみの受講はできない。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像のかたちーその姿と意味
仏教芸術の研究 1 (大)	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	
授業の概要	仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。授業では、現存する仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を考察し、その信仰の歴史などについて概観する。
授業計画	1. 釈迦如来 2. 薬師如来 3. 阿弥陀如来 4. 毘盧遮那仏と大日如来 5. 弥勒仏と弥勒菩薩 6. 観音菩薩：十一面観音・千手観音など 7. 観音菩薩：不空罽索観音・馬頭観音など 8. 文殊・普賢菩薩 9. 地藏・虚空蔵菩薩 10. 不動明王 11. 愛染明王・孔雀明王など 12. 天：四天王 13. 天：吉祥天など 14. 天：閻魔など 15. その他
テキスト	授業内容に沿った参考資料(文字資料・画像資料)を配付する。
参考書・参考資料等	至文堂編『日本の美術』ぎょうせい 関根俊一編『仏尊の事典』学習研究社 『日本美術全集』講談社
学生に対する評価	授業態度(20%)、期末レポート(70%)、授業中任意の時期に実施する小テスト(10%)の比率で評価する。 後期授業終了までに各自テーマを設定し、4000字程度のレポートを提出する。
養成をめざす力	仏教美術の基礎力、日本語を聴く力、自主性
その他	仏教美術特殊講義B(後期)を履修・聴講することが望ましい。 霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、仏像のかたちについて研究してください。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏像の技法・構造を学ぶことによって各時代の仏像様式への理解を深めることを到達目標とする。 テーマ：仏像のかたちー様式と技法
仏教芸術の研究 2 (大)	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	
授業の概要	授業では、各時代の仏像をその技法を通して概観し、さらに材質や造像技法などの各論について概説する。
授業計画	1. 飛鳥時代前期の仏像 2. 飛鳥時代後期の仏像 3. 奈良時代の仏像 4. 平安時代前期の仏像 5. 平安時代後期の仏像 6. 鎌倉時代の仏像 7. 造像の技法：金属 8. 造像の技法：塑像 9. 造像の技法：脱活乾漆造り 10. 造像の技法：木心乾漆造り 11. 造像の技法：一本造り 12. 造像の技法：寄木造り 13. 仏像の衣装 14. 仏像の彩色 15. その他の技法
テキスト	授業内容に沿った参考資料(文字資料・画像資料)を配付する。
参考書・参考資料等	水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』 至文堂編『日本の美術』ぎょうせい 『日本美術全集』講談社
学生に対する評価	授業態度(20%)、期末レポート(70%)、授業中任意の時期に実施する小テスト(10%)の比率で評価する。 後期授業終了までに各自テーマを設定し、4000字程度のレポートを提出する。
養成をめざす力	仏教美術の基礎力、日本語を聴く力、自主性
その他	仏教美術特殊講義A(前期)を履修・聴講することが望ましい。 霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、仏像の技法について研究してください。

科目名	アジア地域の宗教文化の研究(大)
学期	後期
後期	
単位数	2
担当者	井上ウイマラ
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：上座仏教の瞑想や勤行の実践とその根拠になっている基本文献に触れ、それらが現代の西洋仏教の中でどのように応用されているのかを知る。 テ－マ：上座仏教の瞑想実践と現代的応用としてのマインドフルネス	
授業の概要 教材を読み進めながら、多角的に考察し議論していく。パリ語による勤行やヴィパッサナー瞑想の実践も取り入れて、文献に示されていることを体感を通して理解できるように工夫する。	
授業計画 - 自己紹介と授業の流れ（西洋仏教とアジアの伝統仏教について） - マインドフルネス - 三宝帰依 - 戒・定・慧 - 解脱 「大念住経」略説を読む 「大念住経」身体に関する随観を読む 「大念住経」身体に関する随観を読む 「大念住経」感受に関する随観を読む 「大念住経」心に関する随観を読む 「大念住経」法に関する随観を読む 「大念住経」法に関する随観を読む - 仏教瞑想と心理療法 - 仏教心理学の可能性 - ふりかえりとまとめ	
テキスト 『南方仏教基本聖典』 ウ・ウェーブツラ 仏教書林中山書房	
参考書・参考資料等 『マインドフルな生き方』 クリストファー・ティットムス 産調出版 『マインドフルネスストレス低減法』 ジョン・カバットジン 北大路書房	
学生に対する評価 出席（30％）と期末レポート（70％）で評価する。	
養成をめざす力 密教仏教の基礎力、密教仏教の専門性、創造力	
その他	

科目名	現代社会と仏教の研究2(大)
学期	後期
後期	
単位数	2
担当者	Ｔ・ドライライン
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：英文の読解力を向上しながら、仏教の基礎知識を再確認し、現代社会におけるその役割と応用を考える。 テ－マ：英文を通じて仏教の教えとその現代社会における貢献を考察する。	
授業の概要 仏教と倫理というテーマで、現代社会が直面する問題に対して仏教から何を学べるかを考察する。仏教倫理に関する英文の著名な入門書を読みながら、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。	
授業計画 - イントロダクション - War and Terrorism（戦争とテロ） - 同上 - 同上 - 同上 - Abortion（中絶） - 同上 - 同上 - Suicide and Euthanasia（自殺と安楽死） - 同上 - 同上 - 同上 - Cloning（クローニング） - 同上 - 同上	
テキスト Keown, Damien. <i>Buddhist Ethics, A Very Short Introduction</i> . Oxford University Press, 2005. (0195678702)	
参考書・参考資料等 Keown, Damien. <i>Buddhism, A Very Short Introduction</i> , 2nd ed. Oxford University Press, 2013. (0199663831) Harvey, Peter. <i>An Introduction to Buddhist Ethics: Foundations, Values and Issues</i> . Cambridge, 2000. (0521556406)	
学生に対する評価 レポート（50％）、発表（20％）、授業参加の積極性（30％）	
養成をめざす力 密教仏教の基礎力、外国語を読む力、国際感覚	
その他 参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。 テキストのテーマに沿って、別に課題を与えて受講生による発表を行う。 英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。 プログラムは改訂される場合がある。	

科目名	現代社会と仏教の研究1(大)
学期	前期
前期	
単位数	2
担当者	Ｔ・ドライライン
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：英文の読解力を向上しながら、仏教の基礎知識を再確認し、現代社会におけるその役割と応用を考える。 テ－マ：英文を通じて仏教の教えとその現代社会における貢献を考察する。	
授業の概要 仏教と倫理というテーマで、現代社会が直面する問題に対して仏教から何を学べるかを考察する。仏教倫理に関する英文の著名な入門書を読みながら、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。	
授業計画 - イントロダクション - Buddhist morality（仏教道徳論） - 同上 - 同上 - 同上 - Ethics East and West（西洋倫理と仏教倫理） - 同上 - 同上 - 同上 - Animals and the Environment（動物と環境） - 同上 - 同上 - Sexuality（性） - 同上 - 同上	
テキスト Keown, Damien. <i>Buddhist Ethics, A Very Short Introduction</i> . Oxford University Press, 2005. (0195678702)	
参考書・参考資料等 Keown, Damien. <i>Buddhism, A Very Short Introduction</i> , 2nd ed. Oxford University Press, 2013. (0199663831) Harvey, Peter. <i>An Introduction to Buddhist Ethics: Foundations, Values and Issues</i> . Cambridge, 2000. (0521556406)	
学生に対する評価 レポート（50％）、発表（20％）、授業参加の積極性（30％）	
養成をめざす力 密教仏教の基礎力、外国語を読む力、国際感覚	
その他 参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。 テキストのテーマに沿って、別に課題を与えて受講生による発表を行う。 英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。 プログラムは改訂される場合がある。	

科目名	教育学特殊研究(大)
学期	集中
集中	
単位数	2
担当者	伊藤一雄
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：学校経営・管理とキャリア教育がどれだけ密接に関わっているかの理解度に焦点を当てる。 テ－マ：学校経営・管理とキャリア教育	
授業の概要 本講義は高等学校教諭専修免許状を取得することを目的とした科目である。学校管理・経営とキャリア教育という一見関係のなさそうに見えるこの問題は、根幹のところで深くつながっていることを考察する。	
授業計画 - 学校経営とはどのような営みなのか解説し考察する。（1） - 学校管理とはどのような営みなのか解説し考察する。（2） - 学校管理と組織運営の問題について考察する。（1） - 学校管理と組織運営の問題について考察する。（2） - 学校管理と組織運営の問題について考察する。（3） - 日本のキャリア教育について考察する。（1） - 日本のキャリア教育について考察する。（2） - 米国のキャリア教育の現状について解説する。 - 欧州（独仏中心）のキャリア教育について解説する。 - キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（1） - キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（2） - キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（3） - 学校管理の問題とキャリア教育、進路指導、職業指導の関係を明らかにする。 - 学校管理の問題とキャリア教育、真の指導、職業指導の関係を考察する。 - 総括講義	
テキスト なし、必要に応じて資料を配布する。	
参考書・参考資料等 伊藤一雄著「キャリア開発と職業指導」法律文化社 2011	
学生に対する評価 講義内容に対する理解と考察の深さで判断する。 課題レポート（70％）、議論への参加（30％）	
養成をめざす力	
その他 教職関係科目を履修していることが望ましい。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密教特殊演習A―1（大）	到達目標：ゴルドン文庫の研究を通じて、文献の読解力と資料を調査・整理し情報を管理する能力を養うこと。さらに、ゴルドン夫人の滞日活動を文化接触の一事例と捉え、その意義を明らかにすること。
	テーマ：高野山大学図書館ゴルドン文庫の研究
	授業の概要
	高野山大学図書館には、土宜法龍を通じて寄贈されたエリザベス・アンナ・ゴルドン（1851～1925、以下、ゴルドン夫人）の旧蔵書（以下、ゴルドン文庫）が蔵されている。本授業は、このゴルドン文庫を調査してその実態を明らかにするとともに、他のゴルドン文庫ないしコレクションとの比較を通じて、その特色を明確にする。さらにそれらを踏まえて、ゴルドン夫人の滞日活動の実態とその思想の解明を進める。
	授業計画
学期	1. イントロダクション（授業の進め方、単位の取り方などの説明） 2. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の調査 1 3. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の調査 2 4. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の調査 3 5. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の調査 4 6. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の調査 5 7. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の調査のまとめ 1 8. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の調査のまとめ 2 9. 早稲田大学ゴルドン文庫の研究 1 10. 早稲田大学ゴルドン文庫の研究 2 11. 長崎県立図書館ゴルドン・コレクションの研究 1 12. 長崎県立図書館ゴルドン・コレクションの研究 2 13. 山口県立図書館ゴルドン・コレクションの研究 14. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の特色 1 15. 高野山大学図書館ゴルドン文庫の特色 2
前期	テキスト
単位数	特になし
2	参考書・参考資料等
担当者	E. ゴルドン著、高楠順次郎訳『弘法大師と景教』 森陸彦『ゴルドン夫人と日英文庫』
奥山直司	学生に対する評価
	授業への参加度（60%）、期末レポート（40%）
	養成をめざす力
	文献の読解力、文献資料を調査・整理し情報を管理する能力
	その他
	特になし

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密教特殊演習A―2（大）	到達目標：ゴルドン夫人の事績の研究を通じて、文献の読解力と資料を調査・整理し情報を管理する能力を養うこと。さらに、ゴルドン夫人の滞日活動を文化接触の一事例と捉え、その意義を明らかにすること。
	テーマ：ゴルドン夫人の事績の研究
	授業の概要
	高野山奥之院の大秦景教流行中国碑のレプリカを寄贈したことで知られるエリザベス・アンナ・ゴルドン（1851～1925、以下、ゴルドン夫人）は、高野山を始め日本の仏教界と深い関係を有した。本授業では、ゴルドン夫人の事績を資料の調査と分析によって詳細に明らかにし、さらに「仏耶一元論」と呼ばれるその思想の解明を進める。
	授業計画
学期	1. イントロダクション（授業の進め方、単位の取り方などの説明） 2. ゴルドン夫人の出自 3. 来日以前の活動 1 4. 来日以前の活動 2 5. 来日以前の活動 3 6. 来日の経緯 7. 日本における足跡 1 8. 日本における足跡 2 9. 高野山との関係 1 10. 高野山との関係 2 11. 高野山との関係 3 12. ゴルドン夫人の「仏耶一元論」 1 13. ゴルドン夫人の「仏耶一元論」 2 14. ゴルドン夫人の「仏耶一元論」 3 15. まとめ
後期	テキスト
単位数	特になし
2	参考書・参考資料等
担当者	E. ゴルドン著、高楠順次郎訳『弘法大師と景教』 森陸彦『ゴルドン夫人と日英文庫』
奥山直司	学生に対する評価
	授業への参加度（60%）、期末レポート（40%）
	養成をめざす力
	文献の読解力、文献資料を調査・整理し情報を管理する能力
	その他
	特になし

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密教特殊演習B―1（大）	到達目標：天社神道の専門書はないという。したがって、天社神道とはいかなる神道か、その特色は何か、といった基本的なことを、従来の見解を批判しつつ再検討するところからはじめたい。それには、江戸時代における詳細な年表作成を行ない、天社神道の全体像の把握に努めるとともに、実態の解明をめざしたい。
	テーマ：天社神道の研究
	授業の概要
	天社神道に関する史料は、活字化されているものはほとんどない。よって、今日伝存する史料の全体像を把握することからはじめたい。ついで、江戸時代の天社神道を解明する上で、いかなる史料が基本となるのかを見極め、その史料の解説をおこなう。写本でしか伝来していないので、まず翻刻文を作成する。ついで、内容の把握に努め、天社神道とはいかなる神道であったかを解明する。
	授業計画
学期	1. 天社神道に関する史料の全体像を把握するため、史料所蔵者ごとにリストを作成する。 2. その中から、基本的な史料を抽出して翻刻文を作成する。 3. 翻刻文にもとづき、内容の解説をおこなう。 4. 課程博士論文の基礎となる論考を数篇作成する。
前期	テキスト
単位数	京都府立総合資料館所蔵の天社神道関連史料
2	参考書・参考資料等
担当者	・村山修一『日本陰陽道史総説』1992年 塙書房 ・林 淳『近世陰陽道の研究』2005年 吉川弘文館 ・山下克明『陰陽道の発見』（NHKブックス）2010年 ・井上智勝『吉田神道の四百年―神と葵の近世史―』（講談社選書）2012年 ・『陰陽道叢書』全冊 1992年 名著出版
武内孝善	学生に対する評価
	講義に対する取り組み（70%）と論文作成（30%）で評価。
	養成をめざす力
	密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力
	その他
	江戸時代における神道全般について、幅広く学習し、広い視野にたって天社神道を考えてほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密教特殊演習B―2（大）	到達目標：天社神道の専門書はないという。したがって、天社神道とはいかなる神道か、その特色は何か、といった基本的なことを、従来の見解を批判しつつ再検討するところからはじめたい。それには、江戸時代における詳細な年表作成を行ない、天社神道の全体像の把握に努めるとともに、実態の解明をめざしたい。
	テーマ：天社神道の研究
	授業の概要
	天社神道に関する史料は、活字化されているものはほとんどない。よって、今日伝存する史料の全体像を把握することからはじめたい。ついで、江戸時代の天社神道を解明する上で、いかなる史料が基本となるのかを見極め、その史料の解説をおこなう。写本でしか伝来していないので、まず翻刻文を作成する。ついで、内容の把握に努め、天社神道とはいかなる神道であったかを解明する。
	授業計画
学期	1. 天社神道に関する史料の全体像を把握するため、史料所蔵者ごとにリストを作成する。 2. その中から、基本的な史料を抽出して翻刻文を作成する。 3. 翻刻文にもとづき、内容の解説をおこなう。 4. 課程博士論文の基礎となる論考を数篇作成する。
後期	テキスト
単位数	京都府立総合資料館所蔵の天社神道関連史料
2	参考書・参考資料等
担当者	・村山修一『日本陰陽道史総説』1992年 塙書房 ・林 淳『近世陰陽道の研究』2005年 吉川弘文館 ・山下克明『陰陽道の発見』（NHKブックス）2010年 ・井上智勝『吉田神道の四百年―神と葵の近世史―』（講談社選書）2012年 ・『陰陽道叢書』全冊 1992年 名著出版
武内孝善	学生に対する評価
	講義に対する取り組み（70%）と論文作成（30%）で評価。
	養成をめざす力
	密教仏教の専門性、問題発見力、問題解決力
	その他
	江戸時代における神道全般について、幅広く学習し、広い視野にたって天社神道を考えてほしい。

教 員 別 索 引

【あ 行】

伊 藤 一 雄	教職入門	文 - 40
	教育課程論	文 - 41
	教職実践演習	文 - 44
	生徒指導・進路指導	文 - 44
	教育学特殊研究（大）	院 - 12
乾 仁 志	密教学概論Ⅰ	文 - 5
	密教学概論Ⅱ	文 - 5
	真言宗の教え（別）	文 - 5
	密教学演習 E	文 - 16
	宗教科教育法Ⅰ	文 - 41
	宗教科教育法Ⅱ	文 - 41
	宗教科教育法Ⅲ	文 - 41
	密教学講義（大）	院 - 1
	密教学演習 C - 1（大）	院 - 4
	密教学演習 C - 2（大）	院 - 4
井上ウィマラ	人間と宗教	文 - 3
	仏教学特殊講義 A	文 - 13
	密教学演習 J	文 - 17
	企画科目（傾聴実践）	文 - 19
	企画科目（ヴィバサナー瞑想Ⅰ）	文 - 20
	企画科目（ヴィバサナー瞑想Ⅱ）	文 - 20
	アジア地域の宗教文化の研究（大）	院 - 12
上 田 恭 寿	国語学Ⅰ	文 - 28
	国語学Ⅱ	文 - 28
	国語学講義Ⅰ	文 - 33
	国語学講義Ⅱ	文 - 33
	企画科目（詠歌）	文 - 22
上 山 雄 慈 岡 本 文 音 奥 山 直 司	企画科目〔茶道〕	文 - 22
	密教史概説Ⅰ	文 - 6
	密教学特殊講義 J	文 - 12
	密教学演習 B	文 - 15
	インド学講義（大）	院 - 1
	密教史演習 A - 1（大）	院 - 4
	密教史演習 A - 2（大）	院 - 4
	密教史講読 1（大）	院 - 6
	密教史講読 2（大）	院 - 6
	密教特殊演習 A - 1（大）	院 - 13
	密教特殊演習 A - 2（大）	院 - 13

【か 行】

加 納 和 雄	祖典講読Ⅰ A	文 - 7
	祖典講読Ⅱ A	文 - 7
	真言宗典講読 1（別）	文 - 7
	真言密教講読演習 C	文 - 10
	真言宗典講読 2 - 2（別）	文 - 10
	密教学演習 F	文 - 16
	サンスクリット語Ⅱ	文 - 23
	チベット語	文 - 24
	チベット語（別）	文 - 24
	仏教史特殊研究（大）	院 - 8
	仏教学演習 A - 1（大）	院 - 9
	仏教学演習 A - 2（大）	院 - 9
川 崎 一 洋	宗教学Ⅰ	文 - 30
	宗教学Ⅱ	文 - 30
	世界の宗教（別）	文 - 30
	宗教史Ⅰ	文 - 31
	宗教史Ⅱ	文 - 31
	宗教の歴史（別）	文 - 31
	漢字Ⅱ	文 - 35
	条幅制作 A	文 - 37
	企画科目（芸能）	文 - 21
	企画科目（舞踊）	文 - 19
木 本 滋 久	企画科目（一流伝授Ⅰ）	文 - 22
	企画科目（一流伝授Ⅱ）	文 - 23
	密教実践法の研究 1（大）	院 - 11
	密教実践法の研究 2（大）	院 - 11
	企画科目（華道）	文 - 20

【さ 行】

齋 藤 天 譽	真言密教特殊講義 C	文 - 14
	真言密教特殊講義 D	文 - 15
	密教儀礼の理論と実習（別）	文 - 15
	梵字悉曇	文 - 29
	梵字悉曇（別）	文 - 29
	事相研究Ⅰ - 1（大）	院 - 7
	事相研究Ⅰ - 2（大）	院 - 7
佐 藤 隆 彦	密教史概説Ⅱ	文 - 6
	密教学演習 G	文 - 17
	企画科目（阿息観）	文 - 21
	企画科目（月輪観と阿字観）	文 - 21
	観法の理論と実習（別）	文 - 21
	密教史演習 B - 1（大）	院 - 5
	密教史演習 B - 2（大）	院 - 5
	事相研究Ⅱ - 1（大）	院 - 7
	事相研究Ⅱ - 2（大）	院 - 8
	事相研究（聖教の伝授と実習）（別）	院 - 8
静 慈 圓	密教学特殊講義 C	文 - 11
	密教学特殊講義 D	文 - 11
	仏教芸術（別）	文 - 11
静 春 樹	英語Ⅰ B	文 - 1
	英語Ⅱ B	文 - 4
下 西 忠	密教学演習 H	文 - 17
	国文法Ⅰ	文 - 27
	国文法Ⅱ	文 - 27
	日本文学史概説Ⅰ	文 - 32
	日本文学史概説Ⅱ	文 - 32
	日本文化特殊講義 A	文 - 34
	国語科教育法Ⅰ	文 - 42
	国語科教育法Ⅱ	文 - 42
	国語科教育法Ⅲ	文 - 42
	国語科教育法Ⅳ	文 - 42
	仏教史演習 B - 1（大）	院 - 10
	仏教史演習 B - 2（大）	院 - 10

【た 行】

高 倉 正 行	英語Ⅰ A	文 - 1
	英語Ⅰ C（再履修）	文 - 2
	英語Ⅱ A	文 - 4
	英語Ⅱ C（再履修）	文 - 5
	企画科目（時事英語）	文 - 19
武 内 孝 善	弘法大師伝	文 - 3
	弘法大師空海の生涯（別）	文 - 3
	密教学特殊講義 H	文 - 12
	密教学特殊講義 I	文 - 12
	密教学演習 I	文 - 17
	密教史特殊研究 1（大）	院 - 2
	密教史特殊研究 2（大）	院 - 2
	密教史演習 C - 1（大）	院 - 5
	密教史演習 C - 2（大）	院 - 5
	密教特殊演習 B-1（大）	院 - 13
竹 村 和 也	密教特殊演習 B-2（大）	院 - 13
	現代の人権	文 - 28
	日本国憲法	文 - 28
	人権と福祉（別）	文 - 28
	キャリアアカウンセリングⅠ	文 - 45
田 村 美 幸	就職スキル講座	文 - 45
	企画科目（舞踊）	文 - 19
辻 佐智子	企画科目（詠歌）	文 - 22
	企画科目（声明上級）	文 - 22
	声明上級（別）	文 - 22
	声明	文 - 29
	声明（別）	文 - 29
辻 秀 道	日本語 D	文 - 2
	祖典講読Ⅰ B	文 - 7
	祖典講読Ⅱ B	文 - 7
	祖典講読Ⅲ A	文 - 7
	祖典講読Ⅳ A	文 - 8
土 居 夏 樹	真言密教特殊講義 A	文 - 14

T. ドライライン	真言密教講読演習 A	文 - 9		サンスクリット語 (別)	文 - 23
	真言密教講読演習 B	文 - 9		仏教学講義 (大)	院 - 1
	密教学特殊講義 E	文 - 11		密教と文化 (大)	院 - 7
	密教学特殊講義 F	文 - 11		仏教と文化 (大)	院 - 7
	英会話	文 - 24		仏教学特殊研究 (大)	院 - 8
	密教学特殊研究 1 (大)	院 - 2		仏教史演習 A - 1 (大)	院 - 9
	密教学特殊研究 2 (大)	院 - 2		仏教史演習 A - 2 (大)	院 - 9
	現代社会と仏教の研究 1 (大)	院 - 12	松 長 恵 史	祖典講読Ⅲ B	文 - 7
	現代社会と仏教の研究 2 (大)	院 - 12		祖典講読Ⅳ B	文 - 8
【な 行】				密教学講読演習 A	文 - 8
中 西 雄 泰	法式	文 - 30		真言宗典講読 2 - 1 (別)	文 - 8
	法式 (別)	文 - 30		真言密教特殊講義 B	文 - 14
中 村 哲 二	体育実技	文 - 25	南 昌 宏	日本語 A	文 - 2
中 村 本 然	密教学特殊講義 G	文 - 12		漢文 I	文 - 4
	密教学演習 A	文 - 15		漢文 II	文 - 4
	祖典演習 (大)	院 - 1		密教学演習 D	文 - 16
	密教学演習 A - 1 (大)	院 - 3		漢文学概論 I	文 - 33
	密教学演習 A - 2 (大)	院 - 3		漢文学概論 II	文 - 33
	現代社会と宗教 (大)	院 - 6		中国文化特殊講義 B	文 - 34
	密教学講読 (大)	院 - 6		中国文化講読演習	文 - 35
野 口 博 司	情報処理	文 - 29		密教学演習 B - 1 (大)	院 - 3
野 田 悟	中国文化特殊講義 A	文 - 34	宮 田 永 明	密教学演習 B - 2 (大)	院 - 3
	漢字 I	文 - 35		常用經典	文 - 29
	篆刻 I	文 - 36		常用經典 (別)	文 - 29
	篆刻 II	文 - 36	森 崎 雅 好	仏教学特殊講義 E	文 - 14
	書道史 (日本)	文 - 37		企画科目 (グリーンフケア)	文 - 21
【は 行】				教育心理学	文 - 40
橋 本 真 人	布教	文 - 30		キャリアカウンセリング II	文 - 45
	布教 (別)	文 - 30	森 本 一 彦	密教学特殊講義 A	文 - 10
土生川 正 賢	中国語 (初級)	文 - 24		密教学特殊講義 B	文 - 10
	中国語 (上級)	文 - 24	【や 行】		
浜 畑 圭 吾	総合科目 (古文書入門)	文 - 18	山 口 幸 照	社会福祉各論 I (地域福祉)	文 - 38
	総合科目 (書誌学)	文 - 18		社会福祉各論 II (地域福祉)	文 - 38
	日本文学 I	文 - 27		地域福祉 (別)	文 - 38
	日本文学 II	文 - 27		社会福祉各論 I (障害者福祉)	文 - 38
	日本文学概論 I	文 - 32		社会福祉各論 II (高齢者福祉)	文 - 38
	日本文学概論 II	文 - 32		社会福祉各論 I (児童福祉)	文 - 39
	日本文化特殊講義 B	文 - 34		社会福祉概論 I	文 - 39
	日本文化講読演習	文 - 35		社会保障総論 I	文 - 39
藤 田 光 寛	空海の思想入門	文 - 1		社会保障総論 II	文 - 39
	仏教学講読演習 C	文 - 9	山 本 圭 子	社会保障 (別)	文 - 39
	宗教学方法論	文 - 31		かな I	文 - 36
	仏教史講読 1 (大)	院 - 10		かな II	文 - 36
	仏教史講読 2 (大)	院 - 10		条幅制作 B	文 - 37
藤 吉 圭 二	日本語 C	文 - 2	山 本 文 昭	企画科目 (詠歌)	文 - 22
	日本語 E (再履修)	文 - 2	山 本 芳 孝	教育方法論	文 - 43
	総合科目 (デジタルアーカイブ)	文 - 18		特別教育活動	文 - 43
	社会学 I	文 - 26	山 脇 雅 夫	日本語 B	文 - 2
	社会学 II	文 - 26		現代思想	文 - 3
	教育社会学	文 - 40		哲学 1 (別)	文 - 3
	情報技術論	文 - 43		宗教思想史 I	文 - 25
淵 田 雲 溪	企画科目 (法式上級)	文 - 20		宗教思想史 II	文 - 25
	法式上級 (別)	文 - 20		哲学方法論	文 - 31
戸 来 知 子	心理学 I	文 - 26		哲学 2 (別)	文 - 31
	心理学 II	文 - 26		教育原論	文 - 40
	心の科学 (別)	文 - 26		道德教育の研究	文 - 43
	教育相談	文 - 44		教育実習の研究	文 - 44
細 川 佐智子	企画科目 (舞踊)	文 - 19	【わ 行】		
【ま 行】			和 田 圭 子	仏教学講読演習 A	文 - 8
前 谷 彰	釈尊伝	文 - 3		仏教学講読演習 B	文 - 9
	釈尊の生涯 (別)	文 - 3		仏教学特殊講義 B	文 - 13
	仏教史概説 I	文 - 6		仏教学特殊講義 C	文 - 13
	仏教史概説 II	文 - 6		企画科目 (仏教芸術)	文 - 19
	仏教学特殊講義 D	文 - 13		仏教芸術の研究 1 (大)	院 - 11
	密教学演習 C	文 - 16		仏教芸術の研究 2 (大)	院 - 11
	サンスクリット語 I	文 - 23			

講義概要・授業計画 平成25年度(2013)

2013年4月1日発行

編集・発行 高野山大学

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385

Tel. (0736) 56-5027 (教務課)

Fax. (0736) 56-2746

E-mail: kyomu@koyasan-u.ac.jp

URL: <http://www.koyasan-u.ac.jp>

印刷 藤井印刷株式会社